

平成18年度

決算に係る施策の成果報告書

天草市

目 次

1.	普通会計決算の概要	1
2.	一般会計	6
3.	国民健康保険特別会計	207
4.	老人保健医療特別会計	214
5.	介護保険特別会計	218
6.	公共下水道事業特別会計	237
7.	特定環境保全公共下水道事業特別会計	240
8.	農業集落排水事業特別会計	243
9.	漁業集落排水事業特別会計	245
10.	浄化槽市町村整備推進事業特別会計	248
11.	簡易水道事業特別会計	251
12.	国民健康保険診療施設特別会計	255
13.	歯科診療所特別会計	256
14.	国民宿舎特別会計	257
15.	埠頭事業特別会計	258
16.	斎場事業特別会計	259
17.	一町田財産区特別会計	261
18.	新合財産区特別会計	261
19.	富津財産区特別会計	261
20.	決算カード	262

(注) 1. 決算額は四捨五入で記載。

2. 決算額の財源内訳欄2段書きの場合、下段()は補助率に基づいた額で、その差額は翌年度で精算。

1. 普通会計決算の概要

(1) 決算規模及び決算収支

平成18年度の決算は、歳入が前年度に比較して8.6%、4,796,660千円の減で50,931,576千円、歳出が8.2%、4,396,756千円の減で49,336,747千円となりました。歳入総額から歳出総額を差し引いた形式収支が1,594,829千円、この額から繰越明許費のために翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支は1,428,151千円の黒字となっています。

実質収支から前年度の実質収支を差し引いた単年度収支は374,884千円の赤字となり、この単年度収支に基金積立金1,288,782千円を加算した実質単年度収支は913,898千円の黒字となっています。

〔決算の収支状況〕

(単位：千円・%)

区 分		平成17年度	平成18年度	差 引	伸 率
歳 入 総 額	A	55,728,236	50,931,576	4,796,660	8.6
歳 出 総 額	B	53,733,503	49,336,747	4,396,756	8.2
形 式 収 支	C = A - B	1,994,733	1,594,829	399,904	20.0
翌 年 度 繰 越 財	D	191,698	166,678	25,020	13.1
実 質 収 支	E = C - D	1,803,035	1,428,151	374,884	20.8
単 年 度 収 支	F	465,492	374,884	840,376	180.5
積 立 金	G	709,522	1,288,782	579,260	81.6
繰 上 償 還 金	H	60,000		60,000	皆減
積 立 金 取 崩 額	I	1,420,836		1,420,836	皆減
実 質 単 年 度 収 支	F + G + H - I	185,822	913,898	1,099,720	591.8

普通会計とは、個々の地方公共団体の財政比較や統一的な掌握のために、地方財政統計（決算統計）上統一的に用いられる会計区分です。具体的には、公営事業会計以外の会計を統合して一つの会計としてとりまとめたもので、天草市では、一般会計、歯科診療所特別会計、斎場事業特別会計を合算して、その合計額から重複部分（繰出金、繰入金）を控除した純計決算額です。

(2) 歳入

平成18年度歳入決算額は、50,931,576千円で、前年度に比べ 4,796,660千円減少しています。歳入項目ごとの決算額は下表のとおりです。前年度と比較しますと、自主財源は、繰越金及び市税収入は増加しているものの、繰入金が大きく減少し、財産収入や諸収入も減額したことにより29.4%減少しています。

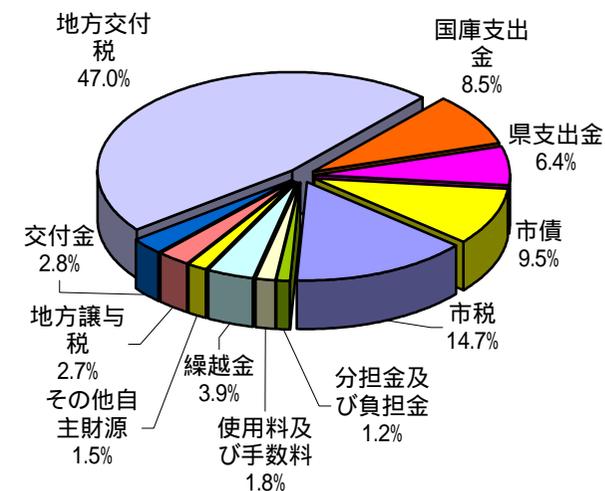
一方、依存財源は、地方交付税が合併算定替えの影響により増額、国庫支出金が災害復旧事業費の大幅な増により増額、地方譲与税も税源移譲に伴い所得譲与税が増額しましたが、県支出金は合併特例交付金の減額や漁港事業費の減少に伴い減額、市債も臨時財政対策債の減額や普通建設事業の減少等により減額、依存財源全体では0.2%の増額となりました。

歳入決算額

(単位：千円・%)

区 分		平成17年度	平成18年度	差 引 額	伸 率	構 成 比
自 主 財 源	市 税	7,331,474	7,459,156	127,682	1.7	14.7
	分 担 金 及 び 負 担 金	624,253	582,923	41,330	6.6	1.2
	使 用 料 及 び 手 数 料	937,436	912,064	25,372	2.7	1.8
	財 産 収 入	479,174	95,786	383,388	80.0	0.2
	寄 附 金	6,224	40,918	34,694	557.4	0.1
	繰 入 金	5,051,801	12,713	5,039,088	99.7	0.0
	繰 越 金	1,389,480	1,994,733	605,253	43.6	3.9
	諸 収 入	800,891	629,263	171,628	21.4	1.2
	小 計	16,620,733	11,727,556	4,893,177	29.4	23.1
依 存 財 源	地 方 譲 与 税	1,105,411	1,386,540	281,129	25.4	2.7
	利 子 割 交 付 金	37,426	24,856	12,570	33.6	0.1
	配 当 割 交 付 金	11,018	15,058	4,040	36.7	0.0
	株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	15,006	12,434	2,572	17.1	0.0
	地 方 消 費 税 交 付 金	927,185	951,652	24,467	2.6	1.9
	ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	9,557	9,582	25	0.3	0.0
	自 動 車 取 得 税 交 付 金	236,483	264,201	27,718	11.7	0.5
	地 方 特 例 交 付 金	207,260	167,914	39,346	19.0	0.3
	地 方 交 付 税	23,074,913	23,910,308	835,395	3.6	47.0
	交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	13,963	14,997	1,034	7.4	0.0
	国 庫 支 出 金	3,951,530	4,350,983	399,453	10.1	8.5
	県 支 出 金	4,092,051	3,248,995	843,056	20.6	6.4
	市 債	5,425,700	4,846,500	579,200	10.7	9.5
	小 計	39,107,503	39,204,020	96,517	0.2	76.9
合 計	55,728,236	50,931,576	4,796,660	8.6	100.0	

18年度構成比



(3) 歳出

平成18年度歳出決算額は、49,336,747千円で、前年度に比べ 4,396,756千円減少しています。目的別・性質別の項目ごとの金額は次のとおりです。

目的別歳出

歳出の目的別分類は、行政活動のどの分野にどれだけの経費が投入されたかをみるためのものです。行政目的により、議会費、総務費、民生費、衛生費、農林水産業費、商工費、土木費、消防費、教育費、災害復旧費、公債費等に大別することができます。これらを前年度と比較し、増減が大きいものについて説明します。

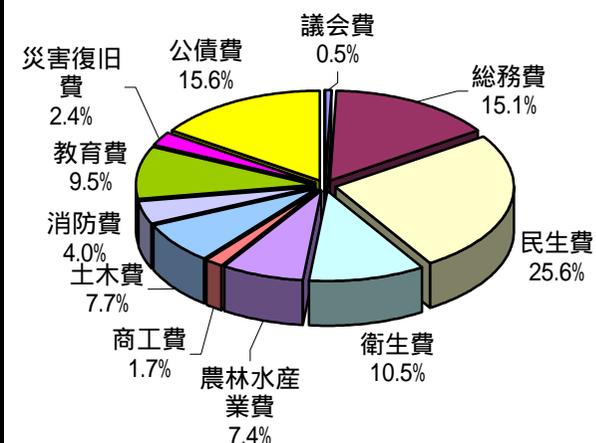
総務費	合併準備費（庁舎改修事業等）、住民基本台帳情報システム整備負担金、地域自立支援事業交付金、特別職人件費の減
農林水産業費	新山村振興等農林漁業特別対策事業、軍ヶ浦、楠浦漁港等整備事業の減
土木費	宮南線道路改良事業、上津浦港改修事業、その他路線道路改良事業の減
災害復旧費	公共土木施設災害復旧事業、農林水産施設災害復旧事業の増

目的別歳出決算

（単位：千円・％）

区 分	平成17年度	平成18年度	差 引 額	伸 率	構成比
議 会 費	871,241	223,058	648,183	74.4	0.5
総 務 費	8,953,800	7,461,331	1,492,469	16.7	15.1
民 生 費	12,964,704	12,631,806	332,898	2.6	25.6
衛 生 費	5,172,447	5,180,931	8,484	0.2	10.5
農 林 水 産 業 費	4,943,102	3,633,783	1,309,319	26.5	7.4
商 工 費	901,756	848,082	53,674	6.0	1.7
土 木 費	4,737,147	3,775,233	961,914	20.3	7.7
消 防 費	1,844,821	1,987,565	142,744	7.7	4.0
教 育 費	5,098,813	4,702,316	396,497	7.8	9.5
災 害 復 旧 費	310,175	1,184,158	873,983	281.8	2.4
公 債 費	7,771,748	7,708,484	63,264	0.8	15.6
諸 支 出 金	163,749		163,749	100.0	0.0
合 計	53,733,503	49,336,747	4,396,756	8.2	100.0

18年度構成比



性質別歳出

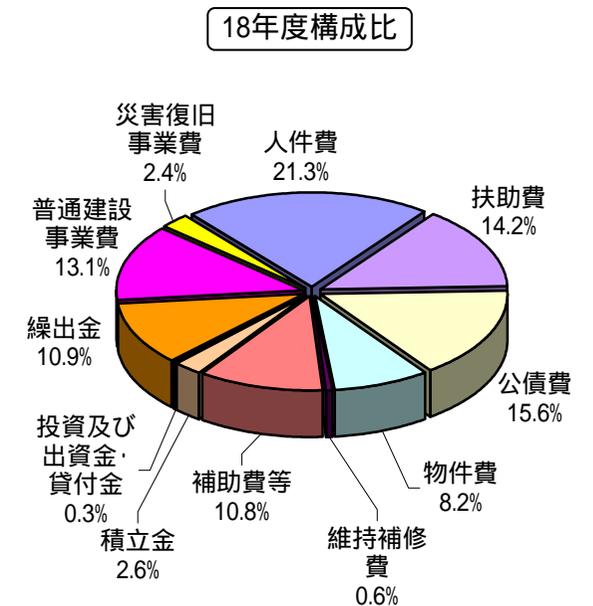
地方自治体の経費を性質別に分類すると、人件費・扶助費・公債費のように法令上又はその性質上支出を義務づけられている義務的経費。道路橋梁・公園・学校・公営住宅等の建設に要する経費である投資的経費。物件費、繰出金、補助費等のその他の経費に大別することができます。これらを前年度と比較し、増減が大きいものについて説明します。

- 普通建設事業費 庁舎改修事業、新山村振興等農林漁業特別対策事業、コミュニティ施設整備事業、港湾・漁港整備事業の減
- 補助費等 住民基本台帳情報システム整備負担金、地域自立支援事業交付金の減
- 人件費 議員数及び特別職員数の減
- 物件費 合併準備費（消耗品費、委託料、備品購入費等）、臨時職員に係る賃金、旅費の減

性質別歳出決算

(単位：千円・%)

区 分		平成17年度	平成18年度	差 引 額	伸 率	構成比
義務的経費	人 件 費	11,253,145	10,496,695	756,450	6.7	21.3
	扶 助 費	6,687,764	7,028,003	340,239	5.1	14.2
	公 債 費	7,771,717	7,708,484	63,233	0.8	15.6
	計	25,712,626	25,233,182	479,444	1.9	51.1
その他の経費	物 件 費	4,705,907	4,043,442	662,465	14.1	8.2
	維 持 補 修 費	369,162	310,292	58,870	15.9	0.6
	補 助 費 等	6,375,976	5,340,425	1,035,551	16.2	10.8
	積 立 金	1,013,676	1,296,340	282,664	27.9	2.6
	投資及び出資金・貸付金	329,030	123,100	205,930	62.6	0.3
	繰 出 金	5,696,382	5,364,314	332,068	5.8	10.9
	計	18,490,133	16,477,913	2,012,220	10.9	33.4
投資的経費	普通建設事業費	9,220,588	6,441,494	2,779,094	30.1	13.1
	災害復旧事業費	310,156	1,184,158	874,002	281.8	2.4
	失業対策事業費					
	計	9,530,744	7,625,652	1,905,092	20.0	15.5
合 計		53,733,503	49,336,747	4,396,756	8.2	100.0



(4) 財政指標の推移

財政力指数は、団体の財政力の強弱を、基準財政需要額に対する基準財政収入額の割合で判断するもので、1に近くあるいは1を超えるほど財源に余裕があるものとされています。

経常収支比率は、市税・普通交付税を中心とする経常一般財源が、人件費・扶助費・公債費のように容易に縮減することの困難な経常経費に、どの程度投入されているかによって、財政構造の弾力性を判断するものです。一般的には、この数値が低いほど財政構造に弾力性があります。平成18年度は、分母である経常一般財源等は、地方交付税が合併算定替により、所得譲与税が三位一体の改革に伴い、市税が定率減税の変更等によりそれぞれ増加し、臨時財政対策債、減税補てん債は減額となりましたが、全体では762,304千円の増加となりました。一方、分子である経常経費に充当した一般財源は、扶助費、補助費等及び繰出金は増加しましたが、合併により人件費、物件費及び維持補修費等が減少しましたので、全体では、357,066千円の減少となり、経常収支比率は、94.8%と昨年度より3.4ポイント好転しました。

公債費負担比率は、一般財源総額のうち、公債費（元利償還金）に充当された一般財源等の割合を示す指標で、この比率が高いほど財政運営の硬直性の高まりを示しており、15%が警戒ライン、20%が危険ラインといわれています。平成18年度は、19.5%になり、ここ数年20%に近い値を示しておりますので、今後は、過去に借り入れた高利率の地方債の繰上償還や、新規地方債の発行を償還元金以下にするなど、公債費を抑制する財政運営に努めていかなければなりません。

実質公債費比率は、平成17年度決算から導入された新しい財政指標で、公債費による財政負担の程度を客観的に示す指標として、実質的な公債費（普通会計の公債費＋公営企業の元利償還金への一般会計からの繰出金＋一部事務組合等の公債費への負担金等の公債費類似経費）に費やした一般財源の額が標準財政規模（地方公共団体の一般財源の標準規模を表すもの）に占める割合を表すもので、実質公債費比率が18%以上の団体については、地方債の発行に許可が必要になります。平成18年度は前年度より0.3ポイント悪化し17.8%になりました。

実質収支比率は、標準財政規模に対する実質収支額の割合で、実質収支が黒字の場合は正数で表し、おおむね3～5%が望ましいと考えられています。本市では平成18年度は4.6%になりました。

	財政力指数	経常収支比率 (%)	公債費負担比率 (%)	実質公債費比率 (%)	実質収支比率 (%)
平成15年度	0.246	93.3	19.1	17.2	4.0
平成16年度	0.252	95.9	19.5	18.1	4.5
平成17年度	0.260	98.2	18.0	17.5	6.0
平成18年度	0.278	94.8	19.5	17.8	4.6

(1) 議会費 (1) 議会費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
5.6 } 5.7	1 議 会 費	政務調査費	5,021	一般財源 5,021	(交付総額) 月額3万円×6ヶ月×30名=5,400,000円 (返済額) 378,524円 (使途総額) 5,021,476円 (使途内容) 視察研修費 3,798,760円 資料作成費 143,754円 書籍購入費 503,376円 広報広聴費 947,780円 その他経費 5,510円 うち自己負担 377,704円	議員が調査研究を行うために、その経費の一部として交付したものであるが、目的意識をもったの視察研修や、議会だよりの発行、専門書の購入等に活用され、条例制定の10月から半年の期間ではあったが、約93%の執行率であった。

(2) 総務費 (1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
5.7 } 5.8	1 一 般 管 理 費	国際交流事業	3,776	一般財源 3,776	・姉妹都市交流事業 【行政交流】 エンシニタス市代表団9人が来市。 期 間：平成18年5月27日(土)～6月1日(木) 訪問者：市長親子、副市長夫妻、シティマネージャー、 姉妹都市委員会会長夫妻、消防長、市職員 天草市代表団5人がエンシニタス市訪問 期 間：平成18年9月28日(木)～10月3日(火) 訪問者：市長、議長、教育長、秘書係長、通訳	5月29日に姉妹都市締結調印式を実施して両市の恒久的な友好関係を樹立し両市民間の相互理解と友情を深めることを誓い合った。さらに、行政、教育、消防、医療等これまで旧本渡市との間で行われていた交流を継続して実施していくことで合意。滞在中は、調印式・同記念パーティ、市長・市議会表敬訪問、植樹、城河原小ホテルフェスタ参加、御所浦町訪問、牛深中学生との交流、コレジオ館視察等を行い市民との交流を深めた。また、10月1日のエンシニタス市市制施行20周年記念式典に合わせ、天草市代表団がエンシニタス市を訪問し姉妹都市締結調印を行った。教育交流事業の一つとして、両市の学生同士がEmailのやりとりを通して互いの言語を学びあうEmailフレンド計画について話し合われた。その後、Email交流を希望する天草市中学生を募り、希望者についてエンシニタス市に報告し、事業開始に向けて準備している。

(2) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果												
57 58	1 一般管理費	国際交流事業(つづき)			<p>・市民交流事業(国際交流市民ボランティア活動) 市社会福祉協議会主催 子どもフェスティバルに協力 開催日：平成18年5月14日(日) 場 所：西の久保公園 参加者：市民ボランティア7人, ALT(外国語指導助手)2人</p> <p>ガイドブック発行 『ガイドブック本渡エリア版Living Information -Hondo Area-』発行 配置先：観光課、市民課 「天草の郷土料理&伝統芸能体験教室」開催 開催日：平成19年1月20日(土) 場 所：本渡農事研修センター 参加者：ALT,市民,市民ボランティア 計46人</p> <p>(事業費内訳)</p> <table border="0"> <tr> <td>報償費</td> <td>125,000円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>2,729,165円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>742,905円</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>150,895円</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>28,000円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3,775,965円</td> </tr> </table>	報償費	125,000円	旅費	2,729,165円	需用費	742,905円	役務費	150,895円	使用料及び賃借料	28,000円	合計	3,775,965円	<p>国際交流市民ボランティアが、ALTとともに子どもフェスティバルに参加協力し、外国の遊びやゲーム、母の日カード作りなどを、延べ約200人の子どもに英語で紹介。子どもが外国の文化に接する機会の一つとなった。また、平成19年1月、天草市国際交流市民ボランティア編集のガイドブックを発行。市民課では外国人登録手続きをする外国人に渡してもらい、観光課では外国人観光客が手に取れるよう配置してもらった。さらに、1月20日(土)開催の「天草の郷土料理&伝統芸能体験教室」では、ALT12人を含む参加者46人が4班にわかれ、押し包丁やがねあげ、天草大王鍋など7品を作り味わたあと、牛深ハイヤ踊りを体験した。参加者同志が国籍を越えて交流し、この記事が、1月27日(土)の西日本新聞に取り上げられた。また、当体験教室をきっかけに市民とALTとが交流を続けている事例も報告されており、良好な交流の場を創出できた。</p>
報償費	125,000円																	
旅費	2,729,165円																	
需用費	742,905円																	
役務費	150,895円																	
使用料及び賃借料	28,000円																	
合計	3,775,965円																	

(2) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
59	2 行政管理費	情報公開制度	168	一般財源 168	<p>【手引書の作成】 情報公開事務及び個人情報保護事務に係る手引書を作成し、庁内の各部署に配付することにより、制度の周知を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成部数 500部 ・一部当たりの単価 336円 <p>【情報公開制度の運用実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 請求者数 96人 請求件数 697件 <p>請求件数は、領収書、支出伝票等の書類を1件としてカウント。</p> <p>請求に係る決定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全部公開 285件 ・一部公開 379件 ・非公開 33件 <p>不服申立ての件数 1件</p> <p>不服申立てに係る決定 不服申立ての内容が不適法なため却下</p>	本制度の実施により、市が保有する行政文書の公開を請求する市民の権利が明確になるとともに、市政についての市民の知る権利が保障されることで、市民と市の信頼関係が深まり、市民の市政への参加が促進され、透明性の高い公正で民主的な市政の発展が図られている。
		個人情報保護制度	0		<p>【個人情報保護制度の運用実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 請求者数 0人 	本制度の実施により、市が保有する個人情報の開示及び訂正を求める権利が明らかになることで、個人の権利・利益の保護、市政の適正かつ円滑な運営が図られている。

(2) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果																								
6.0 ┆ 6.1	3 交通安全対策費	交通安全運動	1,599	一般財源 1,599	春・秋の交通安全及び年末年始の交通事故防止運動の実施 参加者 6,000人 (事業費内訳) 需用費 1,598,932円	警察署、交通安全協会等と連携して、運動出発式各種交通キャンペーン等を実施したことにより、参加者を始め、市民に広く交通事故防止を周知し交通安全に寄与した。 新入学児童にランドセルカバー、生徒に反射タスキを配布し、交通事故防止に寄与した。 ・交通事故件数等の推移 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>件数</th> <th>死亡者</th> <th>傷者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成14年</td> <td>355件</td> <td>8人</td> <td>449人</td> </tr> <tr> <td>平成15年</td> <td>339件</td> <td>3人</td> <td>439人</td> </tr> <tr> <td>平成16年</td> <td>381件</td> <td>11人</td> <td>484人</td> </tr> <tr> <td>平成17年</td> <td>358件</td> <td>6人</td> <td>453人</td> </tr> <tr> <td>平成18年</td> <td>349件</td> <td>6人</td> <td>446人</td> </tr> </tbody> </table>		件数	死亡者	傷者	平成14年	355件	8人	449人	平成15年	339件	3人	439人	平成16年	381件	11人	484人	平成17年	358件	6人	453人	平成18年	349件	6人	446人
			件数	死亡者	傷者																									
		平成14年	355件	8人	449人																									
平成15年	339件	3人	439人																											
平成16年	381件	11人	484人																											
平成17年	358件	6人	453人																											
平成18年	349件	6人	446人																											
交通安全教室	259	一般財源 259	交通安全教室開催 78回 5,959人 (事業費内訳) 報償費 259,000円	交通安全協会、自転車二輪車商協同組合、警察署等と連携し、年齢にあった交通安全教室を実施することにより幼児から高齢者までの交通安全に対する意識の向上を図ることができた。 ・交通安全教室開催状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>団体数</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>幼・保育園</td> <td>27団体</td> <td>1,681人</td> </tr> <tr> <td>小・中学校</td> <td>23団体</td> <td>3,286人</td> </tr> <tr> <td>老人会他</td> <td>28団体</td> <td>992人</td> </tr> </tbody> </table>		団体数	参加者	幼・保育園	27団体	1,681人	小・中学校	23団体	3,286人	老人会他	28団体	992人														
	団体数	参加者																												
幼・保育園	27団体	1,681人																												
小・中学校	23団体	3,286人																												
老人会他	28団体	992人																												
交通事故対策	7,469	一般財源 7,469	交通指導員を設置し、街頭指導、交通整理等の実施 交通指導員 131人 (事業費内訳) 報酬 5,995,332円 費用弁償 433,328円 研修旅費 53,600円 需用費 189,490円 研修時車借上料 100,000円 制服等備品購入費 697,011円 計 7,468,761円	通学路等の街頭交通指導、交通安全教室での指導、イベント時の交通整理等により事故防止に寄与した。 ・活動状況(延べ実績) 街頭指導 3,027人 イベント等交通整理 790人 交通安全教室他 14人																										

(2) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
6.0 ） 6.1	3 交通安全対策費	防犯灯整備事業	48,617	県支出金 7,400 その他 3,104 一般財源 38,113	防犯灯の整備及び維持管理 新設 269基 器具修理等 357基 電球交換 2,120基 18年度末 防犯灯数 9,227基 (事業費内訳) 電球購入他 399,972円 電気料 27,838,909円 修繕料 8,386,854円 防犯灯保険料 82,590円 管理委託料 958,860円 工事請負費(40件) 10,949,320円 計 48,616,505円	防犯灯の整備及び適正な維持管理に努めることにより、通学路及び地域住民の夜間の生活の安全が確保され、安全な環境づくりが図られた。
		交通安全施設整備事業	17,337	一般財源 17,337	交通安全施設の整備 カーブミラー設置 45基 防護柵 553m 区画線 8,583m 標識 2基 (事業費内訳) 修繕料 703,519円 工事請負費(16件) 16,633,597円 計 17,337,116円	交通安全施設の整備により、道路における交通環境の改善を行い、交通事故防止を図り、併せて交通の円滑化を図った。
		天草地区交通安全教育講習員制度負担金	1,953	一般財源 1,953	交通安全教育講習員制度運営のための負担金 講習員 2人 (事業費内訳) 負担金 1,953,000円	交通安全講習員を活用することにより、よりきめ細やかな講習が実施され、交通安全意識を高揚させ交通事故防止が促進された。 交通安全講習実績(天草市管内) 実施回数 103回 参加者 7,227人
		交通安全協会補助金	1,768	一般財源 1,768	交通安全協会の活動、運営等のための補助金 (事業費内訳) 補助金(天草地区) 1,228,000円 補助金(牛深地区) 540,000円 計 1,768,000円	交通事故防止、交通安全運動の取り組み等が促進され、交通事故防止、意識の高揚が図られた。 また、イベント等での交通整理に協力があり、安全な運営に寄与された。

(2) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
63	5 職員研修費	職員研修事業	3,119	一般財源 3,119	<p>1 階層別研修(天草広域連合主催)</p> <p>(1) 管理者研修 管理職研修 71人</p> <p>(2) 監督者研修 監督者研修 131人 2,460円</p> <p>(3) 一般職研修 第2部研修(10年目) 22人 1,800円 第1部研修(5年目) 27人 2,040円 税務研修会 8人 政策法務研修 18人 4,160円 政策形成能力向上研修 18人 4,520円 折衝能力向上研修 24人</p> <p>2 専門研修</p> <p>(1) 市町村職員中央研修所研修 18人 1,526,369円 電子自治体構築の情報技術、入門・法令実務、農山漁村地域の活性化、広報広聴、データベースソフト攻略コース、地域福祉サービス、電子自治体時代の情報政策、財政運営、知恵と工夫の地域再生、安心・安全のまちづくり、自治体経営の改革、地域ブランドの創造、介護保険事務、変革の時代の政策企画、法令実務</p> <p>(2) 自治大学校研修 1人 255,355円</p> <p>(3) 熊本県主催研修 229人 278,302円 女性職員キャリアアップ、IT研修</p> <p>(4) 市長会研修 2人 37,539円 女性職員研修</p> <p>(5) 人権教育研修 5人 86,000円</p> <p>(6) その他の研修 107人 600,124円 日本経営協会(NOMA)、集中改革プランセミナー、生涯学習指導者養成講座、「港湾・漁港」研修、人権同和問題指導者育成講座フォローアップ研修、長崎県オープンソース活用セミナー、職員接遇セミナー、地方自治体の環境行政推進講座、オーライニッポン全国大会、バイオマス利活用中央研修会他</p> <p>3 職員研修事業 12人 319,936円</p>	各研修を受講することによって、職員の意識改革、知識の習得及び資質の向上が図られた。

(2) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
6.4 ） 6.5	7 広報広聴費	広報広聴事業	20,199	その他 1,033 一般財源 19,166	<p>【広報紙「市政だより天草」の発行】</p> <p>市の施策や事業などの特集、まちの話題、行政からのお知らせなどを掲載し市民へ周知した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発行回数 24回(1日号、15日号) ・1回当たりの発行部数 約37,000部 ・年間発行部数 879,260部 ・1部当たりの単価 21.44円(1部32頁の場合) ・年間発行総頁数 本紙300頁 おしらせ版232頁 <p>【ホームページによる情報の発信と管理】</p> <p>市の施策や事業、イベント、行事、行政からののお知らせなど、ホームページを活用した情報の発信とその管理を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・更新、公開した件数 1,108件 <p>【広聴事業】</p> <p>ホームページのご意見箱や郵便などにより、市への意見や質問、要望などが多く寄せられた。その意見などを各部署へ連絡し投稿者への対応依頼や秘書課で文書による回答を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページご意見箱等 277件(内文書回答148件) ・郵便などによるもの 16件(内回答5件) <p>(事業費内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> 共済費 188,627円 賃金 1,353,748円 旅費 149,096円 需用費 14,332,619円 役務費 1,693,225円 委託料 1,496,250円 使用料及び賃借料 173,458円 備品購入費 697,095円 負担金補助及び交付金 114,450円 <p style="text-align: right;">計 20,198,568円</p>	<p>市民の暮らしに必要な情報や市政運営状況などの行政情報をわかりやすくお知らせし、市民と情報の共有化を図った。</p> <p>また、天草市のホームページを利用されている人へ市の情報を提供するとともに、イベントや行事などの観光情報を市内外の人に提供することができた。</p> <p>市民から行政への意見や質問、要望などに回答することで、市政の現状を説明し理解していただくとともに、意見を踏まえて事務を改善することで、市民サービスの改善を図ることができた。</p>

(2) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
6.5 ） 6.8	9 財産管理費	本庁舎管理費	99,344	県支出金 6,900 その他 12,378 一般財源 80,066	庁舎を含む市有財産（庁用車を除く）の維持管理 (事業費内訳) 需用費 26,485,315円 役務費 16,117,500円 委託料 35,548,629円 使用料及び賃借料 13,801,764円 原材料費 4,095円 備品購入費 7,386,750円 計 99,344,053円	庁舎の安全管理及び環境衛生の保全と快適環境の維持に努め、庁舎本体の保全及び付帯設備の機能向上と延命を図った。 合併により、本庁舎・別館の職員数が増加することで、電話交換手を3名体制にし、電話交換機を購入した。このことにより、合併後も混乱することなく電話交換業務がスムーズに行われた。 市有財産の火災・盗難・不法行為・事故防止のための維持管理を行い、安全確保に努めた。また、市有地鑑定を行い、適正な評価額による売却が可能になった。
		市庁舎営繕管理等事業 (庁舎営繕工事)	52,362	県支出金 12,900 その他 3,090 一般財源 36,372	・庁舎別館駐車場舗装工事 12,964,323円 ・庁舎別館外溝整備工事 619,500円 ・栖本支所庁舎改修工事 1,848,000円 ・庁舎高圧ケーブル・PAS取替工事 1,039,500円 計 16,471,323円	砂利舗装であった庁舎別館駐車場については、舗装整備により、快適に利用できるようになった。 台風13号により剥離した屋上防水シートの張替工事により庁舎の延命を図った。 庁舎本館電気設備老朽機器の更新のため、高圧ケーブル高圧気中開閉器を取替え、停電事故の防止に努めた。
		(設計委託)			・建物解体設計業務委託 (旧河浦町庁舎・一町田体育館ほか) 1,287,300円	
		(工事請負費)			・錦島土地崩土除去工事 2,573,886円 ・金焼小学校跡地石積復旧工事 1,407,000円 ・市有地倒木処理防護柵設置工事 950,250円 計 4,931,136円	市有地が集中豪雨や台風により被災したため、工事を施し、周囲の安全を確保した。

(2) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
6.5 ） 6.8	9 財産管理費	(解体工事)			<ul style="list-style-type: none"> ・一町田体育館解体工事 9,092,253円 ・浦越住宅解体工事 514,500円 ・旧河浦町役場庁舎解体工事 18,364,500円 ・御所浦教職員住宅解体工事 1,701,000円 <li style="text-align: right;">計 29,672,253円 	台風や集中豪雨で、度々被災し、倒壊・床上浸水で老朽化した市有財産を解体し、周辺住民の安全を確保した。
		車両管理事業	26,401	その他 1,971 一般財源 24,430	車両管理費 26,400,970円	市の公用車の総保有台数は330台で、その内リース車両が56台となっており、週1回の点検を実施することで車両の故障を未然に防ぎ燃費や車両の耐用年数、事故防止に努めた。
		車両購入事業	14,949	一般財源 14,949	・公用車リース料 14,270,415円 ・公用車購入 678,190円	リース車両の導入にあたっては、低燃費車等の導入を積極的に行い経費の削減に努め、地球環境に配慮した取組を行なった。
		遊休市有地等の売却			遊休市有地を計画的に売却 (売却内訳) 土地 21筆 2,938.5㎡ 23,876,728円 建物 6棟 207.9㎡ 1,353,012円 計 25,229,740円 公用車の売却 8台 2,124,255円	遊休市有地の計画的処分により、民間活用が図られ、財源の確保が図られた。 旧市町の市町長車・議長車を公売し、財源の確保が図られた。

(2) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果										
6.9 ） 7.0	1.1 企画費	行政改革推進事業	1,150	一般財源 1,150	<p>【第1次天草市行政改革大綱及び実施計画（集中改革プラン）の策定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政改革推進本部 7回開催 ・行政改革推進調整会議 6回開催 ・行政改革推進検討部会 28回開催 ・行政改革審議会 7回開催 <p>(事業費内訳)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">委員報酬</td> <td style="text-align: right;">804,000円</td> </tr> <tr> <td>講師等謝礼</td> <td style="text-align: right;">49,500円</td> </tr> <tr> <td>旅費等</td> <td style="text-align: right;">296,073円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">計</td> <td style="border-top: 1px solid black; text-align: right;">1,149,573円</td> </tr> </table>	委員報酬	804,000円	講師等謝礼	49,500円	旅費等	296,073円	計	1,149,573円	<p>市長を本部長とする行政改革推進本部を設置し、識見者や市民20人からなる行政改革審議会の答申を踏まえ、天草市づくりの理念である「日本の宝島“天草”の創造」を実現するため、10年後の天草市を見据えた持続可能な行政運営の確立を目標とした第1次天草市行政改革大綱（平成19年2月）及び実施計画（集中改革プラン）を策定した。その後、全職員に対する説明会を実施し、行政改革に向けた推進体制を確立した。</p> <p>推進期間：平成18年から平成22年の5年間 基本方針：市民との協働による行政運営の推進 経営感覚を取り入れた行政運営の確立 質の高い職員による行政運営の確立 推進項目：31項目</p>		
委員報酬	804,000円															
講師等謝礼	49,500円															
旅費等	296,073円															
計	1,149,573円															
		天草市誕生啓発事業	1,559	その他 1,156 一般財源 403	<p>【全国合併市町村 夢フェスタ2006】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 平成18年10月13日～15日 ・会場 日比谷公園（東京都） ・出展内容 市町村PRコーナー（特産品販売など） 地域伝統芸能ステージ（牛深ハイヤ踊り） ふれあいステージ（寸劇によるPR） <p>(事業費内訳)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">謝礼</td> <td style="text-align: right;">30,000円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td style="text-align: right;">1,363,000円</td> </tr> <tr> <td>通信運搬費</td> <td style="text-align: right;">125,675円</td> </tr> <tr> <td>借上料</td> <td style="text-align: right;">40,270円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">計</td> <td style="border-top: 1px solid black; text-align: right;">1,558,945円</td> </tr> </table>	謝礼	30,000円	旅費	1,363,000円	通信運搬費	125,675円	借上料	40,270円	計	1,558,945円	<p>総務省主催による全国で合併した自治体が一堂に会したこのイベントでは、本市の特産品販売、観光パンフレットの配布、観光地やイベント等の紹介DVDの放映、また、牛深ハイヤ踊りの披露など、「日本の宝島“天草”」を広く全国にPRすることができたので、今後、特産品等の販路拡大や観光入込み客数の増加が期待できる。</p>
謝礼	30,000円															
旅費	1,363,000円															
通信運搬費	125,675円															
借上料	40,270円															
計	1,558,945円															

(2) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果										
6.9 ↳ 7.0	1.1 企画費	市立病院等経営評価事業	3,738	一般財源 3,738	<p>【天草市の地域医療の確保と市立病院の在り方に関する懇話会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 平成19年1月9日 ・参加人員 15名（有識者7名、天草市8名） <p>(事業費内訳)</p> <table> <tr> <td>謝礼</td> <td>55,000円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>282,740円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>337,740円</td> </tr> </table> <p>【天草市における病院受療動向調査分析業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査対象世帯 市内約2,500世帯 ・調査期間 平成19年3月2日～4日 (熊本大学生約70人を動員し、個別訪問による調査・回収を実施) ・契約額4,400千円のうち、1,000千円は平成19年度債務負担で設定 <p>(事業費内訳)</p> <table> <tr> <td>調査・分析業務委託料</td> <td>3,400,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,400,000円</td> </tr> </table>	謝礼	55,000円	旅費	282,740円	計	337,740円	調査・分析業務委託料	3,400,000円	計	3,400,000円	<p>市立病院等の地域医療におけるかかわりや経営健全化に向けた取り組みなどを審議することとなる「市立病院等の経営の在り方等に関する審議会」を立ち上げるために必要な有識者の意見を聞くことができた。</p> <p>また、少子高齢化が著しい天草市における医療サービスと住民の受療動向についての実態を把握し、今後の市立病院の在り方や必要とされる医療サービスの確保等について研究を行うことを目的として、病院受療動向調査分析業務を熊本大学に業務委託し、約2,100世帯、5,400人分の回答を得ることができた。データの分析は熊本大学政策創造研究教育センターで行われ、その結果を今後の審議会等に反映させることができる。</p>
謝礼	55,000円															
旅費	282,740円															
計	337,740円															
調査・分析業務委託料	3,400,000円															
計	3,400,000円															

(2) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
6.9 ） 7.0	1.1 企 画 費	総合計画策定事業	1,002	一般財源 1,002	【総合計画の策定】 ・ 審議会の開催 4回開催 ・ 市民意識調査 市民2,000人郵送配付 回収 720人(36%) (事業内訳) 審議会委員報酬 444,000円 費用弁償 108,500円 研修旅費 4,400円 消耗品費 82,681円 通信運搬費 362,850円 計 1,002,431円	地方自治法第2条第4項に基づき、まちづくりを総合的かつ計画的に進めていくため、新市建設計画との整合性を図りつつ新たな市民ニーズを踏まえ、本市の将来の発展に向けた総合計画を策定した。
		島原・天草・長島架橋建設 促進期成会負担金	1,020	一般財源 1,020	【期成会負担金】 島原・天草・長島架橋建設 促進活動への負担金 1,020,000円	スポーツ大会を通じて、島原・天草・長島地域の交流を図り、架橋建設の早期実現を促進した。 また、島原・天草・長島架橋構想及び九州西岸軸構想推進大会等を通じ、構想の必要性・効果等をアピールするとともに、地元の期待と情熱を示した。
		天草市誕生記念冠イベント 事業	11,953	一般財源 11,953	【天草市誕生記念冠イベント補助金】 ・ 行政等主催事業(8事業) 8,310,050円 ・ 各種団体等主催事業(3事業) 466,314円 【その他の事業費】 3,176,858円 計 11,953,222円	市民の一体感と共通理解を図ることを目的に実施したが、天草市誕生を内外にPRするうえで効果的であった。 (参加人数) ・ 行政等主催事業 90,975人 ・ 各種団体等主催事業 40,566人

(2) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
70 ） 73	12 地域振興費	地域自立コミュニティ活動 支援事業	68,710	一般財源 68,710	【まちづくり協議会への補助金交付】 ・本渡まちづくり協議会 17,101,475円 ・牛深まちづくり協議会 11,108,306円 ・有明まちづくり協議会 5,723,519円 ・御所浦まちづくり協議会 4,441,000円 ・倉岳まちづくり協議会 4,243,000円 ・栖本まちづくり協議会 2,845,558円 ・新和まちづくり協議会 4,659,000円 ・五和まちづくり協議会 8,501,000円 ・天草まちづくり協議会 4,532,079円 ・河浦まちづくり協議会 5,554,849円 計 68,709,786円	それぞれの地域において、住民が主体となって地域の自立に向けた様々な取組みがなされており、「住民主体・行政支援型」のまちづくりを全市的に浸透させることができた。
		まちづくりモデル支援事業	1,680	一般財源 1,680	【モデル事業を行う団体への補助金交付】 ・五和まちづくり協議会 1,000,000円 ・NPO法人AFURE 180,000円 ・御領まちづくり振興会 500,000円 計 1,680,000円	合併1年目から3団体より先進的な事業の提案があり、3月には講演会と併せてモデル事業の事例発表も行った。他の地域へも刺激を与えることができ、今後更に活発な地域づくり活動が展開されることが予想される。 五：学生から地域活性化策提案・地域マップ作成 N：子育てがしやすい地域社会の環境整備・学習等 御：タウンガイド育成・ガイド本作成
		まちづくり推進事業	2,460	一般財源 2,460	【審議会、視察研修、講演会等の実施】 ・報酬 840,000円 ・講演会講師謝金 38,000円 ・旅費 1,104,961円 ・借上げ料（マイクロバス） 477,170円 計 2,460,131円	座談会、講演会及び先進地視察研修等を通して、少しずつではあるが自立した住民自治体制が確立されつつある。また、リーダー育成については、各地域でも取り組んでいる。 まちづくり審議会 10回（10審議会で各1回開催） 市長講演・座談会等37回（2,700名） 先進地視察研修 3回（68名：協議会長・職員） 講演会 4回（1,111名）
		コミュニティ助成事業	3,900	その他 3,900	【宝くじ普及広報の助成】 ・本渡祇園獅子保存会 2,300,000円 ・西三区会（五和町） 1,600,000円 計 3,900,000円	（財）自治総合センターの宝くじ普及広報の助成（390万円全額助成）を有効に活用し、コミュニティの健全な発展を図ることができた。 本渡祇園：太鼓台車・笛・衣装等の購入 西三区会：公園の緑化に伴う苗木等の購入

(2) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
70 ┆ 73	12 地域振興費	天草市誕生記念事業	2,886	一般財源 2,886	【記念事業の実施】 ・宝の島巡りスタンプラリー 2,085,525円 ・記念式典 800,218円 計 2,885,743円	市民の一体感と共通理解を図ることを目的に実施したが、天草市誕生を内外にPRするうえで効果的であった。 (参加人数) ・スタンプラリー応募者 1,110人 ・記念式典参加者 1,500人
		渡船運航事業	2,041	一般財源 2,041	【運航業務委託料】 ・横浦島(御所浦町)渡船運航業務 693,000円 ・横島(新和町)渡船運航業務 1,348,200円 計 2,041,200円	離島地域住民の日常生活の交通手段を確保することで、住民福祉に寄与した。 (輸送実績) ・横浦島 811人/年 ・横島 429人/年
		公園整備事業	7,338	一般財源 7,338	【御所浦町越地コミュニティ公園ふじ棚改修工事】 工事請負費 1,438,500円 藤棚 1基、ベンチ 2基、テーブル一式ほか 【御所浦町マリンビーナス補修工事】 工事請負費 3,874,500円 外壁補修工事、電気工事 【その他の事業費】 2,024,854円 計 7,337,854円	白蟻被害により危険な状態であったのを修繕し、再び地域住民の憩いの場として活用することで、住民福祉に寄与した。 強風被害(チタン板破損等)を補修したことで、御所浦地域の玄関口でもあり、また同町のシンボリック的存在であるマリンビーナスを地区住民及び観光客に印象づけることができた。
		天草空港利用促進協議会負担金	3,842	一般財源 3,842	【協議会負担金】 空港利用促進対策として、PR事業及び旅行企画商品への助成事業を実施。 3,842,000円	天草空港で就航している天草エアラインの利用促進策を実施することで、空港のPR及び利用者の促進が図られた。 (旅客数) 84,315人/年
		ふるさと会交流事業	1,509	一般財源 1,509	【特産品の販売拡充等のPR】 ・総会参加旅費 1,479,000円 ・総会参加負担金 30,000円 計 1,509,000円	ふるさと会の総会に出席し、物産品の販路拡充、市のPR等を実施した。

(2) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
70 ） 73	12 地域振興費	乗合自動車運行事業	9,177	一般財源 9,177	【乗合自動車運行補助金】 ・御所浦町内5路線運行 (補助金算出基礎) 運行経費 - 収益額(運賃) 9,177,176円	御所浦地域の公共交通として、通院時等の足として住民福祉の向上に寄与している。 (利用者数) 11,126人/年
		地方バス路線運行維持対策事業	191,407	県支出金 37,043 一般財源 154,364	【地方バス運行等特別対策補助金】 産交バス(株)へ補助金支出 ・運行対策分 (国庫補助対象路線 6路線) ・運行等特別対策分 (55路線) 計 36,353,000円 155,054,000円 191,407,000円	小・中・高校生の通学や高齢者を中心とする地域住民の交通手段が確保され、住民の福祉の向上に寄与した。 (輸送実績) 61系統 625,848人/年
		牛深・上平・幣串・水俣航路存続特別対策事業	25,413	一般財源 25,413	【航路特別対策補助金】 H17.2.1~H18.1.31運行分 H18.2.1~H18.8.31運行分 計 15,739,000円 9,674,000円 25,413,000円	牛深・上平・幣串・水俣航路の航路確保により、地域住民の福祉の向上に寄与した。 (延利用者数) H17.2.1~H18.1.31 32,722人 H18.2.1~H18.8.31 17,930人
		天草空港周辺景観整備事業	592	一般財源 592	天草空港道路沿線花壇植栽管理委託 天草空港から本渡市街にかけての主要地方道本渡五和線の道路沿線花壇へ四季の花を植栽した。 植栽管理委託料 592,200円	道路沿線の3箇所の花壇面積406㎡に年間を2期に分けて5種類の花(マリーゴールド・サルビア・日々草・パンジー・キンセンカ)6,580本を植栽し、道路沿線美化の整備を図った。

(2) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
73 ） 76	13 電算情報処理費	地域情報化事業	4,023	一般財源 4,023	<p>【地域情報化セミナー】</p> <ul style="list-style-type: none"> 講演会の開催 総務省情報通信政策局地域通信振興課 大石 道明 氏 総務省九州総合通信局 藤江 研一 氏 展示コーナー 情報システム関連業者 14社 ケーブルテレビ業者 1社 <p>【天草市アンケート調査・分析システム整備事業業務委託】</p> <p>(事業費内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「天草市アンケート調査・分析システム整備事業委託料」 3,671,556円 消耗品費 84,500円 役務費 266,500円 計 4,022,556円 	<p>市議会議員、市職員及び市内教職員等を対象に、地域高度情報化の整備により実現する新しい住民サービスや産業振興を紹介し、地域高度情報化とその通信基盤の必要性について周知を行った。</p> <p>【参加者】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市議会議員 18名 市職員 525名 教職員 94名 その他 7名 計644名 <p>【展示コーナー】</p> <ul style="list-style-type: none"> 15社参加 43商品(システム)の展示、紹介 <p>住民ニーズを把握するためのシステム構築を行い、これまで天草広域連合に委託していた、アンケート対象者の把握、宛名シールの打出しが独自で出来るようになった。さらには、アンケート結果の集計、グラフ化及び様々な分析が可能となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケートシステム利用数 情報政策課 1回 『IT利活用調査アンケート』 文化課 1回 『宝塚歌劇団OG「ニューヨーク・ニューヨーク」鑑賞アンケート』
		熊本県・市町村電子自治体 共同運営協議会負担金	11,357	一般財源 11,357	<p>平成18年度総事業費 420,011,767円</p> <p>本市負担額 11,357,246円 (本市負担割合：総事業費の約2.7%)</p>	<p>県と市町村が共同で電子申請受付システムの検討を行い、平成18年度は屋外広告物許可申請など168種類の手続きについて電子化を行った。</p> <p>また、このシステムの利便性向上を図るため、インターネットバンキングについて、肥後銀行に加え、熊本ファミリー銀行にも提携を拡大(平成18年12月)した。</p> <p>県と市町村が共同で電子申請受付システムの構築・運営を行うことで、経費の削減と利便性向上が図られた。</p>

(2) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
73 ┆ 76	13 電算情報処理費	新電算システム整備事業	47,250	国庫支出金 47,200 一般財源 50	【戸籍電算化業務委託】 (事業費内訳) 委託料 220,500,000円 履行期間 平成18年12月22日から平成20年3月21日まで 平成18年度委託料 47,250,000円 平成19年度委託料 173,250,000円	一部電算化された戸籍と紙戸籍で運用管理を行っていることにより煩雑になっている現在の戸籍業務の改善と効率的な運用が図れる。 また、戸籍セットアップを行うことにより、戸籍の誤記載等の疑義作業を行い、正確な戸籍の製作が実現できる。
		電算情報処理費広域連合負担金	139,236	一般財源 139,236	【天草広域電算処理負担金】 (負担金内訳) 電算センター管理運営費 78,511,000円 機器リース料 37,478,000円 回線使用料 9,635,000円 住基ネット保守 6,893,000円 事務局費 2,413,000円 健康管理システム改修 1,890,000円 住民税システム改修 2,416,000円 本市負担額 139,236,000円	天草市の行政事務の基本である住基、税及び教育関連等の電子計算機システムに係る業務を停滞なく行うことができた。

(2) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
76 ） 77	14 男女共同参画費	男女共同参画推進リーダー 養成事業	422	一般財源 422	【いきいきステップアップセミナーの開催】 先進地研修を含む3回 参加者 延べ70人 【県地域リーダー国内研修への派遣】 東京都・神奈川県（3泊4日） 市民2人・職員1人 （事業費内訳） 報償費 10,000円 旅費 284,142円 需用費 30,502円 車借上げ料 80,750円 研修負担金 16,803円 計 422,197円	先進地研修や各種研修会等へ参加することで、男女共同参画社会づくりのための幅広い知識と行動力を備え、積極的に地域社会等で活躍する人材の育成を行った。 市の啓発事業での事例発表や地域の集会等での啓発活動を実践し、地域住民の意識の高揚が図られた。
		男女共同参画推進啓発事業	641	一般財源 641	【男女共同参画のまちづくり講座の開催】 新和・本渡・牛深・五和・倉岳で実施 参加者 延べ304人 【出前講座】 21ヶ所 参加者 659人 【男女共同参画計画暫定版】 本誌 500部 ・ ダイジェスト版 3,000部 【情報紙「男女共同参画つうしん」の発行】 2,000部×3回（7月・10月・3月） （事業費内訳） 報償費 77,100円 旅費 64,242円 需用費 428,732円 備品購入費 71,000円 計 641,074円	一般市民を対象とした「男女共同参画のまちづくり講座」、地域団体や地区振興会などで「出前講座」を実施し男女共同参画に関する気づきを広めた。 また、情報紙「男女共同参画つうしん」を発行し、市民への情報提供を行ない、市民の意識の高揚が図られた。 男女共同参画計画暫定版は、5月中に印刷を完了し地区振興会等で説明の場を設け、地域での男女共同参画に関する意識の温度差解消に努めることができた。
		男女共同参画審議会	78	一般財源 78	【男女共同参画審議会の開催】 審議会委員 15名 （事業費内訳） 報酬 66,000円 旅費 11,640円 計 77,640円	条例第22条に基づく審議会を3月29日に設置し「男女共同参画計画の策定」について諮問した。 男女共同参画計画は、平成19年度末に策定を完了する。

(2) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
76 ） 77	14 男女共同参画費	男女共同参画推進条例制定 事業	327	一般財源 327	【男女共同参画社会推進委員会の開催】 男女共同参画推進条例の策定 3回実施（延べ45人） 報酬 270,000円 旅費 57,290円 計 327,290円	男女共同参画社会に関する国や県の施策に準じて、市の特性を把握し、問題解決を図るための審議を行い、公聴会やパブリックコメントをへて、12月26日「天草市男女が共に生きる社会づくり条例」を制定した。
		男女共同参画推進市民団体 補助金	167	一般財源 167	【男女共同参画推進団体への事業補助】 ・ジョイナスあまくさ ・牛深地区婦人会 ・天草地域婦人会 ・天草つんのでフェスタ実行委員会 （事業費内訳） 市民団体活動補助金 167,000円	男女共同参画社会を推進する団体等に対して、予算の範囲内で補助金を交付し、男女共同参画に関する啓発を行うことで、市民の意識の高揚を図るとともに、団体活動の活性化が図られた。
		男女共同参画フォーラム 事業	794	一般財源 794	【男女共同参画宣言都市記念フォーラムの開催】 ・男女共同参画宣言都市記念式典 ・連携事業「天草つんのでフェスタ」 参加者 700人 （事業費内訳） 報償費 10,000円 需用費 340,912円 役務費 30,000円 委託料 412,700円 計 793,612円	内閣府と天草市の主催で開催した。条例のリーフレットは参加者へ配布し市民へ周知した。 また、市民で組織する天草つんのでフェスタ実行委員会では、連携事業として「天草つんのでフェスタ」を開催し、多くの市民の参加により意識の高揚が図られた。 フォーラム終了後、天草つんのでフェスタ実行委員会では、男女共同参画を推進する団体のネットワーク化が計画されており、市と協働で男女共同参画社会の形成を進める第一歩となった。
		天草人権擁護委員協議会補 助金	1,011	一般財源 1,011	【天草人権擁護委員協議会へ補助】 人権擁護委員 34人 （事業費内訳） 人権擁護委員協議会補助金 1,011,035円	基本的人権を擁護し人権思想の高揚のために、支所単位で特設人権相談所の開設や子どもから高齢者までの人権啓発活動を実施し、市民の意識の高揚が図られた。

(2) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
78 ） 82	16 支所及び出張所 費	有明支所営繕工事	15,015	県支出金 15,000 一般財源 15	有明支所駐車場舗装改修 15,015,000円	コミュニティ活動の中心となる老朽化した駐車場を改修したことにより、住民が会議、社会教育、社会体育活動で利用できるようになり、地区の拠点としての機能維持・改善が図られた。
		倉岳支所営繕工事	17,619	県支出金 17,600 一般財源 19	倉岳支所庁舎改修設計委託 735,000円 倉岳支所庁舎改修工事 11,886,000円 倉岳支所電気機械設備改修工事 4,998,000円 計 17,619,000円	庁舎内のトイレ、事務所の段差の解消、玄関横の車椅子用のスロープの幅を広げ、多目的トイレを新設したことにより、来庁者が快適に利用できるようになった。
		栖本支所営繕工事 (繰越事業)	18,803	一般財源 18,803	栖本支所庁舎改修工事 18,466,927円 栖本支所庁舎改修設計委託 336,000円 計 18,802,927円	議場を会議室へ改修、多目的トイレ設置、1階住民窓口等の改修を行い、支所としての機能維持・改修が図られた。
		支所施設管理経費	192,725	一般財源 192,725	【各支所施設管理業務】 ・牛深支所 46,865,158円 ・有明支所 29,897,398円 ・御所浦支所 10,835,167円 ・倉岳支所 11,239,670円 ・栖本支所 11,993,863円 ・新和支所 16,186,267円 ・五和支所 32,368,959円 ・天草支所 15,708,545円 ・河浦支所 17,630,112円 計 192,725,139円	各支所庁舎の安全管理及び環境衛生の保全と快適環境の維持に努め、庁舎本体の保全及び付帯設備の機能向上と延命を図った。

(2) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
8.2 ） 8.4	1.7 アーカイブズ費	公文書整理事業	24,851	一般財源 24,851	<p>【行政公文書の受入れ及び調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧市町文書移管受入れ 14,440箱 ・引継書不備調べ作成整備 7,010箱 ・内容調査（目録14年まで 1,519箱 ・河浦町水害文書乾燥作業 8月～2月まで ・文書の書庫への移送集約、3つの書庫の維持管理 ・各書庫の整備（保存棚、除湿機、室内ドライヤー） <p>【地域史料の受入れ及び調査整理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・館所蔵資料の台帳作成 ・旧天草図書館図書目録作成 <p>（事業費内訳）</p> <ul style="list-style-type: none"> 臨時雇い賃金 15,937,392円 委託料（運送ほか） 1,555,222円 備品購入費 2,559,604円 需用費その他 4,798,803円 計 24,851,021円 	<ul style="list-style-type: none"> ・合併時の公文書散逸を防ぎ、支所から管理された書庫へ集めるという体制を作ることができ、行政利用が促進されるようになった。 ・河浦支所で水損被害の文書を救出、乾燥させるという対応措置をとることができた。 ・各支所に合わせて書庫等を整備し、管理を開始した。 <p>（旧小中学校等の建物を利用）</p> <p>有明書庫（有明支所、倉岳支所、栖本支所、御所浦支所分）</p> <p>北浜書庫（本庁分）</p> <p>新和書庫（新和支所、天草支所分）</p> <p>牛深書庫（牛深支所、河浦支所分）</p>
		運営審議会委員報酬	1,329	一般財源 1,329	<p>アーカイブズ運営審議会</p> <p>3回開催（平成18年9月・11月・平成19年1月）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営状況報告、今後の取組み、河浦支所文書の水害対策報告、地域史料の状況等について審議し、各書庫を視察 ・運営審議会先進地視察研修 大分県公文書館、県立先哲史料館、別府大学 アーカイブズセンター等を視察 2月に館長を選任 <p>（事業費内訳）</p> <ul style="list-style-type: none"> 審議会委員報酬 354,000円 館長報酬（2ヶ月） 340,400円 費用弁償ほか 634,145円 計 1,328,545円 	<p>アーカイブズ運営についてよく審議いただいて機動力のある審議会活動が行われた。</p>

(2) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
84	18 諸 費	天草地区防犯協会負担金	3,821	一般財源 3,821	天草地区防犯協会の活動、運営等のための負担金 構成 天草市・苓北町 (事業費内訳) 負担金 3,821,000円	防犯思想の普及、啓発及び防犯活動等が実施され 犯罪のない明るく住みよい地域社会づくりが促進され た。
		天草警察署沿岸警備協力会 負担金	621	一般財源 621	天草警察署沿岸警備協力会の活動、運営等のための 負担金 (事業費内訳) 負担金 621,000円	沿岸犯罪や事故及び密入国などの予防活動等が実 施され、沿岸の安全対策が図られている。
		牛深警察署沿岸警備協力会 負担金	630	一般財源 630	牛深警察署沿岸警備協力会の活動、運営等のための 負担金 (事業費内訳) 負担金 630,000円	沿岸犯罪や事故及び密入国などの予防活動等が実 施され、沿岸の安全対策が図られている。
		牛深地区防犯協会補助金	4,597	一般財源 4,597	牛深地区防犯協会の活動、運営等のための補助金 (事業費内訳) 補助金 4,597,000円	防犯思想の普及、啓発及び防犯活動等が実施され 犯罪のない明るく住みよい地域社会づくりが促進され た。

(2) 総務費

(2) 徴税費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
8.5 ） 8.6	2 課 税 費	固定資産税管理支援業務 委託事業	1,155	一般財源 1,155	【業務委託事業】 固定資産情報管理システムにおける旧本渡市管内 の18年中データの経年異動処理を行った。 ・地籍データ取込変換 一式 ・地番不突合処理 10,000筆 ・家屋現況図データ更新 450棟 ・路線価データ取込み 一式 (事業費内訳) 委託料 1,155,000円	地籍データ及び土地・家屋のデータを更新することにより、最新のデータが使用できるようになった。土地・家屋の所在確認及び地目の認定等評価全般に活用している。
		状況類似地区区分見直し 業務委託事業	8,925	一般財源 8,925	【業務委託事業】 平成21年度評価替えに向けて、状況類似地区区分 及び路線価地区の用途区分の見直し、標準宅地の選 定等を行った。 ・用途区分、状況類似地区区分見直し 200地点 ・標準宅地の選定 200地点 ・標準地時点修正意見書作成 450地点 ・新規路線の単価決定 10本 (事業費内訳) 委託料 8,925,000円	見直し等により、19年度実施予定の標準地鑑定評 価業務委託のための基礎資料の整備をすることがで きた。 標準宅地数は、旧牛深市が4増10減、旧御所浦町 が1減、旧倉岳町が1増6減、旧新和町が3減、旧五和 町が1減、旧天草町と旧河浦町の一部（飛び地）を 旧牛深市側に編入させ両町を1減した。
		字別集成図作成及び修正 委託事業	0		【業務委託事業】 牛深支所管内の字別集成図作成及び修正 ・字毎地籍図作成 4.5km ² ・土地改良事業換地処分合成 300筆 ・全図編纂 一式	地籍調査の成果品等を代用することができた。

(2) 総務費

(3) 地籍調査費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
8.7 ） 8.8	1 地籍管理費	地籍基準点修正業務事業	5,427	一般財源 5,427	楠浦町の一部 対象面積 A = 3.43Km ² (15点) 委託料 2,761,862円 下浦町の一部 対象面積 A = 3.23Km ² (9点) 委託料 2,665,056円 委託料合計 5,426,918円	昭和40年代地籍調査時の筆界点の誤差が大きい為、既設基準点(図根三角点)誤差の確認・修正する事により、地籍調査の再調査を行う際の詳細測量の基礎となった。
		地籍集成字図作成業務事業	273	一般財源 273	有明町楠浦の一部 対象面積 A = 1.35Km ² (11字) 委託料 273,000円	有明支所は地籍管理システムが導入されていないので、集成字図を整備する事により住民への早急な対応及び情報提供に役立った。
		地籍境界復元測量業務事業	182	一般財源 182	天草町大江字下平山577番・578番 復元点数(55点) 委託料 181,650円	旧牛深市と旧天草町との境界に隣接する土地が調査年度の違いにより重複して調査を行っており、これを復元及び修正することにより不動産登記法第14条地図が整備された。
		地籍図根多角点復元作業業務事業	2,730	一般財源 2,730	多角点復元(190点) 管理用多角点網図 A = 4.43Km ² (H18認証分) 委託料 2,730,000円	多角点を復元する事により公共事業及び土地異動(分筆・合筆)等の測量の基礎として役立った。
		登記嘱託事務委託	6,068	一般財源 6,068	・昭和42年度調査時の誤測量の地図訂正(本庁) 杵宇土町字宮ノ本 地内 筆数 2筆 委託料 576,460円 ・昭和43年度調査時の誤測量の地図訂正(本庁) 下浦町字船場 地内 筆数 2筆 委託料 358,071円 ・昭和45年度調査時の誤測量の地図訂正(本庁) 佐伊津町字大塘 地内 筆数 5筆 委託料 950,565円 ・昭和45年度調査時の誤測量の地図訂正(本庁) 佐伊津町字東通町 地内 筆数 2筆 委託料 543,154円	不動産登記法第14条地図が明確化され分筆及び合筆の登記に役立った。

(2) 総務費

(3) 地籍調査費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
8.7 ） 8.8	1 地籍管理費	登記嘱託事務委託 (つづき)			<ul style="list-style-type: none"> ・ 昭和52年度調査時の誤測量の地図訂正（本庁） 宮地岳町字檜ノ木 地内 筆数 1筆 委託料 210,336円 ・ 昭和46年度調査時の誤測量の地図訂正（本庁） 本渡町本戸馬場字山仁田 地内 筆数 2筆 委託料 520,968円 ・ 平成 3年度調査時の誤測量の地図訂正（本庁） 宮地岳町字中ノ原 地内 筆数 1筆 委託料 158,907円 ・ 昭和45年度調査時の誤測量の地図訂正（本庁） 佐伊津町字大塘 地内 筆数 5筆 委託料 674,257円 ・ 昭和51年度調査時の誤測量の地図訂正（本庁） 志柿町字カシ上 地内 筆数 1筆 委託料 309,897円 ・ 昭和50年度調査時の誤測量の地図訂正（五和支所） 五和町御領字小串 地内 筆数 3筆 委託料 705,453円 ・ 平成 7年度調査時の誤測量の地図訂正（新和支所） 新和町中田字船津 地内 筆数 2筆 委託料 368,833円 ・ 昭和52年度調査時の誤測量の地図訂正（五和支所） 五和町御領字新開 地内 筆数 3筆 委託料 691,204円 <p style="text-align: right;">委託料合計 6,068,105円</p>	

(2) 総務費

(3) 地籍調査費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
88 ） 89	2 地籍調査費	地籍調査事業（牛深区域）	51,129	県支出金 38,205 一般財源 12,924	<p>【補助事業】 補助率 7.5/10</p> <p>業務内容：一筆地調査及び地籍調査測量業務委託 調査地区：天草市魚貫町の一部</p> <ul style="list-style-type: none"> 一筆地調査：39字、1,318筆（3.92k㎡） 測量業務委託：42,493,500円 （地籍測量：C・D・F・G・H工程） <p>〔委託内訳〕</p> <ul style="list-style-type: none"> H17調査区域 3.71k㎡（G・H工程） H18調査区域 3.92k㎡（C・D・F工程） <p>42,000,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> 過年度数値情報化 4.50k㎡ （縮尺：1/1000、1,250筆） 493,500円 <p>【事業費内訳】</p> <ul style="list-style-type: none"> 報酬 6,151,000円 委託料 42,997,000円 事務費 1,981,000円 <p>計 51,129,000円</p>	<p>国土調査法に基づき、一筆毎の土地について、その所有者、地番及び地目を調査し、境界を確認して測量を行い、地積を算出し、地籍簿、地籍図を作成する。</p> <p>その成果は国土交通大臣の承認を経て県知事が認証し、法務局へ送付され不動産登記法第14条第1項の地図として旧字図に代わり備え付けられる。</p> <p>また、地籍の成果は公共事業の計画、防災対策、安全な土地取引の円滑化、課税の適正化など多方面に幅広く活用され、公共の福祉に貢献している。</p> <p>牛深区域については、昭和59年度に着手し、平成18年度末で全体計画89.01k㎡のうち64.63k㎡（進捗率72.6%）であるが、未調査24.38k㎡（27.4%）を平成19年度から事業費及び職員を倍増して当区域の早期完了に向けて事業の推進を図る。</p>
		地籍調査事業（有明区域）	3,376	県支出金 1,770 一般財源 1,606	<p>【補助事業】 補助率 7.5/10</p> <p>業務内容：地籍図及び地籍簿作成 調査区域：天草市有明町楠甫の一部</p> <ul style="list-style-type: none"> 業務委託：1,260,000円（H工程） <p>〔委託内訳〕</p> <ul style="list-style-type: none"> H17調査区域 3.63k㎡（35字） 複図作成 358枚（179×2） <p>【事業費内訳】</p> <ul style="list-style-type: none"> 委託料 1,260,000円 修正手数料 996,000円 事務費 1,120,000円 <p>計 3,376,000円</p>	<p>有明区域については、昭和60年度に着手し平成18年度で全区域が完了した。</p> <p>【地籍調査成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 総面積 58.03k㎡（調査後） 総筆数 36,150筆（"） <p>固定資産税の課税は登記簿に基づいて行われているが、当区域については課税の均衡を図るため、全区域完了後に新地積で課税されることになっており、平成20年度から調査後の成果で課税が適正に行われる。また、成果品の活用を図るため、平成19年度に数値情報化を行い地籍管理システムに移行させ、成果品の交付及び管理を行うと共に各種公共事業の計画や用地買収などの事業実施に活用される。</p>

(2) 総務費

(4) 戸籍住民基本台帳費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
8.9 ） 9.0	1 戸籍住民基本台 帳費	戸籍住民基本台帳事務	385,643	国庫支出金 1,667 県支出金 92 その他 67,914 一般財源 315,970	戸籍住民基本台帳業務処理件数 戸籍届出 6,423件 出生 1,364件 死亡 1,786件 婚姻 1,865件 離婚 360件 その他 1,048件 住民異動処理 8,965件 転入 1,711件 転居 1,651件 転出 2,752件 世帯変更 969件 その他 1,882件	戸籍住民基本台帳等の窓口業務については、個人情報・プライバシー保護に配慮し迅速・丁寧な対応に心がけ住民サービスの向上が図られた。 戸籍・住民諸証明実績 戸籍関係 52,286件 23,360,900円 住民票関係 62,600件 17,189,100円 印鑑登録関係 48,509件 14,427,000円 税関係 34,253件 10,798,200円 その他 7,693件 2,027,890円 住基カード 223件 111,500円 合計 205,564件 67,914,590円

(2) 総務費

(5) 選挙費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
9.1 ） 9.2	3 市長選挙費	天草市長選挙	49,462	一般財源 49,462	【天草市の設置に伴う選挙】 告示日 平成18年4月16日 投票日 平成18年4月23日 (事業費内訳) 報酬 5,586,600円 職員手当等 29,534,423円 共済費 24,336円 賃金 566,932円 報償費 1,257,809円 旅費 22,200円 需用費 2,206,271円 役務費 5,570,863円 委託料 2,287,500円 使用料及び賃借料 1,145,160円 負担金補助及び交付金 1,260,000円 計 49,462,094円	有権者数 男 36,522人 女 43,456人 計 79,978人 4月16日の届出期限内に立候補届出者が1人であったため、無投票により当選人が決定した。
9.2	4 市議会議員選挙費	天草市議会議員一般選挙	19,529	一般財源 19,529	【天草市の設置に伴う一般選挙】 告示日 平成18年4月16日 投票日 平成18年4月23日 (事業費内訳) 報酬 153,100円 需用費 711,270円 役務費 4,447,987円 委託料 14,217,000円 計 19,529,357円	有権者数 男 36,522人 女 43,456人 計 79,978人 投票率 男 83.92% 女 85.75% 計 84.91% 4月16日の届出期限内に定数30人に対し、53人の立候補届出があり、4月23日投票、即日開票を行った。 4月24日に選挙会を開催し、得票数の上位から30人を当選人と決定した。

(2) 総務費

(5) 選挙費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
9.2 ） 9.3	6 県議会議員 選挙費	熊本県議会議員一般選挙	18,008	県支出金 17,000 一般財源 1,008	【平成19年4月29日任期満了に伴う一般選挙】 告示日 平成19年3月30日 投票日 平成19年4月8日 (事業費内訳) 報酬 273,100円 職員手当等 1,958,223円 賃金 162,879円 報償費 38,220円 旅費 35,500円 需用費 196,581円 役務費 3,794,514円 委託料 2,997,750円 備品購入費 7,350,000円 負担金補助及び交付金 1,201,000円 計 18,007,767円	選挙時登録の選挙人名簿登録者数 男 36,814人 女 43,687人 計 80,501人 今回の選挙より天草市・天草郡選挙区として定数が3人となった。3月30日の届出期限内に6人の立候補届出があった。
9.3	9 農業委員会委員 選挙費	天草市農業委員会委員一般選挙	3,183	一般財源 3,183	【平成18年9月30日任期満了に伴う一般選挙】 告示日 平成18年9月17日 投票日 平成18年9月24日 (事業費内訳) 報酬 899,500円 職員手当等 1,893,331円 需用費 279,240円 役務費 98,525円 使用料及び賃借料 12,000円 計 3,182,596円	第5選挙区有権者数 男 674人 女 691人 計 1,365人 第5選挙区投票率 男 87.54% 女 86.40% 計 86.96% 9月17日の届出期限内に、第5選挙区(新和)においては、定数3人に対し、4人の立候補届出があり、9月24日投票、即日開票を行った。他の6選挙区では、定数を超える立候補の届出はなく、投票を行わないこととなった。 9月25日に選挙会を開催し、第5選挙区においては得票数の上位から3人を、他の選挙区では立候補届出があった27人を当選人と決定した。

(2) 総務費

(6) 統計調査費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
9.3 ） 9.4	1 統計調査総務費	統計調査員確保対策事業	50	県支出金 50	<p>【統計調査員確保対策事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国が実施する統計調査に際して統計調査員の選任が困難となっている現状を改善するため、あらかじめ統計調査員希望者を登録し、統計調査員の確保に資するとともにその資質の向上を図る。 <p>(事業費内訳)</p> <p>需用費 50,000円</p>	<p>平成18年度から新規事業として取り組む。広報紙やホームページでの募集や各種統計調査の説明会のおりに登録を依頼。</p> <p>平成18年度末登録者数は76人(男10人、女66人)登録者全員に小冊子配布、1人を研修会に派遣し資質の向上を図った。</p>
	2 指定統計調査費	指定統計調査事業	5,263	県支出金 5,263	<p>【指定統計調査の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校基本調査 調査日：平成18年5月1日(毎年実施) ・事業所企業統計調査 調査日：平成18年10月1日(5年周期) 指導員 6人 調査員 98人 ・工業統計調査 調査日：平成18年12月31日(毎年実施) 指導員 1人 調査員 27人 ・商業統計調査(平成19年度実施)の準備事務 <p>(事業費内訳)</p> <p>調査員等報酬 4,549,151円 その他事務費 713,719円 計 5,262,870円</p>	<p>各種指定統計調査を実施し、我が国における社会情勢を明らかにするとともに、各種行政施策のための基礎数値を得た。</p>

(3) 民生費

(1) 社会福祉費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
95 ） 98	1 社 会 福 祉 総 務 費	社会福祉協議会補助金	165,560	一般財源 165,560	天草市社会福祉協議会 補助金額 165,560,000円 (内訳) 人件費32名分 162,890,000円 地区社会福祉協議会運営費 1,500,000円 ボランティア活動事業 1,170,000円	在宅福祉サービスや母子・父子活動、児童福祉活動、ボランティア活動など地域福祉の充実を図る活動を支援することができた。
		ふれあい総合相談事業	3,060	一般財源 3,060	心配ごと相談所、福祉事務所、民生委員等への相談ケースのうち、専門的援助が必要なケースを対象とする。 H18相談件数 (本所) 231件 " (牛深支所) 319件 委託先 天草市社会福祉協議会 委託金額 3,060,000円	本所・牛深支所で、総合相談窓口として各関係機関の協力を得ながら、地域の住民が抱える生活上の諸問題を解決するための援助活動を行うことにより生活の安定と維持向上を図り、地域福祉の一層の推進が図られた。
		民生委員・児童委員協議会補助金	7,147	県支出金 2,011 一般財源 5,136	民生委員・児童委員定数 273名 主任児童委員定数 27名 民児協数 14民児協 補助金額 7,147,000円	地域福祉の担い手である民生委員・児童委員の活動費等を補助することにより、地域福祉向上のための活動が推進された。
		招魂祭・慰霊祭事業	2,395	一般財源 2,395	各支所で挙行される戦没者追悼式の運営費 ・需用費(供物・献花代) 749,007円 ・役務費(郵便料) 36,750円 ・祭壇設置委託料 961,800円 ・賃借料(バス借上料) 647,090円	各支所(9ヶ所)で無宗教方式、献花方式で挙行。戦没者の霊をまつり、遺族の心を癒すとともに恒久の平和を祈願した。
		遺族会補助金	857	一般財源 857	本渡地区遺族会ほか 運営費補助・県戦没者合同追悼式参列	戦没者追悼式への参加を通じて恒久平和を願い、会員相互の親睦が図られ、さらに市援護関係の事務協力が得られた。
		福祉基金助成金交付事業	54	その他 54	地域福祉の増進を図る事業への補助 事業費の1/2補助、100万円を限度 定額補助として、50万円を限度とする つくしんぼ 補助金 54,000円	リズム体操でこどもの心と体の発達を促すために、親子でたのしくスキンシップをする団体を補助することで、地域の子育て事業を支援することにより、地域福祉の増進が図られた。

(3) 民生費

(1) 社会福祉費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
95 ） 98	1 社 会 福 祉 費 総 務 費	在宅推進事業 (給食サービス事業)	200	一般財源 200	高齢者への弁当(昼食)のサービス及びボランティア育成等の補助 補助団体 天草町：藍の岬さわやか会 補助金 200,000円	天草町福祉のまちづくり事業にもとづいた事業で地域福祉や在宅福祉サービスの充実が図られた。
		台風18号罹災住宅資金 利子補給事業	269	一般財源 269	被害を受けた住宅の復興のため罹災住宅復興特別融資を受けた町民にその利子補給を行う事業。 利子補給(上半期：16名) 125,912円 利子補給(下半期：19名) 142,825円	平成11年9月24日の台風18号によって被害を受けた、御所浦町民に御所浦町指定金融機関である天草信用金庫御所浦支店から融資を受けた町民に、その利子補給(21年までの利子補給)を行い、町民の福祉及び生活の安定が図られた。
		地域福祉計画策定事業	3,309	県支出金 2,100 一般財源 1,209	「天草市地域福祉計画」を策定のため審議会開催、市民意向調査・まとめや座談会運営等の業社委託料。 ・審議会委員報酬(2回分) 186,000円 ・審議会委員費用弁償他 67,060円 ・需用費(用紙他代) 29,305円 ・アンケート郵送、返送料 926,570円 ・座談会等委託料 2,100,000円	行政が策定する「天草市地域福祉計画」社協が策定する「地域福祉活動計画」を18.19年度の2年間で共同で作成する予定で、座談会や審議会等も共同で進めている。51地区振興会単位で20箇所座談会(684名参加)を開催し、18年度(1回目)事業報告済み。今年度も審議会・各地区及び各種団体との座談会を開催し、「地域福祉計画」「地域福祉活動計画」を策定していく予定。
		熊本県英霊顕彰会負担金	79	一般財源 79	熊本県英霊顕彰会負担金 算式 5,779柱×13.7円 79,200円 (熊本県下 57,600柱)	毎年8月15日に熊本市で開催される顕彰会に本市からも参加している追悼式の負担金として、熊本県英霊顕彰会会長あてに負担金を納めた。
		天草戦没者追悼式 実行委員会負担金	695	一般財源 695	「天草戦没者追悼式」挙行为のため2市1町の負担金 事業費(柱数で按分) 1,000,000円 ・天草市 695,000円 ・上天草市 244,000円 ・苓北町 61,000円	4月の第一土曜日に天草市民センターにおいて挙行。2市1町で実行委員会を立ち上げ、天草郡市の英霊に対し、慰霊と感謝のまことを捧げ、その偉勲を顕彰するとともに、恒久平和を祈念する「天草戦没者追悼式」になった。
		災害時要援護者避難支援 計画策定事業	2,118	一般財源 2,118	計画書策定審議会を3回開催、各支所単位で地区検討委員会2回開催し、計画書を策定。 ・審議会、地区委員会 1,410,000円 委員報酬 ・審議会委員費用弁償他 516,180円 ・賃金、需用費(用紙他代) 192,300円	計画策定審議会、地区検討委員会等を開催し、3月に市長に答申済み。要援護者は5月現在5,368人が登録されているが、随時申請は受付て行く。18年度は一人暮らしの二人暮らしの高齢者世帯を主に受付。19年度は管理システムを導入し、個別計画を充実し災害時に備える。避難対策会議を立ち上げ地区の防災意識の向上を図っていく。

(3) 民生費

(1) 社会福祉費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
98 ） 102	3 障害福祉費	更生医療費 更生医療費委託料 7,298,379円 更生医療費 55,990,199円	63,289	国庫支出金 35,187 (31,644) 県支出金 8,224 (6,673) 一般財源 19,878 (24,972)	【心臓】 公費負担額 4,564,379円 レセプト86件 【腎臓】 入院 公費負担額 13,387,224円 レセプト867件 入院外 公費負担 39,649,274円 レセプト7,200件 【肢体不自由】 公費負担額 5,687,701円 レセプト79件 補助率：国 1/2 県1/4（平成18年3月診療旧町分及び平成18年10月～2月診療分のみ補助対象）	原因疾病の治癒後に残された機能障害について、高度の医療を施すことで障害の除去や軽減ができ、日常生活の便宜が図られた。
		心身障害者小規模通所授産施設補助金	10,000	国庫支出金 10,000,000円 県支出金 7,500 一般財源 2,324 その他 176	登録人員 16名 天草市：15名 上天草市：1名 （上天草市負担金額：176,470円） 補助率：国1/2（間接補助）・県1/4	在宅で就労困難な心身障害者が、作業所に通所し物販や手工芸・農作物の生産等の訓練を受けることにより、勤労意欲の向上及び社会参加への促進が図られている。 さらに、通所による生活圏域の拡大で、あいさつや対人関係等の社会性も高められている。
		心身障害者小規模作業所支援事業補助金	18,600	国庫支出金 2,200,000円 県支出金 9,300 一般財源 9,174 その他 126	ひなたぼっこ 定員 5名 2,200,000円 （利用延べ人員 989名） やじろべえ 定員 15名 2,200,000円 （利用延べ人員 989名） ゆうすい工房ぴゅあ 定員13名 2,200,000円 （利用延べ人員 2848名） ひだまりの家 定員 5名 2,200,000円 （利用延べ人員 1382名） ひまわりプレス 定員 5名 2,200,000円 （利用延べ人員 1422名） 天草きぼうの家 定員 15名 3,800,000円 （利用延べ人員 1759名） 河浦きぼうの家 定員 15名 3,800,000円 （利用延べ人員 2919名） 補助率：県1/2	利用者間や他の作業所利用者、外来者との交流や親睦ができ、対人関係が深められている。また、通所を続けることで、日常生活や病状が安定し、自分で弁当を作ってくる人が増えてきた。地域の中に入っていき努力を続けていることで、ボランティアや近隣住民による見守りや励ましも年々大きくなってきている。

(3) 民生費

(1) 社会福祉費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
98 ） 102	3 障害福祉費	重度心身障害者住宅改造費 補助金	992	県支出金 456 一般財源 536	申請件数 2件 内容：段差解消、スロープ設置、浴槽の取替え 合計 992,000円 補助率：県1/2	住宅改造により、日常生活が容易となり、在宅での自立促進、寝たきり防止及び介護者の負担軽減が図られた。
		障害者プラン策定事業	3,603	県支出金 3,200 一般財源 403	福祉サービスの量と提供体制を確保するための計画 (事業費内訳) 調査委託料 3,255,000円 その他の事業費 348,040円 計 3,603,040円	障害福祉サービスの具体的な目標数値を定める「天草市障害福祉計画」を策定し、障害を持つ方が地域の中で安心して暮らせるよう、ニーズに応じた障害福祉サービスの充実を図る。
		障害者ケアマネジメント支 援事業	1,141	県支出金 570 一般財源 483 その他 89	身障：星光園委託 355,334円（実施 1件） 知的：苓山寮委託 393,000円（実施 3件） 内上天草市1件 精神：天草病院委託 393,000円（実施 3件） 合計：1,141,334円 補助率：県1/2 (上天草市負担金 53,820円) (苓北町負担金 34,990円)	障害者の様々なニーズに対して総合的な支援を行うことで、在宅での生活が安定してきた。また、ケア会議等で支援者間のネットワークの構築ができ、連携した支援の提供が容易になってきている。
		障害児タイムケア事業	4,770	国庫支出金 2,648 県支出金 1,324 一般財源 798	NPO法人ステップバイステップに委託 支払額 4,770,000円 補助率：国1/2, 県1/4	障害のある中高生等「以下児童」が学校放課後や休業日に活動する場を確保するとともに、児童を持つ保護者の就労支援と障害児を日常的にケアしている家族に一時的な休息を与えることが図られた。
		療育相談員設置事業	5,555	県支出金 2,777 一般財源 1,978 その他 800	天草市が、天草圏域の代表市となり実施。天草市社会福祉協議会が運営している「天草地域療育センターすくすく園」に委託。 個別相談：延515件 保育所、学校等の機関からの相談：延55件 補助率：県1/2	障害児療育に経験を積んだ専任の相談員の的確な対応により、早期療育の開始や専門機関の受診、障害受容、関係者による療育支援体制の整備等ができています。 また、定期的に親の会が開催され、情報の交換や学習会等が活発に行われている。

(3) 民生費

(1) 社会福祉費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
98 ） 102	3 障害福祉費	重度心身障害者医療費助成事業	336,967	県支出金 170,117 一般財源 166,850	重度障害者に対する医療費助成 資格要件 身体障害者手帳 1～2級 療育手帳 A1～A2 精神障害者手帳 1級 受給者証交付実人員 4,247人 助成延件数 36,019件 助成金額 336,967,357円 補助率：県1/2(1月～12月)	重度心身障害者への医療費の助成で、必要な医療の確保と継続ができています。 また、委任払いの方式により、経済的負担の軽減も図られている。
		補装具給付費	25,076	国庫支出金 13,194 (12,538) 県支出金 925 (1,003) 一般財源 10,957 (11,535)	身体障害者：交付875件 修理57件 19,024,250円 身体障害児：交付65件 修理7件 6,052,192円 合 計 25,076,442円 【給付の内容】 身体障害者 ストマ用装具、義手、義足、下肢装具 車いす、補聴器、盲人安全つえ等 身体障害児 車いす、靴型装具、下肢装具、 座位保持装置、補聴器等 補助率：国1/2 県1/4(自立支援給付費のみ)	障害者の失われた部位・欠陥のある部分を補い必要な身体機能を獲得するために用いられる用具の交付・修理を行うことで、生活上の不便さが解消又は軽減でき、社会参加の促進を図ることができた。
		知的障害者施設訓練等支援費	642,289	国庫支出金 329,050 (328,934) 県支出金 72,661 一般財源 240,578	施設の種類・利用者数 更生施設(入所) 167人 更生施設(通所) 25人 授産施設(入所) 35人 授産施設(通所) 39人 通勤寮 6人 合 計 272人 (利用者数：H19.3月末) 補助率：国1/2 県1/4	支払額 493,574,481円 141,677,481円 7,037,034円 642,288,996円

(3) 民生費

(1) 社会福祉費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果	
98 ） 102	3 障害福祉費	身体障害者施設訓練等支援費	399,964	国庫支出金 197,478 県支出金 44,814 一般財源 157,672	施設の種類・利用者数 更生施設(入所) 10人 療護施設(入所) 81人 授産施設(入所) 41人 授産施設(通所) 3人 合計 135人 (利用者数：H19.3月末) 補助率：国1/2 県1/4	支払額 19,561,015円 322,939,723円 57,463,182円 399,963,920円	身体障害者が施設において、日常生活の介護や各種訓練を受けることで、社会参加への推進、自立に向けた意欲の向上が図られた。
		身体障害者居宅介護支援費	33,735	国庫支出金 16,867 県支出金 8,433 一般財源 8,435	年間利用実人員 1,023人 身体障害者居宅介護 知的障害者居宅介護 精神障害者居宅介護 居宅介護サービス 補助率：国1/2 県1/4	支払額 33,734,713円 20,159,901円 801,543円 2,122,260円 10,651,009円	身体上の障害があり、日常生活に支障がある身障者の家庭にホームヘルパーを派遣し、家事援助や身体介護を行うことにより、居宅生活の便宜が図られた。 【障害児】 余暇活動を楽しみ、社会活動に参加するための支援ができた。 【知的障害者】 利用者が苦手とする調理や掃除・洗濯等の家事支援により、在宅での生活を継続できている。
		短期入所サービス費	9,452	国庫支出金 4,725 県支出金 2,362 一般財源 2,364	介護者が病気等の理由により、夜間も含め入所施設で介護等を行い、介護者の負担を軽減する。 年間利用実人員 100人 障害児短期入所 身体障害者短期入所 知的障害者短期入所 合計 補助率：国1/2, 県1/4	1,069,457円 4,280,554円 4,101,631円 9,451,642円	障害児及び知的障害者を介護している家族が病気等の理由により不在となった場合、一時的に施設で介護を実施することにより、障害者の生活の場及び介護の確保ができるため、障害者・家族共に安心して在宅での生活ができている。

(3) 民生費

(1) 社会福祉費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
9.8 ） 102	3 障害福祉費	障害者デイサービス費	47,391	国庫支出金 17,994 県支出金 10,907 一般財源 18,490	サービス種類・利用者数 支払額 児童デイサービス・90人 14,723,842円 (H18.3月～H19.2月) 身障デイサービス・44人 9,370,133円 (H18.3月～H18.9月) 知的デイサービス・27人 12,470,794円 (H18.3月～H18.9月) 経過的デイサービス・51人 10,825,993円 (H18.10月～H19.3月) 合計 47,390,762円 補助率：国1/2 県1/4	障害者がデイサービス事業所に通い、健康チェック・機能回復訓練・創作活動・入浴サービス等を行うことにより、本人の楽しみや生きがいづくりの推進および心身機能の維持が図られた。
		共同生活援助サービス費	21,816	国庫支出金 11,287 県支出金 5,666 一般財源 4,863	利用事業所数 17箇所 支払額 利用者数 36名 21,816,080円 (利用者数：H19.3月末) 補助率：国1/2 県1/4	世話人による食事や家屋の管理について支援を受けることで、地域生活同様の生活ができる。
		特別障害者手当等支給事業	32,379	国庫支出金 24,180 (24,230) 一般財源 8,199 (8,149)	特別障害者手当 延968件 25,646,200円 経過的福祉手当 延100件 1,438,500円 障害児福祉手当 延368件 5,293,840円 合計 32,378,540円 補助率：国3/4	在宅において常時介護を必要とする重度の障害児・者に手当を支給することで、障害者の経済的支援が図られ在宅での生活を容易にする一助となっている。
		日常生活用具給付等事業	8,338	国庫支出金 4,402 (3,810) 県支出金 2,411 (2,115) 一般財源 1,525	重度身体障害者：180件 8,116,254円 重度障害児・者：6件 221,430円 合計 8,337,684円 【給付の内容】 盲人用時計・音声式体温計・体重計・視覚障害者用ボタブルコーダー・拡大読書器・電気式たん吸引器・歩行支援用具・居宅生活動作補助用具、特殊便器他 補助率：国1/2 県1/4	重度障害者（主として視覚や聴覚障害・肢体不自由）への日常生活に必要な用具の給付により、日常生活の利便性の向上及び介護者の負担軽減が図られた。

(3) 民生費

(1) 社会福祉費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
9.8 ） 102	3 障害福祉費	訪問入浴サービス事業	2,250	国庫支出金 1,337 (946) 県支出金 698 (563) 一般財源 215	年間利用実人員 3名 年間延利用回数 225回 補助率：国1/2 県1/4	在宅において常時介護を必要とする重度の障害児・者に対して、訪問入浴車を派遣し、定期的に入浴サービスを行うことにより、家族の負担を軽減が図られた。
102 ） 103	4 国民年金費	国民年金事業	25,990	国庫支出金 22,166 一般財源 3,824	【適用関係受付】 ・異動届 4,253件・新規 635 ・再取得 1,745 ・種別変更 395 ・住所変更 1,207 ・その他 271 ・資格喪失 1,356件・公的年金加入 445 ・転出 851・死亡 60 【給付関係受付】 ・裁定等請求 927件・老齢 117・障害 58 ・寡婦 5・遺族 1 ・死亡一時金 30 ・未支給(死亡届) 715 ・特別障害給付金 1 ・福祉年金 1,678件 定時届 ・老齢 53 障害 1,595 ・未支給等 30	急速に進む少子・高齢社会のなかで、老後におけるその重要性が増大している国民年金において、市民一人ひとりの年金権確保と制度の基盤強化を図るため社会保険事務所と協力連携して業務を推進した。 【保険料関係受付】 ・免除受付 6,061件 ・一般免除 4,956件 (一部・納付猶予含む) ・学生特例 981件 ・法定免除 124件 ・付加加入 53件

(3) 民生費

(2) 高齢者福祉費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
103 ） 104	1 高齢者福祉費	敬老祝金	17,630	一般財源 17,630	【敬老祝金の支給】 満88歳 491人×30,000円 14,730,000円 満100歳 29人×100,000円 2,900,000円 計 17,630,000円	敬老の意を表する目的のため祝金を支給し、市民に対する敬老意識の啓発及び高齢者福祉の増進が図られた。
		緊急通報体制整備事業	16,491	一般財源 16,491	電話機設置台数 1,492台 (事業費内訳) 需用費 1,317,603円 役務費 748,404円 委託料 1,683,684円 備品購入費 11,403,000円 負担金 1,338,000円 計 16,490,691円	消防署への緊急通報電話機などの装置の無償貸与により、概ね65歳以上の一人暮らしの高齢者の急病・火災等の緊急事態に迅速に対応し、在宅一人暮らし高齢者等の不安軽減が図られた。 平成18年度は、150式購入したうちの50台を新規設置、100台を新機種更新に充て、正確な情報管理を図った。
		金婚夫婦表彰事業	646	一般財源 646	表彰組数 237組 (事業費内訳) 需用費 消耗品費 633,959円 印刷製本費 11,562円 計 645,521円	結婚50年を迎えられたご夫婦を熊日主催において新聞掲載や表彰式を行い、熊日と市より記念品を贈呈し、長寿・夫婦円満を祝福した。 <表彰式> 日時：9月8日 場所：天草市民センター（大会議室） <記念品> 熊日：賞状・アルバム 市：額縁・夫婦湯のみ
		緊急通報システム相談センター事業	3,893	一般財源 3,893	【相談・安否確認業務】 安否確認対象台数 589台 安否確認回数 12,449回 相談件数 47件 (事業費内訳) 役務費 18,900円 委託料 3,873,710円 計 3,892,610円	天草市社会福祉協議会に相談センター相談員を配置し、相談事や安否確認を定期的に行うことにより、緊急通報システム設置宅の一人暮らし高齢者等の不安軽減が図られた。

(3) 民生費

(2) 高齢者福祉費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
103 } 104	1 高齢者福祉費	天草市老人クラブ連合会補助金	22,106	県支出金 11,405 (11,265) 一般財源 10,701 (10,841)	【老人クラブ活動補助】 市連合会 440,000円 各支部(10支部) 7,643,000円 単位クラブ(256クラブ) 12,800,000円 温泉を利用した健康づくり事業(下田温泉) 1,223,000円 計 22,106,000円	老人クラブの社会奉仕活動・教養講座・健康増進事業等を補助することにより、高齢者の生きがい作り、健康作り等幅広い活動支援を行った。 平成18年度 256クラブ、会員数 16,191人
		シルバー人材センター補助金	23,870	県支出金 500 一般財源 23,370	運営費補助 21,100,000円 高齢者生活援助サービス事業 2,000,000円 安全適正就業推進特別費 70,000円 就業機会創出員配置費 500,000円 リハビリ-就業機会開発費 200,000円 計 23,870,000円	高齢者の豊富な経験と知識を活用し働くことにより、生きがい充実・社会参加の推進が図られた。 平成18年度末会員数 773人
		ふれあいいきいきサロン事業補助金	1,200	一般財源 1,200	【ふれあいいきいきサロン活動状況】 サロン数 118サロン 実施回数 1,881回 延参加人数 24,558人	天草市社会福祉協議会が行うふれあいいきいきサロン事業を補助することにより、高齢者の閉じこもり防止、健康づくり(介護予防)等の活動支援を行った。
		高齢者相談員設置事業補助金	990	一般財源 990	【高齢者相談員設置状況】 牛深・倉岳・栖本地区に設置 相談員数 66人 牛深(45人) 倉岳(17人) 栖本(4人)	天草市社会福祉協議会において設置されている高齢者相談員事業を補助することにより、高齢者やその家族等が抱えている悩みや問題等に対処する相談員の知識・活動能力の向上を図り、高齢者の福祉増進を行った。
104 } 105	2 高齢者福祉施設	本渡老人福祉センター	7,278	その他 2,010 一般財源 5,268	【平成18年度利用状況】 利用者数 17,082人 入浴者数 3,018人 開館日数 307日 運営費 6,521,614円 修繕料 756,000円 計 7,277,614円	在宅高齢者の憩いの場として各教室の開催、勉強会・娯楽活動・レクリエーション・発表会等の利用及び入浴施設の利用に供することにより、高齢者の生きがいづくりと健康づくりを図った。

(3) 民生費

(2) 高齢者福祉費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
104 ） 105	2 高 齢 者 福 祉 費 施 設	牛深老人福祉センター	4,338	一般財源 4,338	【平成18年度利用状況】 利用者数 7,551人 入浴者数 1,033人 開館日数 278日 指定管理委託料 4,338,000円	在宅高齢者の憩いの場として各教室の開催、勉強会・娯楽活動・レクリエーション・発表会等の利用及び入浴施設の利用に供することにより、高齢者の生きがいくりと健康づくりを図った。
		在宅介護支援サテライト施設	4,263	その他 55 一般財源 4,208	【平成18年度利用状況】 (サテライト施設おにき) 利用者数 4,290人 開館日数 246日 管理業務委託料 2,847,000円 (サテライト施設ふたうら) 利用者数 736人 開館日数 112日 管理業務委託料 1,416,000円	在宅高齢者の憩いの場として各教室の開催、勉強会・娯楽活動・レクリエーション・発表会等の利用に供することにより、高齢者の生きがいくりと健康づくりを図った。
		有明老人福祉センター	5,576	一般財源 5,576	【平成18年度利用状況】 利用者数 9,996人 入浴者数 4,384人 開館日数 309日 指定管理委託料 5,000,000円 修繕料 575,716円 計 5,575,716円	在宅高齢者の憩いの場として各教室の開催、勉強会・娯楽活動・レクリエーション・発表会等の利用及び入浴施設の利用に供することにより、高齢者の生きがいくりと健康づくりを図った。
		倉岳老人福祉センター	982	その他 67 一般財源 915	【平成18年度利用状況】 利用者数 2,746人 開館日数 245日 運営費 981,785円	在宅高齢者の憩いの場として各教室の開催、勉強会・娯楽活動・レクリエーション・発表会等の利用に供することにより、高齢者の生きがいくりと健康づくりを図った。
		倉岳老人憩いの家	160	一般財源 160	【平成18年度利用状況】 利用者数 2,917人 開館日数 245日 運営費 159,676円	在宅高齢者の憩いの場として各教室の開催、勉強会・娯楽活動・レクリエーション・発表会等の利用に供することにより、高齢者の生きがいくりと健康づくりを図った。

(3) 民生費

(2) 高齢者福祉費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
104 } 105	2 高 齢 者 福 祉 費 施 設	倉岳地域福祉センター	668	その他 13 一般財源 655	【平成18年度利用状況】 利用者数 1,263人 開館日数 245日 運営費 667,567円	在宅高齢者の憩いの場として各教室の開催、勉強会・娯楽活動・レクリエーション・発表会等の利用に供することにより、高齢者の生きがいづくりと健康づくりを図った。
		新和高齢者生活福祉センター	6,675	一般財源 6,675	【平成18年度利用状況】 利用者数 5,045人 開館日数 245日 入浴者数 3,989人 入居者数 6人 指定管理委託料 6,675,000円	在宅生活に不安のある高齢者に対し、住居・地域住民との交流を図るための場を提供することにより、各種相談・助言・緊急時の対応を行い、利用者の不安軽減・生活環境の向上を図った。
		河浦老人福祉センター	3,228	一般財源 3,228	【平成18年度利用状況】 利用者数 5,280人 開館日数 280日 入浴者数 2,639人 指定管理委託料 3,228,000円	在宅高齢者の憩いの場として各教室の開催、勉強会・娯楽活動・レクリエーション・発表会等の利用及び入浴施設の利用に供することにより、高齢者の生きがいづくりと健康づくりを図った。
		河浦生活支援ハウス	5,129	その他 244 一般財源 4,885	(入居者数) 6人 管理業務委託料 5,000,000円 保守点検委託料 24,150円 修繕料 105,000円 計 5,129,150円	在宅生活に不安のある高齢者に対し、住居・地域住民との交流を図るための場を提供することにより、各種相談・助言・緊急時の対応を行い、利用者の不安軽減・生活環境の向上を図った。
		倉岳老人憩いの家改修工事	6,710	地方債 6,700 一般財源 10	1. 屋根全面葺替 2. 雨戸設置 3. 汚水排水集落排水施設へ接続 (事業費内訳) 委託料 441,000円 工事請負費 6,268,500円 計 6,709,500円	倉岳老人憩いの家は建設後28年が経過し、老朽化が進行し危険な状態であった。高齢者の交流所、台風時の避難所として利用されることから、本工事を行うことにより、地域住民に必要な施設として安全確保のための措置が図られた。

(3) 民生費

(2) 高齢者福祉費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
104 } 105	2 高齢者福祉 施設費	倉岳老人福祉センター石綿 除去工事	1,617	一般財源 1,617	【倉岳老人福祉センター機械室改修工事】 解体一式 (事業費内訳) 委託料 147,000円 工事請負費 1,470,000円 計 1,617,000円	倉岳老人福祉センターの機械室(ボイラー室) は、アスベスト等の使用施設であったため、利用し ないこととしている。このため、石綿の除去・機械 室改修工事及びボイラーの解体工事を実施した。
		新和高齢者生活福祉セン ター改修工事	5,229	県支出金 5,200 一般財源 29	【新和高齢者生活福祉センター改修工事】 1. 外壁改修(クラック補修・タイル付) 2. 管理人室内部改修(内部壁タイル張替) (事業費内訳) 委託料 273,000円 工事請負費 4,956,000円 計 5,229,000円	新和高齢者生活福祉センター(デイサービスと居 住部門を併設)の老化に伴い、本工事を行うこと により、デイ利用者と居住者の安全確保のための措 置が図られた。
105 } 107	3 高齢者支援費	外出支援サービス事業	12,453	その他 808 一般財源 11,645	【福祉タクシー】23事業所 助成対象 基本料金(初乗料金) 登録者数 401人 利用件数 8,809件 扶助費 4,879,180円 【福祉バス】4事業所(天草・河浦地区のみ) 登録者数 55人 利用件数 1,354件 利用料(500円/回) 807,500円 委託料 5,972,000円 天草(運行日数:169日) 8,000円/日 河浦(運行日数:154日) 30,000円/日 【リフト付車両】1事業所(本渡・有明地区のみ) 登録者数 39人 利用件数 383件 委託料 1,524,000円 【利用券】 印刷製本費 77,700円	タクシーを利用した際の基本料金の助成、公共交 通機関運行路線のない地区の交通手段の確保、寝た きり等のため一般の交通手段を利用することが困難 な方に対しリフト付車両を利用した外出支援サービ ス事業を実施することにより、高齢者・心身障害者 等の在宅生活の支援、介護者の負担軽減を図った。

(3) 民生費

(2) 高齢者福祉費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
105 } 107	3 高齢者支援費	高齢者住宅改造助成金	1,496	県支出金 573 一般財源 923	(平成18年度実績) 3件 1,146,000円 過年度県支出金返納金 350,000円 (事業費内訳) 扶助費 1,146,000円 償還金利子及び割引料 350,000円 計 1,496,000円	在宅の要介護等高齢者・心身障害者がいる世帯に対し、住宅改造に必要な経費を助成することにより、在宅での自立促進・寝たきり防止及び介護者の負担軽減を図った。
		生きがい活動支援通所事業	13,114	一般財源 13,114	(平成18年度実績) 8事業所 登録者数 352人 延利用者数 6,266人 委託料 13,114,400円 2,000円/回 (送迎利用の場合は100円/回を加算)	要介護状態になるおそれのある高齢者に対し、通所サービスを提供することにより、閉じこもり・介護予防を図った。
		在宅寝たきり老人等介護者手当	15,000	一般財源 15,000	(平成18年度実績) 該当者 150人 支給額(年額) 100,000円	65歳以上の高齢者を在宅で1年以上介護している方に対し、介護者手当を支給することにより、介護者の経済的・精神的負担軽減を図った。
		老人ホーム措置事業	414,696	その他 61,928 一般財源 352,768	【平成18年度措置状況】 合計 197人 天草島内 松風園 63人 明照園 49人 梅寿荘 42人 和光園 11人 寿康園 26人 天草島外 6施設 6人 (事業費内訳) 報酬 66,000円 旅費 22,660円 委託料 414,606,895円 計 414,695,555円	環境上又は経済上の理由により在宅での生活が困難な方に対し、施設入所措置をすることにより、高齢者の生活を守り、心身の健康の保持、自立が図られた。

(3) 民生費

(2) 高齢者福祉費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
105 ） 107	3 高齢者支援費	在宅介護支援センター運営事業	35,016	一般財源 35,016	【実態把握調査】 実態把握調査数 860件 委託料(2,000円/件) 1,720,000円 【運営委託料】 16事業所×2,081,000円 33,296,000円	地域の高齢者及び要介護者高齢者等の積極的な把握のため実態調査を実施し、高齢者福祉サービスの紹介・啓発を行うとともに在宅介護に関する各種相談に24時間体制で応じることにより、地域の高齢者福祉の向上を図った。
		ヘルパー派遣事業	5,595	一般財源 5,595	(平成18年度実績) 5事業所 登録者数 58人 派遣時間数 3,086時間 委託料(1,800円/h) 5,594,500円 生活保護受給者は2,000円/h	在宅の虚弱な高齢者等に対し、ヘルパーの訪問により、日常生活の指導・支援を行い、要介護状態への予防と、自立支援・生活の質の改善を図った。
		食の自立支援事業	13,767	一般財源 13,767	(平成18年度実績) 14事業所 登録人数 228人 配食数 28,827食 委託料 13,766,600円 利用料 課税世帯 500円/食 非課税世帯 300円/食	在宅の一人暮らし高齢者等に配食サービスを提供することにより、食生活の改善と健康増進を図った。

(3) 民生費 (3) 児童福祉費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
108) 109	2 母子福祉費	親子ふれあい事業補助金	983	一般財源 983	主催：天草市社会福祉協議会 行先：「かごしま水族館」鹿児島市 「三井グリーンランド」荒尾市 参加者：279人(保護者・児童 246人,その他 33人)	母子家庭、父子家庭の親子の交流を図ることで、 協調性や連帯感を深め、明るい家庭づくりと児童の 健全育成が図られた。
		母子家庭医療費助成	14,164	県補助金 6,811 一般財源 7,353	医療費個人負担の2/3を助成。 助成 904世帯 7,887件 14,164,081円 補助率 県：暦年支出の1/2	母子家庭における、母と子の健康を保持し、家庭 の経済的負担を軽減することで、自立助長と生活の 安定が図られた。
		児童扶養手当	318,273	国庫負担金 105,927 (105,974) 一般財源 212,346 (212,299)	世帯数 731世帯 全部支給者 4,882人 一部停止者 3,019人 補助率 国 1/3 318,273,470円	父母の離婚等の理由で、父と生計を同じくしてい ない児童が養育される家庭の生活の安定と自立を助 け、児童福祉の増進を図ることができた。
		母子家庭自立支援教育訓練 給付金事業	74	国庫補助金 375 (55) 一般財源 301 (19)	母子家庭の母の主体的な能力開発の取り組みを 支援し、母子家庭の自立の促進を図る。 給付額：本人の支払額の40%(20万円上限) 2件 74,198円 補助率 国 3/4	教育訓練給付の指定講座であるホームヘルパー2 級の受講が2件あり、母子家庭の自立助長と生活の 安定を図ることができた。
		母子家庭高等職業訓練促進 給付金事業	2,472	国庫補助金 1,854 一般財源 618	母子家庭の母の経済的に効果的な資格を取得する 修学時の生活の安定を支援し、母子家庭の自立の促 進を図る。 給付額：月103,000円×8月×3人 3件 2,472,000円 補助率 国 3/4	天草准看護高等専修学校に在学中の母子家庭3名 を対象に、修学時の生活の安定と准看護師の資格を 取得することができ、母子家庭の自立助長と生活の 安定を図ることができた。
		ひとり親家庭等日常生活支 援事業	0	県補助金 84 (0) 一般財源 84 (0)	母子家庭、父子家庭及び寡婦が、修学等の自立を 促進するために必要な事由や、疾病などのため一時 的に生活支援または子育て支援が必要な場合に、登 録されている家庭生活支援員を派遣し、ひとり親家 庭等の生活の安定を図る。 補助率 県 3/4	家庭生活支援員登録者数9人 家庭生活支援員派遣対象家庭数10世帯 実施件数は無かった。

(3) 民生費 (3) 児童福祉費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
109) 112	3 保育所費	保育所運営費	1,286,017	その他 155,172 一般財源 1,130,845	入所延人員 10,917人(月平均：909人) 定員 1,060名(充足率85.6%)	公立保育所22園の運営費で、入所児童の福祉向上に寄与した。
112) 114	4 児童育成費	特別保育事業(延長保育促進事業)補助金	175,847	国庫補助金 87,284 (87,923) 一般財源 88,563 (87,924)	対象 34ヶ所 175,846,800円 補助率 国 1/2 ソフト交付金 874.50ポイント	延長保育に対する需要に対応し、児童福祉の増進が図られた。
		特別保育事業(一時保育促進事業)補助金	5,940	県支出金 3,960 一般財源 1,980	対象 16ヶ所 (うち公立 2ヶ所) 5,940,000円 (540,000円) 補助率 県 2/3	育児疲れ解消や急病など一時的な保育需要に対応することにより、児童福祉の向上に寄与した。
		特別保育事業(障害児保育事業)補助金	14,772	一般財源 14,772	対象 13ヶ所 19人 14,772,000円	集団保育可能で日々通所できる障害児の入所保育所へ補助することで、障害児の処遇向上が図られた。
		特別保育事業(軽度障害児保育事業)補助金	9,491	県支出金 4,745 一般財源 4,746	対象 15ヶ所 22人 (うち公立 4ヶ所 5人) 9,491,010円 (2,215,800円) 補助率 県 1/2	集団保育可能で日々通所できる軽度の障害児の入所保育所へ補助することで、障害児の処遇向上が図られた。
		特別保育事業(保育所地域活動事業)補助金	7,670	国庫補助金 3,807 一般財源 3,863	対象 26ヶ所 育児講座22、低学年児童受入10 地域特性保育需要4 7,670,000円 ソフト交付金 13.87ポイント	育児講座、低学年児童受入等の実施を通して、保育所の地域社会資源としての機能を果たした。
		特別保育事業(障害児保育環境改善事業)補助金	1,158	県支出金 772 一般財源 386	整備実施 2ヶ所 1,157,850円 補助率 県2/3	障害児保育に必要な設備整備を行うことで、障害児の保育処遇向上が図られた。
		特別保育事業(休日保育事業)補助金	2,097	県支出金 1,398 一般財源 699	対象 4ヶ所 延べ利用児童数 210人 2,096,700円 補助率 県2/3	休日保育を行う事業に対し、補助を行うことで、休日に保育に欠ける児童の福祉向上が図られた。

(3) 民生費 (3) 児童福祉費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
112 ） 114	4 児童育成費	放課後児童健全育成事業補助金	18,816	県支出金 12,543 一般財源 6,273	実施数 14ヶ所、登録児童467人 18,815,700円 (うちわくわく本渡児童クラブ) (1,611,000円) 補助率 県2/3	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校低学年児童に対し、指導・育成、遊びによる発達の助長などのサービスを行うことで、健全育成を図った。
		民間保育所事務協力費	2,219	一般財源 2,219	対象 天草市内法人立保育園37園 単価 1,000円×10月1日現在園児数 2,219,000円	保育料納付について、保護者の利便を図るとともに、効果的な徴収を実施した。 (保育料徴収率 99.67%)
		地域子育て支援センター委託料	25,364	県支出金 16,909 一般財源 8,455	実施数 8ヶ所 25,364,000円 (うち公立 2ヶ所) (5,026,000円) 補助率 県2/3	育児不安等の相談指導やサークル等の育成を通して、子育て家庭への支援に貢献した。
		つどいの広場事業	2,737	国庫補助金 1,359 (1,368) 一般財源 1,378 (1,369)	実施数 1ヶ所 登録組数 285組 2,737,336円 補助率 国 1/2 ソフト交付金 17.10ポイント	子育て親子の交流、集いの場の提供等に多数の親子が参加し、子育ての負担感を緩和することにより、子育て支援に貢献した。
		児童手当	614,540	国庫負担金 243,141 (243,256) 県負担金 185,521 (185,574) 一般財源 185,878 (185,710)	児童手当 (延児童数) 被用者 13,187人 80,025,000円 非被用者 8,182人 51,230,000円 特例給付 277人 1,745,000円 小学校修学前特例給付 被用者 48,458人 293,445,000円 非被用者 30,218人 188,095,000円 計 100,322人 614,540,000円	小学校終了前までの児童養育家庭における、生活の安定と、次代を担う児童の健全育成と資質の向上に資することができた。

負担率	児童手当		特例給付	小学校終了前 特例給付	
	被用者	非被用者		被用者	非被用者
国	8/10	1/3	10/10	1/3	1/3
県	1/10	1/3	0	1/3	1/3
市	1/10	1/3	0	1/3	1/3

(3) 民生費 (3) 児童福祉費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
112 } 114	4 児童育成費	私立保育所運営費負担金	2,465,975	国庫補助金 885,515 (889,502) 県支出金 444,758 (444,751) その他 685,508 一般財源 450,194 (446,214)	法人立保育所 36園 2,464,513,360円 入所延人員 29,034人(月平均2,419人) 負担割 支弁額-国基準徴収金 = 基本額 国庫負担：基本額×1/2 県費負担：基本額×1/4 市外保育所運営費負担金 1,462,050円	児童福祉の中心的な担い手である、法人立保育所の健全運営が図られたことで、入所児童の福祉向上に寄与した。
114 } 116	5 児童館費	地域組織活動育成費補助金	840	県支出金 560 一般財源 280	(助成実績) 4団体×180,000円 1団体×120,000円 山口母親地域活動クラブ 35人 楠浦母親地域活動クラブ 60人 二江児童館ファミリークラブ 地域活動 69人 NPO法人つわの花 33人 あげぼの母親クラブ 30人 計 227人 補助率 県2/3	各児童館単位で結成されている地域組織活動クラブ(母親クラブ)への助成を行うことにより、児童館との連携を図りながらの活動の活性化が図られ、児童の健全育成に寄与した。
		児童福祉施設併設型民間児童館事業補助金	10,331	県支出金 6,887 一般財源 3,444	実施数 1ヶ所 10,331,000円 補助率 県2/3	保育園に併設した児童館において、児童福祉施設の専門的な養育機能を活用して、各種児童健全育成事業、子育て相談援助活動、各種子育て支援サービスの利用促進等を実施することで、児童館事業の活性化を図ることに寄与した。

(3) 民生費

(4) 生活保護費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
117	2 扶 助 費	生活保護費	762,713	国庫支出金 564,607 県支出金 8,923 一般財源 189,183	<u>生活扶助</u> 衣食その他日常生活の需要を満たすために必要な扶助 延 3,551世帯 (月 295.9世帯) 延 4,647名 (月 387.3名) 186,935,313円 <u>住宅扶助</u> 家賃・地代・家屋の補修等住宅維持のために必要な扶助 延 2,120世帯 (月 176.7世帯) 延 2,895名 (月 241.3名) 36,979,717円 <u>教育扶助</u> 教材・学用品・給食その他義務教育に伴って必要な扶助 延 166世帯 (月 13.8世帯) 延 285名 (月 23.8名) 2,437,754円 <u>医療扶助</u> 病気の治療等に必要な扶助(現物給付) 延 3,102世帯 (月 258.5世帯) 入院 延 759名 (月 63.3名) 入院外 延 3,538名 (月 294.8名) 439,991,206円 <u>介護扶助</u> 介護サービスを受けるために必要な扶助(現物給付) 延 606世帯 (月 50.5世帯) 延 629名 (月 52.4名) 10,244,697円 <u>出産扶助</u> 出産に伴う分娩に必要な扶助 1件 253,890円 <u>生業扶助</u> 生業・技能習得・就職支度・高校就学のために必要な扶助 技能習得費 2名 55,790円 高校就学費 14名 1,332,041円 1,387,831円 <u>葬祭扶助</u> 死亡に伴う葬祭に必要な扶助 5件 885,880円	資産、能力、扶養及び他法、他施策の活用によっても最低生活維持が困難な者に対し、生活困窮の程度や生活保護基準に基づき、生活、住宅、教育、医療、介護、出産、生業、葬祭及び施設事務費などの必要な扶助を行い最低限度の生活を保障することにより、処遇の充実及び自立助長の推進が図られた。 国庫負担金 補助率 7.5/10 返還金・徴収金調定額：982,534円 $(762,713,468 - 982,534) \times 7.5/10 = 571,298,200$ 円 18年度交付決定額 564,607,000円 $571,298,200 - 564,607,000 = 6,691,200$ 円 (精算により19年度に交付) <u>保護施設事務費</u> 保護施設に対する入所委託事務費 天草園 延 397名 (月 33.1名) 千草寮 延 24名 (月 2.0名) 銀杏寮 延 36名 (月 3.0名) 野坂の浦荘 延 36名 (月 3.0名) 真和館 延 3名 (月 0.3名) 83,597,180円 合計 762,713,468円

(3) 民生費

(5) 災害救助費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
118	1 災害救助費	災害見舞金	2,220	一般財源 2,220	(内訳) (火災) 住宅半焼(持家) 1件 × 50,000円 住宅全焼・全損(持家) 9件 × 100,000円 住宅全焼(借家) 3件 × 50,000円 死亡弔慰金 3件 × 100,000円 (台風) 住宅全壊(持家) 2件 × 100,000円 住宅半壊(持家) 5件 × 50,000円 住宅一部損壊 2件 × 10,000円 床上浸水 34件 × 10,000円 入院見舞 1件 × 10,000円 合 計 2,220,000円	罹災者、またはその遺族に対する災害見舞金、弔慰金又は障害見舞金を支給することにより、罹災者の心を癒し、福祉の増進に寄与することができた。

(4) 衛生費

(1) 保健衛生費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
118 ） 119	1 保健衛生総務費	健康フェスタ事業	370	一般財源 370	平成18年6月3日(土)に実施。 「生活習慣病の予防」をテーマとした健康フェスタを開催 対象：乳幼児から成人・高齢者まで 内容：歯科検診・歯垢染め出し・ブラッシング フッ素塗布・骨硬度測定・食生活チェック 体力測定・運動紹介・健康相談など各種の体験コーナー 参加者：448人 (事業費内訳) 講師等謝礼 156,500円 消耗品費 193,592円 印刷製本費 19,950円 計 370,042円	生活習慣病予防のためには、若年・壮年層など早い時期から健康に関する意識付けが重要になる。「歯」・「骨」にテーマを絞り、歯科検診やブラッシングの体験、骨硬度測定や体力に合わせた筋力アップのための運動紹介等を行った。自分の歯や骨の状態を知り、う蝕・歯周疾患・骨粗鬆症を予防するための生活を知るきっかけとなり、若い時期からの健康について考える機会となった。
		健康運動事業	2,868	その他 1,036 一般財源 1,832	健康運動事業 教室：15 登録者：226人 延参加者：11,831人 (事業費内訳) 消耗品費 283,990円 運動指導員登録料 10,000円 備品購入費 2,574,338円 計 2,868,328円	生活習慣病及び介護予防を行うため、個人の体力に合わせた筋力アップ運動、エアロバイク・ウォーキングによる有酸素運動等の指導を行い、運動の必要性と自分にあった運動の方法がわかり、意欲的に運動を継続する機会となった。
		在宅当番医制運営事業	2,743	一般財源 2,743	在宅当番医制運営委託料 2,742,600円	休日・夜間における急病患者的の第1次救急体制の充実を図った。
		食生活改善事業	2,675	一般財源 2,675	食生活改善推進員協議会への委託料及び補助金 会員：395人 地区活動 261回 食生活改善推進事業委託料 1,533,660円 食生活改善推進員協議会運営費補助金 1,141,000円 計 2,674,660円	市民の健康づくりのための、天草市食生活改善推進員協議会に事業を委託し、推進員自らの資質向上を目的とした学習会の開催と、その学びを地域へ広めるための活動を展開し、食生活を中心とした生活習慣改善普及を図った。

(4) 衛生費

(1) 保健衛生費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
119	1 保健衛生総務費	日曜当番医(歯科)事業	585	一般財源 585	日曜・祝日歯科診療負担金 585,000円	休日の救急医療の充実が図られた。
		病院群輪番制病院運営事業	23,745	その他 8,275 一般財源 15,470	医療機関運営費補助金 23,744,560円 上天草総合病院、河浦病院、牛深市民病院、福本病 院、天草地域医療センター、天草中央総合病院、苓 北医師会病院、苓北病院、済生会みすみ病院	休日・夜間における入院治療を必要とする重症救 急患者対策としての第2次救急医療体制の充実を 図った。
119 } 120	2 予 防 費	予防接種事業	6,629	県支出金 4,989 (4,967) 一般財源 1,640	・種痘接種後の後遺症1件(昭和46年支給開始) 障害年金、医療手当等 ・日本脳炎接種後の後遺症1件 (平成12年支給開始) 養育年金、医療手当等 (事業費内訳) 扶助費6,623,310円 償還金利子及び割引料 計 6,629,145円	対象者・児の生活の維持・健康の保持が図られ た。
			83,007	一般財源 83,007	予防接種法に基づく予防接種の実施。 ・高齢者(個別接種) インフルエンザ 13,663人 ・児童・生徒(個別接種) 二種混合(小6)764人 日本脳炎 接種勧奨差し控え中 ・乳幼児(個別接種) 三種混合 延2,635人、 MR1期(単ワクチン含)685人 MR2期(単ワクチン含)732人 日本脳炎 1人 接種勧奨差し控え中 ・乳幼児(集団接種) ポリオ 1,351人	合併と同時にポリオの予防接種を除き、個別接種 体制で実施。そのことにより、対象児・者が体調の 良い時にかかりつけ医のもとで安全に接種できてい る。また、65歳以上の高齢者を対象に、インフルエ ンザ予防接種を実施し感染症予防を図った。日本脳 炎については、平成17年度からの積極的接種勧奨の 差し控え中のため、接種者数がほとんどない状況で ある。また、麻しん・風しん予防接種に関しては、 合併と同時に制度改正があり、さらに年度途中で再 度制度改正があったが、住民への周知や接種勧奨を 強化したことで高い接種率となった。

(4) 衛生費

(1) 保健衛生費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
119 ） 120	2 予 防 費	予防接種事業（つづき）			（事業費内訳） 報酬 3,839,640円 需用費 2,719,114円 役務費 281,969円 委託料 76,166,200円 計 83,006,923円	
		結核予防事業	4,640	一般財源 4,640	結核予防法に基づいた実施。 ・BCG接種 667人 （対象児は生後6か月未満まで） ・レントゲン間接撮影 6,819人 （対象者は65歳以上） （事業費内訳） 委託料 4,640,320円	接種体制の整備や周知の強化をおこなうとともに、3・4ヶ月児健診と同時に実施することで、適した時期での高い接種率となった。 対象者への周知と受診率向上を図った。
121	4 母 子 保 健 費	母子保健事業	21,680	一般財源 21,680	児の順調な発育・発達と親が安心して子育てできるため、妊娠から出産・育児にいたるのすべての時期に必要な知識の習得や相談の場等を提供。 ・母子健康手帳の交付 757人 中央 527人、東 77人、西 153人 ・母親学級 2クール×6回（中央のみの実施） 参加実人員 65人 延人員 90人 ・母親の心のケア推進事業 EPDS回収数 298 （要フォロー者 67人）	各母子保健事業における支援により、子どもの健全な発育・発達の促進や保護者の不安の軽減及び健康の保持増進が図れた。 母子健康手帳の交付は、各保健福祉センター及び支所にて随時行っており交付を受けやすい体制が確保できた。また、医療機関との連携により妊娠11週以下の交付が74.4%と高く、早期から母子の健康管理が図られた。 妊婦を対象に、妊娠中を健康にすごし、出産へ向けての準備や仲間作りを目的として実施。出産に向けての必要な知識を得ることができ、不安の軽減や仲間づくりができた。 産婦人科と連携し、産婦に対し産後うつスクリーニングを実施。支援が必要な産婦には、家庭訪問等を行い産後うつ予防や悪化防止を図った。

(4) 衛生費

(1) 保健衛生費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
121	4 母子保健費	母子保健事業(つづき)			<ul style="list-style-type: none"> ・妊婦健康診査 前期 690人 後期 575人 超音波 72人 精密健診 290人 ・健康相談 定期 中央96回、東96回、西80回 健康相談者数(延数) 中央618人、東415人、西255人 電話相談 中央1494人、東251人、西182人 ・乳幼児健康診査 3・4ヶ月児健診(48回) 対象児 691人 受診者 692人 7・8ヶ月児健診(36回) 対象児 709人 受診者 695人 1歳6ヶ月児健診(30回) 対象児 750人 受診者 728人 3歳児健診(30回) 対象児 811人 受診者 793人 ・訪問指導 中央 400人(延433人) 東 215人(延270人) 西 249人(延306人) ・育児学級 定期(東西のみ)12回 参加者(延数)123人 不定期 26回 参加者(延数)750人 	<p>母子健康手帳交付時に受診票を同時に交付。妊婦に対し定期健康診査の必要性について説明し、母体及び胎児の健康管理を図った。</p> <p>定期の健康相談は、旧市町単位で実施。また、各保健福祉センターでは、来所や電話による対応を随時おこない、対象の相談に個別で対応することで、不安の軽減等が図れた。</p> <p>身体発育、栄養状態、精神・運動発達などの確認をし、異常の早期発見や治療等につなげることができた。また、保健・栄養・歯科指導等を行うことにより、育児支援が図れた。</p> <p>他の事業や関係機関と連携が図れたことにより、対象の抽出ができ、早期から個別支援ができた。</p> <p>子どもやその保護者に対して食事や歯、疾病予防等の健康教育を実施し、正しい知識の提供や生活改善が図られた。</p>

(4) 衛生費

(1) 保健衛生費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
121	4 母子保健費	母子保健事業(つづき)			<ul style="list-style-type: none"> ・思春期対策事業 中央 910人、東 57人、西 175人 ・乳幼児精神発達健康診査 開催回数 12回 実人員 44人 延人員 58人 (事業費内訳) 報酬 9,327,560円 旅費 211,126円 需用費 3,013,351円 役務費 152,400円 委託料 8,849,670円 備品購入費 126,000円 計 21,680,107円 	<p>学校との連携を図ることにより、将来親となる思春期の生徒たちへの健康づくりに向けた支援ができた。</p> <p>乳幼児健康診査等で発見されたフォローの必要な児に対して、検査などを行い、専門機関への受診や療育につなげることができ、児の順調な発育・発達が図れた。</p>
121 } 123	5 老人保健費	老人保健事業	249,916	国庫支出金 13,259 県支出金 14,129 その他 59,279 一般財源 163,249	<p>老人保健事業は、基本健康診査及び各種がん検診を実施し、疾病の早期発見・治療・予防に結びつけるとともに、健康相談・健康教育・訪問指導・健康手帳の交付等の保健事業を総合的に実施し、住民の疾病予防、健康の保持を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種健(検)診受診者数 (人) 基本健診 10,207 骨粗しょう症検診 1,995 C型肝炎ウイルス検診 1,832 歯周疾患検診 82 胃がん検診 6,974 大腸がん検診便潜血検査 8,853 大腸がん検診内視鏡検査 1,040 子宮がん検診 4,405 乳がん検診 6,035 腹部超音波検診 10,222 肺がん検診 9,138 	<p>合併後、組織も変わり、保健部門においても、保健師等専門職が中央・東・西と3つの拠点に集約されたため、支所との連携を密にすること、事業の周知・PR、啓発に力を入れて取り組んできた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種健(検)診事業 各種健(検)診については、健康のしおり・希望調査・健診チラシの配布や広報においてPR・周知を図った。 ほとんどの健(検)診で、合併前より、受診者は増加した。

(4) 衛生費

(1) 保健衛生費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果																														
121 } 123	5 老人保健費	老人保健事業(つづき)			<ul style="list-style-type: none"> 健康指導事業実績 <table border="0"> <tr><td>健康手帳交付</td><td>2,034</td></tr> <tr><td>健康相談</td><td>8,787</td></tr> <tr><td>健康教育</td><td>11,507</td></tr> <tr><td>訪問指導</td><td>897</td></tr> </table> 熊本県健康管理事業 <table border="0"> <tr><td>健康診査(40歳以上)</td><td>192</td></tr> <tr><td>健康診査(39歳以下)</td><td>17</td></tr> <tr><td>個別事後指導</td><td>4日間</td></tr> <tr><td>集団事後指導及び健康相談</td><td>8日間</td></tr> </table> (事業費内訳) <table border="0"> <tr><td>旅費</td><td>55,550円</td></tr> <tr><td>需用費</td><td>1,777,421円</td></tr> <tr><td>役務費</td><td>4,665,490円</td></tr> <tr><td>委託料</td><td>242,025,277円</td></tr> <tr><td>使用料及び賃借料</td><td>365,850円</td></tr> <tr><td>償還金利息及び割引料</td><td>1,026,261円</td></tr> <tr><td>計</td><td>249,915,849円</td></tr> </table>	健康手帳交付	2,034	健康相談	8,787	健康教育	11,507	訪問指導	897	健康診査(40歳以上)	192	健康診査(39歳以下)	17	個別事後指導	4日間	集団事後指導及び健康相談	8日間	旅費	55,550円	需用費	1,777,421円	役務費	4,665,490円	委託料	242,025,277円	使用料及び賃借料	365,850円	償還金利息及び割引料	1,026,261円	計	249,915,849円	<ul style="list-style-type: none"> 健康指導事業 <p>健康手帳については、各保健福祉センター、支所の健診窓口等で交付した。</p> <p>健康相談については、定期健康相談、随時、電話相談を実施した。</p> <p>健康教育については、65歳未満の世代に対しては、生活習慣病(メタボリックシンドローム・糖尿病)を中心に集団及び個別健康教育を実施した。</p> <p>訪問指導については、住民からの相談や健診後の事後指導、精密検査未受診者等の要指導者への訪問を中心に実施した。</p> <p>健康指導の各事業も、目標に近い実績を残せた。</p> 熊本県健康管理事業 <p>水俣病発生地域である御所浦地域を対象にした事業で、当該地域に居住している市民の健康管理を行うことができた。</p>
健康手帳交付	2,034																																			
健康相談	8,787																																			
健康教育	11,507																																			
訪問指導	897																																			
健康診査(40歳以上)	192																																			
健康診査(39歳以下)	17																																			
個別事後指導	4日間																																			
集団事後指導及び健康相談	8日間																																			
旅費	55,550円																																			
需用費	1,777,421円																																			
役務費	4,665,490円																																			
委託料	242,025,277円																																			
使用料及び賃借料	365,850円																																			
償還金利息及び割引料	1,026,261円																																			
計	249,915,849円																																			
123	6 乳幼児医療費	乳幼児医療費	186,768	県支出金 32,463 一般財源 154,305	【助成対象】 就学前までの全医療費の一部負担金を助成 <ul style="list-style-type: none"> ・4歳未満 <table border="0"> <tr><td>入院</td><td>999件</td></tr> <tr><td>入院外</td><td>56,405件</td></tr> <tr><td>計</td><td>57,404件</td></tr> </table> ・4歳以上 <table border="0"> <tr><td>入院</td><td>201件</td></tr> <tr><td>入院外</td><td>31,545件</td></tr> <tr><td>計</td><td>31,746件</td></tr> </table> (事業費内訳) <table border="0"> <tr><td>扶助費(助成額)</td><td>186,570,398円</td></tr> <tr><td>事務費</td><td>197,471円</td></tr> <tr><td>計</td><td>186,767,869円</td></tr> </table>	入院	999件	入院外	56,405件	計	57,404件	入院	201件	入院外	31,545件	計	31,746件	扶助費(助成額)	186,570,398円	事務費	197,471円	計	186,767,869円	熊本県の乳幼児医療費助成事業補助金制度では、3歳までの入院・外来及び4歳から就学前までの多子世帯の入院を対象とし、一定以上所得がある者については、補助対象外となっている。 本市の場合は、子育て支援、少子化対策の視点から県の基準を取り除いた制度として、子育て世代の負担軽減を図った。												
入院	999件																																			
入院外	56,405件																																			
計	57,404件																																			
入院	201件																																			
入院外	31,545件																																			
計	31,746件																																			
扶助費(助成額)	186,570,398円																																			
事務費	197,471円																																			
計	186,767,869円																																			

(4) 衛生費

(2) 環境費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
123 ┆ 124	1 環境総務費	給水施設未整備地域整備事業	2,520	県支出金 2,500 一般財源 20	<p>【給水施設未整備地域の調査】</p> <p>旧本渡市（H17年度）において調査を実施した残りの本渡地区（志柿町、下浦町、佐伊津町及び旭町）の給水施設未整備地域の飲用水の状況調査。</p> <p>調査対象数： 小規模水道組合31ヶ所（961世帯） 個人世帯（151世帯）</p> <p>水質検査：45検体 （事業費内訳） 委託料 2,520,000円</p>	<p>水源汚染等が危惧される上水道・簡易水道区域以外の飲用水の状況をアンケート調査（小規模水道組合回収率100%、個人世帯93%）と現地調査により、水質の分析及び台帳の整備を実施、報告書を作成した。今後の上水道の拡張計画との整合を図りながら、安全でおいしい飲用水の確保を図るための資料として活用した。</p>
124 ┆ 125	2 環境対策費	生活排水対策事業	244	一般財源 244	<p>【生活排水対策事業】</p> <p>生活排水対策を講じることにより、川や海の水環境の保全を図ることを目的とする。生活排水対策普及啓発指導員を設置し、年計画の策定と研修会、報告会の開催、地域での実践活動を通して啓発に努める。</p> <p>・生活排水対策普及啓発指導員の配置 本渡地区 13名 牛深地区 6名 計 19名</p> <p>（事業費内訳） 報償費 190,000円 需用費 48,845円 役務費 4,725円 合計 243,570円</p>	<p>本渡地区13名、牛深地区6名の生活排水対策普及啓発指導員を委嘱。</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活排水対策普及啓発指導員研修会（4回/年） 河川（旧本渡市・旧牛深市地区）の水質調査の実施（1回/月） 地域での児童館・小学校・婦人会等グループでの啓発活動の実施。 18年度実績報告（活動報告会ほか） <p>3月の実績報告では、生活排水普及啓発指導員から地域で実施した様々な啓発活動の取り組みが報告され、地域住民の生活排水の浄化意識の啓発を図ることができた。</p>

(4) 衛生費

(2) 環境費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
124 ┆ 125	2 環境対策費	住宅用太陽光発電システム 設置補助金	15,195	一般財源 15,195	【住宅用太陽光発電システム補助金】 太陽光出力1kw当たり 50,000円 上限 200,000円 補助件数 87件 最大発電出力総計 326.63kw (事業費内訳) 補助金 15,195,000円	住宅用太陽光発電システムを設置したものに 対し、システムの能力に応じた補助金を交付すること で、新エネルギーを積極的に導入し、地球温暖化を はじめとした環境の悪化を防止することが出来た。
		五和風力発電施設維持補修 事業	1,024	その他 490 一般財源 534	【五和風力発電施設維持補修事業】 風力発電余剰電力売電収入 490,105円 (事業費内訳) 役務費 88,798円 委託料 769,854円 土地借上料 165,840円 計 1,024,492円 平成19年度への繰越 工事請負費 15,343,000円	五和町通詞島に設置している風力発電施設の維持 管理及び回転翼や遠隔パネルの修繕工事を行った。 修繕工事完了後は、適正に維持管理を行い、新エネ ルギーの利活用と施設を利用した環境教育等を行う ことが出来る。 通詞島風力発電所発電設備修繕工事 工期：平成19年2月19日～6月22日
		ISO14001認証取得事業	2,477	一般財源 2,477	【ISO14001認証取得事業】 天草市役所の全支所に拡大 2,477,000円 (事業費内訳) 旅費 145,650円 委託料 2,111,350円 受講料 220,000円 計 2,477,000円	平成14年12月 旧本渡市がISO14001の認証取得。 平成18年度に天草市の全支所に拡大。 天草市の行う事務及び事業活動において、環境保 全活動の効果的推進及び環境負荷の削減及び職員の 環境保全活動に対する意識高揚が図れた。
		菜の花プロジェクト事業	1,643	一般財源 1,643	【菜の花プロジェクト事業】 (事業費内訳) 需用費 302,411円 役務費 970,200円 委託料 175,500円 補助金 194,908円 計 1,643,019円	一般家庭から廃食用油を回収し、ゴミ収集車と給 食配送車及び移動図書館車に使用し、ゴミの減量と 資源化及び水質汚濁の防止、排気ガスによる大気汚 染防止が図られた。 また、菜の花から菜種を採取し、搾油して学校給 食で使い、使用後の廃油を回収して、公用車の燃料 に使用することで、子供達に環境教育と併せて食育 を行うことが出来た。

(4) 衛生費

(2) 環境費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
124 ┆ 125	2 環境対策費	環境実態調査事業	5,064	県支出金 4,893 一般財源 171	【天草市大気環境測定調査業務委託】 ・測定地点数 4地点 ・調査項目 窒素酸化物 浮遊粒子状物質 (事業費内訳) 委託料 735,000円 【天草市交通騒音測定調査業務委託】 ・測定地点数 4地点 ・調査項目 交通騒音レベル 交通量 (事業費内訳) 委託料 382,200円 【天草市河川水質調査業務委託】 ・測定箇所数 65箇所 ・調査項目 生活環境項目(58箇所) 健康項目(7箇所) (事業費内訳) 委託料 966,000円 【天草市環境実態報告書作成業務委託】 ・市民アンケート 1,000名対象 ・環境審議会開催 15名 ・報告書項目 社会環境、生活環境 自然環境 (事業費内訳) 報酬 90,000円 旅費 36,329円 需用費 20,632円 役務費 103,485円 委託料 2,730,000円 計 2,980,446円	4地点共に環境基準値を満足しており、今後も継続して調査を実施していく予定である。調査結果を天草市環境実態調査報告書に反映させ、住民などへ広く公表する。 交通騒音は主に自動車走行音であり、3地点で環境基準を超えていた。また、交通量調査においては8～9時、17～19時の交通量の増加がみられた。調査結果を天草市環境実態調査報告書に反映させ、住民などへ広く公表する。 市内全域の主要河川について調査を実施したが、生活環境項目58地点中26地点で、環境基準A類型(BOD2mg/L)を下回っていた。 また、健康項目7地点については、すべて良好な結果だった。調査結果を天草市環境実態調査報告書に反映させ、住民などへ広く公表する。 本市環境の現状・分析を行い報告書を作成した。平成19年度に本報告書を300部作成し住民などへ広く公表する。また、今後の本市環境施策の参考として活用していく。

(4) 衛生費

(2) 環境費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果																											
124 ） 125	2 環境対策費	環境教育推進事業	150	一般財源 150	【環境教育推進事業】 (事業費内訳) 需用費 150,000円	市内全小学校4年生(45校 932名)に、環境省発行の「こども環境白書」を配布し、環境学習の教材として活用した。																											
		栖本下河内地区民放テレビ 難視聴地域解消事業	6,930	国庫支出金 2,090 県支出金 1,045 地方債 2,800 その他 660 一般財源 335	【補助事業】 国1/3・県1/6・視聴者分担金30千円×22世帯 (事業費内訳) 工事請負費 6,930,000円 受信点設備 2工区 幹線設備 2工区 引込線設備 2工区 電源引込 2工区 検査測定 2工区 (2工区：宗土岐地区・山浦地区)	日常生活において貴重な情報源であるテレビの難視聴地域に共同受信施設を整備し、視聴地域との格差是正を図った。また、2011年7月にアナログ放送が停止されることから、その対策として地上デジタル放送受信設備も併せて整備した。																											
		浄化槽設置整備事業	137,354	国庫支出金 36,826 県支出金 35,795 一般財源 64,733	【浄化槽設置整備事業補助金】 補助金額 5人槽 444,000円 7人槽 513,000円 10人槽 649,000円 平成18年度(設置基数) 5人槽 153基 67,932,000円 7人槽 129基 66,177,000円 10人槽 5基 3,245,000円 計 287基 137,354,000円	浄化槽を設置することで生活排水による公共用水域の水質汚濁防止を図り、生活環境の保全に努めた。 (H18年度設置内訳及び普及人口)																											
						<table border="1"> <thead> <tr> <th>区域</th> <th>設置基数</th> <th>普及人口</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本渡</td> <td>70基</td> <td>238人</td> </tr> <tr> <td>牛深</td> <td>69基</td> <td>200人</td> </tr> <tr> <td>有明</td> <td>62基</td> <td>174人</td> </tr> <tr> <td>御所浦</td> <td>11基</td> <td>38人</td> </tr> <tr> <td>栖本</td> <td>9基</td> <td>33人</td> </tr> <tr> <td>五和</td> <td>44基</td> <td>140人</td> </tr> <tr> <td>河浦</td> <td>22基</td> <td>64人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>287基</td> <td>887人</td> </tr> </tbody> </table>	区域	設置基数	普及人口	本渡	70基	238人	牛深	69基	200人	有明	62基	174人	御所浦	11基	38人	栖本	9基	33人	五和	44基	140人	河浦	22基	64人	計	287基	887人
区域	設置基数	普及人口																															
本渡	70基	238人																															
牛深	69基	200人																															
有明	62基	174人																															
御所浦	11基	38人																															
栖本	9基	33人																															
五和	44基	140人																															
河浦	22基	64人																															
計	287基	887人																															

(4) 衛生費

(2) 環境費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
125 ） 127	3 塵芥処理費	塵芥収集業務委託	202,036	その他 149,326 一般財源 52,710	【塵芥収集業務】 ・収集委託業者 14社 ・18年度収集量 燃やせるゴミ 23,514 t 燃やせないゴミ 3,353 t 資源物 5,083 t 計 31,950 t ・委託料 202,036,116円	可燃ゴミ、不燃ゴミ、資源物収集運搬業務を委託し、収集の効率化が図られた。
		ゴミ処理施設整備事業	72,444	地方債 40,300 一般財源 32,144	【牛深クリーンセンター施設整備工事】 44,421,653円 (1)1号・2号炉ガス冷却室等耐火物取替 ・ガス冷却室耐火物、空気予熱器耐火物補修 (14,679,000円) (2) リサイクル保管庫屋根等取替補修工事 ・屋根張替1,210㎡、窓上壁腐食取替等 (29,742,653円) 【御所浦クリーンセンター施設整備工事】 9,334,500円 ・ゴミクレーン・ジブクレーン補修 ・燃焼室耐火物補修 ・再燃焼室燃焼空気ノズル、出側伸縮部補修 ・焼却灰回収灰シュートボックス補修 ・ろ過式集じん機炉布購入・設備改造 ・灰固形化設備補修・設備改造 ・灰固形化設備室換気窓設置 ・飛灰搬送コンベア補修、設備改造 ・白煙防止炉入口ダンパ補修等	各施設の整備工事等を行うことで、施設の機能維持及び保全等が図られた。

(4) 衛生費

(2) 環境費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果																																																												
125 } 127	3 塵芥処理費	ゴミ処理施設整備事業 (つづき)			【西天草クリーンセンター施設整備工事】 18,688,066円 (1)2号炉誘引通風機補修工事 ・インペラー(羽),軸等交換 (2,100,000円) (2) NO.1、NO.2灰出しコンベア、灰バンカ補修工事 ・NO.1、NO.2灰出しコンベア部品交換 ・灰バンカ部品交換 (7,854,611円) (3)2号炉耐火物補修工事 ・再燃焼室、ガス冷却室天井、燃焼室天井 (8,733,455円)																																																													
		ゴミ処理施設運営管理費	170,598	一般財源 170,598	【牛深クリーンセンター(平成4年4月稼働)】 ・焼却処理施設(処理能力:36t/日) ・粗大ゴミ処理施設(処理能力:10t/5h) ・事業費内訳 人件費(嘱託3人) 4,108,555円 需用費 39,953,894円 (燃料費、修繕料等) 役務費 183,578円 委託料 9,380,420円 その他 3,445,640円 計 57,072,087円 【御所浦クリーンセンター(平成4年3月稼働)】 ・焼却処理施設(処理能力:10t/日) ・不燃物処理資源化設備(処理能力:3t/5h) ・事業費内訳 需用費 11,666,622円 役務費 42,266円 委託料 52,052,765円 計 63,761,653円	施設の適正な管理運営及び設備機器等の機能維持により、牛深地区で発生する可燃ゴミ、不燃ゴミ、粗大ゴミ、資源物の適正な処理等が図られた。 (処理量) (t) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H15</th> <th>H16</th> <th>H17</th> <th>H18</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>可燃</td> <td>7,058</td> <td>6,373</td> <td>6,800</td> <td>5,764</td> </tr> <tr> <td>不燃</td> <td>632</td> <td>365</td> <td>471</td> <td>255</td> </tr> <tr> <td>粗大</td> <td>107</td> <td>62</td> <td>156</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>資源</td> <td>38</td> <td>651</td> <td>592</td> <td>719</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>7,835</td> <td>7,451</td> <td>8,019</td> <td>6,767</td> </tr> </tbody> </table> 施設の適正な管理運営及び設備機器等の機能維持により、御所浦町で発生する可燃ゴミ、不燃ゴミ、粗大ゴミ、資源物の適正な処理等が図られた。 (処理量) (t) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H15</th> <th>H16</th> <th>H17</th> <th>H18</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>可燃</td> <td>874</td> <td>848</td> <td>850</td> <td>590</td> </tr> <tr> <td>不燃</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>粗大</td> <td>21</td> <td>36</td> <td>156</td> <td>73</td> </tr> <tr> <td>資源</td> <td>161</td> <td>177</td> <td>90</td> <td>231</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,059</td> <td>1,061</td> <td>1,098</td> <td>895</td> </tr> </tbody> </table>	区分	H15	H16	H17	H18	可燃	7,058	6,373	6,800	5,764	不燃	632	365	471	255	粗大	107	62	156	29	資源	38	651	592	719	計	7,835	7,451	8,019	6,767	区分	H15	H16	H17	H18	可燃	874	848	850	590	不燃	3	0	2	1	粗大	21	36	156	73	資源	161	177	90	231	計	1,059	1,061	1,098	895
区分	H15	H16	H17	H18																																																														
可燃	7,058	6,373	6,800	5,764																																																														
不燃	632	365	471	255																																																														
粗大	107	62	156	29																																																														
資源	38	651	592	719																																																														
計	7,835	7,451	8,019	6,767																																																														
区分	H15	H16	H17	H18																																																														
可燃	874	848	850	590																																																														
不燃	3	0	2	1																																																														
粗大	21	36	156	73																																																														
資源	161	177	90	231																																																														
計	1,059	1,061	1,098	895																																																														

(4) 衛生費

(2) 環境費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果																														
125 } 127	3 塵芥処理費	ゴミ処理施設運営管理費 (つづき)			【西天草クリーンセンター（平成7年4月稼働）】 ・焼却処理施設（処理能力：17t/日） ・不燃物処理資源化設備（処理能力：3t/日(5h)） ・事業費内訳 人件費（臨時3人） 2,831,360円 需用費 22,019,840円 (燃料費、修繕料等) 役務費 221,940円 委託料 23,208,918円 その他 1,481,908円 計 49,763,966円	施設の適正な管理運営及び設備機器等の機能維持により、天草町及び河浦町で発生する可燃ゴミ、不燃ゴミ、粗大ゴミ、資源物の適正な処理等が図られた。 (処理量) (t) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H15</th> <th>H16</th> <th>H17</th> <th>H18</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>可燃</td> <td>2,703</td> <td>2,811</td> <td>2,788</td> <td>2,071</td> </tr> <tr> <td>不燃</td> <td>124</td> <td>82</td> <td>83</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>粗大</td> <td>140</td> <td>141</td> <td>381</td> <td>94</td> </tr> <tr> <td>資源</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>177</td> <td>344</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,067</td> <td>3,134</td> <td>3,429</td> <td>2,534</td> </tr> </tbody> </table>	区分	H15	H16	H17	H18	可燃	2,703	2,811	2,788	2,071	不燃	124	82	83	25	粗大	140	141	381	94	資源	100	100	177	344	計	3,067	3,134	3,429	2,534
区分	H15	H16	H17	H18																																
可燃	2,703	2,811	2,788	2,071																																
不燃	124	82	83	25																																
粗大	140	141	381	94																																
資源	100	100	177	344																																
計	3,067	3,134	3,429	2,534																																
127 } 128	4 廃棄物対策費	ゴミ資源化減量化対策事業	30,137	その他 28,315 一般財源 1,822	【資源物回収活動事業】 廃棄物の資源化を図る。 ・各種団体による集団回収補助金 登録団体数 90団体 1,706,360円 ・各地区自治組織による回収活動補助金 地区自治組織数 444区 9,955,100円 (均等割及び回収量) 【生ゴミ処理容器等設置事業】 家庭から排出される生ゴミを堆肥化し、ゴミ減量を図る。 (補助基準) ・コンポスト式容器は1基当たり3,000円 8基 24,000円 ・電気式処理機は購入価格の3分の1で、上限額は20,000円 165基 3,085,400円	資源物回収活動を通じ、廃棄物の資源化を推進することによりゴミ減量に寄与した。また、生ゴミ処理容器等を設置することにより、可燃ゴミの減量に寄与した。 【ゴミ出しカレンダー印刷】 ゴミ出しのルールや収集日の周知などのため、ゴミ出しカレンダーを作成。 家庭等配布用44,897枚、掲示用984枚 1,052,069円 【環境美化推進員】 1,107人 12,139,200円 1ステーション当り 20,000円/年 その他事業費 2,175,044円 合計 30,137,173円																														

(4) 衛生費

(2) 環境費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
128 5 130	し尿処理費	し尿処理事務事業	170,873	その他 53 一般財源 170,820	【し尿処理業務】 ・収集運搬委託業者 3社 ・18年度搬入実績 し尿 21,333k1 浄化槽汚泥 29,455k1 計 50,788k1 ・委託料 167,309,912円 ・その他の事業費等 3,563,219円 計 170,873,131円	し尿の衛生的な処理と公共用水域の汚濁防止に努めた。
		し尿処理施設整備事業	137,333	県支出金 4,600 地方債 131,400 一般財源 1,333	【牛深し尿処理場浄化槽汚泥処理施設増設改良事業】 (事業費内訳) <旅費> 61,940円 <委託費> ・生活環境影響調査 4,662,000円 ・工事施工監理業務委託 3,696,000円 ・工事後生活環境影響調査モニタリング調査等 1,124,970円 <工事請負費> ・増設改良工事費 127,787,812円 計 137,332,722円 ・浄化槽汚泥処理施設について、現在の処理能力20KL/日を45KL/日に能力アップした。 (工事内容) ・浄化槽汚泥貯留槽(150m ³)新設 ・混合汚泥供給ポンプ(更新) ・汚泥脱水機(更新) ・脱水ろ液流量調整槽(既存改造) ・既設・新設の急速攪拌槽、緩速攪拌槽、凝集沈殿槽で構成される凝集沈殿処理設備の2系列で処理 ・既設及び新設の接触曝気・沈殿槽の2系列で処理	廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第3条第4項の一部改正により、し尿及び浄化槽汚泥について、平成19年2月から海洋投入処分が禁止されたことから、牛深し尿処理場(浄化槽汚泥処理施設を含む)において、牛深地区の処理に加え天草町、河浦町及び新和町の処理が行えるように、増設・改良を行った。

(4) 衛生費

(2) 環境費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果																																													
128 5 130	し尿処理費	し尿処理施設運営管理費	159,364	一般財源 159,364	<p>【本渡衛生センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設処理能力：46KL/日（昭和57年4月稼動） 処理方式：標準脱窒素方式 浄化槽汚泥10KL/日施設受入 （前処理、希釈→下水道施設投入） <p>・事業費内訳 需用費 47,287,828円 （燃料費、修繕料等） 役務費 2,181,573円 委託料 31,529,628円 その他 60,900円 計 81,059,929円</p> <p>【牛深し尿処理場】</p> <p>生し尿処理施設</p> <ul style="list-style-type: none"> 処理能力：30KL/日（昭和53年4月稼働） 処理方式：焼却処理方式 <p>浄化槽汚泥処理施設</p> <ul style="list-style-type: none"> 処理能力：20KL/日（平成5年11月稼動） <p>平成18年度増設工事施工</p> <ul style="list-style-type: none"> 処理能力：45KL/日（平成19年2月稼動） 処理方式：凝集沈殿法+接触酸化法の組合せ方式 <p>・事業費内訳 人件費 854,703円 需用費 68,366,284円 （燃料費、修繕料等） 委託料 4,974,321円 その他 4,108,905円 計 78,304,213円</p>	<p>施設の適正な管理運営及び設備機器等の機能維持により、本渡地区及び五和町での、し尿・浄化槽汚泥等の適正な処理等が図られた。</p> <p>(処理量) (KL)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H15</th> <th>H16</th> <th>H17</th> <th>H18</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生し尿</td> <td>6,822</td> <td>6,455</td> <td>6,216</td> <td>6,528</td> </tr> <tr> <td>浄化槽汚泥</td> <td>6,188</td> <td>6,310</td> <td>6,322</td> <td>6,377</td> </tr> <tr> <td>下水道投入</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>515</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>13,010</td> <td>12,765</td> <td>12,538</td> <td>13,420</td> </tr> </tbody> </table> <p>施設の適正な管理運営及び設備機器等の機能維持により、牛深地区、天草町及び河浦町での、し尿・浄化槽汚泥等の適正な処理等が図られた。</p> <p>(処理量) (KL)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H15</th> <th>H16</th> <th>H17</th> <th>H18</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生し尿</td> <td>5,198</td> <td>4,930</td> <td>4,917</td> <td>5,378</td> </tr> <tr> <td>浄化槽汚泥</td> <td>6,383</td> <td>6,294</td> <td>6,468</td> <td>7,510</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>11,581</td> <td>11,224</td> <td>11,385</td> <td>12,888</td> </tr> </tbody> </table>	区分	H15	H16	H17	H18	生し尿	6,822	6,455	6,216	6,528	浄化槽汚泥	6,188	6,310	6,322	6,377	下水道投入				515	計	13,010	12,765	12,538	13,420	区分	H15	H16	H17	H18	生し尿	5,198	4,930	4,917	5,378	浄化槽汚泥	6,383	6,294	6,468	7,510	計	11,581	11,224	11,385	12,888
区分	H15	H16	H17	H18																																															
生し尿	6,822	6,455	6,216	6,528																																															
浄化槽汚泥	6,188	6,310	6,322	6,377																																															
下水道投入				515																																															
計	13,010	12,765	12,538	13,420																																															
区分	H15	H16	H17	H18																																															
生し尿	5,198	4,930	4,917	5,378																																															
浄化槽汚泥	6,383	6,294	6,468	7,510																																															
計	11,581	11,224	11,385	12,888																																															

(4) 衛生費

(5) 病院費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
131 ┆ 132	1 病 院 費	病院会計負担金及び補助金	703,599	一般財源 703,599	病院会計負担金及び補助金 病院別内訳 牛深市民病院 340,295,000円 栖本病院 159,500,000円 新和病院 91,537,000円 河浦病院 112,267,000円 計 703,599,000円	救急医療の確保など、地域において求められる各種医療の提供や、高齢化の進む地域での身近な医療機関としての役割を果たすため、各病院経営の安定的な運営に努めた。
		歯科診療所特別会計繰出金	7,652	一般財源 7,652	歯科診療所特別会計繰出金 御所浦歯科診療所 7,652,000円	御所浦地域における、唯一の歯科診療機関としての役割を果たすため、その安定的な経営の確保に努めた。

(5) 農林水産業費

(1) 農業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
133	1 農業委員会費	農地流動化奨励金交付事業 補助金	6,565	一般財源 6,565	<p>[交付基準]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単価 賃貸借期間 3年以上6年未満 3千円 / 10a 6年以上 6千円 / 10a ・交付額等 3年以上6年未満 39.59ha 2,282,900円 6年以上 36.00ha 4,282,300円 計 75.59ha 6,565,200円 ・支給人員 借り手 175人 貸し手 211人 計 386人 	農地の流動化を促進し、担い手への集積による農業経営の規模拡大や経営の合理化が図られた。また、農地の遊休化を防止し、有効利用を促進することができた。
134 ） 137	3 農業振興費	都市と農山漁村の共生・対 流事業	8,793	国庫支出金 7,611 一般財源 1,182	<p>国が実施する平成18年度国土創発調査事業により、「都市と農山漁村の共生・対流を推進するための社会実験」委託事業として実施。</p> <p>1．遊休農地を都市住民と地元住民の協働により復旧してトラスト農場として活用する。 2．事業を積極的に推進する活動母体となるNPO法人を設立する。 3．都市住民に田舎暮らしを呼びかけるための情報の発信と体験ツアーの実施。 (事業費内訳)</p> <p>謝礼 213,000円 旅費 874,213円 需用費 146,038円 委託料 7,476,420円 使用料及び賃借料 83,730円 計 8,793,401円</p>	<p>都市住民に遊休農地を活用した移住や二地域居住を推進するための組織が設立され、遊休農地を復旧した2ヶ所のトラスト農場の開設と体験ツアーを実施した。</p> <p>1．本事業の実行組織である、NPO法人グリーンライフあまくさを設立した。 2．下浦町金焼地区に遊休農地を復旧して、2ヶ所のトラスト農場(8,300㎡)を開設した。 3．都市住民を対象に2回の田舎暮らし体験ツアーを実施し、44人の参加があり、地元農家へ民泊し交流を深めた。 4．情報発信の取り組みとしてリーフレットを作成し、各町の郷友会に配布し、また、ホームページ(http://www.gl-amakusa.jp.npo)を開設した。 5．熊本市内において、「日本の宝島“天草”で暮らそう！シンポジウムを開催(参加者240人)本事業に対する啓発と周知に努めた。</p>

(5) 農林水産業費

(1) 農業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
134 ┆ 137	3 農業振興費	元気な認定農業者づくり事業	600	県支出金 290 一般財源 310	天草市担い手育成支援協議会が行う事業負担金 協議会の事業内容 ・アクションプログラムの作成 ・担い手経営診断指導助言活動 ・農業経営改善計画の認定及び指導助言 (事業費内訳) 負担金 600,000円	認定農業者の農業経営改善計画の認定及び助言指導を行うと共に、認定志向農家の発掘及び認定を行った。 各種研修会への参加により、認定農業者の意識の向上が図られた。 平成18年度末認定農業者数 479 平成18年度認定数 新規 25 再認定 70
		グリーンツーリズム推進事業	2,153	一般財源 2,153	グリーンツーリズムに携わる関係者の連携を強化するため、協議会を設立し、ツーリズムの推進を図る。 シンポジウムや研修会の開催によりグリーンツーリズムに対する理解を深める。 (事業費内訳) 費用弁償 103,040円 旅費 28,400円 委託料 1,921,500円 使用料 100,000円 計 2,152,940円	ツーリズム実践者、行政、観光等に携わる関係者により、天草ツーリズムネットワーク&パートナーズ(天草T&P)を設立し、活動を開始した。 天草T&Pの自主的取り組みとして、モニターツアーを実施した。(参加者3組7人) 天草ツーリズムシンポジウムを開催(参加者124人)し、グリーンツーリズムに対する関心が高まった。
		市民農園事業	287	一般財源 287	農業者以外の市民に対し、農業に対する理解を深めてもらう場として、市内に4ヶ所の市民農園を開設し、維持管理及び栽培講習会を行っている。 市民農園開設状況 今釜市民農園 28区画 亀場市民農園 11区画 楠浦市民農園 42区画 牛深市民農園 63区画 (事業費内訳) 需用費 52,965円 市民農園借上料 234,000円 計 286,965円	市民に農業とふれあう機会が提供でき、農業に対する理解が深まった。 市民農園利用状況 今釜市民農園 27区画(28区画) 亀場市民農園 8区画(11区画) 楠浦市民農園 11区画(42区画) 牛深市民農園 48区画(63区画)

(5) 農林水産業費

(1) 農業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
134 ） 137	3 農業振興費	農業振興地域整備促進事業	643	一般財源 643	(事業費内訳) 報酬 102,000円 賃金 496,000円 費用弁償 12,040円 旅費 32,860円 計 642,900円	農業振興地域整備計画の見直し及び農用地個別変更案件等の事務処理を行い、計画の適正な進行・管理による優良農用地の確保に努めた。 18年度変更協議 除外面積 18筆 3.8ha 編入面積 11筆 8.5ha 用途変更面積 3筆 0.2ha
		農業制度資金利子補給補助金	1,891	県支出金 330 一般財源 1,561	(事業費内訳) 農業経営高度化資金利子補給金 15,141円 平成16年台風被害対策資金利子補給金 246,590円 農業近代化資金利子補給金 1,338,201円 自立経営体育成資金利子補給金 291,150円 計 1,891,082円	各農業制度資金借入に対する利子補給を行い、農家経営の安定に努めた。 農業経営高度化資金利子補給 1件 平成16年台風被害対策資金利子補給 6件 農業近代化資金利子補給 14件 自立経営体育成資金利子補給 3件
		物産地域イベント開催補助金	2,000	一般財源 2,000	各地域で開催される農業振興を目的としたイベントに対して経費の一部を助成する。 (事業費内訳) 天草町ジャガジャガ祭補助金 1,000,000円 有明町うまかもん収穫祭補助金 1,000,000円 計 2,000,000円	それぞれイベントの開催により、農業者と消費者の交流が図られ、農業に対する理解と、地域の活性化が図られた。 天草町ジャガジャガ祭来場者数 3,500人 ジャガイモ堀体験参加者 400人 有明町うまかもん収穫祭来場者数 600人 農事講演会参加者 200人
		産業後継者等定住促進対策事業助成金	2,015	その他 2,000 一般財源 15	倉岳町内で、産業の後継者として補助金の交付を申請した者で、5年以上継続して従事している者に対し100万円を助成する。(旧倉岳町において申請されたものの経過措置) (事業費内訳) 報償費 15,000円 補助金 2,000,000円 計 2,015,000円	倉岳町において平成16年度より補助金を交付しており、産業の後継者として定着している。 交付実績及び予定 平成16年度 8人 800万円 平成17年度 3人 300万円 平成18年度 2人 200万円 平成19年度 3人 300万円 平成20年度 4人 400万円(最終)

(5) 農林水産業費

(1) 農業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果						
134 ） 137	3 農業振興費	浦河町物産交流事業	97	一般財源 97	<p>河浦町と北海道浦河町の関係は、明治4年から始まり、現在では両町で開催する産業祭での物産交流や小中学校の交流が続いている。</p> <p>本事業では、浦河町での産業祭に出品する柑橘類の送料及び腐敗果実の補償経費の一部を負担する。</p> <p>(事業費内訳)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">需用費</td> <td style="text-align: right;">30,000円</td> </tr> <tr> <td>通信運搬費</td> <td style="text-align: right;">67,200円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">計</td> <td style="text-align: right;">97,200円</td> </tr> </table>	需用費	30,000円	通信運搬費	67,200円	計	97,200円	浦河町での産業祭に際して、河浦町から柑橘類を発送、現地で販売をしてもらった。 柑橘発送240箱
需用費	30,000円											
通信運搬費	67,200円											
計	97,200円											
		えびす特産品交流事業	16	一般財源 16	<p>倉岳町と球磨郡多良木町はえびす像がきっかけで交流を行っており、農林水産物や特産品の紹介、互いの祭を通じて物産の販売を行っている。</p> <p>(事業費内訳)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">旅費</td> <td style="text-align: right;">16,425円</td> </tr> </table>	旅費	16,425円	多良木町の産業祭において、(株)くらたけと共に特産品のシモン製品の販売を行い、販路の拡大に努めている。				
旅費	16,425円											
		農業女性大学補助金	150	一般財源 150	<p>農業女性の知識の向上、男女共同参画の推進を図る目的で、JA本渡五和が実施する農業女性大学の開催費用の一部を助成する。</p> <p>(事業費内訳)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">補助金</td> <td style="text-align: right;">150,000円</td> </tr> </table>	補助金	150,000円	農業女性大学は、本渡五和管内の農業女性42名の学生を迎え、年間5回の学習を実施した。				
補助金	150,000円											
		農業後継者育成補助金	600	一般財源 600	<p>市内の青年農業者組織(4Hクラブ)の育成・指導を行い、農業後継者の社会参画の推進と活動の支援を行う。</p> <p>(事業費内訳)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">補助金</td> <td style="text-align: right;">600,000円</td> </tr> </table>	補助金	600,000円	<p>合併前に各市町にあった組織を一本化し、天草市青年農業者クラブとし活動を開始した。</p> <p>会員数 29名</p> <p>主な活動実績 新規就農者激励会、異業種交流会 市民農園奉仕作業、天草マラソン大会出展 県青年農業者会議プロジェクト発表 総合優勝</p>				
補助金	600,000円											

(5) 農林水産業費

(1) 農業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
134 ┆ 137	3 農業振興費	地域活性化グループ育成補助金	1,000	一般財源 1,000	市内の農漁村の女性活動グループの育成・指導を行い、男女共同参画の推進や加工・直売等を通じた地域づくりを支援する。 (事業費内訳) 補助金 1,000,000円	天草市発足に伴い、組織の一本化を図り、天草市地域活性化グループ協議会として活動を開始した。市の行事にも積極的に参加・出展している。 会員数 35グループ 193名 加工活動グループ 26グループ 直売所開設運営グループ 4グループ
		有機農業生産組織育成補助金	80	一般財源 80	有機農法、特にステビア農法に取り組む栖本有機農法研究会の活動を支援し、環境保全型農業の推進を図る。 (事業費内訳) 補助金 80,000円	栖本有機農法研究会は、全品目にステビア資材を活用して、生産・出荷を行い、高付加価値販売に努めている。 会員農家数 9戸 主な品目 米、オクラ、たまねぎ、レタス、キャベツ、ほうれん草
		認定農業者協議会補助金	1,000	一般財源 1,000	市内の認定農業者組織の育成・指導を行い、農業経営改善計画の達成に向けた支援と、会員の資質向上の支援を行う。 (事業費内訳) 補助金 1,000,000円	天草市発足に伴い、各市町の組織を一本化し、天草市認定農家の会として活動を開始した。 会員数 10支部 475人(19年3月末) 新規認定者 15人 再認定者 70人
		天草農業活性化協議会負担金	1,208	一般財源 1,208	天草地域の農業の振興及び活性化を図るため、県、市、団体が連携・協力して各種施策に取り組む。 (事業費内訳) 負担金 1,208,000円	①意欲ある担い手の育成・確保、②高度な技術による個性ある産地育成、③地域の合意形成等による農業の活性化、④環境に調和した農業の推進に取り組んだ。 あまくさ晩柑フェアの開催 新規就農者数10人 全国茶品評会釜炒り部門農林水産大臣賞及び産地賞受賞

(5) 農林水産業費

(1) 農業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果																						
134 ┆ 137	3 農業振興費	あまくさ元気まるかじり推 進委員会負担金	1,616	一般財源 1,616	天草地域の第1次産業及び観光に携わる組織や団 体が連携し、農林水産物と観光資源等を結びつけて 経済活性化と天草の元気づくりを推進する。 (事業費内訳) 負担金 1,616,000円	関係機関の連携により、下記の事業を実施した。 九州の宝島～天草フェアーの開催(福岡) 天草の旬の食材等産地見学会 アンテナショップの開設 旬の創作料理開発 体験テーマ型ツアーの開催 天草の宝探し写真コンテスト																						
		経営体育成促進事業 〔楠浦・方原〕	1,934	県支出金 967 一般財源 967	<p>【経営体育成促進事業】 圃場整備事業の実施を契機として、担い手への農 地集積を促進するとともに、将来の農業生産を担う 効率的かつ安定的な経営体を育成する</p> <p>(事業費内訳)</p> <table> <tr><td>謝礼</td><td>100,000円</td></tr> <tr><td>研修費</td><td>198,800円</td></tr> <tr><td>消耗品費</td><td>718,036円</td></tr> <tr><td>燃料費</td><td>80,000円</td></tr> <tr><td>通信運搬費</td><td>73,164円</td></tr> <tr><td>複写機使用料</td><td>132,600円</td></tr> <tr><td>車借上料</td><td>97,400円</td></tr> <tr><td>計</td><td>1,400,000円</td></tr> </table> <p>【単県担い手農地集積促進事業・楠浦】 楠浦地区単県担い手育成型基盤整備事業の農家 借入金利子の1/6の額を県・市で1/2ずつ補助 (事業費内訳)</p> <table> <tr><td>県補助分</td><td>267,000円</td></tr> <tr><td>市補助分</td><td>267,000円</td></tr> <tr><td>計</td><td>534,000円</td></tr> </table>	謝礼	100,000円	研修費	198,800円	消耗品費	718,036円	燃料費	80,000円	通信運搬費	73,164円	複写機使用料	132,600円	車借上料	97,400円	計	1,400,000円	県補助分	267,000円	市補助分	267,000円	計	534,000円	<p>担い手への農用地の利用集積を推進を図った。 法人化へ向けての農業生産組織の育成を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・営農検討委員会 延べ4回 ・視察研修1回(久留米市、朝倉市) <p>基盤整備事業に取り組む際の農家の負担軽減が図 られた。</p>
謝礼	100,000円																											
研修費	198,800円																											
消耗品費	718,036円																											
燃料費	80,000円																											
通信運搬費	73,164円																											
複写機使用料	132,600円																											
車借上料	97,400円																											
計	1,400,000円																											
県補助分	267,000円																											
市補助分	267,000円																											
計	534,000円																											

(5) 農林水産業費

(1) 農業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
134 ┆ 137	3 農業振興費	農業用廃プラスチック類 処理対策負担金	623	一般財源 623	<p>【交付金事業】 処理費用の1/3以内を農業用廃プラスチック類処理対策協議会へ交付</p> <p>農家：1/3、2JA+たばこ耕作組合：1/3、市：1/3</p> <p>(事業費内訳) 市負担金 623,096円</p>	<p>農家の農業用廃プラスチック類の処理に要する経費を軽減する事が出来た。</p> <p>・処理量実績 JA本渡五和 45,960kg JAあまくさ 64,318kg</p> <p>・処理費用実績 JA本渡五和 765,241円 JAあまくさ 1,104,047円</p>
		農業機械施設整備補助金	150	一般財源 150	<p>農業生産者の高齢化、兼業化が進む中で、基幹農作業等を受託する「農作業受託組合等」は、現在の地域営農に必要不可欠な担い手であり、今後育成をしていく必要があることから、これら組合等が整備する農業施設機械の購入等経費について補助金を交付するもの。</p> <p>(事業主体) 諏訪地区機械利用組合(新和町)</p> <p>(事業費) 307,815円</p> <p>(事業量) 乾燥機1台のリース</p> <p>(補助額) リース料の1/2 150,000円</p>	<p>受益地区内における営農活動を効率的に実施することができた。また、今後集落営農を推進していく中で、事業主体を集落営農の核として育成することができた。</p> <p>乾燥機1台</p>
		天草空港周辺遊休農地解消事業	789	一般財源 789	<p>天草空港から市街地に向けての沿線に、ひまわり・菜の花等を作付けし、遊休農地の解消と景観の向上を図る。</p> <p>(事業費内訳) 委託料 700,000円 使用料及び賃借料 88,710円 計 788,710円</p>	<p>ひわまり・菜の花を作付けし、帰島者へのイメージアップを図り、遊休農地の解消に努めた。</p> <p>植栽面積：1ha</p>

(5) 農林水産業費

(1) 農業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
134 ↳ 137	3 農業振興費	ひまわり栽培委託事業	450	一般財源 450	「河童ロマン館」付近の農地を借り上げ、ひまわりを作付けし、景観向上を図る。 (事業費内訳) 委託料 405,000円 使用料及び賃借料 45,000円 計 450,000円	ひまわりを作付けし、冬場の水田の有効利用と国道沿いの景観向上を図った。 植栽面積：1.3ha
		市単独経営体育成促進事業 (有明・下津浦)	287	一般財源 287	担い手の育成等の将来方向性を明確にした「地域水田農業ビジョン」を実践するため、生産基盤の整備（下津浦地区の圃場整備）後のソフト事業の一環で圃場整備地区内の将来の営農形態を検討する営農検討委員会及び先進地視察研修に要する経費 (事業費内訳) 費用弁償 127,800円 研修旅費 14,200円 車借上料 144,690円 計 286,690円	安定的な農業生産を行うために、土地利用調整や労働力調整など集落機能を有する営農組合の育成とその運営強化を図ることができた。 ・営農検討委員会会議 3回 ・営農検討委員会視察研修 1回
		営農指導推進協議会補助金	497	一般財源 497	天草市管内2JAが管内農業の振興・活性化を関係機関と一体となって図ることを目的とし、市農業振興課、JA、天草地域振興局普及指導課が構成員となり設立された営農指導推進協議会の運営費・活動経費に対し補助金を交付するもの。 (事業主体) JA本渡五和営農指導推進協議会 250,000円 JAあまくさ営農推進協議会 247,000円	天草市管内における農業振興について、関係機関一体となった体制を築いたことにより、統一した方針のもとで営農指導や営農推進を実施することができた。 ・全体会議の開催 ・各専門部会の開催 ・研修会の開催

(5) 農林水産業費

(1) 農業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
134 ┆ 137	3 農業振興費	農業生産組織育成補助金	6,000	一般財源 6,000	天草市管内2JAの各生産部会の育成を目的とし、各生産部会の運営費・活動経費に対し補助金を交付するもの。 (事業主体) JA本渡五和 2,000,000円 JAあまくさ 4,000,000円	各生産部会員が取り組む高品質生産、安定した供給、安心・安全な農産物の提供に資する研修会や栽培検討会等の活動を実施することができた。 ・栽培講習会の開催 ・研修会の開催
		米づくり体験事業	650	県支出金 500 一般財源 150	米づくり体験に要する経費(苗、肥料、農機具使用、)等に対し補助をして農業についての理解と関心を深める。 1団体50千円以内	小学校12校、中学校1校 50千円×13校
		水田営農組織化整備緊急支援事業	5,530	県支出金 4,584 その他 3,931 一般財源 946	土地利用型農業に取り組む集団営農組織が導入する機械に対して補助することで経営力のあるモデル組織を育成する。 補助率 県50%以内 市10%	総事業費 9,461,235円 一町田下生産組合(河浦) 5条刈りコンバイン 1台
		地域特産物産地づくり支援対策事業	3,125	県支出金 1,126 地方債 1,900 一般財源 99	【地域特産物産地づくり支援対策事業】 補助率1/3以内(機械整備事業)1/2以内(推進事業) ・特産物(シモン芋)のブランド化を確立するための機械整備事業と推進事業 (事業費内訳) 備品購入費 2,997,750円 粉砕機DD-2-5.5(小型)1台 補助金 127,000円 (俵くらたけが行う販路拡大(チラシ)、消費宣伝活動(イベント参加)事業への県補助 3,124,750円 平成19年度へ繰越 16,000,000円 特産物処理加工施設廃水処理工事	・推進事業では、販路拡大用チラシ作成、販促イベント参加等の消費宣伝活動により、シモン商品の知名度向上と販売促進が図られた。 ・機械整備事業では、現在ある大型の粉砕機1台では少量の加工をした場合、製品ロスが発生していたが、今回の少量加工に適した移動式粉砕機1台の導入により、経営の安定と改善ができた。

(5) 農林水産業費

(1) 農業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
134 5 137	3 農業振興費	野菜価格安定事業	309	一般財源 309	【野菜価格安定事業】 補助率→(500円-月販売平均価格)×50%以内 ・振興作物である「オクラ」の販売価格に対する補給金事業 (事業費内訳) 補助金 308,909円 JA本渡五和が行う価格補償で、補給金の50%を市、25%を農協、25%を生産者が拠出	・高齢者が取り組みやすい野菜「オクラ」の価格補給金事業により、栽培面積拡大の推進と生産者の所得向上に役立てた。また、今後農業者が高齢化する中で、この事業は農業維持の面からも有効な事業である。
		野菜花き振興対策事業	701	一般財源 701	【野菜花き振興対策事業】 補助率30%以内 ・野菜花き振興を目的に行う新規作物導入事業と環境保全型農業推進事業 (事業費内訳) 補助金 701,000円 JA、生産組織、個人が行う野菜の種苗代(タマネギ)や資材代(防虫ネット、フェロモン剤、天敵昆虫)経費の30%助成	・天草地域の気候を生かしたタマネギ栽培事業(29ha分種苗代)を推進することで、農地集約と特産化が期待できる。 ・イチゴ用防虫ネット(35a)、レタス用フェロモン剤(240a)、イチゴ用天敵昆虫(150a)等環境に配慮した農法に助成することで、病虫害被害を減少させ、安心・安全な野菜の安定生産ができた。
		振興作物販路開拓事業	161	一般財源 161	【振興作物「天草緑竹」販路開拓事業】 ・夏場に収穫できる台湾原産の緑竹を、特産品「天草緑竹」として確立するためのブランド化推進事業 (事業費内訳) 旅費(試食会、店舗販売) 120,180円 需用費(ポスター、チラシ作成) 40,950円	・素材として有望な「緑竹」が、天草緑竹生産組合の設立と、緑竹栽培面積の拡大が図られ生産見込みがたった。商品の試食会、店頭での販売促進でPRを行い、平成19年度の本格的な販売に向けての準備ができた。 ・将来的には遊休農地の解消にも期待される。
		野菜花き施設整備事業	3,061	一般財源 3,061	【野菜花き施設整備事業】 補助率30%以内 ・園芸農家の収量確保による経営安定と高品質生産を推進するため、必要なハウス等施設の導入支援事業 (事業費内訳) 補助金 3,061,000円 ハウス設置事業(5件3,726㎡)インゲン、カスミ草等	・国県補助事業でできない農家のハウス5棟(37a)等施設整備事業に助成することで、野菜・花き生産者の収穫量のアップ等ができて経営改善ができた。

(5) 農林水産業費

(1) 農業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
134 3 137	農業振興費	果樹園芸単県補助事業	14,820	県支出金 9,526 一般財源 5,294	<p>【園芸産地“かつ”りよく強化対策事業(野菜・花き)】</p> <p>補助率48%以内(県1/3、市15%)</p> <p>・魅力ある園芸産地作りを推進する為、組合等が取り組む機械・施設整備に対する助成事業(事業費内訳)</p> <p>・補助金<野菜関係> 11,722,000円 レタス包装機、イチゴ育苗ハウス、循環扇等整備事業</p> <p>・補助金<花き関係> 1,655,000円 育苗予冷库、循環扇、換気シャッター等整備事業</p> <p>・補助金<過年度H17分> 868,000円 イチゴ高設ベンチ育苗施設(パイプハウス、排水資材)</p> <p>【くまもと農業の元気づくり活動支援補助金】</p> <p>補助率50%以内(県補助のみ)</p> <p>・農業者や地域の知恵、発想を活かした取り組みを推進するための地域実験支援事業(事業費内訳)</p> <p>補助金 575,000円 タマネギ苗代、販売促進、加工品開発等事業</p>	<p>・機械整備事業のレタス包装機9台では、包装能力のアップで労働時間の削減ができ、生産規模拡大と計画的出荷が可能となり、また、葉散ロボット(1台)では、作業効率が改善でき、散布回数の削減で省力化できた。</p> <p>・施設整備事業の野菜のイチゴでは、ハウス4棟、メタル整備で高設育苗することで各病原菌の発生を防ぎ、高品質での安定生産が可能となり、キュウリ等では、循環扇36台等を導入することで、暖房コストの低減と病気の発生を抑え減農薬栽培ができた。また、花きでは、育苗予冷库1棟(13㎡)の導入で、生産経費割合の高い育苗費を自家育苗により削減でき、そして循環扇等の整備により、ハウス内の温度ムラの軽減ができ、低コスト栽培が確立できた。</p> <p>・栽培手間が少なく、高齢者が取り組みやすい早出しタマネギの産地拡大(50ha)とブランド化が図られた。</p> <p>・タマネギを使った加工品を加工グループ等の協力を得て開発し、商品化に活かすと共に、規格外品の有効活用も図れ農家所得の向上に繋がる。</p>
		農業生産総合対策事業	3,453	県支出金 2,878 一般財源 575	<p>【農業生産総合対策事業(省エネルギー施設)】</p> <p>補助率60%以内(国50%、市10%)</p> <p>・原油価格高騰により施設燃料費が値上がりし、生産コストが増加したため、緊急対策として行う省エネルギー施設整備事業(事業費内訳)</p> <p>補助金 3,453,000円 循環扇68台、制御盤5台、2重(3重)カーテン</p>	<p>・施設野菜キュウリ等の施設燃料重油の高騰により生産コストが増加し経営を圧迫したが、循環扇68台、2重(3重)カーテン等の省エネルギー施設導入によりコストを5%以上削減できた。また、施設内の湿度低下、作物につく水滴の減少等により病害虫の発生も抑制できた。</p>

(5) 農林水産業費

(1) 農業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
137 ＼ 138	4 中山間地 活性化費	中山間地域等直接支払推進 事業	164,126	県支出金 121,653 一般財源 42,473	(事業費内訳) 共済費 141,418円 賃金 997,496円 旅費 45,261円 需用費 1,779,188円 役務費 190,000円 委託料 695,100円 使用料及び賃借料 303,504円 負担金補助及び交付金 159,973,537円 計 164,125,504円	一定勾配以上の農地について、集落協定に基づき耕作の維持、共同作業を実施する集落に交付金を交付することで、耕作放棄の防止、農道、水路の維持管理が図られた。なお、H17年度からH21年度までの5年間の計画で第2期制度が始まり、多面的機能の維持・増進を一層図るため、自律的かつ継続的な農業生産活動等の体制整備を推進していく。 H18年度協定数 230協定 協定面積 1,706 h a 交付金額 159,974千円
		特定農山村地域市町村活動 支援事業	5,142	その他 5,142	国、県、市町村がそれぞれ1/3ずつ負担して基金を造成し、5年間で事業を実施。 (事業費内訳) 旅費 340,981円 需用費 1,733,769円 役務費 20,000円 委託料 2,697,250円 使用料及び賃借料 350,000円 計 5,142,000円	・新規作物の定着化 栽培実証展示、視察・栽培技術研修等を実施。 マンゴー栽培面積0.16ha ・多様な担い手の育成 女性農業者リーダー研修、認定農業者研修を実施。 担い手農家数147戸 ・地域間交流の促進 グリーンツーリズムモニターツアーの実施。 交流来客者数27.8万人 ・環境、景観維持保全 コスモス等の作付けを実施。 維持保全面積1.12ha
138 ＼ 139	5 畜産振興費	家畜導入事業資金供給事業	5,428	県支出金 5,428	産肉能力に優れた系統の優良雌牛の導入により、子牛価格の高値安定と規模拡大を図る。 1頭あたり92千円 市を經由して農協へ	92千円×59頭

(5) 農林水産業費

(1) 農業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
138 ┆ 139	5 畜産振興費	家畜導入事業補助金	7,350	一般財源 7,350	優秀な血統の繁殖雌牛を導入した農家に上乗せ補助をして更なる導入意識の向上を図る。 1頭あたり50千円 農協を経由して農家へ	50千円×147頭
		特別導入型家畜導入事業	(5,350)	(基金取崩)	60歳以上の高齢農家に市が導入する優良雌牛を貸し付けることで経営安定と畜産振興を図る。 基金を取り崩して無利子で5年間貸付 1頭あたりの限度額450千円	取崩額 5,349,900円 導入頭数 12頭
		特別導入型家畜導入事業補助金	360	一般財源 360	優秀な血統の繁殖雌牛を導入した農家に上乗せ補助をして更なる導入意識の向上を図る。 1頭あたり30千円 農協を経由して農家へ	30千円×12頭
139 ┆ 140	6 果樹振興費	果樹共済加入促進事業	11,312	一般財源 11,312	【果樹共済掛金補助金】 補助率30%以内 ・果樹農家が、自然災害(病虫害、獣害、気象災害)にあった時の経営安定を図ることを目的に行う果樹共済加入促進事業 (事業費内訳) 補助金 11,312,000円 柑橘、栗生産農家が加入する果樹共済の掛け金の30%を助成する事業(補助交付447戸)	・近年は予測を上回る気象災害等が発生しており、共済加入は必要不可欠である。果樹共済加入を促進するため447戸の加入者に助成を行うことにより、農業経営の安定を図ることが出来た。

(5) 農林水産業費

(1) 農業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
139 5 140	6 果樹振興費	山村振興等農林漁業特別対策事業	31,790	県支出金 26,900 一般財源 4,890	【山村振興等農林漁業特別対策事業(リースハウス事業)】 補助率65%以内(国50%県5%市10%) ・山村等中山間地域の振興を図るための、国が定める元気な地域づくり交付金事業での農業経営改善安定機械施設(リースハウス)整備事業 (事業費内訳) 補助金 31,790,000円 J Aが取り組むリースハウス設置事業で、天草地域4棟2,539㎡と新和地域4棟3,731㎡を整備	・近年の農業情勢は厳しい状況で、国内産地間競争及び国際競争は激化する中において、地域基幹作物にハウス施設(8生産者、8棟、63a)を導入することで、高付加価値化され、商品力の向上した産品を安定的に消費地に供給することができ、農業所得の向上が図れた。
		農業生産総合対策事業	283,691	県支出金 239,216 地方債 43,500 一般財源 975	【農業生産総合対策事業(改植)】 補助率70%以内(国50%県10%市10%) ・果樹の不良系統の品種・高樹齢を優良系統品種に更新することで、果樹農家の経営安定と所得向上を図る改植事業 (事業費内訳) 補助金 6,510,000円 事業量 2.3ha 不知火、甘夏、清見から不知火、肥の豊へ 【農業生産総合対策事業(選果機・予措庫)】 補助率60%以内(国50%市10%以内) 産地競争力強化を目的に行われる総合的推進事業 (事業費内訳) 補助金 277,181,000円 ＜J A本渡五和＞選果機(一式)、予措庫(1棟)628.36㎡ ＜J Aあまくさ＞選果機(一式)	・優良系統品種への更新を2.3ha(14農家)する事で、産地化の維持及び果樹生産意欲向上を図ることができた。また、整備された樹園地の農家では、機械化・作業省力化による経営拡大等ができ、所得向上・経営安定、引いては後継者及び担い手の育成も図れる。
		果樹優良品種系統更新事業	989	一般財源 989	【果樹優良品種系統更新事業】補助率10a当り54千円 ・果樹の不良系統の品種・高樹齢を優良系統品種及び天草奨励品種に更新することで、果樹農家の経営安定と所得向上を図る改植事業(国、基金、県事業で対象外分) (事業費内訳) 補助金 989,000円 ボンカン、宮本等からあまくさ晩柑、M16等へ(16戸1.9ha)	・更新前の選果機は、両J Aとも平成10年度導入で、中晩柑特にデコポンの選果量が増加したため、選果ラインの段差等で、痛み果・腐敗果が発生していた。今回の傷みの少ない選果ラインの選果機(2台)導入と予措庫(1棟)により、秀品率がアップし品質の確保ができ、農家所得向上が図れる。
					・消費者のニーズが多様化する中、あまくさ晩柑等天草特産果樹に改植(16戸1.9ha)することで、個性的な果樹産地ができ有利販売が可能となり、農家の経営安定ができる。	

(5) 農林水産業費

(1) 農業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果			
139 5 140	6 果樹振興費	果樹園芸単県補助事業	12,073	県支出金	【園芸産地“かつ”りょく強化対策事業(果樹)】 補助率48%以内(県1/3、市15%) ・魅力ある園芸産地づくりを推進する為、生産組合等が取り組む機械・施設整備に対する助成事業(事業費内訳) 補助金 9,111,000円 防風ネット(644m)、スプリンクラー(75a)、簡易ハウス(25a)設置事業	・防風ネット(五和地域の立山デコボン団地)644mの設置により、ハウスの倒壊・生産量の減少・果樹品質の低下を防ぐことで、高品質果樹の安定生産等ができ、農家の経営安定を図れた。 ・スプリンクラーの整備(3名、75a)により、重労働の防除作業が軽減され、労働時間の短縮ができた。 又、軽労働化により高齢者等における栽培継続が可能となった。 ・デコボンの施設化(ハウス整備4名、25a)により、収量増加と高品質果樹生産ができ、魅力ある果樹産地づくりができた。			
				一般財源			8,621 3,452	【果樹産地構造改革支援事業】 ・園地基盤の整備や流動化を進め、個性的な果樹産地を構築し品目の多様化を図るための園地整備や新植、改植事業 補助率60%以内(県1/3～1/2以内、市10～15%以内)(事業費内訳) 補助金 2,062,000円 <畑地型> 深耕、土壌改良、苗木等(41a)肥の豊、肥のさやか <水田型> 客土、土壌改良、苗木等(48a)肥の豊、M-16	・依然として傾斜地果樹栽培が多く、省力化・低コスト化の面で改善があまり進まない状況であり、この事業で平坦地の水田3名(48a)及び畑地5名(41a)に果樹を導入することで、省力化ができ、経営規模拡大に繋がる。また、遊休農地の積極的活用ができた。
								【くまもと農業の元気づくり活動支援補助金】 補助率50%以内(県補助のみ) ・農業者や地域の知恵、発想を活かした取り組みを推進するための地域実験支援事業(事業費内訳) 補助金 900,000円 有機質土壌改良資材導入、パンフレット作成等事業	・柑橘において、今回生産者84名14haで減農薬、減化学肥料栽培に取り組むことで、品質・味・日持ちが良かったことと、循環型環境保全農業の確立に役立った。また、高付加価値販売に向けての基礎づくりができた。

(5) 農林水産業費

(1) 農業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
139 ↳ 140	6 果樹振興費	果樹施設整備事業	5,975	一般財源 5,975	<p>【果樹施設整備事業】 補助率30～50%以内</p> <p>・果樹生産基盤に係る施設整備事業(かんがい対策事業、園内作業道整備事業、気象災害等防止施設整備事業、栽培高度化施設整備事業)</p> <p>(事業費内訳)</p> <p>補助金(貯水槽用資材費)50%以内 9戸 1,580,000円</p> <p>補助金(作業道舗装原材料費)50%以内 8戸 1,024,000円</p> <p>補助金(作業道新設事業費)30%以内 1戸 250,000円</p> <p>補助金(防風ネット設置費)30%以内 168m 456,000円</p> <p>補助金(遮光ネット設置費)30%以内 幅6m×延長2,950m 1,092,000円</p> <p>補助金(循環扇設置費)30%以内 79台 1,573,000円</p>	<p>・園地は、依然傾斜地や水の確保が困難な場所が存在することや、生産が拡大したデコボンでは灌水施設が不可欠であり、貯水槽設置に助成することで、生産者9戸の水源確保と高品質果実生産ができた。</p> <p>・園地は、傾斜地が多く園内作業道の舗装等も未整備があり運搬作業等で支障があるが、生産者9戸の農作業の環境整備が整い、作業効率が改善できた。</p> <p>・防風ネット168m(本渡地域のハッ山デコボン団地)の設置により、ハウスの倒壊・生産量の減少・果樹品質の低下を防ぐことで、高品質果樹の安定生産等ができ、農家の経営安定を図れた。</p> <p>・1.8haのハウスへの遮光ネット設置の助成により、夏場の高温乾燥・日射量が多いことからおこる日焼け果と品質低下の防止ができ、安定生産が図れた。</p> <p>・循環扇の設置では、原油価格高騰による施設燃料(重油)が値上がりし経営を圧迫したが、事業(79台)によりハウス内の温度ムラを防ぎ、また、熱効率がよくなり生産コストを削減できた。</p>
140 ↳ 143	7 農地整備費	農業用施設維持管理事業	14,583	その他 1,126 一般財源 13,457	<p>用水管移設工事(倉岳) 3,979,500円 L=420m</p> <p>浦横断線舗装修繕工事 966,000円 A=360㎡(倉岳)</p> <p>広域農道舗装修繕工事 1,638,000円 A=452㎡(本渡)</p> <p>木原地区農道整備工事 7,999,917円 A=1,448㎡(天草)</p> <p>計 14,583,417円</p>	<p>県道の拡幅工事にあたり、道路敷きに埋設されている用水管が支障となったため、移設工事を実施した。</p> <p>老朽化した農道舗装の修繕を行うことにより、交通の安全を確保すると共に、農業用施設の適正な維持管理が図れた。</p> <p>ほ場整備事業地区内の旧市道の舗装工事であり、基盤整備と農道の整備により、農作業の効率化が図れた。</p>
		営農飲雑用水関連端末配管事業	16,970	地方債 16,920 一般財源 50	<p>事業費 16,969,777円</p> <p>工事費 16,528,777円</p> <p>委託料 441,000円</p> <p>平成18年度事業 施行延長 L=1,868m</p>	<p>五和町山浦地区の35戸(123人)に営農飲雑用水の給水が開始され、衛生面の改善が図れた。</p>

(5) 農林水産業費

(1) 農業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
140 5 143	7 農地整備費	農業施設整備原材料支給事業	17,669	一般財源 17,669	支給要件 受益面積 概ね 20a以上 受益戸数 2戸以上 支給額 50万円以下 18年度実績 73件 支給原材料費 16,841,942円 施設管理原材料費 826,990円	農業用施設の維持管理に必要な生コンクリート、用排水トラフ等の材料を支給することで、受益者の施設管理経費の削減ならびに施設の適正管理保全が図れた。 市管理農道等の維持管理を目的とした原材料であり、施設の適正な管理が図れた。
		土地改良事業補助金	13,499	一般財源 13,499	農業用施設等の維持管理ならびに、整備事業に対する補助金 補助要件 受益面積 概ね 20a以上 受益戸数 2戸以上 支給額 事業費の1/2かつ1,000千円以内 18年度実績 31件	補助事業で実施出来ない小規模の土地改良事業に対して、事業費の一部を補助することにより、農業用施設の適正な維持管理保全並びに、受益者の負担軽減が図れた。
		団体営農業生産基盤整備事業補助金	46,227	県支出金 38,087 一般財源 8,140	楠浦町方原地区 事業費 13,000,000円 うち市負担金 1,783,000円 平成15～18年度 整備面積 A=9.2ha 宮地岳町中岳地区 事業費 54,000,000円 うち市負担金 44,444,000円 平成17～20年度 整備面積 A=6.1ha 平成19年度へ繰越 9,680,000円	平成18年度に事業が完了し、整備地区内の9.2haの農地において、高生産性、高効率営農が可能となった。 ○受益戸数：38戸 平成17年度に換地設計、平成18年度に面整備を実施し、平成20年度事業完了に向け事業推進中である。 ○受益戸数：19戸

(5) 農林水産業費

(1) 農業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
140 5 143	7 農地整備費	県営農業農村整備事業負担金	262,542	地方債 162,530 その他 13,430 一般財源 86,582	県事業負担金 上島中央地区広域農道整備事業 S. 57～H. 21 L=18.5km 86,688,000円 水田農業支援緊急整備事業 H. 16～21 有明地区 13,900,000円 かんがい排水事業 H. 16～19 倉岳地区 H. 18～23 楠浦地区 13,781,250円 水と緑保全対策事業 H. 18 栖本地区 H. 17～19 楠浦地区 8,902,500円 ため池整備事業 H. 17～18 倉岳地区 H. 17～18 栖本地区 17,736,982円 中山間地域総合整備事業 H. 17～23羊角湾周辺2期地区 H. 14～20 苓北2期地区 50,863,000円 経営体育成基盤整備事業 H. 11～21 楠浦地区 2,250,000円 農地海岸保全事業 H. 2～18 栖本地区 H. 15～24 河浦地区 28,029,500円 畑地帯総合整備事業 H. 16～21 五和北地区 H. 18～23 五和南地区 22,969,647円 国営羊角湾地区土地改良事業 計 262,542,114円	県営事業により、農業生産基盤ならびに農業施設の整備を図り、農業の合理化・安定を図る。 ・広域農道の整備により、農業生産の近代化と農産物の流通の合理化が見込める。 ・農業生産基盤の整備により、支障となっている農地条件等を改善し、効率的な営農ならびに、農作業の合理化を図ることにより、農業経営の安定化が期待できる。 ・老朽化した溜池の改修により、堤体の安全と、農業用水の確保および利水の利便が図れる。 ・農地海岸護岸の整備により、背後地の農地が塩害・高潮等の被災防止効果が見込める。

(5) 農林水産業費

(1) 農業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
140 5 143	7 農地整備費	県営事業換地業務	17,673	県支出金 17,673	水田農業支援緊急整備事業 換地設計業務委託料 1,039,500円 換地委員報償費 332,151円 畑地総合整備事業 換地設計業務委託料 3,276,000円 換地委員報償費 608,158円 経営体育成基盤整備事業 換地設計業務委託料 4,252,500円 換地委員報償費 327,248円 中山間地域総合整備事業 羊角湾周辺2期地区 換地設計業務委託料 3,307,500円 " (前年度繰越分) (2,600,000円) 換地委員報償費 713,586円 苓北2期地区 換地設計業務委託料 1,166,695円 換地委員報償費 49,600円 換地設計委託料 計 13,042,195円 " (前年度繰越分) (2,600,000円) 換地委員報償費 計 2,030,743円 計 17,672,938円	本業務は、県営ほ場整備等に係る換地設計業務委託であるが、換地業務に関しては、県より委託を受け市が事業主体となり、実施することとなっている。 なお、換地業務に携わる換地委員の報償費についても、県委託金より支出している。

(5) 農林水産業費

(1) 農業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
143 ┆ 144	8 農業施設管理費	農業施設維持管理事業	32,775	その他 5,348 一般財源 27,427	研修交流施設・農畜産物生産加工施設・農山漁村広 場・農業公園・指定管理者制度施設等 (計26施設) 賃金 262,200円 報償費 110,000円 需用費 6,908,280円 役務費 1,911,818円 委託料 8,592,715円 使用料 309,000円 計 18,094,013円 排水機場・かんがい用水施設等(計9施設) 賃金 211,575円 需用費 8,232,519円 役務費 246,961円 委託料 5,953,333円 計 14,644,388円 事務経費 36,710円	研修交流施設等の適正な維持管理を行うことによ り、住民サービスの向上が図られた。 排水機場(本渡・有明・新和・河浦地区)の適正 な運転・管理により、冠水被害の防止が図られた。 また、かんがい用水施設(倉岳)等についても、機 能保全を図ることにより、農業振興に寄与するこ とができた。
		土地改良施設維持管理適正 化事業	1,848	一般財源 1,848	土地改良事業維持管理適正化事業 負担金 1,848,000円 小島排水機場改修 下津浦大坪地区転倒堰改修	施設の点検改修には、多大な事業費が必要となる ため、事業実施に向けて、計画的に事業費を積立て るものである。 (平成19年度事業に向けての積立を実施した。)

(5) 農林水産業費

(2) 林業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
145 5 147	2 林業振興費	台風被害木伐倒整理事業	1,541	一般財源 1,541	(事業内容) ・被害木伐倒整理 交付対象面積 1.43ha 天草町 0.5ha 河浦町 0.93ha 負担金補助及び交付金 1,541,000円	本事業により平成16年台風16号、18号及び23号により被害を受けた人工林被害地を早期に復旧する事が出来、二次災害の防止及び山地災害防止等の公益的機能の回復を図ることができた。
		森林整備地域活動支援交付金事業	87,629	県支出金 65,721 一般財源 21,908	(事業内容) ・森林施業に不可欠な現況調査 ・施業実施区域の明確化 ・作業歩道の整備 交付対象面積 8,762.86ha 森林組合分 7,433.45ha 林業公社分 1,329.41ha (事業費内訳) 負担金補助及び交付金 87,628,600円 (補助率) 国1/2・県1/4	森林所有者等が行う森林施業実施に不可欠な森林の現況調査・歩道の整備等々の森林整備活動を支援した結果、計画的かつ一体的な森林施業が実施でき、森林の荒廃防止を図ることができた。
		流域公益保全林整備事業	38,279	一般財源 38,279	(事業内容) 再造林 0.55ha 下刈 14.49ha 間伐(切捨) 316.86ha 間伐(搬出) 477.41ha 集材路：35路線 14,732m (事業費内訳) 負担金補助及び交付金 38,279,000円	民有林において植栽・下刈り・徐伐・間伐等の造林事業を行う事により、森林資源造成・保全、水源のかん養等々が適切に管理することができ、森林が本来有する機能を高度に発揮することが図れた。
		緑の少年団育成事業補助金	500	一般財源 500	10団体(金焼・志柿・下浦・本町内の原、御所浦、新和、五和、大河内、福連木) 1団体あたり50,000円補助 (事業費内訳) 負担金補助及び交付金 500,000円	緑の街頭募金、地域の福祉事業や森の交流集会等に参加することにより、自然の大切さを学びながら身近で親しみのもてる森林をとりまく自然環境等への関心が高まり、森林に関する認識や理解を深めることでみどりの少年団の育成ができた。

(5) 農林水産業費

(2) 林業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
145 ┆ 147	2 林業振興費	熊本のもり間伐材利用推進事業	7,613	県支出金 3,806 一般財源 3,807	間伐実施面積 210ha 材積 1,655m ³ (事業費内訳) 負担金補助及び交付金 7,613,000円	木材価格の長期低迷等から、森林管理上不可欠な間伐の手遅れ林分が増加しており、本事業により間伐を必要とする森林の間伐を推進し、間伐材生産流通経費の一部を助成することで森林の適正管理及び素材の安定供給が図れた。
		有害鳥獣捕獲対策事業	20,434	県支出金 434 その他 1,159 一般財源 18,841	イノシシ捕獲頭数 2,442頭 カラス捕獲数 1,773羽 需用費 ぐくり罫部品等購入 電気柵設置申請件数 220件 (事業費内訳) 報償費 13,422,000円 需用費 407,353円 電気柵設置等補助金 6,605,000円 計 20,434,353円	多発するイノシシ等の被害対策として、天草市有害鳥獣捕獲対策協議会を中心とした捕獲事業及び防除対策事業（電気柵等設置）への助成を行うことにより、イノシシ2,442頭及びカラス1,773羽もの捕獲成果があり、住民生活の安全が守られるとともに、農作物被害から農家を保護し、農林業生産意欲の向上が図られた。
		林業施設維持管理事業	6,714	県支出金 2,410 一般財源 4,304	福連木子守唄公園・指定管理者制度施設・森林公園・簡易給水施設（計11施設） 賃金 775,192円 旅費 53,320円 需用費 1,205,692円 役務費 864,865円 委託料 3,440,000円 使用料及び賃借料 374,777円 計 6,713,846円	福連木子守唄公園等林業施設の適正な維持管理を行うことにより、住民サービスの向上が図られた。
147 ┆ 148	3 治山費	治山維持管理事業	292	一般財源 292	治山施設（山留工等）の維持管理（崩土除去等） (事業費内訳) 賃金 68,200円 原材料費 223,395円 計 291,595円	山留工の崩土除去等を実施することで、山腹崩壊の危険度が高い地域の山地災害が未然に防止できた。

(5) 農林水産業費

(2) 林業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
147 ↳ 148	3 治山費	単県治山事業	8,168	県支出金 3,854 地方債 1,670 その他 2,169 一般財源 475	倉岳地域（大権寺地区） 補助率 1/2 土留工 A=22.6㎡ 法面保護工 A=10.9㎡ 排水路工 L=19.0m 工事費 1,409,754円 天草地域（新田地区） 補助率 1/2 土留工 A=62.0㎡ 法面保護工 A=46.5㎡ 水路工 L=35.0m 工事費 3,301,336円 河浦地域（九浦地区） 補助率 1/2 法面保護工 A=232.8㎡ 工事費 1,911,000円 （都原地区） 補助率 1/2 法面保護工 A=262.0㎡ 工事費 1,354,500円 （事業費内訳） 需用費 57,300円 使用料及び賃借料 133,735円 工事請負費 7,976,590円 計 8,167,625円	本事業により、山腹崩壊危険区域に指定されている箇所 の予防治山工事を実施することにより、地域住民の災害 に対する不安の解消と自然災害を未然に防止することが できた。
148 ↳ 149	4 林道費	赤城山線林道整備事業	9,800	県支出金 4,246 地方債 5,500 一般財源 54	赤城山線林道整備事業 アスファルト舗装工 L=658m （事業費内訳） 給料等 235,000円 旅費 8,800円 需用費 13,440円 使用料及び賃借料 134,610円 工事請負費 9,408,150円 計 9,800,000円	本事業において林道を整備することで、森林へのアクセス を容易にし、森林施業の効率化と森林環境の整備が促進 できた。また、これらの林道を他の市道等と一体的に整 備することで、地域住民の生活道路として利用することが 可能となった。

(5) 農林水産業費

(2) 林業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
148 5 149	4 林道費	今田地区普通林道開設事業	36,355	県支出金 21,060 地方債 11,100 一般財源 4,195	今田地区普通林道開設事業 厚層基材吹付工 A=950.3㎡ 補強土壁工 A=175.8㎡ (事業費内訳) 人件費 53,954円 旅費 13,200円 需用費 6,846円 使用料及び賃借料 508,844円 工事請負費 18,726,000円 計 19,308,844円 <前年度繰越分> 委託料 7,046,000円 合計 26,354,844円 19年度へ繰越 10,000,000円	本事業において林道を開設することで、森林整備を促進し間伐等の森林施業の効率化が図られた。
		フォレストコミュニティ総合整備事業	19,250	県支出金 12,155 地方債 6,540 一般財源 555	フォレストコミュニティ総合整備事業 改良 L=602m (事業費内訳) 給料等 629,000円 旅費 30,600円 需用費 13,761円 役務費 10,000円 使用料及び賃借料 513,000円 工事請負費 18,054,000円 計 19,250,361円 19年度へ繰越 16,500,000円	本事業により市道を改良することで山村地域の生活環境基盤、林道等の生産基盤の整備を行うことができ、林業従事者の定住の促進及び山村地域の活性化が図られた。
		林道整備原材料支給等事業	2,679	一般財源 2,679	本渡地域4箇所・新和町1箇所・天草町3箇所・五和町1箇所(計9箇所) (事業費内訳) 原材料費 2,679,466円	林道・作業道で整備改良工事を行う方に対して原材料等支給を行い、荒廃した路面を改修することにより、森林管理道路としての効用の向上を図り、森林所有者の管理意欲及び生産力増強を図り、森林管理に対する意欲減退の防止に努められた。

(5) 農林水産業費

(3) 水産業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
149 ↳ 151	2 水産業振興費	久玉地区沿岸漁場整備開発 (並型魚礁設置)事業	12,000	県支出金 10,000 地方債 1,990 一般財源 10	【沿岸漁場整備開発事業(並型魚礁)】 (間接補助) 補助率 国：30/60、県：20/60 (事業費内訳) 工事請負費 28,140,000円 並型魚礁製作・沈設 FP3.25型 67基 事務費(人件費含) 1,860,000円 計 30,000,000円 平成19年度へ繰越 18,000,000円	並型魚礁の設置により、魚類の蝟集効果を強め、久玉地区の一本釣りをはじめとする漁獲量の増産を図り、水産業振興に貢献した。 漁獲増産目標値 5,055kg
		下田地区沿岸漁場整備開発 (並型魚礁設置)事業	27,930	県支出金 23,275 地方債 4,650 一般財源 5	【沿岸漁場整備開発事業(並型魚礁)】 (間接補助) 補助率 国：30/60、県：20/60 (事業費内訳) 工事請負費 26,259,641円 並型魚礁製作・沈設 TR25S-N021 5基 事務費(人件費含) 1,670,359円 計 27,930,000円	並型魚礁の設置により、魚類の蝟集効果を強め、下田地区の一本釣りをはじめとする漁獲量の増産を図り、水産業振興に貢献した。 漁獲増産目標値 2,794kg
		五和地域漁業経営構造改善 事業(強い水産業づくり交 付金)	8,448	県支出金 5,913 一般財源 2,535	【強い水産業づくり交付金事業】 (間接補助) 補助率 国：50%、県：20% (事業費内訳) 工事請負費 8,085,000円 自然石(200kg内外)投入 2,100m ³ 開発面積 1ha 工事雑費 363,000円 計 8,448,000円	五和町二江地先に海藻の定着基質となる自然石を投入し、特産物である「トサカノリ」の漁場を拡大し、生産量の増大を図り、水産業振興に貢献した。 漁獲増産目標値 1,176kg
		木材魚礁設置事業	2,216	一般財源 2,216	【単独事業】 (事業費内訳) 効果調査委託費 241,500円 工事請負費 1,974,000円 木材魚礁製作・沈設 1.5m型 37基 計 2,215,500円	志柿町地先に木材魚礁を投入し、魚類の蝟集及び、海藻等の繁茂を図り、漁獲の増大及び稚魚育成に寄与した。また、木材魚礁の効果を確認するため、前年度投入魚礁の調査を実施し、効用の確認を行った。
		漁業経営合理化資金利子補 給補助金	272	県支出金 169 一般財源 103	【利子補給事業】 補助率：資金利子の1.5%分 利子補給額 271,948円	漁業協同組合等が事業拡大を図る漁業者に貸し付ける資金に対し、利子補給を行うことにより、漁業の効率化及び近代化を図った。 利子補給対象件数 1件

(5) 農林水産業費

(3) 水産業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
149 5 151	2 水産業振興費	台風対策漁業近代化資金利 子補給補助金	8	県支出金 6 一般財源 2	【利子補給事業】 補助率 5/10 利子補給額 8,400円	平成16年度台風による被害漁業者に対する運営資 金の融通の円滑化を図るため利子補給を行い、漁家 経営の再建及び安定化を図った。 利子補給対象件数 1件
		天災融資資金利子補給補助 金	43	県支出金 32 一般財源 11	【利子補給事業】 補助率貸付金×0.9375% 利子補給額 43,334円	平成11年台風18号による被害漁業者に対する運営 資金の融通の円滑化を図るため利子補給を行い、漁 家経営の再建及び安定化を図った。 利子補給対象件数 1件
		漁場環境保全対策補助金	924	一般財源 924	【単独補助事業】 (事業費内訳) 補助率 1/2 有害生物駆除事業 600,000円 底質改善事業 94,000円 水質浄化事業 230,000円 計 924,000円	平成18年度においては、赤潮の発生が少なく、赤 潮対策事業は実施されなかったが、下記事業を実施 し、漁場の環境保全に努めた。 有害生物駆除：ラップウニ駆除(天草漁協五和支所) 底質改善事業：カルサンマリン散布(嵐口漁協) 水質浄化事業：マコンブ育成(天草漁協御所浦支所)
		漁業近代化資金利子補給補 助金	711	一般財源 711	【単独利子補給事業】 補助率：平均融資残高の1%以内 利子補給額 711,329円	漁業経営の早期再建に資するため、漁業近代化資 金を借り入れた漁業者に対し利子補給を行うことに より、漁業者の負担軽減を行った。 利子補給対象件数 12件
		水産業廃棄物処理補助金	445	一般財源 445	【単独補助事業】 補助率 1/3 天草漁協天草支所 300,000円 天草漁協崎津支所 145,000円 計 445,000円	漁協が行う漁港・漁場の清掃活動に対し、廃棄物 処理費用の助成を行い、漁港・漁場環境美化に貢献 した。 廃棄物処理量：114m ³
		漁場調査委託料	1,089	一般財源 1,089	【単独事業】 (事業費内訳) 御所浦地区漁場調査委託(鹿児島大学) 800,000円 有明地区漁場調査業務委託 288,750円 計 1,088,750円	御所浦地区において、鹿児島大学に養殖場の環境 調査を依頼し、養殖場底泥の全硫化物濃度等、海水 においては、溶存酸素濃度、水温、透明度等につ いて調査し、漁場の水質、底質の状況報告を漁業者 に報告し、漁場の適正利用の啓蒙を行うことがで きた。また、有明地区においては、過去に投入した魚 礁の追跡調査を実施し、魚類の蜻集状況、魚礁の埋 没状況等を確認した。
		くまもと四季の魚流通支援 事業補助金	601	一般財源 601	【単独補助事業】 補助金額 601,000円 総事業費：5,000千円(うち国県補3,250千円) 算出根拠：875,000円(国県補助残の1/2)÷16(天草 漁協支所数)×11(天草市管内支所数)≒601,000円	天草漁協が国県補助を受け実施する流通強化事業 (市場調査、商談会参加、試験出荷等)に対し助成 し、天草漁協の新規流通システムの構築を図り、天 草の水産物の市場価格向上に努めた。

(5) 農林水産業費

(3) 水産業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
149 ↳ 151	2 水産業振興費	資源管理推進事業補助金	20,393	一般財源 20,393	<p>【単独補助事業】 補助率 2/3</p> <p>ヒラメ放流(30mm) 32,000尾 事業主体：天草漁協 放流箇所：佐伊津、楠浦地先 事業費 1,360,800円 うち補助金 907,000円</p> <p>ヒラメ放流(50mm) 50,000尾 事業主体：有明町漁協 放流箇所：赤崎、上津浦、須子、大浦地先 事業費 2,520,000円 うち補助金 1,680,000円</p> <p>カサゴ放流 68,000尾 事業主体：天草漁協、島子漁協、有明町漁協 放流箇所：佐伊津、宮野河内、島子、赤崎、大浦 事業費 3,600,000円 うち補助金 2,380,000円</p> <p>マコガレイ放流 25,000尾 事業主体：天草漁協(本渡支所) 放流箇所：本渡港地先 事業費 1,312,500円 うち補助金 875,000円</p> <p>イサキ放流 75,000尾 事業主体：天草漁協(牛深総合支所) 放流箇所：牛深地先 事業費 1,653,750円 うち補助金 1,102,000円</p> <p>クルマエビ放流 500,000尾 事業主体：天草漁協(14mm) 300,000尾 栖本漁協(90mm) 20,000尾 嵐口漁協(50mm) 180,000尾 放流箇所：本渡港、栖本港、御所浦島周辺地先 事業費 1,977,650円 うち補助金 1,281,000円</p>	<p>各漁協が単独で実施する種苗放流事業に対し助成を行った。</p> <p>各漁協地先海域の主要漁獲魚類の種苗の直接放流だけでなく、稚魚を購入後、陸上で中間育成を行うことにより、自然環境に順応できる強くたくましい種苗を育成すると共に、資源管理型漁業に対する漁業者の意識改革を図りながら、水産物の安定供給及び漁業収入の増加を図った。</p>

(5) 農林水産業費

(3) 水産業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
149 5 151	2 水産業振興費	資源管理推進事業補助金 (つづき)			アワビ放流 60,500個 事業主体：天草漁協 放流箇所：牛深、崎津、天草町、五和町地先 事業費 3,276,000円 うち補助金 2,184,000円 ウニ放流 301,500個 事業主体：天草漁協 放流箇所：牛深、崎津、新和、五和地先 事業費 6,964,650円 うち補助金 4,643,000円 ガザミ放流 157,000尾 事業主体：天草漁協(崎津、新和支所) 放流箇所：崎津、新和地先 事業費 412,125円 うち補助金 274,000円 アサリ放流 3.0t 事業主体：天草漁協、有明町漁協 放流箇所：崎津、宮野河内、大浦地先 事業費 1,266,119円 うち補助金 799,000円 タコ壺投入 20,080個 事業主体：天草漁協、有明町漁協、島子漁協 投入箇所：佐伊津、有明地先 事業費 5,858,590円 うち補助金 3,904,000円 イカ産卵施設投入 2,800個 事業主体：天草漁協、有明町漁協、島子漁協 投入箇所：佐伊津、有明地先 事業費 549,570円 うち補助金 364,000円 計 20,393,000円	

(5) 農林水産業費

(3) 水産業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
149 5 151	2 水産業振興費	栽培漁業地域展開事業補助 金	17,832	一般財源 17,832	【単独補助事業】 (マダイ部会) 対象漁協：天草市管内全漁協 放流尾数（受領尾数） 2,235,000尾 中間育成結果 歩留まり率94.6% 補助金 13,288,000円 (ヒラメ部会) 対象漁協：天草漁協、栖本漁協、倉岳町漁協、 御所浦町漁協、嵐口漁協 放流尾数（受領尾数） 258,000尾 中間育成結果 歩留まり率95.6% 補助金 4,199,000円 (ガザミ部会) 対象漁協：栖本漁協、倉岳町漁協、 御所浦3漁協合同 放流尾数（受領尾数） 204,200尾 補助金 345,000円 計 17,832,000円	マダイ、ヒラメの稚魚を中間育成し、より自然環境に慣らした状態で天草市地先海域に放流し、漁獲量の減少に歯止めをかけて、資源の増大、漁業収入の増加を図った。
		中間育成施設設置委託	400	一般財源 400	【単独事業】 (事業内訳) 設置業務委託費 400,000円	志柿地先海岸に地元漁業者が生け簀を設置し、より自然に近い状態で中間育成を行うことで、食害防止、歩留まりの向上を図り、つくり育てる漁業の啓蒙を行うとともに、生け簀設置等共同作業を通じて、地元漁業者の団結力強化に寄与した。
		新和地域藻場造成事業	443	一般財源 443	【単独事業】 (事業費内訳) 賃金 52,700円 消耗品費 37,800円 船舶借上料 89,250円 重機借上料 15,750円 原材料費 247,149円 計 442,649円	新和町中田港地先海域に直営で作成した木材魚礁30基を投入し、魚類の蟄集と共に、木材魚礁内部の石材を定着基質として海藻を付着させ、水質浄化及び稚魚育成を図った。

(5) 農林水産業費

(3) 水産業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
149 ┆ 151	2 水産業振興費	五和地域並型魚礁埋没調査 事業	1,418	一般財源 1,418	【単独事業】 (事業内訳) 調査業務委託費 1,417,500円	五和町地先海域に投入した並型魚礁、築いその追跡調査を実施し、施設が適正に利用され、効用が十分発揮できているか確認を行った。調査の結果、並型魚礁については多少の埋没はあるものの、網掛かり等なく、魚類の蝸集も確認された。また、築いそのにおいては、磯焼け現象等なく、海藻の繁茂が確認された。
		漁業関係団体育成補助金	1,100	一般財源 1,100	【単独補助事業】 負担金補助及び交付金 交付対象団体 11団体 1,100,000円	天草市域内の漁協に属する青年部、女性部の活動に対し一律10万円の運営補助を実施し、漁業後継者の活動促進を図った。
		熊本県無線漁業協同組合運 営補助金	1,260	一般財源 1,260	【単独補助事業】 負担金補助及び交付金 1,260,000円	県下全域を網羅する統合的な漁業無線通信システムの運営に対して補助することで、漁業者の就業と航行の安全、さらには、情報の共有化が図られた。
151 ┆ 152	3 漁港管理費	漁港維持補修事業	6,050	一般財源 6,050	【単独事業】 (事業費内訳) 大島漁港安全施設補修工事 708,750円 転落防止柵設置 L=38.0m 軍ヶ浦漁港施設法面復旧工事 567,000円 法面吹付工 L=6.0m A=30.0㎡ 船津漁港第1栈橋補修工事 2,372,094円 栈橋橋梁塗替 A=235㎡ 栈橋橋梁舗装 A= 88㎡ 楠甫漁港ラバータラップ設置工事 1,751,616円 ラバータラップ設置 2基 縄梯子設置 1基 下大多尾漁港照明灯設置工事 651,000円 漁港照明灯設置 2基 計 6,050,460円	市管理漁港の適正管理の観点から、補修及び小規模な施設改良を実施し、施設の安全性、利便性の向上が図られた。

(5) 農林水産業費

(3) 水産業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
152 ↳ 154	4 漁港建設費	大多尾漁港関連道整備事業	100,000	国庫支出金 50,000 県支出金 10,000 地方債 40,000	【関連道整備事業】 (直接補助) 補助率 国1/2 県10/100 (事業費内訳) 工事請負費 42,175,939円 整備工事 L=60m 舗装工事 L=127m 用地費 2,483,286円 補償費 51,532,450円 事務費(人件費含) 3,808,325円 計 100,000,000円	本漁港より県道大多尾新合線に合流する市道は、幅員4.0m程度で線形も悪く、普通車の離合も困難であったため、規格改良を行い、水産物及び漁業資材輸送の効率化を図る。18年度は、19年度実施予定区間の用地買収、補償を行ったほか、道路改良、舗装工事を実施し、事業の進捗を図った。 事業期間 平成14年度～平成19年度 総事業費 625,000千円 全体計画 L=600m 路面幅員9.25m 車道幅員5.5m 平成18年度事業実施概要 道路改良 L=60m 舗装 L=127m 用地買収 5件 補償 9件 事業進捗率 96%
		御領漁港漁村再生交付金事業	14,000	県支出金 8,400 地方債 5,600	【漁村再生交付金事業】 (間接補助) 補助率 国1/2 県10/100 (事業費内訳) 工事請負費 13,272,412円 事務費(人件費含) 727,588円 計 14,000,000円	漁業就労環境の改善を図るため、係留施設の新設や既存の施設を安全で利用しやすい施設として整備する。18年度は物揚場新設、泊地浚渫等を行い安全な係留施設整備に努めた。 事業期間 平成18年度～平成21年度 総事業費 170,000千円 全体計画 -2m物揚場 L=30m 取付護岸 L=47m 用地護岸 L=61m 浮体式栈橋 L=52m 用地 A=3,828㎡ 臨港道路 L=187m -2m泊地 A=20,000㎡ 平成18年度事業実施概要 -2m物揚場 L=30m 取付護岸 L=47m 用地護岸 L=61m 泊地浚渫 A=2,300㎡ 排水施設 L=38m 事業進捗率 8%

(5) 農林水産業費

(3) 水産業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
152 ↳ 154	4 漁港建設費	烏帽子漁港漁村づくり総合 整備事業	100,000	県支出金 60,000 地方債 40,000	【漁村づくり総合整備事業】 (離島・間接補助) 補助率 国1/2 県10/100 (事業費内訳) 測量設計調査委託料 3,906,000円 工事請負費 91,749,000円 集落道新設工事 L=108m 集落道舗装工事 L=581.1m 集落道改良工事 L=292m 事務費(人件費含) 4,345,000円 計 100,000,000円	漁港の基本施設及び地区間幹線道路、漁港の連絡 道路を整備し、生活環境の改善を図る。18年度は集 落道の新設を完了し、利便性の向上が図られた。 事業期間 平成6年度～平成19年度 総事業費 1,468,000千円 全体計画 集落道(新設)L=1,610m 集落道(改良) L=1,260m 田ノ尻2号防波堤 L=50m等 平成18年度事業実施概要 集落道新設 L=108m 集落道舗装 L=581.1m 集落道改良 L=292m 事業進捗率 98%
		白戸漁港漁村づくり総合整 備事業	113,000	県支出金 73,450 地方債 39,500 一般財源 50	【漁村づくり総合整備事業】 (間接補助) 補助率 国1/2 県15/100 (事業費内訳) 工事請負費 108,410,005円 事務費(人件費含) 4,589,995円 計 113,000,000円	養殖業の生産基地として既存漁港施設を拡大整 備し、安全で快適な漁業活動を確保する。平成18年 度は、防波堤基礎工や臨港道路を実施し、事業の進 捗を図った。 事業期間 平成11年度～平成24年度 総事業費 1,208,700千円 全体計画 3号防波堤L=185m -2m物揚場L=60m -3m岸壁L=50m 臨港道路L=230m 用地A=5,720㎡等 平成18年度事業実施概要 3号防波堤締固砂杭打込288本 床堀V=1,581㎡ 基礎捨石V=2,026㎡ 臨港道路舗装A=1,068㎡ 事業進捗率 55.8%
		深海漁港広域漁港整備事業	100,000	県支出金 65,000 地方債 35,000	【広域漁港整備事業】 (間接補助) 補助率 国1/2 県15/100 (事業費内訳) 工事請負費 95,650,807円 事務費(人件費含) 4,349,193円 計 100,000,000円	港内静穏度を確保するため、外郭施設を整備し漁 港の安全性を図るとともに係留施設、臨港道路等を整 備し漁業活動の効率化を図る。18年度は、防波堤の 基礎工、堤体工を実施し、事業の進捗を図った。 事業期間 平成13年度～平成22年度 総事業費 1,050,000千円 全体計画 6号防波堤L=160m -2m物揚場140m -3m岸壁L=85m 1号道路L=675m 護岸道路L=98m等 平成18年度事業実施概要 6号防波堤 基礎工L=66.0m 堤体工L=62.0m 事業進捗率 62.8%

(5) 農林水産業費

(3) 水産業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
152 ↳ 154	4 漁港建設費	崎津漁港広域漁港整備事業	110,000	県支出金 71,500 地方債 38,500	【広域漁港整備事業】 (間接補助) 補助率 国1/2 県15/100 (事業費内訳) 工事請負費 105,507,373円 事務費(人件費含) 4,492,627円 計 110,000,000円	港内静穏度、係留施設確保のため防波堤と物揚場の整備を行い、漁業生産活動の円滑化を図る。18年度は、防波堤地盤改良・基礎捨石工を実施した。 事業期間 平成14年度～平成23年度 総事業費 1,840,000千円 全体計画 1号防波堤L=80m 3号防波堤L=80m 4号物揚場L=90m 船揚場L=40m 用地A=980㎡ 平成18年度事業実施概要 1号防波堤 地盤改良L=15.0m 基礎捨石L=19.5m 事業進捗率 38%
		砂月漁港地域水産物供給基盤整備事業	50,000	県支出金 32,500 地方債 17,500	【地域水産物供給基盤整備事業】 (間接補助) 補助率 国1/2 県15/100 (事業費内訳) 工事請負費 47,400,000円 事務費(人件費含) 2,600,000円 計 50,000,000円	港内静穏度、係留施設確保のため防波堤と物揚場整備等を行い、漁業生産活動の効率化、円滑化を図る。18年度は、防波堤改良、用地護岸、突堤を実施した。 事業期間 平成13年度～平成22年度 総事業費 834,000千円 全体計画 1号突堤L=60m 1号用地護岸L=15.5m 防波堤改良L=86.7m -2m物揚場L=70m 1号用地等 平成18年度事業実施概要 防波堤改良L=50.5m 1号用地護岸15.7m 2号用地護岸L=35m 突堤L=16m 事業進捗率 48%
		大浦元浦漁港地域水産物供給基盤整備事業	100,000	県支出金 70,000 地方債 29,100 一般財源 900	【地域水産物供給基盤整備事業】 (離島・間接補助) 補助率 国6/10 県10/100 (事業費内訳) 工事請負費 92,767,500円 -2m物揚場工事 L=33.0m -2m物揚場工事 L=36.0m 建物調査委託 2,887,500円 事務費(人件費含) 4,345,000円 計 100,000,000円	港内静穏度確保のため防波堤整備及び漁業の効率性・利便性向上のため物揚場整備等を行い、地区漁業振興を図る。18年度は、4号物揚場の整備を実施した。 事業期間 平成13年度～平成22年度 総事業費 927,000千円 全体計画 4号防波堤L=50m 2・3号物揚場L=50m 4号物揚場L=138m 5号物揚場L=60m等 平成18年度事業実施概要 -2m物揚場(簡易浮棧橋L=33m 排水工L=27.4m 基礎工L=37.5m 堤体工L=37m 上部工L=36m) 事業進捗率 58.4%

(5) 農林水産業費

(3) 水産業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
152 ↳ 154	4 漁港建設費	猪子田漁港地域水産物供給 基盤整備事業	60,000	県支出金 39,000 地方債 21,000	【地域水産物供給基盤整備事業】 (間接補助) 補助率 国1/2 県15/100 (事業費内訳) 工事請負費 55,775,667円 測量設計調査委託 1,302,000円 事務費(人件費含) 2,922,333円 計 60,000,000円	港内静穏度確保のため防波堤の整備と、漁業の効率性・利便性向上のため岸壁及び物揚場の整備等を行い、地区漁業の振興を図る。18年度は、航路浚渫及び用地内道路の整備を行った。 事業期間 平成13年度～平成19年度 総事業費 577,000千円 全体計画 2号防波堤L=90m 一文字防波堤L=60m -3m岸壁L=30m -2m物揚場L=80m 泊地・航路浚渫等 平成18年度事業実施概要 航路浚渫A=999㎡ 1号道路L=185m 2号道路L=50.5m 事業進捗率 83.2%
		市単独事業	33,330	一般財源 33,330	【単独事業】 (事業費内訳) 砂月漁港排水工整備工事 4,777,500円 自由勾配側溝敷設L=93.0m 牛深漁港(宮崎地区)埋立整備工事 18,375,000円 埋立 A=2,200㎡ V=7,000㎡ 長浦漁港舟隠漁業集落道整備工事 6,898,500円 基礎工L=12.2m 舗装工L=99.7m 排水工L=96.1m 烏帽子漁港漁村づくり総合整備付帯工事 1,630,650円 上部パラペット取付L=8.1m 舗装工A=277㎡ 崎津漁港物揚場改良工事 1,648,500円 U型側溝敷設L=64.0m 舗装工A=188㎡ 計 33,330,150円	国県補助対象外となった事業で、漁港機能を最大限に発揮させるための事業として、5件の事業を実施した。

(5) 農林水産業費

(3) 水産業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
152 5 154	4 漁港建設費	県営漁港整備事業負担金	64,375	地方債 63,450 一般財源 925	市負担率 単県事業1/3、広域漁港整備事業5%、地域水産物5% 機能高度化1/6 海岸5% (負担金内訳) 御所浦漁港広域漁港整備事業負担金 1,575,000円 御所浦漁港単県改良事業負担金 1,000,000円 佐伊津漁港機能高度化事業負担金 5,000,000円 佐伊津漁港単県改良事業負担金 120,000円 二江漁港広域漁港整備事業負担金 4,000,000円 二江漁港単県改良事業負担金 800,000円 宮田漁港単県改良事業負担金 780,000円 大江漁港地域水産物供給基盤整備事業負担金 10,000,000円 大江漁港単県浚渫事業負担金 4,343,000円 牛深漁港海岸保全施設整備事業(高潮)負担金 8,500,000円 牛深漁港広域漁港整備事業負担金 23,500,000円 牛深漁港単県改良事業負担金 2,800,000円 牛深漁港単県浚渫事業負担金 1,957,000円 計 64,375,000円	県管理漁港7漁港のうち6漁港において漁港及び 海岸事業が実施され、その負担金を支出した。 熊本県事業費及び事業内容 新港-3m岸壁 L=99m、護岸 L=57.7m 総事業費39,000千円 うち係留・機能施設事業費 31,500千円 31,500千円×5% -2m竹地1号物揚場補修1式 3,000千円×1/3 突堤 L=30m 30,000千円×1/6 横断暗渠 L=6.6m 360千円×1/3 突堤 L=50m 80,000千円×5% エプロン補修1箇所、ガードパイプ補修42m 2,400千円×1/3 側溝補修 L=18m、照明灯設置 2基 2,340千円×1/3 2号防波堤 L=19.3m 200,000千円×5% -2m泊地浚渫 V=1,760m ³ 13,029千円×1/3 明石海岸消波ブロック設置 L=214m 170,000千円×5% 舟津1号岸壁補修 L=86m、大池田BOX補修 L=58m 久玉須口道路改良補修 L=890m 470,000千円×5% 元下須・後浜物揚場改良 L=192m 8,400千円×1/3 元下須浚渫 V=370m ³ 5,871千円×1/3

(5) 農林水産業費

(3) 水産業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
155 5 156	6 水産研究 センター費	水産研究センター施設管理 経費	4,135	一般財源 4,135	<p>【単独事業】 (事業内容)</p> <p>魚病診断</p> <ul style="list-style-type: none"> ・診断件数 53件 ・魚病パトロールの実施 6回 <p>赤潮調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査の実施 40回 ・赤潮発生件数 4件(延べ8日) ・赤潮情報発信 36回 <p>水質・気象自動観測システム管理運営 楠浦養殖場、宮野河内養殖場、御所浦牧本養殖場 御所浦竹島養殖場に水質センサーを設置</p> <p>試験研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤潮対策試験 ・養殖トラフグエラ虫対策試験 ・海藻種苗生産試験 <p>視察研修の受入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校 5件(83名) ・漁協 2件(5名) ・市町村他 4件(10名) 	<p>○持ち込まれる病魚の診断(細菌、寄生虫、ウイルス検査)及び薬剤感受性試験を行い被害の軽減、魚病の蔓延防止に努めた。</p> <p>また、魚病パトロールでは魚病の情報収集及び病魚のサンプリングを行い、魚病の蔓延及び被害の拡大防止に努めた。</p> <p>○現場海域における海況、プランクトンの発生状況を定期的に観測することで、有害プランクトンを早期に発見し、赤潮の濃度(プランクトン数)や着色範囲などの情報を迅速かつ的確に漁業者に周知する事で被害の防止及び軽減を図った。周知の方法としては日本水産資源保護協会が運営するホームページに掲載すると共に関係団体にはFAXで通知した。</p> <p>○18年度は水質センサー4基のうち2基を御所浦町の養殖場から楠浦養殖場及び宮野河内養殖場に移設する事でより広範囲の水質データを得られるようになった。また、携帯電話で(株)YSIナノテックのホームページにアクセスする事でリアルタイムの情報が得られるようになった。</p> <p>○日本ポリグルが実施した凝集剤を用いた赤潮対策試験に協力した。</p> <p>○養殖トラフグにおけるエラムシ駆虫剤を効果的に用いた養殖方法を検討するために、漁業者への聞き取り及び陸上タンクにおいて投薬試験を実施した。結果については、熊本県が御所浦地区で行った養殖トラフグ認証制度説明会において紹介した。</p> <p>○高水温期に栽培可能な海藻の種苗生産試験としてアントクメの配偶体培養試験を試みたが遊走子が得られなかった。19年度に継続して実施予定。</p> <p>○教育研修として小学校2件、中学校2件、高校1件の研修を受け入れた。内容は地元小中学校などからの総合学習及び高校のインターンシップ研修であった。また、一般研修として県外の漁協及び市町村から6件の視察研修を受け入れた。内容はアワビ養殖、海藻栽培事業に関するものが多かった。</p>

(5) 農林水産業費

(3) 水産業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
156 ） 157	7 漁業集落整備費	二江漁港集落環境整備事業	10,000	県支出金 6,000 地方債 4,000	【補助事業】 補助率6/10 (事業費の内訳) 工事請負費 7,515,734円 集落道整備工事(1件) 待避箇所3箇所 L=109.6m 委託料 735,000円 財産購入費 1,589,757円 事務費 159,509円 計 10,000,000円	通詞島の中央を通る道路幅員が2.4m程度で離合が不可能な地域住民の生活道である市道島中央線に、離合等のために待避箇所証3箇所を設け、地域住民の通行の安全性及び利便性の向上を図った。 事業期間 平成8年度～平成18年度 事業費 156,000千円 集落道整備 L=119.6m 自然ふれあい緑地整備 A=2,600m ² 防火水槽整備 N=1基 街路灯整備 N=2基 事業進捗率 100%(完了)
		佐伊津漁港集落環境整備事業	6,900	県支出金 4,140 地方債 2,750 一般財源 10	【補助事業】 補助率6/10 (事業費の内訳) 工事請負費 5,466,748円 護岸高上改良工事(1件) L=66.1m 中水管路施設工事(1件) L=120m 委託料 1,220,639円 財産購入費 52,002円 事務費 160,611円 計 6,900,000円 平成19年度へ繰越 3,800,000円	普通河川洲添川の護岸の天端が低く、高潮位時において海水が背後の住宅等に流入する浸水被害対策として、16年度から3ヶ年計画で護岸の高上げ改良を行い、本年度を持って計画区間については、概ね計画計画期間内完了することができ、浸水の防止が図られた。 また、本年度より処理水を再利用し消防水利の充足率が著しく低い、当該住宅密集地域に污水管路整備に併せて消防水管路網の整備と消火栓の設置に着手し、事業の促進を図った。 事業期間 平成16年度～平成24年度 事業費 142,400千円 護岸高上改良 L=332m 中水管路整備 L=4,295m 消火栓設置 N=22基 事業費 142,400千円 護岸高上改良 L=332m 中水管路整備 L=4,295m 消火栓設置 N=22基

(6) 商工費 (1) 商工費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
157 } 160	2 商工振興費	商店街イベント事業	0	0	(補助要件) ・総事業費が50万円以上のもの ・補助額は補助対象経費の3分の1以内 ・同一のイベントについて3年を限度 平成18年度は、新たな補助申請はなかったが、『銀天夜市』や『繭姫通り夜市』は、主催者の負担で、引き続き開催された。	本渡中央商店街振興組合主催の『銀天夜市』は、夏の夜のお祭りとして市民に親しまれているとともに、子どもたちの貴重な思い出づくりの場となっている。 また、繭姫通り夜市実行委員会主催の『繭姫通り夜市』は、日本の繭相場を左右すると言われた「天草繭市場」をテーマに、地域史を活かしたイベントとして開催され、歴史の再確認・文化の掘り起こしを図り、環境に配慮した女性の夜市として賑わった。
		商店街空き店舗対策事業	240	一般財源 240	(補助要件) ・補助対象経費は借家料 ・補助額は対象経費の2分の1以内、月額5万円を限度 ・補助の期間は1年以内 ・本渡中央北地区まちづくり交付金事業エリア外にある商店を対象 (18年度実績) ・1件(うまかや太田町店) 240,000円	国の補助事業である本渡中央北地区まちづくり交付金事業エリア外の空き店舗が補助対象となっている。 平成18年5月現在の空き店舗は、商店街が組織されている地域において、551店舗中75店舗(空き店舗率13.6%)となっている。
		中小企業等短期資金融資	100,000	その他 100,000	・融資目標額 200,000,000円 ・融資額 62,000,000円 ・融資件数 20件 ・融資実績率 31.0%	平成18年度から、中元・年末の季節融資から10ヶ月以内の短期の融資に切り替えて実施し、市内の殆どの金融機関に資金を預託した。平成18年度は、都合により予算措置が遅れ6ヵ月余りの貸付期間しか設けることができず、平成17年度の実績を下回った。
		本渡夏まつり事業	9,000	一般財源 9,000	・天草子ハイヤ 参加 16団体 855人 観客 15,000人 ・ハイヤ道中総踊り 参加 30団体3,000人 観客 50,000人 ・花火大会 観客 70,000人 ・計 参加3,855人 観客 135,000人	国道324号線をメインに行われるハイヤ道中総踊りは、市民の祭りから日本の祭りへをスローガンに年々盛大になってきており、子ハイヤの参加者も増えている。また夏の夜空を彩る花火大会も、市民はもとより天草島外からの観客も増えており、ハイヤとともに夏のイベントとして、市民の間に定着してきている。

(6) 商工費 (1) 商工費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
157 ┆ 160	2 商工振興費	商工業設備投資資金利子補給制度	1,457	一般財源 1,457	平成18年度新規申請分(13件) 923,689円 旧市町からの継続分(11件) 533,781円 合計 1,457,470円	天草市内商工業の小規模事業者が経営の近代化及び経営基盤の強化を図り、地域経済の活性化を促進するために積極的に事業展開を推進する者に対し、設備投資のために事業資金借入金に対し、利子補給を行った。
		むらおこし事業	1,000	一般財源 1,000	総事業費 11,884,340円 【内訳】 国 8,000,000円 県 1,000,000円 市 1,000,000円 その他 1,884,340円	有明町の名産であるタコをテーマとした取り組みで平成16年度から取り組んでいる。今年度は、「タコと人が集う町」をテーマに「地域ブランドの確立」を目的に取り組んだ。特産品やツーリズム関係の調査や開発等手がけ全国にアピールした。
		商店街活性化対策事業	2,500	一般財源 2,500	〔事業内容〕 1. 桜まつり活性化事業 2. 通行量調査事業(市内24ヶ所) 3. 商店街活性化事業(講演会の開催) (1)経営活性化セミナー(2回開催)延べ175名 (2)経営革新セミナー 56名 4. 商店街活性化研修事業 (1)中学生職場体験研修事業ほか 5. 天草謹製認定事業	長引く景気の低迷・少子高齢化また郊外型大型店の進出などにより、従来の中心商店街は中心的機能を低下させ、商業環境の変化が人の流れを変え、まちの機能も変化してきている。このような状況を踏まえ、地元商店街の活性化を図るため、経営活性化セミナー等の講演会開催や通行量等の調査を実施した。
		商工振興対策事業	6,520	一般財源 6,520	中小企業の経営安定や創業支援、中心市街地活性化事業の推進、観光事業の振興など、商工会議所並びに商工会が展開する各種施策に対して助成を行った。	経済活動のグローバル化やIT革命による高度情報化、少子高齢化、環境問題への取り組みなど、企業を取り巻く環境が大きく変化する中、商工業者の拠点である商工会議所、商工会の事業活動は、商工観光振興、労働福祉対策事業など、適時的確に行われており、その機能が果たされている。
		地域総合振興事業	14,980	一般財源 14,980	商工会議所 2団体 商工会 8団体	
		小規模事業指導員設置事業	5,435	一般財源 5,435	経営全般・金融税務・労働福祉対策などに対しての個別相談や講習会などを開催し、経営改善に関する指導を行う「小規模事業指導育成事業」並びに「経営改善普及事業」に対して助成を行った。	社会経済情勢の変化に伴い、小規模事業者に対する経営者養成や従業員教育は重要になってきており、個別相談や集団指導は経営の安定に寄与している。また、創業・開業を目指す学生や主婦、ビジネスマンを対象として、事業計画や資金調達方法を指導し、新規開業を促進している。
		経営改善普及事業	15,133	一般財源 15,133	商工会議所 2団体 商工会 8団体	

(6) 商工費 (1) 商工費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
157 } 160	2 商工振興費	商店街共同施設補助金	11,004	県支出金 5,502 一般財源 5,502	本市において、商業の振興発展及び消費者の利便を図るため、共同施設（街路灯、アーケード、カー舗装等）を設置する商店街に対し補助金を交付する。事業費1,000千円以上の事業が対象で、補助金額、対象経費の3分の1以内とし、対象施設が県補助対象となる場合は3分の2以内の額とし予算の範囲内で交付する。 街路灯整備事業 ・実施主体 南町商友会（木原一二会長） ・施設の名称 南町商友会街路灯整備 ・構造等 1ポール1灯式 ・施設の内容 街路灯は既設の柱を使用し、アーム部分と灯具を整備（50基設置） ・事業費 7,140,000円（県 1/3 市 1/3） ・実施主体 函南会（宮崎弘美会長） ・施設の名称 函南会商店街街路灯整備 ・構造等 1ポール2灯式 ・施設の内容 街路灯整備21基設置 ・事業費 9,366,000円（県 1/3 市 1/3）	商店街（商工業者等を構成員として設立された法人又は団体）における共同施設が整備され、商業の振興発展及び消費者の利便が図られている。 天草市商店街共同施設補助金交付要綱（平成18年10月5日制定）
		各種行事補助金	4,230	一般財源 4,230	1. 天草桜まつり事業 2,000千円 天草のど自慢大会、奉賛ｽﾎﾟｰﾂ大会、春蘭・盆栽・生け花展 他 2. 本渡の市事業 700千円 郡市小中学校文化展、秋季ｽﾎﾟｰﾂ大会 3. えびす祭事業 450千円 福引大会、えびす市の開催 他 4. 納涼夏祭り 花火大会 720千円 アトラクション、ゲーム大会 他 5. ワンわんウォーキング大会 360千円 参加者 498名（2コース）	各種の事業を開催することにより、島内からの集客を図り、消費の拡大に努めた。また、事業を実施していくことで商店街並びに地域との連携の強化と活性化に繋げることができた。

(6) 商工費 (1) 商工費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
157 ） 160	2 商工振興費	天草大陶磁器展開催事業	7,437	国庫支出金 5,484 一般財源 1,953	(日時)平成18年11月1日(水)～5日(日) (場所)天草市体育館・天草市民センター (内容) ・天草市内の窯元をはじめ天草島内の窯元、県内外の窯元59窯が一堂に集い、県南最大の陶磁器展を開催。 ・本渡地区6窯元がそれぞれ趣向を凝らしたおもてなしと合同窯出しを同時開催。 ・陶芸の島 AMAKUSA 陶芸展、ろくろを回そう体験、小学生による陶芸体験作品展示など。 ・歌手で画家の八代亜紀さんやアーティストの日比野克彦氏を迎えて、「個性を活かす」をテーマにパネルディスカッションを開催。 (事業費内訳) 1. 事業費 (1) 宣伝費 2,945,072円 (2) イベント費 3,456,366円 (3) 運搬費 10,930円 (4) アルバイト費 638,400円 小計 7,050,768円 2. 一般事務費 (1) 通信運搬費 258,620円 (2) 雑費 3,418円 小計 262,038円 合計(補助対象費) 7,312,806円 補助金額 7,312,806円×3/4 5,484,000円 3. 市単独費 124,345円 総事業費 7,437,151円 (来場者数) (1) 市民センター 22,066人 (2) 市内6窯元 1,729人 計 23,795人	平成17年度と比較して参加窯元数が7窯元減り59窯元となったが、来場者数は約8割増加し、販売額も6割増加した。 アンケートの結果を見ると、天草以外からの来場者が、来場者全体に対して2割から3割に増加するなど、この陶磁器展が秋の天草を代表するイベントとして熊本県内を中心に定着しつつある。 今回、地元観光業会の関係者や物産飲食関係者を実行委員として加えたことにより、各団体からの協力を得て、地域が一体となったイベントとして実施し、成功を収めたことで、陶磁器産業のみではなく観光産業等の振興に寄与したものと考えている。

(6) 商工費 (1) 商工費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
157 } 160	2 商工振興費	物産振興事業	1,800	一般財源 1,800	<p>1. 天草市物産振興協会補助金 1,000,000円</p> <p>本市の物産振興において、中心的な役割を担う天草市物産振興協会の運営に対し、補助金を交付した。</p> <p>(協会概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H18.6.14日本渡市物産振興協会を母体に設立。 H18年度会員数 51業者 年会費10,000円 ・事業内容は、百貨店における物産展や各種イベント・商談会への出店、デザインバッグの作成など。 ・事業費は、1,732千円(H18) <p>2. 天草謹製認定事業補助金 800,000円</p> <p>本事業は、天草に関する商品等を天草オリジナルブランド「天草謹製」として認定し、商標を通じて情報発信することにより、天草の知名度向上、産業振興及び地域活性化を図ることを目的に天草ルネッサンス天草謹製認定委員会(会長：益崎洋一郎 事務局：本渡商工会議所)が実施。本事業に対し、補助金の交付を行なった。</p>	<p>旧本渡市物産振興協会を母体に発足した天草市物産振興協会は、今年度30社の新規加入を含め、会員51社の協会となった。</p> <p>平成18年度は、百貨店、量販店における物産展、市内外の各種イベントへの出店など、11イベントに述べ65社が出店し、天草の物産をPR・販売を行った。</p> <p>第1回の天草謹製認定審査会を11月3日に開催し、30商品申し込み中、6品目が認定された。</p> <p>全国的な地域ブランドブームの中、天草オリジナルブランドとして注目を浴び、新聞、テレビ等のマスコミをはじめ、国の機関が発行する各種情報誌にも取り上げられ、全国に向けて「天草謹製」が発信された。</p> <p>認定者からは、「直接収入増につながっている。」と喜びの声が寄せられている。</p>
160 } 162	3 観光費	天草市観光協会	73,731	一般財源 73,731	<p>素材育成</p> <p>観光情報発信事業 31,323,000円</p> <p>観光素材育成事業 9,211,000円</p> <p>観光受入態勢充実事業 23,261,000円</p> <p>補助金 9,936,000円</p> <p>計 73,731,000円</p>	<p>観光素材の開発と育成については、観光ルートの開発(継続中)をはじめ、地域との連携による商品開発、天草にある観光素材を情報発信したり、島内で行われるイベントの誘客を図るため、大都市圏でのPR活動を行ってきた。</p> <p>博多どんたくへの出場、福岡観光宣伝キャンペーン、熊本市観光宣伝キャンペーン、推進機構主催「新幹線で行こう!九州トラベルフェアin広島」、JR九州主催「長崎VS熊本キャンペーン博多駅イベント」、阪神物産展「よかたいくまもと味と技展」、鹿児島観光キャンペーン、等</p>

(6) 商工費 (1) 商工費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果																																	
160 ┆ 162	3 観 光 費	大会等誘致事業	790	一般財源 790	<ul style="list-style-type: none"> ・三菱重工長崎マリン部九州実業団調整合宿 72人 ・第13回九州成年選抜軟式野球大会 214人 ・TKU旗リリーグ 野球九州大会兼2006全日本選抜大会九州連盟 473人 ・谷脇杯争奪高等学校ハンドボール天草大会 342人 ・錦が丘中学校男子ソフトテニス部合宿 100人 ・佐伊津カップ中学生ソフトテニス大会 348人 ・第5回天草カップ高等学校新人ハンドボール大会288人 ・第4回東アジアレスポレーション会議 87人 ・九州一周駅伝長崎県チーム強化合宿 166人 ・三菱重工長崎マリン部ニューイヤ-駅伝調整合宿 63人 ・マツ電子金属陸上競技部強化合宿 64人 ・中学校女子ハンドボール牛深合宿 451人 ・三菱重工マリン部強化合宿 93人 ・三菱重工マリン部調整合宿 69人 <li style="text-align: right;">計14件 2,830人 	<p>17年度に比べ574人減少したが、16年とほぼ同数である。近年、企業や学校の合宿に加え各種大会も増えてきており更なる交流人口の増大を図るためにも、本制度の充実及び予算枠の拡充と関係情報誌などへの宣伝活動を推進していくことが重要である。</p> <p>(年度別 誘致事業数 宿泊者数の推移)</p> <table border="1"> <tr><td>平成 8年度</td><td>9事業</td><td>3,867人</td></tr> <tr><td>平成 9年度</td><td>5事業</td><td>2,046人</td></tr> <tr><td>平成10年度</td><td>8事業</td><td>2,030人</td></tr> <tr><td>平成11年度</td><td>4事業</td><td>927人</td></tr> <tr><td>平成12年度</td><td>10事業</td><td>2,240人</td></tr> <tr><td>平成13年度</td><td>9事業</td><td>2,144人</td></tr> <tr><td>平成14年度</td><td>10事業</td><td>1,964人</td></tr> <tr><td>平成15年度</td><td>14事業</td><td>2,738人</td></tr> <tr><td>平成16年度</td><td>12事業</td><td>2,823人</td></tr> <tr><td>平成17年度</td><td>15事業</td><td>3,404人</td></tr> <tr><td>平成18年度</td><td>14事業</td><td>2,830人</td></tr> </table>	平成 8年度	9事業	3,867人	平成 9年度	5事業	2,046人	平成10年度	8事業	2,030人	平成11年度	4事業	927人	平成12年度	10事業	2,240人	平成13年度	9事業	2,144人	平成14年度	10事業	1,964人	平成15年度	14事業	2,738人	平成16年度	12事業	2,823人	平成17年度	15事業	3,404人	平成18年度	14事業	2,830人
平成 8年度	9事業	3,867人																																					
平成 9年度	5事業	2,046人																																					
平成10年度	8事業	2,030人																																					
平成11年度	4事業	927人																																					
平成12年度	10事業	2,240人																																					
平成13年度	9事業	2,144人																																					
平成14年度	10事業	1,964人																																					
平成15年度	14事業	2,738人																																					
平成16年度	12事業	2,823人																																					
平成17年度	15事業	3,404人																																					
平成18年度	14事業	2,830人																																					
		観光宣伝事業	5,364	一般財源 5,364	<ul style="list-style-type: none"> ・TV宣伝(テレビフットボール大会) 1,000,000円 ・雑誌、新聞宣伝 1,350,000円 ・ラジオ宣伝 1,628,000円 ・インターネット掲載 70,000円 ・観光資源のデジタル化 866,000円 ・修学旅行誘致等負担金 450,000円 	<p>イベント等に伴う、電子媒体、紙面媒体による様々な広告宣伝事業を行うとともに、天草市の観光事業の情報提供を行い、観光客の誘致につなげる活動を行った。</p> <p>近年、観光客数は微増、微減を繰り返しており、今後は天草市の宝を掘り起こし、磨き上げ、更なる情報提供の場を広げていく必要がある。</p>																																	
		観光イベント事業	42,070	一般財源 42,070	<ul style="list-style-type: none"> (牛深) 牛深ハイヤ祭り 13,700,000円 牛深あかね市 7,650,000円 (天草) あったか天草椿まつり 1,170,000円 下田温泉祭 1,850,000円 福連木子守唄 & 童謡まつり 1,600,000円 (有明) 夏祭りさざ波フェスタ 5,300,000円 	<p>各地域実行委員会が実施する主なイベントへの参加者については、県内外から延べ147,275人となっている。今後は、対象となる年齢層を絞って関係情報誌などへの宣伝活動を推進していくことが重要である。</p> <p>(参加者数)</p> <table border="1"> <tr><td>牛深ハイヤ祭り</td><td>70,000人</td></tr> <tr><td>牛深あかね市</td><td>37,000人</td></tr> <tr><td>あったか天草椿まつり</td><td>33,000人</td></tr> </table>	牛深ハイヤ祭り	70,000人	牛深あかね市	37,000人	あったか天草椿まつり	33,000人																											
牛深ハイヤ祭り	70,000人																																						
牛深あかね市	37,000人																																						
あったか天草椿まつり	33,000人																																						

(6) 商工費 (1) 商工費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
160 } 162	3 観光費	観光イベント事業 (つづき)			(御所浦) よかところ祭 600,000円 (倉岳) えびす祭り 1,200,000円 (五和) 森のちから海のちからキャンプ 700,000円 (新和) 楊貴妃祭り 3,600,000円 (河浦) 教会のみえる崎津みなとフェスティバル 1,500,000円 (栖本) かっぱ祭り 2,700,000円 (本渡) 天草映画祭 500,000円 計13件 42,070,000円	下田温泉祭 1,500人 福連木子守唄&童謡まつり 3,000人 夏祭りさざ波フェスタ 15,000人 よかところ祭 1,095人 えびす祭り 3,380人 森のちから海のちからキャンプ 100人 楊貴妃祭り 3,000人 教会のみえる崎津みなとフェスティバル 3,500人 かっぱ祭り 6,000人 天草映画祭 400人 集客計 147,275人
162 } 164	4 観光施設管理費	観光施設整備事業	114,447	県支出金 698 その他 12,580 一般財源 101,169	【観光施設の維持管理】 観光施設123施設の維持管理を行った ・観光施設管理事務経費 29,602,310円 ・本渡地区観光施設 3,624,954円 ・牛深地区観光施設 7,693,038円 ・有明地区観光施設 4,305,301円 ・御所浦地区観光施設 734,590円 ・倉岳地区観光施設 2,016,668円 ・栖本地区観光施設 10,131,498円 ・新和地区観光施設 7,823,868円 ・五和地区観光施設 24,574,790円 ・天草地区観光施設 11,962,308円 ・河浦地区観光施設 11,977,250円 (事業費内訳) 需用費 30,164,493円 委託料 72,647,340円 その他の事業費 11,634,742円 計 114,446,575円	観光で訪れた人が、目的やニーズに応じて気軽に利用できるよう観光施設の日常的な維持・管理業務のほか、環境美化作業、補修・修繕を行った。多種多様な観光施設の利用を促進をし、観光振興に寄与することができた。 また、温泉施設など12施設を指定管理者に管理させることで、民間の経営ノウハウの導入と経費の削減を図った。

(6) 商工費 (1) 商工費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
162 ） 164	4 観光施設管理費	観光施設維持補修事業	10,526	一般財源 10,526	<p>【観光施設の維持補修事業】 観光施設の大規模な維持補修を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四郎ヶ浜ビーチ環境整備工事 4,200,000円 ・えびすビーチ海浜整備工事 1,365,000円 ・下田温泉センター高圧受電設備改修工事 4,830,000円 <p>(事業費内訳) 委託料 131,250円 工事請負費 10,395,000円 計 10,526,250円</p>	<p>四郎ヶ浜ビーチ環境整備工事及びえびすビーチ整備工事の実施により、海水浴場の海浜及び周辺の環境が整備された。その結果、海水浴場として高い評価を受け、多数の海水浴客が訪れた。</p> <p>四郎ヶ浜ビーチ入場者数 106,602人 えびすビーチ入場者数 5,579人</p> <p>また、下田温泉センター高圧受電設備改修工事により、老朽設備の更新が図られ、故障が停電の不安が解消された。このため、安定した経営計画と集客が可能となった。</p>
		天草広域連合広域サイン改良事業	5,632	一般財源 5,632	<p>【天草広域サインの改良】 天草広域連合が事業主体となり、天草広域サインの改良を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改良サイン数(うち天草市分) 263基(180基) ・改良工事の内容 表示板、表示面の改良 サインの移設 <p>・総事業費 33,484,500円 ・県補助金 15,620,000円 ・各市町負担金額 天草市 5,632,000円 上天草市 3,117,000円 苓北町 251,000円</p> <p>・広域連合一般財源 8,864,500円</p> <p>(事業費内訳) 負担金補助及び交付金 5,632,000円 計 5,632,000円</p>	<p>広域サインは設置後17～18年経過し、表示板や表示面の傷みが見られたほか、道路改良や施設の新設、又移転等により現状に合わないサインもあった。このため全サイン263基の改良を行った。表示板の付け替えと一部表示内容の変更により認識しやすくなり、観光客の誘導と案内に効果が期待される。</p>
164 ） 165	6 美来プラザ費	各種講座	465	一般財源 465	<p>健康体操講座、パッチワーク講座、押し花講座、絵手紙講座、フラワーアレンジメント講座、英会話講座の実施。</p>	<p>各種講座により、教養を高めている。</p> <p>(講座) 91回 延べ2,488人</p>

(7) 土木費

(2) 道路橋梁費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
168	2	道路強化舗装及び路肩側溝 道路維持費 修繕事業	185,753	一般財源 185,753	<p>【道路舗装等】 32件 (42路線)</p> <p>本渡 21件(30路線) L = 5171m 91,504,022円</p> <p>有明 3件(4路線) L = 541m 4,988,960円</p> <p>栖本 3件(3路線) L = 257m 3,990,000円</p> <p>新和 1件(1路線) L = 80m 1,832,332円</p> <p>五和 4件(4路線) L = 331m 6,698,943円</p> <p>計 L = 6,380m 109,014,257円</p> <p>【道路補修等】 45件 (66路線)</p> <p>本渡 9件(12路線) L = 1366m 31,126,896円</p> <p>牛深 6件(8路線) L = 278m 9,828,000円</p> <p>有明 5件(8路線) L = 276m 7,528,787円</p> <p>御所浦 2件(2路線) L = 169m 1,879,500円</p> <p>倉岳 6件(7路線) L = 91m 3,391,142円</p> <p>新和 6件(7路線) L = 403m 8,531,804円</p> <p>五和 2件(2路線) L = 19m 1,299,081円</p> <p>天草 5件(16路線) L = 535m 10,496,827円</p> <p>河浦 4件(4路線) L = 40m 2,656,500円</p> <p>計 L = 3,177m 76,738,537円</p> <p>合計77件(108路線)9,557m 185,752,794円</p>	市道の舗装工事及び補修工事を実施し、道路面を常に良好な状態に維持保全することにより、通行の安全確保が図られた。

(7) 土木費

(2) 道路橋梁費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
168	2 道路維持費	市道清掃ボランティア支援 事業	6,260	一般財源 6,260	団体登録数 313団体 市道清掃延長 417km 報償費 313団体×20,000円 6,260,000円	道路利用者がボランティアで清掃作業をすることにより快適な道路環境を確保するとともに、除草作業委託経費の軽減が図られた。
		市道一円道路維持補修事業	24,263	一般財源 24,263	道路維持補修 維持補修手数料 123件 9,308,836円 道路維持補修等に伴う原材料の支給 アスファルト合材外136件 13,170,149円 生活関連道路整備に伴う原材料の支給 生コンクリート外 本渡 6件 452,549円 牛深 2件 472,280円 有明 2件 186,385円 倉岳 4件 372,540円 河浦 1件 299,932円 合計 15件 1,783,686円	年間を通じて、市道の道路補修、除草作業を実施するとともにカーブミラー、側溝蓋等を設置、補修することにより、歩行者と車の安全な通行を確保し、快適な道路環境を図った。 また、生コンクリート等の原材料を支給し生活環境道路の整備を図った。
		道路維持補修業務委託事業	82,764	県支出金 840 その他 6 一般財源 81,918	道路維持補修業務委託 本渡 12件 20,375,123円 牛深 2件 9,975,000円 有明 5件 6,704,648円 御所浦 2件 2,614,500円 倉岳 3件 2,929,500円 栖本 2件 1,887,900円 新和 3件 4,063,500円 五和 4件 7,221,275円 天草 4件 6,405,000円 河浦 4件 8,140,145円 計 (41件) 70,316,591円 道路台帳の整備作成業務 データ統合・台帳作成6km 10,828,601円 分筆登記業務10路線11筆 1,618,363円 合計 82,763,555円	道路での危険箇所を調査し、迅速に対応、処理するとともに、街路樹管理及び道路除草、附帯施設の整備をすることにより市街地の環境美化と道路交通の安全を図った。 道路台帳の新規路線の作成、改良等路線の補正業務及び旧市町毎のデータの統合を実施し道路の適正な管理を図った。 市道における分筆所有移転の登記を実施し未登記路線の解消を図った。

(7) 土木費

(2) 道路橋梁費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
169 ┆ 170	3 道路新設改良費	本渡杵宇土線道路改良事業	166,073	国庫支出金 72,105 地方費 92,000 一般財源 1,968	【交付金事業】 補助率 5.5/10 (事業費内訳) 平成17年度繰越 工事請負費 60,331,173円 改良工事(2件) L = 385.3m 事務費 68,827円 計 60,400,000円 平成18年度 工事請負費 66,229,399円 改良工事(2件) L = 400m 舗装工事(2件)契約繰越 L = 980.6m 事務費 4,470,601円 計 70,700,000円 平成19年へ繰越 29,300,000円 【地方特定事業】 (事業費内訳) 工事請負費 34,075,000円 改良工事(1件) L = 130m 舗装工事(1件)契約繰越 L = 272m 用地費 5,147円 補償費 14,700円 事務費 877,838円 計 34,972,685円 平成19年度へ繰越 5,293,000円	道路交通網の整備により、車両の安全通行、歩行者の安全確保が図られた。 幹線道路として、完成後は市街地の交通渋滞の緩和、天草空港等の主要施設への連携道路としての効果が期待される。 事業期間 平成9年度～平成19年度 事業費 1,495,000千円 事業量 1,000m 改良延長 L = 489.7m(改良率49%) 平成19年度完了予定。 道路交通網の整備により、車両の安全通行、歩行者の安全確保が図られた。 幹線道路として、完成後は市街地の交通渋滞の緩和、天草空港等の主要施設への連携道路としての効果が期待される。 事業期間 平成9年度～平成19年度 事業費 559,189千円 事業量 993m 改良延長 L = 721m(改良率73%) 平成19年度完了予定。

(7) 土木費

(2) 道路橋梁費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
169 ） 170	3 道路新設改良費	浄南小松原線道路改良事業	20,100	国庫支出金 11,055 地方費 6,700 一般財源 2,345	【交付金事業】 補助率 5.5/10 (事業費内訳) 平成17年度繰越 委託料 10,080,000円 事務費 20,000円 計 10,100,000円 平成18年度 委託料 4,338,750円 事務費 5,661,250円 計 10,000,000円 平成19年度へ繰越 130,000,000円	老朽化した昭和橋の架替工事を実施し、車両の安全通行、歩行者の安全を確保する。 事業期間 平成17年度～平成20年度 事業費 350,000千円 事業量 90m (橋梁 L = 34m、取付 L = 56m)
		一町田中央線道路改良事業	139,539	国庫支出金 56,265 地方費 82,200 一般財源 1,074	【交付金事業】 補助率 5.5/10 (事業費内訳) 平成17年度繰越 工事請負費 79,531,978円 改良工事(1件) 橋梁下部工 補償費 9,804,763円 事務費 163,259円 計 89,500,000円 平成18年度 工事請負費 7,090,000円 改良工事(1件)契約繰越 橋梁護岸工 補償費 824,633円 事務費 4,885,367円 計 12,800,000円 平成19年度へ繰越 97,200,000円	老朽化に伴い、平成15年度より車両全面通行止めを行っている一町田橋の架替工事を実施する。 事業期間 平成17年度～平成20年度 事業費 400,000千円 事業量 60m (橋梁 L = 60m)

(7) 土木費

(2) 道路橋梁費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
169 } 170	3 道路新設改良費	浪床線道路改良事業	26,200	国庫支出金 14,410 地方費 11,400 一般財源 390	<p>【交付金事業】 補助率 5.5/10</p> <p>(事業費内訳)</p> <p>平成17年度繰越 委託料 8,704,583円 事務費 95,417円 計 8,800,000円</p> <p>平成18年度 工事請負費 13,314,000円 改良工事(1件)契約繰越 橋梁下部工1式、改良工1式 用地費 1,737,588円 補償費 847,554円 事務費 1,500,858円 計 17,400,000円</p> <p>平成19年度へ繰越 22,600,000円</p>	浪床橋の老朽化に伴い、橋梁架替及び取付道路の工事を実施する。
		立線道路改良事業	30,000	国庫支出金 15,000 地方費 15,000	<p>【道整備交付金事業】 補助率 5/10</p> <p>(事業費内訳)</p> <p>工事請負費 28,778,804円 改良工事(1件) L = 191m 舗装工事(1件) L = 191m 事務費 1,221,196円 計 30,000,000円</p>	幅員狭小箇所を拡幅改良し、緊急車両等の通行確保を図る。
		大規模単独事業	352,257	地方債 347,760 一般財源 4,497	<p>【過疎債】</p> <p>総事業費 352,256,800円 平成19年度へ繰越 88,366,000円 工事契約件数 16件 工事施工延長 L = 10919.8m</p>	地域住民の日常生活に不可欠な施設である道路を整備し、生活環境及び地域振興の向上を図る。 一路線の工事費が概10,000千円以上となる工事を実施。

(7) 土木費

(2) 道路橋梁費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
169 }	3	大規模単独事業 (つづき)			牛深地区 (事業費内訳) 工事請負費 16,892,231円 橋梁塗装工事(1件) A = 2,793m ² 委託料 3,550,500円 計 20,442,731円	
170					有明地区 工事請負費 115,762,500円 改良工事(6件) L = 7095.8m 委託料 7,375,083円 計 123,137,583円	
					平成19年度へ繰越 35,000,000円	
					御所浦地区 平成19年度へ繰越(委託料) 8,000,000円	
					倉岳地区 工事請負費 47,927,378円 改良工事(3件) L = 2331.5m 委託料 4,819,500円 計 52,746,878円	
					栖本地区 工事請負費 16,905,000円 改良工事(1件) L = 575m 委託料 1,879,500円 計 18,784,500円	
					新和地区 工事請負費 10,702,138円 改良工事(1件) L = 272m 委託料 1,029,000円 用地費 2,645,726円 補償費 603,500円 計 14,980,364円	

(7) 土木費

(2) 道路橋梁費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
169 ） 170	3 道路新設改良費	大規模単独事業 (つづき)			五和地区 工事請負費 116,578,673円 改良工事(4件) L = 645.5m 委託料 4,819,500円 補償費 766,571円 計 122,164,744円 平成19年度へ繰越 45,366,000円	
		小規模単独事業	198,781	地方債 188,400 一般財源 10,381	【過疎債】・【合併特例債】 総事業費 198,781,165円 平成19年度へ繰越 28,630,000円 工事契約件数 49件 工事施工延長 L = 4876.5m 本渡地区 工事請負費 54,059,120円 改良工事(6件) L = 504.4m 委託料 4,903,500円 用地費 1,867,309円 補償費 791,100円 事務費 4,800円 計 61,625,829円 平成19年度へ繰越 13,630,000円 牛深地区 工事請負費 48,087,900円 改良工事(13件) L = 644.5m 舗装工事(7件) L = 885.1m 御所浦地区 工事請負費 6,673,951円 改良工事(1件) L = 37.1m	地域住民の日常生活に不可欠な施設である道路を整備し、生活環境及び地域振興の向上を図る。 一路線の工事費が概10,000千円未満となる工事を実施。

(7) 土木費

(2) 道路橋梁費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
169 } 170	3 道路新設改良費	小規模単独事業 (つづき)			倉岳地区 工事請負費 11,989,192円 改良工事(2件) L = 308.1m 新和地区 委託料 1,732,500円 五和地区 工事請負費 12,669,690円 改良工事(3件) L = 566.0m 舗装工事(2件) L = 434.0m 天草地区 工事請負費 55,002,892円 改良工事(12件) L = 1133.3m 舗装工事(3件) L = 364.0m 委託料 999,211円 計 56,002,103円 平成19年度へ繰越 15,000,000円	
		市道災害防除事業	13,695	地方債 13,600 一般財源 95	【防災対策事業債】 総事業費 13,695,146円 工事契約件数 3件 工事施工延長 L = 101m 牛深地区 工事請負費 10,461,146円 災害防除工事(2件) L = 71m 五和地区 工事請負費 3,234,000円 災害防除工事(1件) L = 30m	道路路面のオーバーハング等危険箇所の災害防止対策として本事業を実施し、道路の安全通行の確保を図る。

(7) 土木費

(2) 道路橋梁費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
169 ） 170	3 道路新設改良費	国・県道整備事業負担金	66,531	地方債 63,150 一般財源 3,381	【合併特例債】 総事業費 66,531,000円 道路改良事業 46,131,000円 舗装補修事業 13,200,000円 側溝整備事業 7,200,000円 地区別内訳 本渡地区 17,525,000円 牛深地区 12,126,000円 有明地区 4,600,000円 倉岳地区 7,800,000円 栖本地区 4,200,000円 新和地区 4,635,000円 五和地区 4,825,000円 天草地区 5,125,000円 河浦地区 5,695,000円	国道3路線(266号、324号、389号)、主要地方道 本渡牛深線ほか5路線、一般県道大宮地宮地岳線ほ か16路線の単県事業(道路改良、舗装補修及び側溝 整備事業)の負担金。 道路改良事業(負担率15%) 舗装補修事業(負担率10%) 側溝整備事業(負担率15%)
		飛渡橋拡幅工事県委託事業	4,200	地方債 4,200	【過疎債】 総事業費 4,200,000円 河浦地区 4,200,000円	河浦町の白木河内川(2級河川)河川改修に伴 う、白木河内開拓線(飛渡橋)の拡幅工事の県委託 料。

(7) 土木費

(3) 河川費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
171 5 172	2 河川管理費	河川維持事業	13,608	一般財源 13,608	下十満地区排水路整備測量設計業務委託 924,000円 錦島地区排水路浚渫工事 V=39.0m ³ 165,900円 山川河川維持工事(有明) L型水路工L=8.0m 388,500円 東迫川他2件河川維持工事(有明) 東迫川L=2.5m山浦川L=4.0m 萩の平川L=3.0m 941,925円 大久保川河川維持工事(有明) 擁壁工L=23.7m 1,428,000円 諏訪川河川維持工事(有明) 護岸工L=12.0m 2,100,000円 大宮地新田川河川掘削工事(新和) V=167.0m ³ 483,000円 上河内川外1本河川掘削工事(天草) V=223.0m ³ 887,250円 前平川自然災害防止工事(天草) 現場打水路工L=45.0m 1,018,500円 宮の本川自然災害防止工事(天草) 現場打水路工L=43.0m 1,953,000円 大浦川自然災害防止工事(天草) 現場打水路工L=28.5m 1,512,000円 洲添川河川改修工事(本渡) コンクリート工V=15.3m ³ 1,806,000円 計 13,608,075円	河川の適切な管理を実施することによって土砂等 障害物による滞留及び氾濫の防止が図られた。又、 河川の護岸等の維持工事を実施したことによって護 岸の補強が進み災害に強くなった。
		単独河川・排水路整備事業	11,007	一般財源 11,007	砂子川護岸補強工事(牛深) 護岸補強L=28.0m 1,281,000円 早浦地区排水路整備工事(牛深) 一工区護岸補強L=28.0m 二工区護岸補強L=38.0m 1,774,500円	集落内の小規模で老朽化が進んだ排水路を整備し たり、未整備地区の解消を図ることによって浸水の 被害を防止すると共に生活環境の改善が図られた。

(7) 土木費

(3) 河川費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
171 5 172	2 河川管理費	単独河川・排水路整備事業 (つづき)			下平地区排水路整備工事(牛深) 排水路整備 L=56.9m 2,047,500円 須口排水路整備工事(牛深) 排水路整備U型側溝 L=38.0m 集水樹 1基 913,500円 岡東地区排水路整備工事(牛深) 床版コンクリート工 L=20.0m 1,669,500円 池田地区排水路整備工事(牛深) 一工区三面張工 L=11.0m 二工区護岸嵩上 L=16.0m 1,186,500円 下十満地区排水路工事(本渡) U型側溝 L=36.0m 822,150円 下河内地区排水路改修工事(本渡) ブロック積 A=23.0㎡ L型擁壁 L=2.0m 1,071,000円 楠浦地区排水路浚渫工事(本渡) V=35.0㎡ 除草工 A=200.0㎡ 241,500円 計 11,007,150円	
		五和町生活排水路等整備事業	48,602	一般財源 48,602	五和町生活排水路整備測量設計業務委託 1,785,000円 五和町生活排水路整備事業(宮の後工区) 自由勾配側溝 L=93.0m 9,207,573円 五和町生活排水路整備事業(松崎工区) 道路側溝 L=135.5m 5,617,500円 五和町生活排水路整備事業(東浜田工区) 五和町生活排水路整備事業(浦園工区) 道路側溝 L=186.0m 4,694,043円 五和町生活排水路整備事業(大島工区) 1,018,500円 道路側溝 L=33.2m	五和地区の集落密集地の排水路整備及び老朽化した水路の整備を進めることにより住民の生活環境の向上を図ることが出来た。

(7) 土木費

(3) 河川費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
171 5 172	2 河川管理費	五和町生活排水路等整備事業 (つづき)			五和町生活排水路整備事業（立石工区） 道路側溝L=104.0m 2,488,500円 五和町生活排水路整備事業（鳥越工区） 道路側溝L=49.2m 1,354,500円 五和町生活排水路整備事業（手野工区） U型側溝L=102.0m 道路側溝L=12.5m 2,341,500円 五和町生活排水路整備事業（城河原工区） U型側溝L=50.5m 道路側溝L=13.0m 1,029,000円 五和町生活排水路整備事業（浜田工区） 自由勾配側溝L=172.9m 自由勾配側溝L=34.0m 道路側溝L=39.0m 11,438,087円 五和町生活排水路整備事業（堀工区） 道路側溝L=53.2m 1,391,250円 五和町生活排水路整備事業（在郷工区） 道路側溝L=71.5m 2,226,000円 五和町生活排水路整備事業（西三工区） 道路側溝L=22.0m 472,500円 五和町生活排水路整備事業（中野工区） 道路側溝L=35.8m 1,407,000円 計 48,602,453円	
172	3 河川改良費	河川改良単独事業	12,936	地方債 2,850 一般財源 10,086	一の谷川河川改修工事（五和） 護岸工事一工区L=21.6m 護岸工事二工区L=4.0m 3,150,000円 上河内川河川改良工事（天草） 石積工A=115.0㎡ 木杭打工L=49.0m 4,872,000円 弓田川河川改良工事（天草） 嵩上げブロック積A=45.0㎡ 2,026,500円 宮崎地区自然災害防除（牛深） 擁壁工L=8.0m 2,887,500円 計 12,936,000円	補助事業の対象とならない小規模な護岸改良で、 河川の断面不足による流水の滞留及び氾濫を防止し 隣接する道路や住宅等の保全を図ることが出来た。 山腹崩壊から住宅及び生命の安全を確保すること が出来た。

(7) 土木費

(3) 河川費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
172	3 河川改良費	砂防関係県事業負担金	35,570	一般財源 11,820 地方債 23,750	急傾斜地崩壊対策事業負担金 擁壁工 負担率1/20 大原(栖本)鬼塚1(本渡)横浦南(御所浦) 南風泊(御所浦) 総事業費120,000千円×1/20 負担金 6,000,000円 擁壁工 負担率1/10 平床2(本渡)平床3(本渡)内柿2(本渡) 内目(本渡) 総事業費140,000千円×1/10 負担金 14,000,000円 単県急傾斜地崩壊対策事業負担金 擁壁工 負担率1/3 山の浦(牛深)内目(本渡)須口2(牛深) 元下須(牛深)船場(本渡) 総事業費35,400千円×1/3 負担金 11,800,000円 単県地すべり対策事業負担金 法枠工・排水工 負担率1/10 金焼(本渡)楠甫(有明) 総事業費13,700千円×1/10 負担金 1,370,000円 単県砂防事業負担金 護岸工 負担率1/10 高浜川支川(天草)仁田川(河浦) 総事業費24,000千円×1/10 負担金 2,400,000円 計 35,570,000円	急傾斜地崩壊防止区域及び地すべり防止区域、砂防区域内で土砂災害から、市民の生命、財産の保護及び生活の安全が図られた。
		県営建設海岸事業負担金		1,400	地方債 1,400	単県海岸保全事業負担金 護岸工・浸食対策 負担率1/20 中形浦(倉岳)下津江(有明)四名田(河浦) 荒新開(新和) 総事業費28,000千円×1/20 負担金 1,400,000円

(7) 土木費

(4) 港湾費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
172 ┆ 173	1 港湾管理費	港湾管理事業	6,623	県支出金 3,837 その他 2,786	茂木根港海水浴場清掃委託 964,640円 茂木根港浮遊物対策業務委 1,458,172円 樋門・水門管理委託 6箇 (錦島東・錦島西・障子の瀬金焼・大門 ・東入江) 767,000円 中田港可動橋操作委託 1,800,000円 中田港可動橋操作委託 147,000円 牛深港・与ヶ浦港浄化槽点検委託 116,235円 牛深港・下田港・鬼池港トイレ清掃委託 399,750円 牛深港トイレ浄化槽清掃業務委託 117,104円 鬼池港管理委託 516,000円 棚底港・与ヶ浦港待合所開閉管理委託 89,925円 白鶴ヶ浜北側植栽帯管理委 247,000円 計 6,622,826円	茂木根港海浜公園内の清掃が実施され環境整備が 図られた。また、浮遊物対策網を設置したことによ り海水浴客に対し、安全で安心できる海浜を提供で きた。 樋門管理により、低地帯の浸水被害防止が図られ た。 トイレ、港湾施設及び植樹帯の清掃管理を行うこ とにより、観光客、海水浴客及び港湾利用者に快適 な環境を提供できた。 中田港可動橋の操作、点検を行うことによりフェ リーへの安全な乗降が図られた。
		港湾施設維持補修事業	8,593	一般財源 8,593	棚底港曙浮棧橋撤去工事 5,999,851円 上平港トイレ改修工事 2,593,500円 計 8,593,351円	7月の豪雨により沈没した棚底港の浮き棧橋を撤 去することにより、船舶の安全な航行が図られた。 上平港のトイレを水洗化に改修することにより衛 生的で安全な環境を提供できた。
173 ┆ 174	2 港湾建設費	港湾整備事業	151,952	国庫支出金 65,315 地方債 84,150 一般財源 2,487	上平港改修事業C B R試験委託 81,900円 上平港改修(地方)工事 1,869,000円 上平港浮棧橋改修工事 2,961,000円 茂木根港湾環境整備工事 8,993,541円 一町田港主留海岸地形測量業務委託 1,522,500円 一町田港主留海岸地質調査業務委託 6,299,999円 一町田港主留海岸測量設計業務委託 18,795,000円	上平港の道路舗装及び防舷材の設置により港湾利 用者の安全性、利便性の向上が図られた。 茂木根港湾施設の補修、植樹、及び落石防止柵 設置等により公園利用者に安全で快適な環境を提供 できた。 台風や高潮時の越波による背後の民家及び農地へ の冠水被害防止が図られた。

(7) 土木費

(5) 都市計画費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
174 5 176	1 都市計画総務費	天草町景観審議会	40	一般財源 40	【天草町景観審議会】 天草町の景観を守り育てる条例の規定により、天草町の景観形成に関する事項を調査審議するため設置。 (事業内訳) 開催回数 1回 報酬費等 39,600円 ・委員11人(出席者7人)	有識者や天草町の地区振興会等の代表者を委員とし、住民等の意見を反映するとともに、天草町の美しい景観を町民等が一体となり守り・育てる効果が期待できる。
		ユニバーサルデザイン建築物整備促進事業	1,958	県支出金 979 一般財源 979	【ユニバーサルデザイン建築物促進事業補助金】 (事業内訳) 負担金補助及び交付金 1,958,000円 補助金 1件(美容室) ・補助限度額 300万円 ・県補助 1/3 ・市補助 1/3 ・自己負担1/3	障害者、高齢者等を含む全ての人が使いやすく、暮らしやすい施設整備、環境づくりを進めることにより、やさしい住みよいまちづくり施策に寄与することができる。
		都市計画基礎調査事業	7,779	県支出金 4,300 一般財源 3,479	【都市計画基礎調査】 都市計画法第6条の規定により行う都市計画に関する基礎調査 (事業内訳) 県委託金 算定委託料の1/2 委託料 7,770,000円 調査委託料 一式 事務費 8,800円 計 7,778,800円	都市計画の策定と実施を適正に遂行するためには、都市の現状及び都市化の動向について広範囲なデータを把握し、これに基づいた計画を行う必要があるため、人口規模、産業分類別就業人口規模、土地利用、都市施設等の基礎的なデータを整備し、都市計画の変更など基本的・総合的な都市施策の方向を見出すことができる。
176	3 街路事業費	太田町・水の平線街路整備事業	4,100	一般財源 4,100	【県営街路整備事業負担金】 ・単県街路促進事業(本戸馬場工区) 負担率1/10 事業費 5,000,000円 負担金 500,000円 ・緊急地方道路整備事業(城下工区) 負担率1/10 事業費 36,000,000円 負担金 3,600,000円	本渡の中心市街地を南北に縦断する幹線道路であり、地域の観光、商業の振興に寄与するとともに、都市の交通や防災、環境など多目的な機能を有し健全な市街地の形成と快適で魅力ある都市空間の形成が図られる。 本渡馬場工区(H9年度～H20年度) 総事業費1,580百万円、進捗率84.4% 城下工区(H5年度～H19年度) 総事業費1,920百万円、進捗率95.0%

(7) 土木費

(5) 都市計画費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
176 5 178	4 公園緑地費	公園維持管理事業	60,758	その他 2,517 一般財源 58,241	[公園維持管理] 都市公園 箇所数 49箇所 面積 82.22ha (事業費内訳) 工事請負費(1件) 3,601,500円 広瀬公園バックスクリーン復旧工事 A=148.0㎡ 報償費 1,215,900円 委託料 34,956,366円 役務費 3,838,263円 需要費 16,313,311円 使用料及び賃借料 254,000円 原材料費 412,388円 備品購入費 165,900円 計 60,757,628円	年間を通して、公園緑地の施設点検・清掃・除草・植物等の維持管理を実施。 施設の保全と都市環境の改善、利用者の利便性向上が図られた。
		花しょうぶ祭り事業	1,902	一般財源 1,902	[花しょうぶ祭り] 場所 西の久保公園 (事業費内訳) 報償費 200,000円 需要費 952,359円 役務費 390,950円 委託料 88,200円 使用料及び賃借料 270,700円 計 1,902,209円	花菖蒲園(面積0.5ha)で花しょうぶ祭りを開催。 4万人の来園者があり、観光や地域活性化が図られた。 期間：平成18年6月4日～6月11日
178	5 公園建設費	都市公園整備事業	11,035	地方債 5,600 一般財源 5,435	[単独事業] (事業費内訳) 委託料(1件) 257,250円 工事請負費(5件) 10,778,080円 計 11,035,330円	緑山公園の便所建設、西の久保公園の花しょうぶ園等の工事を実施。 施設の充実により利用者の利便性の向上が図られた。

(7) 土木費

(5) 都市計画費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
178	5 公園建設費	舟浜公園整備事業	203,424	地方債 193,200 一般財源 10,224	[単独事業] 公園面積 A=0.3ha (事業費内訳) 工事請負費 28,042,919円 整備工事(4件) 便益施設、管理施設 修景施設、園路広場工 公有財産購入費 175,380,658円 計 203,423,577円	公園の移転に伴う街区公園(面積 0.3ha)の整備を実施。 区域住民の交流・憩いの場として、利活用が図られている。
178 ┆ 180	6 まちづくり 交付金費	まちづくり交付金事業	321,800	国庫支出金 104,000 地方債 217,800	【交付金事業】 補助率：全体事業費の40%・年度割 ・都市再生整備計画に基づき実施する事業 《全体事業費内訳(平成17年度繰越・平成18年度)》 工事請負費 275,415,939円 委託料 16,645,424円 事務費 11,243,946円 人件費 18,495,000円 計 321,800,309円 《平成19年度へ繰越》 工事請負費 217,178,710円 委託料 47,884,226円 用地費 39,302,000円 補償費 2,742,000円 事務費 5,493,064円 計 312,600,000円	地域の歴史、文化、自然環境等の特性を活かし、地域主導のまちづくりを実施することで、都市の再生を効率的に推進することにより、地域住民の生活の質の向上と、地域経済・社会の活性化を図ることを目的とした国の支援制度である。 特徴は、個別事業の支援ではなく、都市再生整備計画に対する支援制度であるため、都市再生整備計画に記載された内容の範囲内であれば、柔軟な事業執行が可能となっている。 ○本渡中央北地区 本渡中央北地区都市再生整備計画は、祇園橋や祇園社、城山公園、天草切支丹館などの歴史や観光資源を活かし、商店街、天草交流プラザ・仮称(旧ニチビル)～祇園橋～天草でんしょう館・仮称(旧教育会館)～城山公園、天草切支丹館の観光ルートを確立し、各施設の整備を行うとともに、地域に至る歩道等の高質化や案内板・情報板を設置し、回遊性のある市街地を形成、来街者の利便性の向上と地域の魅力を高め、また、観光ボランティアの育成により交流を促進し、地域の活性化を図るものである。

(7) 土木費

(5) 都市計画費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
178 5 180	6 まちづくり 交付金費	まちづくり交付金事業 (つづき)			<p>○本渡中央北地区 《平成17年度からの繰越》 工事請負費 98,381,939円 事務費 1,018,370円 計 99,400,309円</p> <p>《平成18年度》 工事請負費 177,034,000円 委託料 11,171,774円 事務費 9,492,226円 人件費 15,702,000円 計 213,400,000円</p> <p>《平成19年度へ繰越》 工事請負費 162,778,710円 委託料 42,214,226円 用地費 39,302,000円 補償費 2,742,000円 事務費 4,563,064円 計 251,600,000円</p> <p>○下田地区 《平成18年度》 委託料 5,473,650円 事務費 733,350円 人件費 2,793,000円 計 9,000,000円</p> <p>《平成19年度へ繰越》 工事請負費 54,400,000円 委託料 5,670,000円 事務費 930,000円 計 61,000,000円</p>	<p>【全体事業計画】 事業期間：平成17年度～21年度（5ヶ年間） 全体事業費：2,314,000,000円 H18年度末進捗率：24.0% 事業内容： 〔基幹事業〕道路、地域生活基盤施設（広場、情報板）、高質空間形成施設（歩道等高質化、城山公園）、高次都市施設（天草切支丹館）、既存建造物活用事業（天草でんしょう館（仮称）、天草交流プラザ（仮称） 〔提案事業〕まちづくり活動推進事業（観光ボランティア育成等）、地域創造支援事業（空き店舗対策事業、商店街イベント事業、文化財調査、収益施設整備事業）</p> <p>○下田地区 下田地区の都市再生整備計画は、自然豊かな天草のなかでも多彩で美しい自然景観を有し、島内唯一の天然温泉かけ流しなど多様な観光資源を活かし、中心部に足湯を配置した広場や観光サービスの展開の場となる観光交流センター、散策路などを整備し、来街者と住民が交流する賑わいと活気あふれるまちづくりによる温泉街を再生するものである。</p> <p>【全体事業計画】 事業期間：平成18年度～21年度（4ヶ年間） 全体事業費：400,000,000円 H18年度末進捗率：2.3% 事業内容： 〔基幹事業〕公園（さくら公園）、地域生活基盤施設（広場、情報板）、高質空間形成施設（市道高質化）、高次都市施設（観光交流センター） 〔提案事業〕まちづくり活動支援事業（ワークショップ等）</p>

(7) 土木費

(5) 都市計画費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果																																		
178 5 180	6 まちづくり 交付金費	まちづくり交付金事業 (つづき)			<p>【本渡中央北地区まちづくり交付金事業】 (事業内容及び事業費内訳) 《平成17年度からの繰越》</p> <p>●高質空間形成施設</p> <ul style="list-style-type: none"> 下川原茂木根線道路環境整備事業 <table border="0"> <tr> <td>工事請負費 (5件)</td> <td>98,381,939円</td> </tr> <tr> <td>歩道高質化工事 (3件)</td> <td>L=504m</td> </tr> <tr> <td>街路灯設置工事 (1件)</td> <td>9基</td> </tr> <tr> <td>道路植栽工事 (1件)</td> <td>14本</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>1,018,370円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>99,400,309円</td> </tr> </table> <p>《平成18年度》</p> <p>●道路事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路舗装事業 <table border="0"> <tr> <td>工事請負費 (1件)</td> <td>11,760,000円</td> </tr> <tr> <td>舗装工事 (2路線)</td> <td>L=424m</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>619,500円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>12,379,500円</td> </tr> </table> 高質空間形成施設 <ul style="list-style-type: none"> 下川原茂木根線道路環境整備事業 <table border="0"> <tr> <td>工事請負費 (1件)</td> <td>9,345,000円</td> </tr> <tr> <td>街路灯設置工事 (1件)</td> <td>12基</td> </tr> </table> 城山公園整備事業 <table border="0"> <tr> <td>工事請負費 (1件)</td> <td>4,107,000円</td> </tr> <tr> <td>敷地造成・施設整備工事</td> <td></td> </tr> </table> 19年度への繰越 (契約) 6,162,000円 高次都市施設 <ul style="list-style-type: none"> 天草切支丹館整備事業 <table border="0"> <tr> <td>委託費 (3件)</td> <td>6,319,774円</td> </tr> <tr> <td>設計委託 (2件)</td> <td>解体・仮設道路設計一式</td> </tr> <tr> <td>調査委託料 (1件)</td> <td>地質等調査委託一式</td> </tr> </table> 	工事請負費 (5件)	98,381,939円	歩道高質化工事 (3件)	L=504m	街路灯設置工事 (1件)	9基	道路植栽工事 (1件)	14本	事務費	1,018,370円	計	99,400,309円	工事請負費 (1件)	11,760,000円	舗装工事 (2路線)	L=424m	委託料	619,500円	計	12,379,500円	工事請負費 (1件)	9,345,000円	街路灯設置工事 (1件)	12基	工事請負費 (1件)	4,107,000円	敷地造成・施設整備工事		委託費 (3件)	6,319,774円	設計委託 (2件)	解体・仮設道路設計一式	調査委託料 (1件)	地質等調査委託一式	<p>(本渡中央北地区)</p> <p>●道路事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路舗装事業 地区内の道路 (舗装) を整備することにより、地区住民や来街者の安全で快適な通行が確保される。 高質空間形成施設 <ul style="list-style-type: none"> 下川原茂木根線道路環境整備事業 主要な観光拠点に至る幹線道路の歩道の美装化や街路灯の設置により、来街者や市民がやすらぎを感じ、回遊性のある市街地の形成が図られる。 城山公園整備 来街者や市民が多目的に利用できる施設整備や園路の美装化、修景施設を整備し、天草切支丹館と一体となった緑地空間、滞在空間の形成が図られる。 高次都市施設 <ul style="list-style-type: none"> 天草切支丹館整備事業 既存の資料展示機能に企画学習、情報発信、憩いの機能を加え、観光客はもとより市民の利用できる観光ニーズに対応した魅力ある施設として整備し、天草本渡の観光拠点施設とする。
工事請負費 (5件)	98,381,939円																																							
歩道高質化工事 (3件)	L=504m																																							
街路灯設置工事 (1件)	9基																																							
道路植栽工事 (1件)	14本																																							
事務費	1,018,370円																																							
計	99,400,309円																																							
工事請負費 (1件)	11,760,000円																																							
舗装工事 (2路線)	L=424m																																							
委託料	619,500円																																							
計	12,379,500円																																							
工事請負費 (1件)	9,345,000円																																							
街路灯設置工事 (1件)	12基																																							
工事請負費 (1件)	4,107,000円																																							
敷地造成・施設整備工事																																								
委託費 (3件)	6,319,774円																																							
設計委託 (2件)	解体・仮設道路設計一式																																							
調査委託料 (1件)	地質等調査委託一式																																							

(7) 土木費

(5) 都市計画費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
178 5 180	6 まちづくり 交付金費	まちづくり交付金事業 (つづき)			<ul style="list-style-type: none"> ●既存建造物活用事業 <ul style="list-style-type: none"> ・天草でんしょう館（仮称）整備事業 <ul style="list-style-type: none"> 工事請負費（3件） 29,127,000円 改修工事（1件） 電気設備工事（1件） 電気設備工事一式 機械設備工事（1件） 機械設備工事一式 19年度への繰越（契約） 30,228,000円 委託費（1件） 0円 監理業務委託 一式 19年度への繰越（契約） 1,395,000円 18年度実施額 29,127,000円 19年度への繰越（契約） 31,623,000円 ・天草交流プラザ（仮称）整備事業 <ul style="list-style-type: none"> 工事請負費（3件） 122,695,000円 改修工事（1件） RC地上3階地下1階3331㎡ 電気設備工事（1件） 電気設備工事一式 機械設備工事（1件） 機械設備工事一式 19年度への繰越（契約） 42,985,000円 委託費 1,450,000円 19年度への繰越（契約） 750,000円 18年度実施額 124,145,000円 19年度への繰越（契約） 43,735,000円 ●まちづくり活動推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・観光ボランティア育成事業 <ul style="list-style-type: none"> 講師謝礼・会場借上等 564,164円 研修会等開催 21回 ●地域創造支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗対策事業 <ul style="list-style-type: none"> 借家料補助金 2,940,500円 補助件数 12件 借家料の1/2以内、限度額5万円 	<ul style="list-style-type: none"> ●既存建造物活用事業 <ul style="list-style-type: none"> ・天草でんしょう館（仮称）整備事業 <ul style="list-style-type: none"> 旧教育会館は、昭和10年建築された趣のある洋風建築物であり、文化的な価値や施設の意匠を活かした新たな観光施設（天草でんしょう館・仮称）として整備し、天草伝統工芸体験や市民の憩い交流施設として活用する。 ・天草交流プラザ（仮称）整備事業 <ul style="list-style-type: none"> 中心市街地の一角に位置する旧ニチビルを市民や来街者が集まり天草の観光・物産情報等様々な情報に触れる情報発信、まちづくりの拠点の場（天草交流プラザ・仮称）として来街者と市民が交流し賑わいを創出する施設として整備活用を図る。 ●まちづくり活動推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・観光ボランティア育成事業 <ul style="list-style-type: none"> 観光ガイドの人材を育成し、観る観光から知る観光へ、地域の魅力の向上を図り来街者との交流を促進する。 ●地域創造支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗対策事業 <ul style="list-style-type: none"> 空き店舗を利用する新規開業者に対して、その経費の一部を補助することにより魅力ある商店街づくりを推進し商店街の活性化を図る。

(7) 土木費

(5) 都市計画費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
178 ↳ 180	6 まちづくり 交付金費	まちづくり交付金事業 (つづき)			<ul style="list-style-type: none"> ・文化財調査事業 委託料 2,782,500円 <li style="padding-left: 20px;">文化財測量委託 地形測量等一式 <li style="padding-left: 20px;">文化財保存指導謝礼等 19,415円 <li style="text-align: right;">計 2,801,915円 <p>【下田地区まちづくり交付金事業】 (事業内容及び事業費内訳) 《平成18年度》</p> <ul style="list-style-type: none"> ●公園事業 ・さくら公園整備事業 委託料 1,722,000円 <li style="padding-left: 20px;">測量設計委託 実施設計一式 <ul style="list-style-type: none"> ●地域生活基盤施設 ・温泉広場整備事業 委託料 1,813,350円 <li style="padding-left: 20px;">測量設計委託料 実施設計一式 <ul style="list-style-type: none"> ●高次都市施設 ・下田観光交流センター整備事業 委託料 0円 <li style="padding-left: 20px;">設計委託料 基本・実施設計一式 <li style="padding-left: 20px;">平成19年度へ繰越(契約) 5,670,000円 <ul style="list-style-type: none"> ●まちづくり活動推進事業 ・ワークショップ 委託料(1件) 1,021,650円 <li style="padding-left: 20px;">まち活支援業務委託 ワークショップ開催7回 <li style="padding-left: 20px;">バス借上料等 54,050円 <li style="text-align: right;">計 1,075,700円 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財調査事業 城山公園、天草切支丹館整備を促進するための調査を行い、文化財の保護・活用の検討を行う。 <p>(下田地区)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●公園事業 ・さくら公園整備事業 来街者や住民が憩い集う場として公園を整備し交流の促進を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ●地域生活基盤施設 ・温泉広場整備事業 温泉街の中心部に足湯を配置した温泉広場を整備し温泉街のイメージアップを醸しだし観光客や住民の憩いの場、イベントの場として活用を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ●高次都市施設 ・下田観光交流センター整備事業 地域の観光拠点施設として整備し、観光情報等の発信、地域住民による観光サービスの展開の場として活用を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ●まちづくり活動推進事業 ・ワークショップ 地区振興会、各種団体、一般公募によるメンバーで会議を構成し、施設整備、設計の検討、地域で行うソフト事業等の検討を行う。

(7) 土木費

(7) 住宅費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
181 } 183	1 住宅管理費	天草地区公営住宅営繕事業	1,460	その他 1,460	堀田団地1号棟 (簡 5戸) (事業内訳) 屋根防水改修 ウレタン防水 217㎡ 計 1,459,500円	雨漏り対策工事が実施されたことにより居住環境の向上及び施設の延命が図られた。
		河浦地区公営住宅営繕事業	1,050	その他 1,050	富津団地3・5・6号棟・・・木造2階建て (事業内訳) 汚雑排水管の公共下水接続・・・12戸 既存浄化槽廃槽処理・・・6基 計 1,050,000円	本工事の実施により、居住環境(衛生面)の向上はもとより建物周囲の安全性が確保できた。
183 } 184	2 住宅建設費	公営住宅整備事業	74,014	国庫支出金 32,978 一般財源 27,566 その他 13,470	《地域住宅交付金事業》 【倉岳地域公営住宅整備事業】 補助率 5/10 境目団地建替え事業 木造平屋建て 4戸建設 76.5㎡/戸当たり 既存住宅解体撤去 簡平1棟(4戸) (事業内訳) 工事請負費 64,872,099円 建築工事(4件) 電気設備工事(2件) 機械設備工事(2件) 屋外環境整備(2件) 既存住宅解体撤去(1件) 委託料 1,801,800円 旅費 117,759円 需用費 1,366,252円 計 68,157,910円 〔 交付基本額 60,600 交付金額 30,300 〕	本事業の実施により、耐用年数の過ぎた老朽化の著しい不良(維持管理上支障をきたしている)住宅の解消と、新たにユニバーサルデザイン等に配慮した良質な住宅の供給を図ることができた。

(7) 土木費

(7) 住宅費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
183 ） 184	2 住宅建設費	公営住宅整備事業 (つづき)			<p>【倉岳地域公営住宅ストック総合改善事業】 補助率 5/10 新町団地水洗化改修事業・・・簡平2棟(6戸) 汚雑排水管の公共下水接続 玄関、便所の手摺り設置 (事業内訳) 工事請負費 3,433,500円 水洗化改修工事(1件) 委託料 193,200円 需用費 100,000円 計 3,726,700円</p> <p>[交付基本額 3,556 交付金額 1,778]</p> <p>【倉岳地域公営住宅再編事業】 補助率 4.5/10 旧浦第2団地解体事業・・・簡平1棟(3戸) 建物解体及び跡地整地工事 (事業内訳) 工事請負費 2,079,000円 解体工事(1件) 需用費 50,000円 計 2,129,000円</p> <p>[交付基本額 2,000 交付金額 900]</p>	<p>本工事の実施により、居住環境(衛生面)の向上はもとより建物内部(玄関・便所)の安全性が確保できた。</p> <p>本工事の実施により平成17年度に建替え整備した旧住宅の管理問題が解消された。</p>

(8) 消防費

(1) 消防費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
184 184	1 常備消防費	天草広域連合負担金	1,401,150	地方債 45,270 一般財源 1,355,880	天草広域消防運営のための負担金 1,354,676,000円 消防救急艇配備事業負担金 46,474,000円	市民の生命、財産を火災等の災害から守るとともに、公共の福祉の増進が図られた。また、御所浦分署に消防救急艇が配備され、海難事故や離島災害対策が充実された。
184 185	2 非常備消防費	消防団の訓練等事業	16,928	一般財源 16,928	消防団の訓練事業 16,928,302円	消防団員の消防知識及び技能の習得及び向上のため、各種訓練を実施し消防技術の向上が図られた。
		熊本県消防協会天草市支部補助金	1,350	一般財源 1,350	補助金 1,350,000円	消防出初式、小型ポンプ操法大会、各種訓練等の実施に対する補助の実施により、消防団活動、運営の強化が図られた。
185 186	3 消防施設費	消防機械等購入事業	23,041	県支出金 534 地方債 22,000 一般財源 507	消防ポンプ等購入事業 23,041,490円 ポンプ付積載車 4台 (有明方面隊 4台) 第1分団第2部、第4分団第2部 第6分団第1部、第7分団第1部 消防小型ポンプ 6台 牛深方面隊 第1分団第1部、第3分団第1部 第4分団第1部、第5分団第3部 第7分団第1部 御所浦方面隊 第3分団第1部	火災発生時の消防団の装備、消防機器の整備充実が図られた。
		防火水槽整備事業	10,787	地方債 8,970 その他 1,816 一般財源 1	・新設工事 2基 (本渡地区1基、新和地区1基) 6,678,000円 ・改修工事 5基 (有明地区 5基...有蓋工事) 4,109,482円	火災発生の際の水利確保が図られた。 また、防火水槽の安全確保が図られた。
		消火栓設置負担金	14,074	地方債 13,860 一般財源 214	・拡張 24件 8,458,370円 (本渡、牛深、御所浦、倉岳、新和、五和、天草) ・改良 17件 5,404,225円 (本渡、牛深、御所浦、五和、天草、河浦) ・修繕 3件 211,890円 (本渡、牛深、倉岳)	水道(上水道、簡易水道等)普及地区においての管布設替えに伴う消火栓の新設及び修繕を行うことにより、火災時の地域住民の安全確保のため、消防水利の充実が図られた。

(8) 消防費

(1) 消防費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
187 5 189	災害対策費	防災行政無線整備事業	32,898	国庫支出金 7,710	・防災行政無線基本設計調査 10,710,000円	天草市全域の防災行政無線の統合、デジタル化等の整備計画の調査、基本設計等により、迅速で的確な情報伝達施設計画整備により防災体制の確立が図られた。 防災行政無線の改修、難聴地区への子局新設により防災体制の拡充が図られた。
		県支出金 1,000		・防災行政無線（移動系）中継局設備改修（有明地区） 6,825,000円		
		地方債 21,600		・防災行政無線屋外子局新設（本渡地区 2基） 6,644,400円		
		防災訓練事業	2,121	一般財源 2,121	防災訓練事業 2,120,602円 ・開催地 牛深地区 ・対象地域 牛深、天草、河浦 3地域 ・参加機関 陸上自衛隊 他 900名	天草地域における防災体制の確立と防災関係機関の連携強化並びに天草市民の防災意識の高揚が図られた。
		応急対策事業	61,221	一般財源 61,221	総務部防災交通課 4,463,365円 水防出動（消防団） 2,010,000円 需用費（ブルーシート購入等） 1,770,930円 崩土倒木等除去手数料 682,435円 市民環境部環境課 1,927,581円 河浦地区災害ごみ処理 経済部農林整備課 5,324,368円 林道崩土除去（6地区） 3,955,168円 治山施設崩土除去（河浦） 1,369,200円 経済部水産課 226,275円 崎津漁港流木処理 80m ³ 経済部商工観光課 1,209,862円 海水浴場流木処理（砂月、白鶴浜） 建設部道路整備課 21,532,194円 市道崩土倒木除去等（204件、253路線） 建設部河川港湾課 26,251,691円 崩土等除去（71件） 17,357,328円 堆積土砂除去（河浦） 934,500円 流木等処理 4,599,863円 災害応急工事（河浦防護柵） 3,360,000円 教育部教育施設課 285,600円 教育施設崩土除去（五和）	平成18年7月豪雨災害等による市内全域の崩土、倒木、ごみ等の処理などの応急対応により、市民生活の応急的な復旧、災害対応が図られた。

(9)教育費

(1)教育総務費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果																										
189 } 190	1 教育委員会費	天草教育研究所等補助金	4,470	一般財源 4,470	<p>【天草教育研究所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修部では、22の部門で管内の教科等の指導力向上を目指した研修・研究を行なった。 ・児童文化部では、児童生徒文化展、小中学校音楽会、中学校英語発表会を行った。 ・体育部では、小体連、中体連の開会を開催し、中学駅伝大会は、県大会、九州大会まで開催した。 <p>【学校保健会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・14回の会議と4回の研修会を行った。 <p>【学校給食会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7回の会議と12回の地場産物を使った調理講習会を実施 <p>【天草郡市小中学校長会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議及び研究会を22回開催、その他研修会に7回参加 <p>【天草郡市小中学校教頭会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6回の教頭委員会と総会研修会を開催、その他研修会に7回参加 <p>各市町補助金</p> <table border="0"> <tr><td>天草市</td><td>4,470</td></tr> <tr><td>上天草市</td><td>1,656</td></tr> <tr><td>苓北町</td><td>406</td></tr> <tr><td>合計</td><td>6,532</td></tr> </table> <p>団体別一覧</p> <table border="0"> <tr><td>天草教育研究所</td><td>4,700</td><td>(予算計8,956)</td></tr> <tr><td>天草学校保健会</td><td>517</td><td>(予算計 694)</td></tr> <tr><td>天草郡市学校給食会</td><td>76</td><td>(予算計 431)</td></tr> <tr><td>天草郡市小中学校長会</td><td>750</td><td>(予算計4,413)</td></tr> <tr><td>天草郡市小中学校教頭会</td><td>489</td><td>(予算計3,107)</td></tr> <tr><td>合計</td><td>6,532</td><td>(予算計17,601)</td></tr> </table>	天草市	4,470	上天草市	1,656	苓北町	406	合計	6,532	天草教育研究所	4,700	(予算計8,956)	天草学校保健会	517	(予算計 694)	天草郡市学校給食会	76	(予算計 431)	天草郡市小中学校長会	750	(予算計4,413)	天草郡市小中学校教頭会	489	(予算計3,107)	合計	6,532	(予算計17,601)	<p>天草教育研究所、天草学校保健会、天草郡市学校給食会、天草郡市小中学校校長会、天草郡市小中学校教頭会の連携が保たれた。</p> <p>教職員の資質向上を目指した研修と、児童生徒の文化・スポーツ両面における才能を開花させることができた。</p>
天草市	4,470																															
上天草市	1,656																															
苓北町	406																															
合計	6,532																															
天草教育研究所	4,700	(予算計8,956)																														
天草学校保健会	517	(予算計 694)																														
天草郡市学校給食会	76	(予算計 431)																														
天草郡市小中学校長会	750	(予算計4,413)																														
天草郡市小中学校教頭会	489	(予算計3,107)																														
合計	6,532	(予算計17,601)																														

(9) 教育費

(1) 教育総務費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
190 ┆ 191	2 事務局費	学校落成記念式典事業	198	一般財源 198	<p>【高浜小学校落成記念式典】</p> <p>・高浜小学校新校舎完成に伴い、関係者を招き、落成式を行った。</p> <p>消耗品費 (会場看板代、花代等) 101,364円</p> <p>印刷製本費 (学校パンフレット) 84,000円</p> <p>通信運搬費 (案内状、返信ハガキ代) 12,600円</p> <p>計 197,964円</p>	<p>新校舎落成式を開催することにより、学校として、ひとつの大きな節目を迎えることができた。また、児童にとっても、新校舎を建設するのに多くの人たちが携わっていたということも分かり、今後、校舎を大事にし、勉学にも更に励もうという意識が芽生えたものと思われる。</p>
		耐震化優先度調査事業	24,013	国庫支出金 24,013	<p>管内の学校施設(小学校、中学校、幼稚園)のうち旧耐震基準で建築された建物123棟について、耐震化優先度調査を実施した。</p> <p>(事業費内訳)</p> <p>報償費 30,000円</p> <p>旅費 47,075円</p> <p>需用費 84,310円</p> <p>役務費 1,700円</p> <p>耐震化優先度調査業務委託(6件) 23,849,762円</p> <p>計 24,012,847円</p>	<p>耐震化優先度調査により学校施設の優先度ランクを把握することができた。</p> <p>今後、本格的な耐震診断、耐震補強をする必要があるが、多額の費用が必要なため、学校規模の適正化等を図り効率的且つ計画的に耐震化を進めていく必要がある。</p>

(9) 教育費

(1) 教育総務費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果										
191 ┆ 193	3 教育振興費	スクールサポーター事業	169	一般財源 169	<p>【天草市教育フォーラムの開催】 天草市の教育の現状についての理解を深めてもらうため牛深総合センターで開催。</p> <p>(主な内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育実践発表3件(「読書のまち・あまくさ」推進事業、浅海地域子ども教室推進事業の取組み、教育研究開発指定校「創才はぐくみ科」) ・基調講演 熊本保健科学大学教授 片淵美和子先生 <p>(事業費内訳)</p> <table> <tr> <td>講師謝礼等</td> <td>37,000円</td> </tr> <tr> <td>費用弁償(講師旅費)</td> <td>12,523円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費(看板、花代等)</td> <td>64,059円</td> </tr> <tr> <td>食料費(発表者弁当代)</td> <td>55,200円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>168,782円</td> </tr> </table>	講師謝礼等	37,000円	費用弁償(講師旅費)	12,523円	消耗品費(看板、花代等)	64,059円	食料費(発表者弁当代)	55,200円	計	168,782円	市民並びに教育関係者約900人が参加し、天草市の教育の現状について理解が深められ、これからの教育の在り方や方向を見定める機会となった。
講師謝礼等	37,000円															
費用弁償(講師旅費)	12,523円															
消耗品費(看板、花代等)	64,059円															
食料費(発表者弁当代)	55,200円															
計	168,782円															

(9) 教育費

(1) 教育総務費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
191 ） 193	3 教育振興費	読書活動支援事業	16,553	一般財源 16,553	【学校司書の配置】 (小中学校の巡回配置) ・本渡地区 6名 ・牛深、河浦、天草地区 3名 (事業費内訳) 報酬 13,791,600円 その他の事業費 2,761,221円 計 16,552,821円	司書としての専門的立場から蔵書分類、図書室のレイアウト等環境整備が充実し、又新刊図書の紹介、本の借り方指導等が徹底され図書室利用の活性化、読書活動意欲が促進された。調べ学習等においては、辞典、教材等の準備が円滑になり授業の充実に効果があっている。
		外国青年教師招致事業	49,727	その他 880 一般財源 48,847	【英語指導助手の配置】 (中学校全校への巡回配置) ・本渡地区 2名 ・牛深地区ほか(各1名) 9名 (事業費内訳) 報酬 38,570,250円 招致渡航旅費 2,078,872円 その他の事業費 9,077,525円 計 49,726,647円	外国青年を英語指導助手(ALT)として市内中学校に配置し、生きた英語の学習、異文化交流を通して語学力の向上と英語授業の改善が図られている。又、小学校等にも巡回訪問し外国語に触れ、外国語に親しむ体験的活動を取り入れた国際理解教育が推進された。
		学習指導補助教員設置事業	24,578	一般財源 24,578	【学習指導補助教員の配置】 ・小学校1・2年生に31人以上の学級がある学校 小学校 6校 8名 ・特別に支援が必要な学校 小・中学校 6校 6名 (事業費内訳) 報酬 23,651,508円 その他の事業費 926,483円 計 24,577,991円	学校教育のスタート時期である小学校1年生・2年生の31人以上多人数学級において、担任教諭とのチームティーチングで児童一人一人に目が行き届いた細やかな学習指導により、この時期必要な学習態度や集団生活等の基礎基本の事項の定着・向上が助長された。又、特に支援を要する小中学校においては、担任教諭と連携した児童・生徒への個々に応じた学習指導により、学習能力の向上、落ち着いた雰囲気での授業展開などにより学級運営の円滑化が図られている。

(9) 教育費

(1) 教育総務費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
191 ） 193	3 教育振興費	スクーリング・サポート・ ネットワーク整備事業	1,455	県支出金 1,455	<p>適応指導教室の充実に向け、指導員を1名配置し、 学校・家庭への支援のため研修会等を実施。</p> <p>・対象 市内中学生 ・指導員 嘱託員1名</p> <p>(事業費内訳)</p> <p>共済費 151,480円 賃金 1,100,800円 報償費 22,000円 旅費 128,418円 需用費 52,089円</p> <p>計 1,454,787円</p>	不登校対策に関する中核的機能（適応指導教室） が充実し、学校・家庭・関係機関の連携が図られ た。
		スクールバス運行事業	85,627	国庫支出金 17,992 一般財源 67,635	<p>小・中学校の統廃合により、遠距離通学となった児 童・生徒の交通手段確保のためスクールバスを運 行。</p> <p>・牛深地区 5台 ・有明地区 2台 ・御所浦地区 4台 ・栖本地区 1台 ・新和地区 2台 ・天草地区 3台 ・河浦地区 2台</p> <p>(事業費内訳)</p> <p>委託料 85,627,247円</p> <p>計 85,627,247円</p>	遠距離通学となった児童・生徒の交通手段が確保 され、義務教育の円滑な実施に資することができ た。

(9) 教育費

(1) 教育総務費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
193	4 住宅管理費	教職員住宅管理経費	4,949	その他 144 一般財源 4,805	〔教職員住宅の維持、管理〕 教職員住宅総数 166戸 牛深町 34戸 有明町 6戸 御所浦町 41戸 倉岳町 12戸 栖本町 7戸 新和町 5戸 五和町 1戸 天草町 25戸 河浦町 35戸 教職員住宅維持管理経費 光熱水費 53,619円 修繕料 2,865,623円 浄化槽維持管理等手数料 189,727円 土地借上料 154,000円 教職員住宅共済購入年賦金 1,679,446円 公立学校共済負担金 6,480円 計 4,948,895円	教職員住宅の住環境整備に努め、円滑な維持、管理を行うことで、建物の延命化に努めた。
		教職員住宅整備事業		1,562	一般財源 1,562	教職員整備事業費 倉岳地区教職員住宅下水道接続工事 倉岳町教職員住宅第8号、第9号 984,900円 牛深東中学校教頭住宅解体工事 牛深教職員住宅第25号（W造 50㎡） 577,500円 計 1,562,400円

(9) 教育費

(2) 小学校費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果						
197 ） 198	2 小学校 教育振興費	総合的な学習活動支援事業	9,720	一般財源 9,720	<p>「総合的な学習の時間」の実施に伴う、体験的な学習を行うための消耗品費、バス・飛行機等使用料。小学校6年生は、天草エアライン搭乗体験（天草・熊本間）を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助単価 <ul style="list-style-type: none"> ・1校当たり20,000円 ・3年生以上の学級1学級当たり20,000円 〃（エアライン搭乗） <ul style="list-style-type: none"> ・1人当たり4,000円 ・学校・空港間交通費 <p>（事業費内訳）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">補助金</td> <td style="text-align: right;">4,573,663円</td> </tr> <tr> <td>〃（エアライン搭乗）</td> <td style="text-align: right;">5,146,080円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">9,719,743円</td> </tr> </table>	補助金	4,573,663円	〃（エアライン搭乗）	5,146,080円	計	9,719,743円	<p>各学校の総合学習の活動範囲が広がりより充実したものとなった。見学・調査等の直接体験ができ児童の興味・関心を高めることができた。</p> <p>エアライン搭乗体験参加者：6年生児童 961人 引率教員 77人 計 1,038人</p>
補助金	4,573,663円											
〃（エアライン搭乗）	5,146,080円											
計	9,719,743円											
		外国語講師派遣事業	1,835	一般財源 1,835	<p>国際社会に対応する広い視野をもった児童の育成を図るため英語講師を派遣。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・派遣校数 17校 <p>（事業費内訳）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">委託料</td> <td style="text-align: right;">1,834,690円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">1,834,690円</td> </tr> </table>	委託料	1,834,690円	計	1,834,690円	<p>英語の授業でティームティーチングの形式で、生きた英語を学びその学習を通じて、外国人とのコミュニケーションが図られ国際化の第一歩が促進された。</p>		
委託料	1,834,690円											
計	1,834,690円											

(9) 教育費

(2) 小学校費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
198 ） 199	3 小学校建設費	小学校施設営繕事業	89,695	一般財源 89,695	<p>小学校（45校）の危険箇所、老朽箇所の改善を行った。</p> <p>修繕料 19,816,392円 修繕料（台風13号災害分） 2,113,171円</p> <p>本渡南小学校敷地測量委託 95,000円 佐伊津小学校外壁改修外 設計委託料 1,092,000円 工事請負費 13,629,000円 計 14,721,000円</p> <p>楠浦小学校体育館床改修工事 1,606,500円</p> <p>体育館改修 設計委託料 609,000円 本渡南小 3,286,500円 本渡北小 3,055,500円 計 6,951,000円</p> <p>金焼小学校校舎屋上防水改修外 設計委託料 199,500円 工事請負費 9,838,500円 計 10,038,000円</p> <p>瀬戸小学校図書室外天井改修工事 1,428,000円</p> <p>深海小学校プールろ過機全自動改造工事 4,116,000円</p> <p>プール改修 設計委託料 294,000円 二江小学校プール配管改修工事 787,500円</p> <p>鬼池小学校プール改修 8,137,500円 計 9,219,000円</p>	<p>各小学校の建物は、経年変化による劣化が激しく、様々な箇所で損傷等が見られる。この為、中・長期的視点に立った改修計画を策定し、これに基づき施設の改修を行ったもので、老朽箇所の改善を図ることが出来た。</p>

(9) 教育費

(2) 小学校費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
198 ） 199	3 小学校建設費	小学校施設営繕事業 (つづき)			金焼小学校体育館屋根塗替え外工事 <div style="text-align: right;">3,864,000円</div> 瀬戸小学校体育館屋根塗替え外工事 <div style="text-align: right;">4,588,500円</div> 大多尾小学校外屋外整備工事 <div style="text-align: right;">913,500円</div> 天草地域施設整備工事 設計委託料 <div style="text-align: right;">278,250円</div> 福連木小・下田北小 <div style="text-align: right;">772,800円</div> 下田南小・大江小 <div style="text-align: right;">1,837,500円</div> <hr/> <div style="text-align: right;">計 2,888,550円</div> 図書室空調設備工事 杵宇土小・宮地岳小 <div style="text-align: right;">2,761,500円</div> 楠浦小・金焼小 <div style="text-align: right;">1,585,500円</div> <hr/> <div style="text-align: right;">計 4,347,000円</div> 施設整備工事(バリアフリー化) 浦小学校 <div style="text-align: right;">558,600円</div> 新和小学校 <div style="text-align: right;">582,750円</div> 二江小学校 <div style="text-align: right;">556,500円</div> 亀場小学校 <div style="text-align: right;">1,291,500円</div> <hr/> <div style="text-align: right;">計 2,989,350円</div> <div style="text-align: right;">合計 89,694,963円</div>	

(9) 教育費

(2) 小学校費

(単位:千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
198) 199	3 小学校建設費	亀場小学校外壁等改修事業	34,125	地方債 25,600 一般財源 8,525	亀場小学校外壁等改修 劣化している外壁等の改修を行った。 (事業費内訳) 大規模改修工事 34,125,000円	亀場小学校は特別教室棟が建築後23年、管理教室棟においては建築後33年経過し、特に外壁については劣化が著しく見られる。 この為、部分的な修繕だけでは老朽箇所の根本的な改善が図られない為、今回大規模改修工事を実施したことで、危険箇所・老朽箇所の改善を図ることが出来た。
		御所浦小学校改修事業	19,877	地方債 14,900 一般財源 4,977	御所浦小学校外部改修 劣化している外壁及び屋根防水の改修を行った。 (事業費内訳) 設計委託料 588,000円 大規模改修工事 19,288,500円 計 19,876,500円	御所浦小学校は建築後25年経過し、外壁及び屋根防水の劣化が著しく見られる。 この為、部分的な修繕だけでは老朽箇所の根本的な改善が図られない為、今回大規模改修工事を実施したことで、危険箇所・老朽箇所の改善を図ることが出来た。
		旧深海中学校校舎・屋内 (深海小学校用)大規模改修事業	117,804	国庫支出金 36,063 地方債 79,900 一般財源 1,841	旧深海中学校を平成19年度から深海小学校として活用するため、大規模改造及び耐震補強を行った。 【交付金事業】 校舎地震補強 補助率 1/2 体育館地震補強 補助率 1/2 体育館大規模改造 補助率 1/3 (事業費内訳) 事務費 645,136円 大規模改修工事 校舎 31,804,500円 体育館 82,635,000円 計 115,084,636円 【単独事業】 工事請負費 附帯工事(2件) 2,719,500円 合計 117,804,136円	旧深海中学校を改造した為、廃校施設を有効活用することができた。 また、耐震補強により建物の耐久性の確保が出来た。

(9) 教育費

(2) 小学校費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
198 } 199	3 小学校建設費	小学校建設事業 (繰越事業)	550,464	国庫支出金 278,364 地方債 250,200 一般財源 21,900	【公立学校施設整備事業】 高浜小学校校舎について耐震診断の結果、耐震性能が不足し、耐震補強が不能のため改築を行った。 校舎 R造2階建 2,658㎡ 平成17年度国庫負担事業 負担率 2/3 平成17年度国庫補助事業 補助率 5.5/10 (事業費内訳) 建築確認等手数料 294,000円 設計監理委託 7,875,000円 校舎解体工事 46,095,000円 校舎改築工事 474,600,000円 計 528,864,000円 【単独事業】 高浜小学校校舎改築に伴う周辺の附帯工事を行った。 (事業費内訳) 設計委託 476,700円 附帯工事(5件) 10,752,000円 学校管理用備品購入費 10,371,423円 計 21,600,123円 計 550,464,123円	耐震性能不足の校舎を改築することにより、教育環境の改善を図ることが出来た。

(9) 教育費

(3) 中学校費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
202 } 204	2 中学校 教育振興費	姉妹都市教育交流事業	1,870	一般財源 1,870	【姉妹都市教育交流事業】 エンシニタス市へ中学生5名(研修生)、中学校教諭1名(引率者)を派遣し、姉妹都市交流を推進するとともに国際的人材育成を図った。 研修補助金 1,870,000円 (エンシニタス市までの旅費6名分)	姉妹都市(エンシニタス市)において、ホームステイを体験しながら、異なる文化や外国語を学び国際交流を深めた。

(9) 教育費

(3) 中学校費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
202 ） 204	2 中 学 校 教 育 振 興 費	総合的な学習活動支援事業	2,054	一般財源 2,054	「総合的な学習の時間」の実施に伴う、体験的な学習を行うための消耗品費、バス等使用料。 ・補助単価 1校当たり15,000円 1学級当たり20,000円 (事業費内訳) 補助金 2,053,886円 計 2,053,886円	各学校の総合学習の活動範囲が広がりより充実したものとなった。見学・調査等の直接体験ができ生徒の興味・関心を高めることができた。
		心の教室相談事業	3,444	一般財源 3,444	生徒、保護者等の相談を聞き、問題行動等の解決をはかるため、相談員を設置。生徒及び保護者に対する相談活動を行った。 ・相談員設置校数 6校 (事業費内訳) 報酬 3,180,000円 旅費 14,640円 役務費 249,429円 計 3,444,069円	教師への相談と違って、気軽に相談ができ、生徒及び保護者に安心感やゆとりが生まれてきている。 相談件数 899件
		適応指導教室設置事業	2,566	県支出金 630 一般財源 1,936	登校できない状態にある生徒の学校復帰のための指導及び援助を目的に、本渡中学校分教室として本渡勤労青少年ホーム内に「カワセミ学級」を設置。 (事業費内訳) 報酬 2,074,800円 共済費 282,190円 旅費 18,004円 需用費 150,290円 役務費 40,558円 計 2,565,842円	家庭へのひきこもり状態を改善するとともに、集団生活への適応、情緒の安定、基礎学力の補充、基本的な生活習慣の改善を図ることができた。

(9) 教育費

(3) 中学校費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
204	3 中学校建設費	中学校施設営繕事業	49,170	一般財源 49,170	<p>中学校(17校)の危険箇所、老朽箇所の改善を行った。</p> <p>修繕料 10,636,019円 修繕料(台風13号災害分) 3,418,564円</p> <p>本渡東中学校体育館床外改修工事 5,061,000円 牛深中学校屋内運動場アリーナ外改修工事 4,326,000円</p> <p>天草中学校改修 設計委託料 239,400円 工事請負費 1,648,500円 計 1,887,900円</p> <p>五和東中学校プール改修外 設計委託料 262,500円 工事請負費 校舎改修 1,491,000円 プール改修 8,505,000円 計 10,258,500円</p> <p>プールろ過機全自動改造 牛深中学校 6,447,000円 牛深東中学校 4,147,500円 計 10,594,500円</p> <p>新和中学校手摺改修工事 472,500円 施設整備工事(バリアフリー化) 倉岳中学校 945,000円 五和東中学校 1,569,750円 計 2,514,750円</p> <p>合計 49,169,733円</p>	<p>各中学校の建物は、経年変化による劣化で、様々な箇所で損傷等が見られる。この為、中・長期的視点に立った改修計画を策定し、これに基づき施設の改修を行ったもので、老朽箇所の改善を図ることが出来た。</p>

(9) 教育費

(3) 中学校費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
204	3 中学校建設費	倉岳中学校改修他事業	18,272	一般財源 18,272	倉岳中学校改修 体育館床及び照明器具改修を行い、老朽した旧校舎（W造310㎡）の解体も行った。 （事業費内訳） 設計委託料 299,250円 工事請負費 体育館改修 13,720,350円 旧校舎解体 4,252,500円 計 18,272,100円	本工事を実施したことにより、快適な教育環境確保ができ、生徒・地域利用者の安全性が高まった。
		(仮称)新統合中学校建設事業	178,307	地方債 177,800 一般財源 507	・消耗品費 80,000円 ・土地鑑定業務委託料 449,001円 ・基本設計委託料(前払い) 4,032,000円 委託期間：平成19年2月7日～7月31日 委託料13,440,000円（繰越額9,408,000円） ・土地購入費 173,746,144円 雑種地10,101.52㎡購入(天草漁業協同組合) 17,200円/㎡ 計 178,307,145円 平成19年度へ繰越 53,030,000円	少子化の急速な進展に伴い、学校規模の適正化を図るため、本渡中学校・佐伊津中学校・本町中学校を統合し、(仮称)新統合中学校を建設するもの。 平成22年度の開校を目指し、18年度においては土地購入のための土地鑑定業務委託を実施し、用地を購入。 用地の決定により、基本設計業務を委託することができた。 (市所有地43,877.53㎡と合わせて53,979.05㎡) 平成19年度は、基本設計や地質調査、測量を前期で終えて、実施設計に入る。 平成20～21年度にかけて校舎、体育館等の施設整備を終える。

(9) 教育費

(4) 幼稚園費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
204 ） 207	1 幼稚園費	幼稚園施設営繕事業	6,765	一般財源 6,765	<p>幼稚園（5園）の危険箇所、老朽箇所の改善を行った。</p> <p>修繕料 1,199,940円</p> <p>本渡北幼稚園屋根改修 老朽している管理教室棟の屋根の改修を行った。 工事請負費 3,570,000円</p> <p>亀場幼稚園床改修 劣化している廊下床の改修を行った。 工事請負費 1,995,000円</p> <p>計 6,764,940円</p>	各幼稚園の建物は、経年変化による劣化で、様々な箇所で損傷等が見られる。この為、中・長期的視点に立った改修計画を策定し、これに基づき施設の改修を行ったもので、老朽箇所の改善を図ることが出来た。

(9) 教育費

(4) 幼稚園費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果								
204 ） 207	1 幼稚園費	幼児教育支援センター事業	5,895	国庫支出金 5,895	<p>【地域に開かれた特色ある子育て支援体制の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営委員会開催（3回） ・サポートチーム会議開催（3回） ・ワーキンググループ会議開催（3回） ・子育てカウンセリング実施（33回） ・幼小連携アドバイザー訪問指導（週3回） ・小児科医による幼稚園訪問健康指導の実施 （2回） ・子育て自立支援のための公開講座開催（3回） ・職員研修会開催（3回） ・カウンセラーによる学習会実施（6回） ・カウンセラーによる園内研修会実施（8回） ・情報紙「子育てQ & A」発行（4回） ・地域人材の教育力の活用「にこりんぐママ」 （1回/月） ・未就園児親子支援のための幼稚園開放実施 （1回/月） ・幼稚園週間の取組（11月の1週間） ・幼小連携担当者会議の開催（3回） ・事業発表会（公開保育）の開催（11月18日） ・研究報告書・入園のしおり等の配付 <p>（事業費内訳）</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>報酬</td> <td>2,266,380円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>1,968,025円</td> </tr> <tr> <td>その他の事業費</td> <td>1,660,123円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>5,894,528円</td> </tr> </table>	報酬	2,266,380円	需用費	1,968,025円	その他の事業費	1,660,123円	計	5,894,528円	<ul style="list-style-type: none"> ・保育カウンセラー（臨床心理士）等の専門家を入れたサポートチームが構成されたことで、幼児や保護者・教師への支援体制が整い、子育てや保育を見直す良い機会となり、「安心して子育てができる。」と好評であった。 ・幼稚園開放や幼小連携の取組、幼稚園週間等を通して、幼稚園教育を広く周知することが出来た。 ・幼稚園職員全員がワーキンググループ活動に取り組んだことで、幼稚園のもつ「子育て支援センター」的役割と意義を再認識し、保護者の心に寄り添う保育をさらに心がけるようになり、保護者との信頼関係が増した。 ・地域人材の教育力の活用「にこりんぐママ」や高齢者など地域の方との交流や懇談会を行ったり、父親の子育て参加を啓発したりしたことにより、ぬくもりいっぱい・知恵いっぱいの天草らしい取組となった。
報酬	2,266,380円													
需用費	1,968,025円													
その他の事業費	1,660,123円													
計	5,894,528円													

(9) 教育費

(5) 看護専門学校費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果																				
207 ） 209	1 看護専門学校 管理費	学校運営費	113,190	一般財源 75,741 その他 37,449	教育理念に基づいて、看護に関する基礎的な知識及び技術を習得し、人間性を高め、主体的学習態度を養い、地域の保健医療に貢献できる看護師の育成を目的に学校運営を行った。 【在籍者数】 <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td></td> <td>(男)</td> <td>(女)</td> <td>(計)</td> </tr> <tr> <td>1年(16期生)</td> <td>4人</td> <td>32人</td> <td>36人</td> </tr> <tr> <td>2年(15期生)</td> <td>6人</td> <td>30人</td> <td>36人</td> </tr> <tr> <td>3年(14期生)</td> <td>6人</td> <td>33人</td> <td>39人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>16人</td> <td>95人</td> <td>111人</td> </tr> </table>		(男)	(女)	(計)	1年(16期生)	4人	32人	36人	2年(15期生)	6人	30人	36人	3年(14期生)	6人	33人	39人	計	16人	95人	111人	本年度の看護師国家試験は、38人が受験し、36人が合格した。合格率は、94.7%となり、全国平均90.6%を上回ることができた。又、卒業後の進路は進学が1人で、就職は100%達成できた。 国家試験の状況 14期生 38人受験 36人合格(合格率94.7%) 進学・就職状況 進学 1人 就職 旧本渡市内 8人 県内 17人 九州内 11人 近畿 1人
	(男)	(女)	(計)																							
1年(16期生)	4人	32人	36人																							
2年(15期生)	6人	30人	36人																							
3年(14期生)	6人	33人	39人																							
計	16人	95人	111人																							
		九州地区自治体立看護学校教育協議会負担金	25	一般財源 25	九州地区の自治体が運営する公立看護学校10校で構成。	学校運営事務の調査、教育研究および情報交換等を行い、共通の使命感達成および看護師教育の向上発展を図った。																				
		熊本県看護教育機関協議会負担金	10	一般財源 10	熊本県内の看護教育機関16校で構成。	看護教育問題の研究協議等を行い、県内の看護教育の向上発展を図った。																				
		看護専門学校教材整備	1,327	一般財源 1,327	実際の医療現場に即した実習ができるように教材・図書を整備し、授業を実施する。 心電計 430,500円 レサシアン・モジュラシステム 165,900円 図書・ビデオテープ 469,302円 その他 261,240円 計 1,326,942円	心電計、レサシアン・モジュラシステムは、開校時に購入したもので、これまで修理を頻回にしながら活用、今回修理困難となり、購入するに至る。購入により、最新でより使用しやすくなり、学生の主体的学習が高まっている。又、レサシアン・モジュラシステムは、災害看護における救急救命の適切な援助技術の習得に役立っている。																				

(9) 教育費

(6) 学校給食費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
209 ） 212	1 学校給食費	学校給食センター事業	39,059	一般財源 39,059	事業費内訳（主なもの） 【需用費（修繕料）】 7,725,367円 給水設備 824,000円 米飯機テフロン加工 486,000円 LPガス配管替 90,000円 屋根防水 578,000円 合併浄化槽・給湯器 459,900円 非常灯電池取替 168,000円 センターペラダ修繕 315,000円 調理器具・汚泥枞修繕 215,832円 検収室シャッター修繕 168,000円 他 【役務費】 10,328,535円 検便 2,267,500円 食材検査 718,620円 廃棄物処理手数料 2,436,818円 浄化槽維持管理等 2,998,256円 他 【委託料】 19,528,168円 配送者運転 15,354,668円 害虫駆除 875,700円 他 【備品購入費】 1,476,538円 ルミスター・高圧洗浄機 470,150円 移動タンク・食缶 255,413円 球根皮剥機・ミキサー 346,500円 掃除機・エアコン 361,425円 台車 43,050円	有明学校給食設備・栖本センター・五和センター 以外は建築後18年から37年の施設となり、施設の改 修・機械類の修繕や、備品の購入入れ替え等によ り、衛生面の確保、食材処理の安全性と能力の拡 大、作業効率の向上を図ることができた。 又、効率的な運営体制づくりのために、配送業務 を、シルバー人材センター等の民間に委託すること による民間活力の導入で経費の削減を図っている。 米、こっばもち、なす、きゅうり、ピーマン、レ タス、大根、白菜、かぼちゃ、おくら、ジャガイ モ、いちご、ボンカン、デコボン、みかん等の季節 野菜や太刀魚、きびなご、ぶり、あじ、あんこう・ タコ・すり身等の海の恵みを給食食材にとりいれ、 地元産地の食材をアピールできた。 地産地消率 10.57%
給食実施状況（平成19年5月1日現在）						
		区分	対象人員	給食数（食）		
		幼稚園（4園）	296	50,882		
		小学校（45校）	5,694	1,134,375		
		中学校（17校）	3,229	627,914		

(9) 教育費

(6) 学校給食費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果						
209 ） 212	1 学校給食費	学校給食施設整備事業	1,928	一般財源 1,928	<p>【倉岳学校給食センター休憩室増築】 倉岳中学校老朽校舎解体に伴い休憩室がなくなっ たため、給食センター事務室内部を一部改修し、建 物南側に木造平屋建4.5㎡を増築した。</p> <p>(事業費内訳)</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>設計委託料</td> <td style="text-align: right;">195,300円</td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td style="text-align: right;">1,732,500円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">1,927,800円</td> </tr> </table>	設計委託料	195,300円	工事請負費	1,732,500円	計	1,927,800円	給食調理員の良好な職場環境を確保することが出 来た。
設計委託料	195,300円											
工事請負費	1,732,500円											
計	1,927,800円											

(9) 教育費

(7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
212 ） 214	1 社会教育総務費	社会教育施設維持管理費	13,347	その他 196 一般財源 13,151	社会教育施設の維持管理費。 (事業費内訳) 需用費(燃料費) 265,281円 需用費(光熱水費) 12,025,007円 役務費(通信運搬費) 1,057,121円 計 13,347,409円	市内の社会教育施設(公民館、図書館を除く)の維持管理費のうち燃料費、光熱水費、通信運搬費について社会教育総務費に予算を計上して執行した。一括管理により、事務の省略化が図られた。
		社会教育推進大会事業	1,178	一般財源 1,178	生き生きと暮らせる心豊かなまちづくりの推進のために大会を開催した。 (事業費内訳) 報償費 20,000円 需用費 227,458円 委託料 930,300円 計 1,177,758円	社会を明るくする運動推進大会との合同開催により、「生涯学習のまち・犯罪のないまち」をアピールし、今までの活動を振り返るとともに、今後の生涯学習の推進に向けた活動の活力となった。 開催日：平成18年7月8日(土) 市民センター 参加者数：700人 記念講演：高橋元太郎氏 演題：「人生は、出会い、ふれあい、支えあい」 実践発表：コレジヨコール「コーラス」 天草高等学校西校「天草西校太鼓」
		自治公民館等整備費補助事業	3,511	一般財源 3,511	自治活動の拠点である自治公民館等の建設改修等の事業に対して補助をした。 (事業費内訳) 補助金(改築 5件) 3,130,000円 " (修繕 1件) 381,000円 計 3,511,000円	自治公民館等が整備されることにより、地区住民の連帯意識の高揚につながり、自治活動が活性化することによって、明るく住みよい地域づくりに寄与した。
		生涯学習推進事業	962	一般財源 962	各種講座等の生涯学習機会を市民へ提供した。 (事業費内訳) 報償費 200,000円 旅費 29,300円 需用費 72,860円 役務費 71,400円 委託料 220,000円 使用料及び賃借料 368,432円 計 961,992円	市民自ら主体的に学習する意欲を高め、豊かで充実した生活を送るための生涯学習を推進する機会を提供することができた。 参加者 牛深分室(高齢者学級) 延べ1,271人 新和分室(高齢者学級) 延べ 224人 五和分室(寿大学) 延べ 532人 五和分室(陶芸教室) 延べ 147人 五和分室(カッパ教室) 延べ 408人 合計 5講座 延べ2,582人

(9) 教育費

(7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
212 ） 214	1 社会教育総務費	子ども週末活動等支援事業	300	一般財源 300	地域で子どもを育てる環境の充実を図る活動に対する支援事業を実施した。 (事業費内訳) 補助金 「杵宇土子どもランド」 100,000円 「宮地岳わんぱく」 50,000円 「大矢崎わんぱく教室」 50,000円 「浅海子ども教室」 100,000円 計 300,000円	「地域の子どもは地域で育てる」ことを目的に結成された団体は、地域に応じた組織化と事業内容となっており、様々な事業を子どもたちが体験し経験する地域活動の組織が形成された。 1団体に対し年間10万円を限度に補助をした。
		生涯学習フェスティバル事業	858	その他 46 一般財源 812	学習成果発表や展示発表等の機会を市民へ提供した。 (事業費内訳) 需用費 34,562円 役務費 24,000円 委託料 682,500円 使用料及び賃借料 116,850円 計 857,912円	個人や学習グループの学習の成果を発表する機会を提供することにより、市民の生涯学習への意欲を高め、学習活動への参加を促進することができた。 参加者 栖本分室(社会教育学級開講式) 160人 栖本分室(文化祭) 300人 御所浦分室(生涯学習フェスティバル) 100人 天草分室(生涯学習フェスティバル) 489人 有明分室(文化祭) 1,100人 合計 2,149人
		市民講座事業	84	一般財源 84	地域住民として対応しなければならない課題について、テーマを掲げて講座を実施した。 (事業費内訳) 報償費 22,000円 旅費 18,793円 需用費 43,104円 計 83,897円	今日の社会情勢の変化に対応し、国民あるいは地域住民として対応しなければならない課題について、テーマを掲げて実施した。市民一人ひとりが自己の学習意欲を満たすとともに、講座で得たものを、地域づくり、まちづくり等に活用できる人材育成に寄与した。 講座内容：防犯教育、社会教育、家庭教育、健康教育、人権教育 9月～12月 計5回開催 参加者 延べ465人

(9) 教育費

(7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
212 ） 214	1 社会教育総務費	IT講習会事業	576	その他 138 一般財源 438	パソコンの技術の習得を目指した講習会を実施した。 (事業費内訳) 報償費 412,000円 需用費 60,375円 役務費 93,641円 使用料及び賃借料 10,080円 計 576,096円	時代、市民のニーズに応え、生涯学習の促進、自己の資質向上の促進を図ることができた。 実施回数 参加者 牛深分室 24回 延べ438人 五和分室 80回 延べ682人 栖本分室 1回 延べ 14人 合計 105回 1,134人
		PTA補助金	750	一般財源 750	天草市PTA連絡協議会に対し補助金を交付した。 協議会予算 2,362,000円 うち補助金 750,000円 【活動内容】 総会、役員会、会長会、会員研修会 各種県・市主催事業への参加 等	児童生徒の健やかな成長を願い、人づくり等に活動している。また、会員の資質向上はもとより、学校、家庭、地域社会の好ましい環境づくり活動により結果を得ることができた。市の各種行事等にも積極的に参画している。
		婦人会補助金	2,430	一般財源 2,430	天草市地域婦人会連絡協議会に対し補助金を交付した。 協議会予算 3,224,600円 うち補助金 2,430,000円 【活動内容】 総会、役員会、理事会、リーダー研修、交通安全母親活動推進大会、交通安全指導者研修、日赤奉仕研修会、各種県・市主催事業への参加 等	社会教育活動推進の有力な団体として、各婦人会の活動連絡調整を図り、女性の教養を高め生活を豊かにして、住みよい地域づくりに寄与した。市の各種行事等にも積極的に参画している。
		人権教育推進協議会補助金	1,000	一般財源 1,000	天草市人権教育推進協議会に対し補助金を交付した。 協議会予算 1,000,100円 うち補助金 1,000,000円 【活動内容】 総会、人権教育研究大会、部落解放研究集会、各種県・市主催事業への参加 等	人権尊重の理念に対する理解を深め、一人ひとりの人権が守られ、すべての市民が安全で心豊かに暮らせる社会の実現を目的に活動している。各種研修会への派遣などにより人権教育の推進に寄与した。

(9) 教育費

(7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果														
212 ） 214	1 社会教育総務費	家庭教育学習支援事業	340	一般財源 340	<p>小中学校保護者等に対する家庭教育の重要性を認識してもらうための講座を各小中学校等で実施し、その経費を支援した。</p> <p>(事業費内訳)</p> <table> <tr> <td>報償費</td> <td>167,000円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>98,134円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>44,519円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>30,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>339,653円</td> </tr> </table>	報償費	167,000円	旅費	98,134円	需用費	44,519円	委託料	30,000円	計	339,653円	<p>子育てにおける家庭教育の重要性を再認識する機会として開催した。テーマも基本的な生活習慣、食育、人権教育、栄養指導、救急救命、少年犯罪など多岐にわたり、家庭の教育力向上に寄与した。</p> <p>実施回数 46回 延べ参加者数 2,432人</p>				
報償費	167,000円																			
旅費	98,134円																			
需用費	44,519円																			
委託料	30,000円																			
計	339,653円																			
		社会を明るくする運動	221	一般財源 221	<p>【社会を明るくする運動実施委員会】 開催日 平成18年6月30日(金)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推進大会開催のための実施要綱等を定める ・保護司会を始め、各種団体長82名で構成 <p>【社会を明るくする運動推進大会】 開催日 平成18年7月8日(土)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・標語、作文の入賞者表彰及び最優秀作文発表 その他 夜市等、人が集まる場所での広報・啓発活動 <p>(事業費内訳)</p> <table> <tr> <td>講師等謝礼</td> <td>11,000円</td> </tr> <tr> <td>費用弁償</td> <td>49,260円</td> </tr> <tr> <td>普通旅費</td> <td>2,200円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>84,012円</td> </tr> <tr> <td>食糧費</td> <td>42,125円</td> </tr> <tr> <td>通信運搬費</td> <td>32,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>220,597円</td> </tr> </table>	講師等謝礼	11,000円	費用弁償	49,260円	普通旅費	2,200円	消耗品費	84,012円	食糧費	42,125円	通信運搬費	32,000円	計	220,597円	<p>すべての国民が犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更正について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築くことを目的にしている。</p> <p>天草市においては、実施委員会を組織し、内容を協議、社会教育推進大会と合同で開催した。作文発表や標語の表彰を行い、「生涯学習のまち、犯罪のないまち」づくりを推進した。保護司会と連携して啓発活動に取り組んでいる。</p>
講師等謝礼	11,000円																			
費用弁償	49,260円																			
普通旅費	2,200円																			
消耗品費	84,012円																			
食糧費	42,125円																			
通信運搬費	32,000円																			
計	220,597円																			

(9) 教育費

(7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果																																		
212 ） 214	1 社会教育総務費	成人式	1,666	一般財源 1,666	<p>成人を祝う式典を市内10ヶ所で開催。</p> <p>開催期日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・牛深地区 平成18年8月16日(水) ・本渡・有明・倉岳・栖本・河浦地区 平成19年1月3日(水) ・御所浦・新和・五和・天草地区 平成19年1月4日(木) <p>(事業費内訳)</p> <table> <tr> <td>講師等謝礼</td> <td>195,000円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>195,233円</td> </tr> <tr> <td>食糧費</td> <td>33,346円</td> </tr> <tr> <td>印刷製本費</td> <td>1,010,465円</td> </tr> <tr> <td>通信運搬費</td> <td>222,790円</td> </tr> <tr> <td>船舶借上料</td> <td>9,600円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,666,434円</td> </tr> </table>	講師等謝礼	195,000円	消耗品費	195,233円	食糧費	33,346円	印刷製本費	1,010,465円	通信運搬費	222,790円	船舶借上料	9,600円	計	1,666,434円	<p>20歳を迎えた青年が成人としての責任と義務を自覚し、社会人としてたくましく生きていくための指針を定めることを目的に開催。</p> <p>天草市全体の出席者数1,088名、出席率83.3%。</p> <p>各地区の出席者数は次のとおり</p> <table> <tr> <td>本渡</td> <td>425名</td> <td>牛深</td> <td>181名</td> </tr> <tr> <td>有明</td> <td>69名</td> <td>倉岳</td> <td>43名</td> </tr> <tr> <td>栖本</td> <td>40名</td> <td>河浦</td> <td>79名</td> </tr> <tr> <td>御所浦</td> <td>45名</td> <td>新和</td> <td>50名</td> </tr> <tr> <td>五和</td> <td>112名</td> <td>天草</td> <td>44名</td> </tr> </table>	本渡	425名	牛深	181名	有明	69名	倉岳	43名	栖本	40名	河浦	79名	御所浦	45名	新和	50名	五和	112名	天草	44名
講師等謝礼	195,000円																																							
消耗品費	195,233円																																							
食糧費	33,346円																																							
印刷製本費	1,010,465円																																							
通信運搬費	222,790円																																							
船舶借上料	9,600円																																							
計	1,666,434円																																							
本渡	425名	牛深	181名																																					
有明	69名	倉岳	43名																																					
栖本	40名	河浦	79名																																					
御所浦	45名	新和	50名																																					
五和	112名	天草	44名																																					
		市民・青少年一日一汗運動	161	一般財源 161	<p>青少年(小学生・中学生・高校生)が地域の方と一緒に地区の清掃活動を行う。</p> <p>開催期日</p> <ul style="list-style-type: none"> 本渡 平成18年6月11日(日) 栖本 平成18年6月18日(日) 倉岳 平成18年7月・12月の年2回実施 <p>上記3地区が教育費で予算化</p> <p>(事業費内訳)</p> <table> <tr> <td>廃棄物収集処理業務委託料</td> <td>161,490円</td> </tr> </table>	廃棄物収集処理業務委託料	161,490円	<p>青少年を地域づくり活動に積極的に参加させることにより、青少年と地域社会との交流を図り、地域の構成員としての自覚を高めることに大きな成果があった。</p> <p>参加人数</p> <table> <tr> <td>本渡地区</td> <td>11,160人</td> </tr> <tr> <td>栖本地区</td> <td>409人</td> </tr> <tr> <td>倉岳地区</td> <td>593人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>12,162人</td> </tr> </table>	本渡地区	11,160人	栖本地区	409人	倉岳地区	593人	合計	12,162人																								
廃棄物収集処理業務委託料	161,490円																																							
本渡地区	11,160人																																							
栖本地区	409人																																							
倉岳地区	593人																																							
合計	12,162人																																							

(9) 教育費

(7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
212 ） 214	1 社会教育総務費	青少年健全育成事業	524	一般財源 524	青少年の交流や自然体験事業等市内5地区で実施。 五和、栖本 寺子屋体験学習 御所浦 ボランティア入門講座 海山交流事業、とんとこ漁体験事業 化石発掘体験事業 新和 子ども会リーダー研修会 倉岳 青少年健全育成チラシの発行 (事業費内訳) 講師等謝礼 10,000円 普通旅費 360円 消耗品費 25,830円 印刷製本費 42,210円 寺子屋体験学習委託料 310,000円 車借上料 24,000円 船舶借上料 39,000円 御所浦とんとこ漁体験負 担金 72,500円 計 523,900円	地域の特性を活かした事業を取り込んでいる地区 もあり、青少年の交流や自然とのふれあいなど豊か な体験事業として、青少年の健全育成に大きく寄与 している。 参加人数 五和 19人 栖本 50人 御所浦 ボランティア入門講座 29人 海山交流事業 88人 とんとこ漁体験事業 30人 化石発掘体験事業 118人 新和 44人
		子ども会補助金	1,588	一般財源 1,588	異年齢交流や広域的な仲間づくりを通して、子ども たちの健全育成を図る。 【事業内容】 球技大会・駅伝大会・チャレンジキッズ・指導者研 修会・県大会への派遣事業等 【収入予算】 市補助金 1,588,000円 その他補助金(社協等) 175,000円 会費 1,330,000円 参加費 60,000円 計 3,153,000円 (事業費内訳) 子ども会育成連絡協議会補 助金 1,588,000円 19年度へ繰越 306,092円	異年齢の子どもたちで組織されているという特性 を活かしながら、各種のスポーツ大会や指導者研修 会、また仲間と協力しないと出来ない遊び等を取り 入れたイベントなどを取り入れ、子どもの健全育成 に多くの成果を挙げた。そして、学校教育や家庭教 育では培えない、地域による教育力としての「子ど も会活動」を支援することにより、次代を担う青少 年の健全育成に寄与した。 また、天草市子連としても広域な合併になった が、一堂に会する機会も増え、各支部(旧市町)間 の交流も図ることができた。 【主な事業】 ソフトボール大会 500名 ビーチバレーボール大会 340名 駅伝大会 650名 チャレンジキッズ 300名

(9) 教育費

(7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
212 ） 214	1 社会教育総務費	青少年育成市民会議補助金	1,300	一般財源 1,300	<p>青少年の健全育成、非行防止、育成指導者研修会などの事業を実施。</p> <p>【事業内容】 夏休み夜間巡視事業 指導者研修会 等</p> <p>【収入予算】 市補助金 1,300,000円 助成金(社会福祉協議会) 50,000円 雑収入 10円 計 1,350,010円</p> <p>(事業費内訳) 青少年育成市民会議補助金 1,300,000円 19年度へ繰越 142,183円</p>	<p>青少年育成の重要性に照らし、広く市民の総意を結集して関係機関及び諸団体との緊密な連携のもと、青少年の健全育成並びに非行防止に寄与した。</p> <p>【主な事業】 夏休み夜間巡視事業 延べ681名 指導者研修会 65名</p>
		海洋少年団運営補助金	50	一般財源 50	<p>海洋少年団の諸訓練に要する経費及び各種大会への参加に要する経費を補助。</p> <p>【事業内容】 体験航海・水泳訓練・漂流物調査等</p> <p>【収入予算】 市補助金 50,000円 参加料 195,000円 寄附金ほか 457,516円 計 702,516円</p> <p>(事業費内訳) 海洋少年団補助金 50,000円 19年度へ繰越 6,159円</p>	<p>海に学び、海に親しみながら、心身を鍛え、心を養い立派な社会人になるよう健全なる青少年の育成に寄与した。</p> <p>毎週土曜日 訓練 夏休み期間中 手旗・水泳訓練 音楽隊の練習・カッター、カヤック訓練 ・南九州地区大会(鹿児島市)への参加 手旗・ロープ結索・水泳競技で優勝し、総合優勝</p>

(9) 教育費

(7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果																														
212 ） 214	1 社会教育総務費	青年団補助金	644	一般財源 644	<p>天草市青年団並びに天草青年団協議会（天草市・上天草市・苓北町青年団）運営に要する経費を補助。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天草市青年団 レクリエーション大会、映画鑑賞等 ・天草青年団協議会 軟式野球大会、体育祭、青年の集い・生活研修等 <p>【天草市青年団収入予算】</p> <table> <tr> <td>市補助金</td> <td>594,000円</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>140,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>734,000円</td> </tr> </table> <p>19年度へ繰越 131,278円</p> <p>【天草青年団協議会収入予算】</p> <table> <tr> <td>市補助金</td> <td>50,000円</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>370,000円</td> </tr> <tr> <td>事業収入</td> <td>120,000円</td> </tr> <tr> <td>登録費</td> <td>310,000円</td> </tr> <tr> <td>繰越金</td> <td>680,254円</td> </tr> <tr> <td>助成金(上天草市・苓北町)</td> <td>100,000円</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>109,000円</td> </tr> <tr> <td>雑入</td> <td>1,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,740,254円</td> </tr> </table> <p>(事業費内訳)</p> <table> <tr> <td>天草市青年団補助金</td> <td>594,000円</td> </tr> <tr> <td>天草青年団協議会補助金</td> <td>50,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>644,000円</td> </tr> </table> <p>19年度へ繰越 561,349円</p>	市補助金	594,000円	負担金	140,000円	計	734,000円	市補助金	50,000円	負担金	370,000円	事業収入	120,000円	登録費	310,000円	繰越金	680,254円	助成金(上天草市・苓北町)	100,000円	繰入金	109,000円	雑入	1,000円	計	1,740,254円	天草市青年団補助金	594,000円	天草青年団協議会補助金	50,000円	計	644,000円	<p>社会人としての生活設計に対する考え方を養い、学習やレクリエーションを通し、教養と意識を高め、次代を担って立つ青年の団体として、社会の発展に寄与。</p> <p>各種学習会や奉仕活動、公民館等の各種地域行事にも積極的に参加している。</p>
市補助金	594,000円																																			
負担金	140,000円																																			
計	734,000円																																			
市補助金	50,000円																																			
負担金	370,000円																																			
事業収入	120,000円																																			
登録費	310,000円																																			
繰越金	680,254円																																			
助成金(上天草市・苓北町)	100,000円																																			
繰入金	109,000円																																			
雑入	1,000円																																			
計	1,740,254円																																			
天草市青年団補助金	594,000円																																			
天草青年団協議会補助金	50,000円																																			
計	644,000円																																			

(9) 教育費

(7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果																																																						
214 217	2 社会教育施設費	社会教育施設維持管理費	16,731	その他 2,883 一般財源 13,848	社会教育施設の維持管理費。 (事業費内訳) 修繕料 2,872,832円 20万円を超える修繕 有明町民センター自動ドア修理 新和町民センターエアコン修理 五和コミセン消防設備修理 下平いきいき館非常警報修理 天草町民センター受電設備修理 白浜いきいき館火災通報設備修理 役務費 935,229円 委託料 11,702,509円 使用料及び賃借料 1,220,546円 計 16,731,116円	市内の社会教育施設(公民館、図書館を除く)の 維持管理経費として予算執行した。 修繕料については、一括管理により臨機応変に対 応し、市民の不便の解消に努めることができた。																																																						
社会教育施設利用状況 (公民館、図書館を除く)																																																												
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>利用件数</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>有明町民センター</td><td>308</td><td>8,004</td></tr> <tr><td>御所浦島開発総合センター</td><td>422</td><td>18,754</td></tr> <tr><td>新和町民センター</td><td>331</td><td>7,217</td></tr> <tr><td>五和町コミュニティセンター</td><td>463</td><td>16,569</td></tr> <tr><td>下平いきいきふれあい館</td><td>165</td><td>2,100</td></tr> <tr><td>大之浦いきいきふれあい館</td><td>6</td><td>240</td></tr> <tr><td>池田いきいきふれあい館</td><td>8</td><td>185</td></tr> <tr><td>くたまふれあいセンター</td><td>968</td><td>15,337</td></tr> <tr><td>ふかみふれあいセンター</td><td>492</td><td>9,813</td></tr> <tr><td>あこうの里ふれあい館</td><td>53</td><td>1,542</td></tr> <tr><td>横浦島コミュニティセンター</td><td>288</td><td>8,701</td></tr> <tr><td>五和地域交流センター</td><td>902</td><td>17,701</td></tr> <tr><td>天草交流センター</td><td>160</td><td>3,121</td></tr> <tr><td>天草町民センター</td><td>328</td><td>6,412</td></tr> <tr><td>茂串総合学習施設白浜いきいき館</td><td>89</td><td>1,543</td></tr> <tr><td>御所浦交流センター</td><td>18</td><td>432</td></tr> <tr><td>合計</td><td>5,001</td><td>117,671</td></tr> </tbody> </table>				施設名	利用件数	利用者数	有明町民センター	308	8,004	御所浦島開発総合センター	422	18,754	新和町民センター	331	7,217	五和町コミュニティセンター	463	16,569	下平いきいきふれあい館	165	2,100	大之浦いきいきふれあい館	6	240	池田いきいきふれあい館	8	185	くたまふれあいセンター	968	15,337	ふかみふれあいセンター	492	9,813	あこうの里ふれあい館	53	1,542	横浦島コミュニティセンター	288	8,701	五和地域交流センター	902	17,701	天草交流センター	160	3,121	天草町民センター	328	6,412	茂串総合学習施設白浜いきいき館	89	1,543	御所浦交流センター	18	432	合計	5,001	117,671
施設名	利用件数	利用者数																																																										
有明町民センター	308	8,004																																																										
御所浦島開発総合センター	422	18,754																																																										
新和町民センター	331	7,217																																																										
五和町コミュニティセンター	463	16,569																																																										
下平いきいきふれあい館	165	2,100																																																										
大之浦いきいきふれあい館	6	240																																																										
池田いきいきふれあい館	8	185																																																										
くたまふれあいセンター	968	15,337																																																										
ふかみふれあいセンター	492	9,813																																																										
あこうの里ふれあい館	53	1,542																																																										
横浦島コミュニティセンター	288	8,701																																																										
五和地域交流センター	902	17,701																																																										
天草交流センター	160	3,121																																																										
天草町民センター	328	6,412																																																										
茂串総合学習施設白浜いきいき館	89	1,543																																																										
御所浦交流センター	18	432																																																										
合計	5,001	117,671																																																										

(9) 教育費

(7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
214 ） 217	2 社会教育施設費	コミュニティセンター整備事業	7,130	地方債 2,720 一般財源 4,410	五和町コミュニティセンター高圧設備改修 老朽している開閉器及び高圧ケーブル等の改修を行った。 工事請負費 1,433,250円 倉岳多目的研修集会施設改修 老朽が著しい内装及び空調設備の改修を行った。 設計委託料 399,000円 工事請負費(2件) 5,297,250円 計 5,696,250円	高圧ケーブルの改修により、近辺世帯の停電の不安がなくなった。 生涯学習の拠点施設としての整備が図られ、今後の生涯学習の振興が期待できる。
		御所浦交流センター整備事業	31,477	一般財源 31,477	旧御所浦南小学校を改修して宿泊施設御所浦交流センターとして整備した。 (事業費内訳) 設計委託料 1,417,500円 工事請負費 27,930,000円 備品購入費 2,129,201円 計 31,476,701円	御所浦交流センターは、旧御所浦町で着手した事業を天草市へ引継ぎ、平成17年度予算から繰り越した事業。 施設の完成により、都市住民との交流の機会が増え、地域の活性化が図られた。 総工事費 39,900,000円 (うち11,970,000円は旧御所浦町で前払い済)
		教養講座開設	2,570	一般財源 2,570	勤労青少年ホームの教養講座開設事業 【本渡勤労青少年ホーム】 〔講座〕 生花、書道・ペン習字、英会話、料理 エアロビクス 〔クラブ〕 バドミントン、テニス 【牛深勤労青少年ホーム】 生花、茶道、パッチワーク、着物着付、料理 エアロビクス 講師料(一回当たり(2時間)の単価) 5,000円 (事業費内訳) 講師謝礼 2,160,000円 消耗品費 79,588円 印刷製本費 25,833円 会場等借上料 157,815円 車借上料 119,300円 会議出席負担金 27,000円 計 2,569,536円	勤労青少年のレクリエーション、クラブ活動その他勤労の余暇に行われる活動有のための便宜を供するというホームの目的を果たしている。 また、本渡・牛深の2館による利用者の交流の機会も増えた。

(9) 教育費

(7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
217 } 220	3 公民館費	公民館維持管理費	61,296	その他 3,164 一般財源 58,132	<p>公民館の維持管理費。 (事業費内訳)</p> <p>需用費(燃料費) 1,907,222円 需用費(光熱水費) 20,323,736円 需用費(修繕料) 5,536,654円 20万円を超える修繕 御領公民館浄化槽放流ポンプ修繕 新合公民館事務所修繕 本町公民館フェンス修繕 小宮地公民館屋根修繕 大多尾公民館フェンス修繕 中央公民館トイレ改修</p> <p>役務費 13,832,531円 委託料 14,258,479円 使用料及び賃借料 3,428,700円 公有財産購入費 35,700円 備品購入費 1,972,560円 計 61,295,582円</p>	<p>市内の公民館の維持管理経費として予算執行した。 修繕料については、一括管理により臨機応変に対応し、市民の不便の解消に努めることができた。</p>
		公民館改修事業	29,633	地方債 23,680 一般財源 5,953	<p>公民館施設台帳整備 配置図及び平面図を業務委託により作成をした。 (事業費内訳) 委託料(4件) 917,700円</p> <p>亀場町公民館屋根改修外工事 既存の瓦を撤去し鋼板葺きに改修を行った。 (事業費内訳) 工事請負費 11,550,000円</p> <p>杵宇土町公民館改修(合併処理浄化槽設置外) 簡易水洗(汲取り方式)から合併処理浄化槽(14人槽)に改修を行い水洗化を図った。 (事業費内訳) 工事請負費(2件) 6,079,500円</p>	<p>台帳を整備することにより管理の適正化を図ることが出来るようになった。</p> <p>強風等により、瓦が飛散する恐れがなくなった。</p> <p>環境衛生の向上を図ることが出来た。</p>

(9) 教育費

(7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
217 ┆ 220	3 公民館費	公民館改修事業(つづき)			<p>大多尾公民館外エアコンコインタイマー設置 大多尾公民館・小宮地公民館・中田公民館の会議 室等にエアコンコインタイマーを設置した。 (事業費内訳) 工事請負費 483,000円</p> <p>楠甫公民館改修(外壁改修) 劣化の烈しい外壁について改修(塗装)を行っ た。 (事業費内訳) 設計委託料 283,500円 工事請負費(2件) 2,698,500円 計 2,982,000円</p> <p>棚底公民館改修 老朽が著しい内装及び空調設備の改修を行った。 (事業費内訳) 設計委託料 375,900円 工事請負費(2件) 7,245,000円 計 7,620,900円</p> <p>計 29,633,100円</p>	<p>事務の簡素化及び利用者の利便性を図ることが出 来た。</p> <p>外壁の美化、補修を図ることができた。</p> <p>生涯学習の拠点施設としての整備が図られた。</p>
		生涯学習推進事業	1,528	一般財源 1,528	<p>各種講座等の生涯学習機会の市民への提供。 (事業費内訳) 報償費 1,221,300円 旅費 190,319円 需用費 48,777円 役務費 68,000円 計 1,528,396円</p>	<p>住民の学習要求に応えるため各種学級を開催し知 識と教養の向上を図り、学習を通して明るく住みよ い豊かな地域づくりに努めた。</p>
		花いっぱい運動事業	557	一般財源 557	<p>公民館による花いっぱい運動事業。 (事業費内訳) 賃金 37,076円 需用費 519,577円 計 556,653円</p>	<p>各地区公民館で、花いっぱい運動事業を通して県 道沿いの花壇整備・花による美しい町づくりのほか ボランティア活動にも活発化してきている。</p>

(9) 教育費

(7) 社会教育費

決算書 対応頁	目	公民館利用状況 (公民館名)	利用件数	利用者数	主要事業	主催学級・自主学級等
217 } 220	3 公民館費	中央公民館	1,170	16,422	子供インターネット教室・高齢者インターネット教室	本渡ふるさと学級会・書道学級・健康体操教室・本渡市ママさんコーラス(はまゆうこおる)・本渡市四半的協会・陶芸サークル・ヨガ教室・天草スポーツダンス愛好会・インターネット市民塾・真向法体操天草支部本渡中央教室・女性合唱団「彩音」・手話奉仕員養成講座 その他多数
		本渡南公民館	964	12,424	老人大学	本渡南歩こう会・セイクオーレ・眞美体操・ダンススポーツ本渡・女声アンサンブルカーラ・大正琴イルカ・香雲堂 吟詠会・坂東流・天草社交ダンス・親子リズム つくしんぼ・混声合唱団 喜奏会・いきいき教室本渡南 その他多数
		本渡北公民館	1,691	25,805	老人大学	「いきいき教室」本渡北・本渡北暮楽会・本渡北大正琴A・ひまわり(健康体操)・もくれん(パッチワーク)・本渡町婦人会短歌学級・今釜民謡会・天草フォトクラブ・びよびよクラブ(親子エアロビクス)・太極拳教室・広瀬ミニバレー・リズム健康体操(コスモス会)・日本民謡天草灘会・拳道無形塾・日本空手道研修館 その他多数
		亀場町公民館	1,471	17,922	高齢者学級・家庭教育学級	亀場歌謡教室・天草琴修会・絵画教室・のびのび教室・亀場フラダンス教室・翠踊会 亀場日舞教室・亀場童謡くらぶ・はなみずき(歌)・亀場幼稚園クラブ(ミニバレー)・亀場空手クラブ・日本デンマーク体操 その他多数
		杵宇土町公民館	649	6,433	第18回家族(なかよし)グランドゴルフ大会 総合球技大会	いこい学級・女性の広場・人づくり(家庭教育)学級・男女共同参画学級 男の料理教室・久々山平床会(ミニバレー)・杵宇土華道教室・杵宇土ゴールド・杵宇土大正琴あやめ会・四半的弓道・健康えあるび・なかよしファミリー その他多数
		志柿町公民館	773	16,136	志柿老人大学	女性学級・志柿ファミリークラブ(ミニバレー)・カラオケ愛好会・エイサークラブ(沖縄太鼓)・クラリネットアンサンブル・志柿婦人会生花教室・舞踊教室・大正琴教室(琴志会)・フルートアンサンブル その他多数

(9) 教育費

(7) 社会教育費

決算書 対応頁	目	公民館利用状況 (公民館名)	利用件数	利用者数	主要事業	主催学級・自主学級等
217 } 220	3 公 民 館 費	志柿町公民館瀬戸分館	536	9,926	瀬戸老人学級	大正琴教室・バッチワークサークル・生け花教室・ 社交ダンス教室・演劇愛好会・空手道教室
		下浦町公民館	855	18,264	子ども料理教室	下浦町公民館学級『夏休みおもしろ劇場』・男の料理教室・農協女性部(ミニバレー)・パールシェルフラクラブケナフ(フラダンス)・書道サークル・カラオケ愛好会・下浦ストーンズ(ソフトボール)・第一福寿会(グランドゴルフ)・少年柔道クラブ その他多数
		楠浦町公民館	706	6,738	パソコン教室・高齢者学級	高齢者学級・婦人学級・藤波会・大正琴五月会・楠浦俳句会・楠浦生花クラブ・楠の花(童謡コーラス)・料理教室・植村道場(剣道)・楠浦愛球会(卓球)・コスモス会(ミニバレー)・楠弓会(四半的) その他多数
		本町公民館	675	9,227	高齢者学級・家庭教育教室事業	講座学習計画・いきいき教室 本町・ミニバレー「鶴28」・本町盆栽会・ミニバレー「本町女性会」・松武会「本町躰心塾」 その他多数
		佐伊津町公民館	1,939	19,733	高齢者学級	女性学級・男の料理教室・躰心塾 佐伊津・いきいき教室 佐伊津・健美体操実行会1・カラオケ教室・天草椿会 佐伊津教室・コスモス会(舞踊教室)・英会話教室・上在郷グラウンドゴルフビギナーズ その他多数
		宮地岳町公民館	453	5,683	宮地岳わんぱーく(地域子ども教室)	四半的弓道協会 宮地岳支部・琴宮会(大正琴)・藤宮会(舞踊)・豆木場自治会(ミニバレー)・ウイニングファイブ(フットサル)・宮地岳あそぼう会(ソフトボール)・宮地岳GGクラブ(グランドゴルフ)・宮地岳健康歩こう会(ウォーキング) その他多数
		牛深町公民館	456	3,172	ハイヤっ子ハウス・夜間パトロール	フラダンス教育・茶道教室・琴藍会うしぶか・牛深美術教室・生け花教室・民謡&歌謡教室・日本舞踊教室・かな書道・公佳会・北時フラワーデザインスクール・茂串油絵教室・茂串着付教室・天附着付教室 その他多数
		久玉町公民館	968	15,337	エアロフットセラピー	いずみ会・久玉着付け教室・煎茶教室・日本吟声流詩吟教室・久玉教養趣味の会・大正琴、辻教室・久玉生け花教室・エアロピクス

(9) 教育費 (7) 社会教育費

決算書 対応頁	目	公民館利用状況 (公民館名)	利用件数	利用者数	主要事業	主催学級・自主学級等
217) 220	3 公 民 館 費	魚貫町公民館	134	2,348	太極拳	地区民のアンケート調査を実施した。
		深海町公民館	492	9,813	第4回深海町民文化祭	生け花教室・民謡教室
		二浦町公民館	414	969	太極拳	料理教室
		楠甫町公民館	393	2,882	パソコン教室・環境リサイクル教室	楠甫健康ダンス教室・パールシエルなぎさ・楠甫四半的弓道・楠甫囲碁愛好会・カラオケ愛好会
		大浦公民館	339	4,058	大浦さわやか大学	大浦舞踊教室・大浦陶芸クラブ・大浦大正琴教室・大浦書道教室・蘇山流蘇晴支部・フラダンス パールシエルサザナミ・ステンドグラス同好会・歌謡クラブ・いきいきサロン・大浦四半的弓道協会
		須子公民館	412	2,967	須子公民館さわやか大学	須子大正琴教室・須子舞踊教室・須子陶芸教室・須子書道教室・須子四半的クラブ
		赤崎公民館	161	1,285	赤崎公民館さわやか大覚院	フラダンスありあけ・赤崎着物着付教室・赤崎舞踊(かもめ)・赤崎陶芸教室・少年少女囲碁教室・さわやか大学
		上津浦公民館	456	5,646	高齢者料理教室・子供料理教室・男性料理教室	編み物教室・上津浦舞踊さくら会・楽しむ会・上津浦大正琴教室・有明ハーモニーコール・すみれ会・上津浦書道教室・上津浦健康体操クラブ・有明少年空手クラブ・スクエアダンス教室・生き生きサロン
		下津浦公民館	404	4,367	下津浦さわやか大学	下津浦三味線教室・紙粘土教室・卓球クラブ・布のリフォーム教室・下津浦健康体操教室・下津浦生花会・編み物リフォーム教室・いきいきサロン・着付愛好会
		島子公民館	487	3,437	島子公民館パソコン講習会	童謡グループカナリア・島子詩吟教室・日舞椿会・島子生花教室・島子四半的弓道協会・シルバーダンス・島子コーラス・島子大正琴教室・島子健康体操・島子日舞教室・気功教室
		御所浦地区公民館	156	2,651	産山交流事業・しおさいマラソン大会	大正琴教室・子育てもじゃこグループ
		浦公民館	51	625	浦地区高齢者学級	大正琴教室・ひまわり会・高齢者料理教室
		棚底公民館	81	778	史跡巡り	棚底地区の史跡を巡り文化財について学んだ(振興会と共同開催)
		宮田公民館	28	526	宮田地区高齢者学級	生き生きサロンと共同開催・山口先生の講話が好評だった。
		栖本町公民館	111	622	高齢者学級	IT講習・地域子ども教室・香雲堂吟詠会栖本支部・栖本ママさんコーラス フラワーコール・婦人学級・青年学級・琴華会・ブルーリーフ

(9) 教育費

(7) 社会教育費

決算書 対応頁	目	公民館利用状況 (公民館名)	利用件数	利用者数	主要事業	主催学級・自主学級等
217) 220	3 公 民 館 費	小宮地公民館	262	2,203	絵手紙教室	新和民謡会・うぐいす琴の会・はるうらら(大正琴)・小宮地舞踊会
		宮南公民館	165	1,327	第2回竜洞山ウォークラリー2006	ウォークラリー実施により参加者がふえている。
		大宮地公民館	216	3,650	花いっぱい運動・グランドゴルフ大会	花いっぱい運動を実施し環境美化に務めた。
		大多尾公民館	182	3,327	女性部グランドゴルフ大会	活花教室・大多尾舞踊会
		中田公民館	332	4,855	凧づくり教室	文化財めぐり講座・中田書道教室・中田舞踊会
		碓石公民館	230	3,059	中田碓石地区合同球技大会	ふれあい学習(書道)
		御領公民館	135	1,544	文化祭・史跡探訪	茶道・民謡 その他多数
		大島公民館	203	4,300	花いっぱい運動	高齢者教室・ミニバレーボール
		鬼池公民館	412	10,599	凧作り教室・カズラ編み教室	鬼池バッチワーク教室・書道教室・パールシェル、 フラキンレンカA教室・フラダンス キンレンカ B・鬼池公民館文化部歌謡教室・鬼池木彫教室・健 康体操教室・鬼池ミニバレーチーム・鬼池ソフトバ レーボールクラブ・鬼池少年剣道クラブ
		二江公民館	290	7,512	新春通詞島一周マラソン大会	二江少年剣道クラブ・青雲塾空手部
		手野公民館	640	19,565	女性の料理教室	五和卓球クラブ・かねやん卓球クラブ・ともしび 会・手野地区踊り愛好会
		城河原公民館	208	3,075	婦人教養学級	城河原着物着付愛好会・城河原着物着付教室・ボラ ンティアひまわり会・真向法協会城河原教室
		福連木公民館	213	3,251	尺八教室	地区振興会と協同で事業を実施
		下田北公民館	82	1,636	下田北大運動会	健康教室(真向法)・健康教室(ミニバレー)
		下田南公民館	287	5,315	下田南地区球技大会	大正琴教室・生花教室・真向法体操教室
		高浜公民館	45	1,044	花作り事業	地区球技大会・おね火焼き
		大江公民館	131	3,027	文化交流コンサート(アルゼンチンfolklore)	大江生花教室・笑軍(軍ヶ浦ミニバレークラブ)・ 大ヶ瀬(ミニバレークラブ)・大江どしめく(ソフト ボールクラブ)
		新合公民館	160	5,312	花のある生活路愛護作業・交通安全駅伝大会	藤豊会
		一町田公民館	150	4,779	一町田高齢者大学	琴成会・森のくまさん(大正琴)・書道クラブ・はま なす会(生花)・おもと(着物着付教室)・すずらん (舞踊)・さつき会(レザークラフト)・短歌サーク ル・絵手紙教室・豊南海会・コレジヨコール その 他
		富津公民館	227	4,462	富津高齢者大学	崎津ハイヤーグループ・富津三味線趣味クラブ
		宮野河内公民館	350	8,141	宮野河内地区高齢者大学	健康くらぶ・三味線愛好会・子ども書道教室
		合計	22,345	328,179		

(9) 教育費

(7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
220 ） 222	4 図書館費	図書館施設整備事業	20,213	地方債 19,200 一般財源 1,013	天草中央図書館トイレ等改修 機械室アスベスト除去を行い、視聴覚ライブラリーの増築及びトイレの改修（多目的トイレの設置、衛生器具の一部洋式化）を行った。 （事業費内訳） 設計委託料 294,000円 工事請負費（2件） 19,918,500円 計 20,212,500円	アスベストの人体への影響が懸念されており、今回除去することができた。また視聴覚ライブラリーを整備し、市民の生涯学習の場として提供することができた。また、老朽化していたトイレを改修し、多目的トイレを設置することにより利用者の利便性を向上させることができた。
		童話発表会事業	283	一般財源 283	市内各地区大会：平成18年7月12日～ 9月9日開催 参加者合計 119人 天草地方大会：9月16日（土）開催 場所：天草市民センター 発表者 20人 （事業費内訳） 審査員謝礼 102,000円 消耗品代 127,450円 天草地方大会負担金 54,000円 計 283,450円	童話に親しみ、創造する機会を与えることにより、読書意欲の推進を図った。各地区大会より代表者を選出し、上天草市及び苓北町代表を加えて天草地方大会を開催。熊本県童話発表大会への天草地区代表2名を選出した。天草市代表者が熊本県大会で最優秀賞を獲得。 （各地区大会・・・本渡・牛深・御所浦・五和・河浦・新和・天草・有明・栖本・倉岳）
		読書活動推進調査研究事業	799	国庫支出金 799	「市町村等における子どもの読書活動推進に関する調査研究」事業を、天草市子ども読書推進実行委員会が事業主体として実施した。 （事業費内訳） 補助金 799,000円 補助金で実施した事業 子ども読書フェスティバル わらべ唄、朗読発表、童話発表、講演会（講師；内田麟太郎氏）、おはなしの部屋（子どもたちへの読み聞かせ）、リサイクル本の配布（場所：図書館） 平成18年12月16日（土）開催 場所：天草市民センター 展示ホール・和室 （参加数 321名）	文部科学省から委嘱を受けた「市町村等における子どもの読書活動推進に関する調査研究」事業の一環として開催し、子どもたちの読書振興を図った。 （事業経費全額を文部科学省が助成。） 天草の子どもたちに読書の楽しさや美しい日本語を直接体験する機会を提供するため、全国トップの人気児童作家を招き、イメージをどのように本にしていけるのか、執筆時のエピソード等のお話をってもらうことで、本に関する興味を引き起こし読書意欲を高めることが出来た。

(9) 教育費

(7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
220 ） 222	4 図書館費	読書活動推進調査研究事業 (つづき)			<p>作家と高校生との交流会 学校(高校)に作家を招聘し、生徒との交流会を開催した。 平成18年11月17日(金) 開催 場所：天草工業高校 情報科棟4階 講師：梶尾真治氏(SF作家) 参加数：高校生 40名 一般参観者 23名</p> <p>読書フォーラム in 天草 子どもたちの読書の推進に関わる学校教員、ボランティア等によるフォーラムを開催。 平成18年7月29日(土) 開催 場所：天草市民センター 大会議室 内容：実践発表(宮野河内小学校長)(読聞読聞輪組輪組なかま)、県内の取り組み紹介(県立図書館 玉目恭子氏)、講演(須崎ひろか氏)、読み聞かせボランティアグループによる掲示発表 参加数：90名</p> <p>手づくり教室 小学生～高校生を対象に、布を使って絵本や人形を手作りする教室を開催。 平成18年8月19日(土)、9月9日(土)、10月14日(土) 開催 場所：中央図書館 2階 会議室 講師：一般ボランティア 参加数：13名(延べ40名)</p>	<p>読書量が減少しがちなヤングアダルト層への対応として、学校に作家を招聘し、作家との交流会を開くことで、作家やその作品に興味・関心を持ち、ひいては自主的な読書活動へと発展させるきっかけとなる機会を提供することが出来た。</p> <p>「大人が支える子どもの読書」をテーマに、子どもの読書活動に対する取り組みを紹介し合うことで子どもの読書振興を図った。</p> <p>子どもたちが本に親しむ機会を提供した。</p>
		図書館巡回講座	100	一般財源 100	<p>小学校、幼稚園、保育所等に出向き、小学生・幼児を対象にお話、紙芝居、パネルシアター、腹話術等を行った。 年間24回開催 (事業費内訳) 講師謝礼 100,000円</p>	<p>紙芝居、パネルシアター、腹話術等を見聞きさせることにより、子どもたちの読書への興味を深めた。また、学校の読書教育との連携を図ることができた。</p>

(9) 教育費

(7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
220 ） 222	4 図書館費	おたのしみ会	0		子どもたちへの読み聞かせ、お話、紙芝居、腹話術等。 毎月第2土曜日 本渡北公民館にて開催 毎月第4土曜日 本渡南公民館にて開催 年間合計24回開催（延べ424名が参加） 子ども読書の日お楽しみ会を4月22日（土）実施 （参加者90人）	子どもたちへ多彩な構成で物語の楽しさを伝え、本に親しむ機会を提供し読書推進を図った。
		「ブックレター・わたしのすすめる本」の募集	146	一般財源 146	おすすめの本の推薦メッセージを募集し、応募された143点を掲載し文集として発行。200部印刷し、各学校等関係機関に配布した。 （事業費内訳） 印刷製本費 146,475円	読書の楽しさや本との出会いのすばらしさを多くの人に伝え、広く読書意欲の向上と読書活動の振興を図った。
		古文書学習会	45	一般財源 45	地域に眠る古文書を解説する為の学習会を開催。 毎月第3土曜日開催 年間11回開催 受講15人（延べ96名参加） （事業費内訳） 講師謝礼 45,000円	地域に眠る古文書を解説することにより郷土を理解し、郷土を再認識する機会を提供した。
		図書購入	14,012	その他 1,000 一般財源 13,012	新刊文学書、総合学習対応図書、参考図書の購入。 （事業費内訳） 図書購入費 14,012,127円 【内訳】 中央図書館 7,999,848円 牛深図書館 2,861,546円 河浦図書館 899,839円 御所浦図書館 249,945円 五和図書室 653,066円 高浜公民館図書室 288,370円 栖本図書室 194,934円 新和図書室 298,875円 有明図書室 565,704円 倉岳図書室 0円	図書購入に対して市民から多額の寄付があり、市民の読書に対する関心の高さと意識の向上が見られる。新刊書など各種資料を購入し、市民に提供することができた。 （貸出者数） （貸出冊数） 46,258 167,100 6,607 22,179 5,721 18,926 1,945 5,828 4,413 8,804 1,700 4,588 1,128 1,560 882 1,881 544 2,476 127 322 69,325（人） 233,664（冊）

(9) 教育費

(7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
220 ） 222	4 図書館費	視聴覚ライブラリー事業	723	その他 200 一般財源 523	17年度まで中央公民館内に設置されていた視聴覚ライブラリーを中央図書館へ移転。学校、社会教育団体等に対して視聴覚教材及び機材の貸出しを行った。また、新たに購入する教材を研究開発委員によって選定し、購入した。 (事業費内訳) 研究開発委員謝礼 30,000円 消耗品費 23,933円 機材修繕料 69,300円 映像教材購入費 599,430円 計 722,663円	教材及び機材の貸出しを通じて生涯学習の振興に努めた。 機材・教材利用件数 年間延べ194件 利用者数 7,511人
223 ） 224	5 文化振興費	芸術文化振興事業	3,736	一般財源 3,736	(事業費内訳) 旅費 98,820円 需用費 445,549円 役務費 251,540円 公演委託料 1,662,600円 使用料(バス借上げ料) 777,000円 アウトリーチ事業負担金 500,000円 計 3,735,509円 本物の舞台芸術体験事業(文化施設公演) ・井上バレエ団「白鳥の湖」公演 7/25 牛深総合センター：入場者数800人 ・わらび座ミュージカル「銀河鉄道の夜」 8/6 天草市民センター：入場者数 620人 本物の舞台芸術体験事業(学校公演) ・10/5 牛深東中学校で実施。 演奏家派遣アウトリーチ事業 木管五重奏DUHA公演 ・10/18~21、牛深・河浦地区の小・中学校5校、牛深市民病院、牛深総合センターで公演を実施。	市民に広く優れた芸術文化公演に触れる機会をつくるため、文化庁本物の舞台芸術体験事業や宝くじ文化公演などを活用して安価で質の高い事業を実施することができた。天草市民センターと牛深総合センターを中心に実施したが、センターから遠い地区も多いので、本物の舞台芸術体験事業ではへき地校を、泥かぶら公演では希望校を貸切バスで送迎して実施した。 劇団新制作座「泥かぶら」公演 ・12/12、天草市民センターで開催。昼の部を学校公演として、子どもたちを貸切バスで招待して、夜の部は一般公演として実施した。 (入場者数：昼698人、夜204人) 宝くじ文化公演 宝塚OG「ニューヨーク・ニューヨーク」公演 ・2/24、天草市民センター：入場者数662人

(9) 教育費

(7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
223 ） 224	5 文化振興費	芸術作品展示事業	1,413	一般財源 1,413	(事業費内訳) 賃金 136,079円 報償費 346,503円 需用費 441,678円 役務費 141,805円 委託料 347,138円 計 1,413,203円	市民に広く芸術作品にふれる機会をつくるため、天草出身あるいは在住で、国内外で活躍中の洋画家17人の作品50点を展示して「美の水脈展」を開催した。市民の美術に対する関心を高め、文化の振興につなげることができた。 期間 9月23日～10月1日 会場 天草市民センター展示ホール 入場者数：1,542人(1日平均171人)
		市民センターホール等 自主文化事業	12,585	一般財源 12,585	(事業費内訳) 旅費 79,180円 需用費 790,071円 役務費 195,060円 委託料 11,504,500円 使用料 15,750円 計 12,584,561円 天草市民センター ・8/11、爆笑ライブ(出演：南海キャンディーズ、博多花丸大吉など5組が出演。)：入場者数934人 ・11/26 玄海竜二ショー：入場者数700人 ・1/27 ロマンティック・ショパン・マリツィオ・バリコ・ピアノリサイタル：入場者数697人 ・3/25 合併1周年記念事業 古謝美佐子コンサート：入場者数511人	芸術文化振興事業を児童・生徒を中心とした公演内容とし、この事業を一般市民向けの娯楽性の高い公演も取り入れた事業として実施した。若い層にもアピールするような市民全般が楽しめる事業として実施することができた。 牛深総合センター ・9/23 松竹特別公演「はりませ屏風」「明日の幸せ」水谷八重子主演 入場者数550人 ・11/3～4 第27回牛深地区音楽芸能祭 入場者数1,000人(2日間) ・11/17～18 うしぶかふるさと音楽祭 入場者数1,300人(2日間) ・3/4 熊本リョーカルアタ-2「ライブ-ザ-ル」公演 入場者数200人(200人限定)
		子ども作陶体験事業	1,570	一般財源 1,570	(事業費内訳) 作陶体験委託料 1,570,000円	市内の窯元を小学校に派遣し、6年生(あるいは5年生)を対象に、作陶体験教室を実施した。地域の伝統産業にふれる機会となったとともに、郷土を理解する機会とすることができた。 ・参加校28校計759人×2,000円=1,570,000円

(9) 教育費

(7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
223 ） 224	5 文化振興費	五足の靴文化の里づくり事業	4,200	一般財源 4,200	(事業費内訳) 委託料 4,200,000円 ・五足の靴顕彰全国短歌大会 日時：8月29日～30日 会場：望洋閣(天草町) 出詠数：782首 大会参加者数113名 ・天草口ザリオ館特別展 「五足の靴をたどる 天草情調の旅」 期間：8月26日～9月24日 入場者数：1,400人 ・五足の靴ウォーク大会 日時：11月3日 会場：五足の靴遊歩道 参加者数：136名	五足の靴文化の里づくり実行委員会に委託し実施した。「五足の靴」の意義を再認識するとともに、全国に向けて顕彰し、短歌を通して文化活動の拡大と交流人口の増加を図ることができた。
		文化活動補助金	2,782	一般財源 2,782	天草市芸術文化協会に加盟する文化団体等が開催する事業に対して、経費の2分の1(10万円を限度)を補助した。また、全国大会に出場した牛深高等学校郷土芸能部に対し、全国大会補助金を交付した。 (事業費内訳) 全国大会補助金 353,000円 文化活動補助金 2,429,400円 計 2,782,400円	文化団体が実施する事業に補助することで、文化団体の活性化と本市の文化振興につなげることができた。
		市民芸術祭開催補助金	3,570	一般財源 3,570	天草市芸術文化協会に加盟する本渡・牛深・五和の文化協会が実施する市民文化祭の事業に補助を行った。 本渡地区分 2,000,000円 牛深地区分 1,170,000円 五和地区分 400,000円 補助金合計 3,570,000円	本年は本渡・牛深・五和の3地区の文化協会に補助金を交付し、市民文化祭を開催し、市民一体となった文化祭を開催することができた。今後は、補助金交付先を天草市芸術文化協会に一本化し、市内10地区の文化協会が統一性を持った文化祭が開催できるよう支援していく必要がある。
		牛深ハイヤ節全国大会	1,800	一般財源 1,800	実行委員会に委託し、6月24日に予選大会、25日に決勝大会を、また、市民へのアピールのため、24日夜にハイヤ踊りのルーツを探るということでアトラクションを実施した。(会場：牛深総合センター) (事業費内訳) 委託料 1,800,000円	旧牛深市で実施されていた事業で、本年度で6回目の開催となり、牛深ハイヤ節の継承と発展に寄与することができた。今後、この大会をさらに発展させていくため、参加者募集や大会告知等運営方法を工夫していく必要がある。 出場者数 83人

(9) 教育費

(7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
224 ） 226	6 文化財保護費	棚底城跡調査整備事業	4,395	国庫支出金 1,500 一般財源 2,895	<p>棚底城周辺地の発掘調査の実施</p> <p>大権寺遺跡発掘調査 H18.12.1～H19.2.28 業務委託 棚底城跡石垣測量図化 業務委託 大権寺遺跡埋め戻し 業務委託 学術検討委員会 2回実施</p> <p>(事業費内訳)</p> <p>賃金 1,327,248円 共済費 6,862円 報償費 150,000円 旅費 736,832円 需用費 246,442円 委託料 1,831,857円 使用料及び賃借料 95,550円</p> <p>計 4,394,791円</p> <p>うち補助対象事業費 3,002,506円 補助率 5.0/10</p>	<p>国指定文化財への指定準備中である棚底城跡の調査整備事業</p> <p>棚底城跡関連史跡として、城跡に伴う菩提寺との伝承と南北朝期金石資料が残存する大権寺比定地について、発掘調査の実施により遺構の有無及び残存状況を確認した。調査の結果、大権寺跡に関連すると思われる石垣、列石等の遺構と14～16世紀の遺物(中国産の青磁、陶磁器)が確認され、中世における棚底城をめぐる周辺地域の様相が明らかになり史跡の価値が高まった。</p>
		天領「天草」地方文書調査事業	3,214	国庫支出金 1,600 一般財源 1,614	<p>木山家文書目録校正・発行 300部 目録編成・PC入力作業(4家) 中西家・酒井家・佐藤家・大塚家</p> <p>(事業費内訳)</p> <p>共済費 99,075円 賃金 1,408,296円 報償費 270,000円 旅費 492,280円 需用費 940,059円 役務費 4,150円</p> <p>計 3,213,860円</p> <p>うち補助対象事業費 3,204,622円 補助率 5.0/10</p>	<p>旧本渡市において計画、平成15年度～19年度の5力年で実施する事業。旧本渡市内に点在する古文書の所在を調査し、古文書目録を作成、生涯学習や学校教育での活用を図ることを目的とする。本年度は、木山家の文書目録校正・発行(300部)及び中西家・酒井家・佐藤家・大塚家の4家の文書の目録編成・PC入力作業を行った。</p>

(9) 教育費

(7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果																																																																		
226 } 229	7 文化施設費	天草市民センター維持管理 事業	28,725	一般財源 28,725	(事業費の内訳) 需用費 12,769,939円 役務費 1,429,767円 委託料 14,181,033円 使用料 43,785円 原材料費 100,000円 備品購入費 200,000円 計 28,724,524円	天草市民センターの利用者数は、比較的順調に推移している。18年度も、合併効果もあり増加した。使用料は、会議室の使用が時間帯(午前・午後等)から1時間単位になったことや体育館の営利使用が少なくなったため減少した。今後も、適正な運営を心がけ、利用者の確保を図っていききたい。																																																																		
					<table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>年度</th> <th>14</th> <th>15</th> <th>16</th> <th>17</th> <th>18</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">市民会館</td> <td>回数</td> <td>1,548</td> <td>1,296</td> <td>1,421</td> <td>1,529</td> <td>1,552</td> </tr> <tr> <td>人員</td> <td>129,671</td> <td>103,284</td> <td>116,523</td> <td>129,996</td> <td>136,056</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">体育館</td> <td>回数</td> <td>671</td> <td>836</td> <td>742</td> <td>818</td> <td>842</td> </tr> <tr> <td>人員</td> <td>40,437</td> <td>44,146</td> <td>48,133</td> <td>50,641</td> <td>54,642</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">武道館</td> <td>回数</td> <td>721</td> <td>625</td> <td>723</td> <td>747</td> <td>897</td> </tr> <tr> <td>人員</td> <td>21,345</td> <td>20,311</td> <td>18,963</td> <td>20,492</td> <td>20,789</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">合計</td> <td>回数</td> <td>2,940</td> <td>2,757</td> <td>2,886</td> <td>3,094</td> <td>3,291</td> </tr> <tr> <td>人員</td> <td>191,453</td> <td>167,741</td> <td>183,619</td> <td>201,129</td> <td>211,487</td> </tr> <tr> <td>使用料収入額</td> <td>(千円)</td> <td>16,962</td> <td>20,219</td> <td>21,603</td> <td>24,689</td> <td>22,242</td> </tr> </tbody> </table>	施設名	年度	14	15	16	17	18	市民会館	回数	1,548	1,296	1,421	1,529	1,552	人員	129,671	103,284	116,523	129,996	136,056	体育館	回数	671	836	742	818	842	人員	40,437	44,146	48,133	50,641	54,642	武道館	回数	721	625	723	747	897	人員	21,345	20,311	18,963	20,492	20,789	合計	回数	2,940	2,757	2,886	3,094	3,291	人員	191,453	167,741	183,619	201,129	211,487	使用料収入額	(千円)	16,962	20,219	21,603	24,689	22,242	
施設名	年度	14	15	16	17	18																																																																		
市民会館	回数	1,548	1,296	1,421	1,529	1,552																																																																		
	人員	129,671	103,284	116,523	129,996	136,056																																																																		
体育館	回数	671	836	742	818	842																																																																		
	人員	40,437	44,146	48,133	50,641	54,642																																																																		
武道館	回数	721	625	723	747	897																																																																		
	人員	21,345	20,311	18,963	20,492	20,789																																																																		
合計	回数	2,940	2,757	2,886	3,094	3,291																																																																		
	人員	191,453	167,741	183,619	201,129	211,487																																																																		
使用料収入額	(千円)	16,962	20,219	21,603	24,689	22,242																																																																		
					<table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>年度</th> <th>14</th> <th>15</th> <th>16</th> <th>17</th> <th>18</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">総合センター</td> <td>回数</td> <td>2,209</td> <td>2,376</td> <td>2,316</td> <td>2,302</td> <td>1,808</td> </tr> <tr> <td>人員</td> <td>77,216</td> <td>80,805</td> <td>74,610</td> <td>67,898</td> <td>53,691</td> </tr> <tr> <td>使用料収入額</td> <td>(千円)</td> <td>7,177</td> <td>7,134</td> <td>6,964</td> <td>7,094</td> <td>4,253</td> </tr> </tbody> </table>	施設名	年度	14	15	16	17	18	総合センター	回数	2,209	2,376	2,316	2,302	1,808	人員	77,216	80,805	74,610	67,898	53,691	使用料収入額	(千円)	7,177	7,134	6,964	7,094	4,253																																								
施設名	年度	14	15	16	17	18																																																																		
総合センター	回数	2,209	2,376	2,316	2,302	1,808																																																																		
	人員	77,216	80,805	74,610	67,898	53,691																																																																		
使用料収入額	(千円)	7,177	7,134	6,964	7,094	4,253																																																																		
		牛深総合センター維持管理 事業	30,739	一般財源 30,739	(事業費の内訳) 旅費 4,400円 需用費 14,404,337円 役務費 484,429円 委託料 15,470,304円 使用料 365,131円 負担金 10,000円 計 30,738,601円	牛深総合センターの利用者数は、合併により市関係の会合等が少なくなったことや改修による会場使用ができない期間があったため減少した。また、使用料は、これらの原因に加えて、減免使用が増えたため、大幅に減少した。今後も、大幅な増加は望めないが、文化団体の育成や自主事業の実施等を通して利用者の確保を図っていききたい。 18年度減免額 1,051千円(17年度以前はなし)																																																																		

(9) 教育費

(7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
226 ） 229	7 文化施設費	市民センター整備事業	204,776	地方債 173,100 一般財源 31,676	<p>牛深総合センター改修 施設の老朽化を解消するため、大規模改修を行 い、併せて耐震診断も実施した。</p> <p>(事業費内訳)</p> <p>設計委託料 改修設計 2,171,400円 耐震診断 3,199,350円 工事請負費 舞台吊物設備 14,332,500円 大ホール照明設備 111,300,000円 冷媒配管取替 1,312,500円 建物改修 25,305,000円 電気設備改修 15,540,000円 機械設備改修 14,280,000円 計 187,440,750円</p> <p>天草市民センター展示ホール壁改修 1,218,000円</p> <p>備品購入費 グランドピアノ(スタインウェイ) 16,117,500円</p> <p>合計 204,776,250円</p>	<p>牛深総合センターは、開館後27年が経過し、老朽 化が進んでいる。平成13年度より、利用者のニーズ に答えるため必要な改修に取り組んでいる。平成18 年度は、大規模改修を行い、安全で円滑な運営がで きるようになり、舞台の照明・吊物設備の改修にお いては、安全性が高まり、利用者の多様な文化創作 表現ニーズに応えられるようになった。</p> <p>また、耐震診断の結果については、耐震性能が確 保されており、問題はなかった。</p> <p>展示ホールの壁が、柱の関係で凸凹だったので、 壁の改修工事を行った。壁がフラットと成り、絵画 展示が容易と成り、利用者の利便性が高まった。</p> <p>備品類の老朽化に対応するため、計画的に備品の 更新を行っている。本年度は、天草市民センターの グランドピアノを購入し、市民センターの芸術性を 高め、今後の文化振興につなげることができた。</p>

(9) 教育費

(7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果																																										
229 ） 231	8 資料館費	資料館維持管理事業	60,640	一般財源 60,640	<p>天草の歴史民俗資料、切支丹関連資料、遺物、化石等を展示する。 併せて、収蔵管理を行う。</p> <p>(事業費内訳)</p> <table> <tr><td>報酬</td><td>4,084,800円</td></tr> <tr><td>共済費</td><td>365,086円</td></tr> <tr><td>賃金</td><td>4,545,948円</td></tr> <tr><td>報償費</td><td>69,000円</td></tr> <tr><td>旅費</td><td>125,000円</td></tr> <tr><td>需用費</td><td>12,782,849円</td></tr> <tr><td>役務費</td><td>2,738,040円</td></tr> <tr><td>委託料</td><td>30,594,249円</td></tr> <tr><td>使用料</td><td>2,731,599円</td></tr> <tr><td>備品購入費</td><td>2,189,985円</td></tr> <tr><td>公課費</td><td>413,000円</td></tr> <tr><td>計</td><td>60,639,556円</td></tr> </table>	報酬	4,084,800円	共済費	365,086円	賃金	4,545,948円	報償費	69,000円	旅費	125,000円	需用費	12,782,849円	役務費	2,738,040円	委託料	30,594,249円	使用料	2,731,599円	備品購入費	2,189,985円	公課費	413,000円	計	60,639,556円	<p>資料館では、特別展や教育普及事業を実施し、入館者の増加に努めている。しかしながら、職員が常駐していない館もある等、問題点も数多く抱えている。今後は、市内に10ある資料館のネットワーク化を進め、情報を共有化し全館一体となった運営を考えていく等、運営方法を検討していく必要がある。</p> <p>平成18年度入館者数は以下のとおり</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>施設名</th><th>入館者数</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>本渡歴史民俗資料館</td><td>19,248名</td></tr> <tr><td>天草切支丹館</td><td>58,739名</td></tr> <tr><td>天草口ザリオ館</td><td>18,388名</td></tr> <tr><td>天草玩具資料館</td><td>3,297名</td></tr> <tr><td>天草コレヨ館</td><td>4,618名</td></tr> <tr><td>五和歴史民俗資料館</td><td>1,483名</td></tr> <tr><td>御所浦白亜紀資料館</td><td>8,550名</td></tr> <tr><td>計</td><td>114,323名</td></tr> </tbody> </table>	施設名	入館者数	本渡歴史民俗資料館	19,248名	天草切支丹館	58,739名	天草口ザリオ館	18,388名	天草玩具資料館	3,297名	天草コレヨ館	4,618名	五和歴史民俗資料館	1,483名	御所浦白亜紀資料館	8,550名	計	114,323名
報酬	4,084,800円																																															
共済費	365,086円																																															
賃金	4,545,948円																																															
報償費	69,000円																																															
旅費	125,000円																																															
需用費	12,782,849円																																															
役務費	2,738,040円																																															
委託料	30,594,249円																																															
使用料	2,731,599円																																															
備品購入費	2,189,985円																																															
公課費	413,000円																																															
計	60,639,556円																																															
施設名	入館者数																																															
本渡歴史民俗資料館	19,248名																																															
天草切支丹館	58,739名																																															
天草口ザリオ館	18,388名																																															
天草玩具資料館	3,297名																																															
天草コレヨ館	4,618名																																															
五和歴史民俗資料館	1,483名																																															
御所浦白亜紀資料館	8,550名																																															
計	114,323名																																															
		教育普及事業	286	一般財源 286	<p>夏期体験学習の開催 「伝統の技にチャレンジ」-天草凧づくり 実施日 8月20日 目的 郷土の伝統的な天草凧の手作り体験をさせる。</p> <p>移動資料館の開催 実施期日 4月1日～3月31日 目的 住民等の学習を支援するため、市内の学校及び社会教育団体などに対し館外で講演や体験学習を行う。 (事業費内訳)</p> <table> <tr><td>報償費</td><td>40,000円</td></tr> <tr><td>需用費</td><td>246,348円</td></tr> <tr><td>計</td><td>286,348円</td></tr> </table>	報償費	40,000円	需用費	246,348円	計	286,348円	<p>手づくり体験をすることによって、伝統工芸とその技に触れることができ、生涯学習の一環としても役立つことができた。</p> <p>体験学習参加者 20名</p> <p>歴史民俗資料の市民への普及拡大と各種団体、学校等との連携が深まった。</p> <p>年間 30回実施 参加者 2,845名</p>																																				
報償費	40,000円																																															
需用費	246,348円																																															
計	286,348円																																															

(9) 教育費

(7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
229 ） 231	8 資料館費	企画展開催事業	983	一般財源 983	<p>「老巧の二人展」 - 描画を愛して七十年 - 期間 7月20日～10月22日 市内在住の高齢の画家2人の作品を展示。</p> <p>特別展 天草の「昔の暮らし」ジオラマ展 期間 11月3日～1月31日 目的 昭和初期から中期の天草庶民の暮らし・ 行事をジオラマ（立体模型）として製作し分 かり易く展示する。 特別展の開催期間終了後、好評につき常設 展示へ移行。 （事業費内訳） 賃金 22,800円 需用費 923,763円 役務費 36,600円 計 983,163円</p>	<p>高齢ながら真摯に美を追求してやまない地道な2 人の画家の活動を紹介・展示できた。 内容 抽象画、風景画（油彩・水彩） 76点</p> <p>歴史資料を文章だけで解説するより立体模型化し て見せることで分かりやすく、親しみやすく展示す ることができた。 特に高齢者に好評である。</p>
		白亜紀資料館特別展事業	3,702	一般財源 3,702	<p>【特別展「生命の歴史展」の実施】 （事業費内訳） 共済費 6,354円 賃金 561,500円 旅費 376,427円 需用費 666,216円 役務費 501,090円 委託料 839,400円 使用料・賃借料 343,575円 原材料費 208,355円 備品購入費 199,500円 計 3,702,417円</p>	<p>特別展の実施により、展示スペースの関係上、普 段展示できない標本を活用でき、これら標本の重要 性を知っていただくとともに、生命の歴史と進化に ついて学んでもらうことができた。来館者は市内だ けでなく、遠くは関東圏などからもあった。また、 恐竜絵画コンテストでは、予想を大きく上回る作品 が集まり、コンテストを通じて、恐竜や古生物への 興味を深めてもらうことができた。 開催期間 平成18年7月15日～8月27日（44日間） 開催場所 御所浦島開発総合センター （白亜紀資料館） 特別展来場者 4,020名 恐竜絵画コンテスト応募 4,068点 入場料合計 950,350円 （参考：経済効果 約21,700千円 御所浦地区の み経済効果 特別展予算関係の支出は除く）</p>

(9) 教育費

(7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果										
229 } 231	8 資料館費	化石発掘調査整理事業	1,234	一般財源 1,234	<p>【化石の発掘やクリーニング作業等を中心に実施】</p> <p>御所浦白亜紀資料館報第8号 500部</p> <p>(事業費内訳)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>共済費</td> <td style="text-align: right;">4,185円</td> </tr> <tr> <td>賃金</td> <td style="text-align: right;">806,000円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td style="text-align: right;">287,721円</td> </tr> <tr> <td>使用料・賃借料</td> <td style="text-align: right;">136,000円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">計</td> <td style="text-align: right;">1,233,906円</td> </tr> </table>	共済費	4,185円	賃金	806,000円	需用費	287,721円	使用料・賃借料	136,000円	計	1,233,906円	<p>作業が進み、新たな標本やそれらの整理が出来た。御所浦産化石の1つが福井県立恐竜博物館との共同研究により、日本最古の大型ほ乳類で、かつ世界的に重要な標本であることが判明し、国際学会誌でも報告。また、草食恐竜の追加標本や、新たな肉食恐竜の歯も発見でき、現在研究を進めている。これらについては、マスコミにも取り上げられた。</p> <p>また、年刊誌の館報を作成し、研究や事業の報告を行い、研究機関の機能も果たしている。館報は、大学や博物館に配布し、広く活動を周知するとともに、それら機関との書籍交換に役立っている。</p>
共済費	4,185円															
賃金	806,000円															
需用費	287,721円															
使用料・賃借料	136,000円															
計	1,233,906円															

(9) 教育費

(8) 保健体育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果						
231 } 235	1 保健体育費 総務費	第22回天草国際トライアスロン大会開催事業	18,179	一般財源 18,179	<p>【第22回天草国際トライアスロン大会の開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成18年9月10日 ・場所：本渡海水浴場 ・参加者：656名 <p>(内訳) トライアスロン：489名 リレー：114名 アクアスロン：53名</p> <p>(事業費内訳)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>補助金</td> <td style="text-align: right;">15,000,000円</td> </tr> <tr> <td>その他の事業費</td> <td style="text-align: right;">3,179,192円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">計</td> <td style="text-align: right;">18,179,192円</td> </tr> </table>	補助金	15,000,000円	その他の事業費	3,179,192円	計	18,179,192円	<p>第22回大会は、656名の参加があり、交流人口の増大と地域の活性化が図られた。また、市民が見て楽しむスポーツ、高校生を含む多くの人ボランティアとして参加することで、支えるスポーツ心を喚起し、国際交流が図られ、競技力向上につながった。</p>
補助金	15,000,000円											
その他の事業費	3,179,192円											
計	18,179,192円											
		第61回熊本県民体育祭出場補助金	8,777	一般財源 8,777	<p>【第61回熊本県民体育祭への出場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成18年9月16日・17日 ・場所：上益城郡 ・参加：23種目 391名 <p>(事業費内訳)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>補助金</td> <td style="text-align: right;">8,777,000円</td> </tr> </table>	補助金	8,777,000円	<p>第61回大会は、女子が5位、総合で8位の成績であった。上位チームとの差が僅差であることを考えると、今後、競技力の強化を図れば、さらに上位入賞も期待できる。</p>				
補助金	8,777,000円											

(9) 教育費

(8) 保健体育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
231 ） 235	1 保健体育 総務費	天草市民体育祭開催補助金	2,700	一般財源 2,700	【天草市民体育祭の開催】 ・開催期間：平成18年4月1日～7月31日 ・場 所：天草市一円 ・参 加：22種目 1,607名 (事業費内訳) 補助金 2,700,000円	県民体育祭の予選を兼ねる種目もあり、広く市民にスポーツを普及し、市民の健康増進とスポーツ精神の高揚につながり、市民の生活発展に寄与した。
		第1回天草マラソン大会開催補助金	4,000	一般財源 4,000	【第1回天草マラソン大会の開催】 ・開催日：平成18年11月19日 ・場 所：本渡運動公園陸上競技場 ・参加者：1,208名 (内訳)フルマラソン：767名 20km : 441名 (事業費内訳) 補助金 4,000,000円	本大会は、長距離及びマラソン選手の発掘と併せて、健康づくり・体力づくりを図るとともに、イベントによる交流人口の増大と地域の活性化を図ることを目的に開催した。旧天草マラソン及びオレンジマラソンを合体させた後の、初めての大会としては目標に近い参加者を集めることができた。今後は、更にPRに努め参加者の増加につなげたい。
		牛深海中公園マラソン大会開催補助金	1,150	一般財源 1,150	【牛深海中公園マラソン大会の開催】 ・開催日：平成18年12月1日 ・場 所：牛深町 ・参加者：468名 (事業費内訳) 補助金 1,150,000円	本大会は、体力の向上とスポーツの精神を育成し、ひいては長距離選手の発掘と指導とともに、選手相互の交流を図り、親睦を深める目的で開催した。地域のまつりと同時に開催することで地域の特性をアピールできた。今後、さらに効果的なPRの方法を検討し、参加者の増加につなげたい。
		倉岳えびすマラソン大会開催補助金	1,000	一般財源 1,000	【倉岳えびすマラソン大会の開催】 ・開催日：平成19年1月14日 ・場 所：倉岳町 ・参加者：839名 (事業費内訳) 補助金 1,000,000円	本大会は、市民の健康及び体力の増進を図るとともに、イベントによる交流人口の増加と天草市の地域振興に寄与することを目的に開催した。地域のまつりと同時に開催することで地域の特性をアピールできた。今後、さらに効果的なPRの方法を検討し、参加者の増加につなげたい。
		御所浦しおさいマラソン大会開催補助金	1,270	一般財源 1,270	【御所浦しおさいマラソン大会の開催】 ・開催日：平成19年2月12日 ・場 所：御所浦町 ・参加者：550名 (事業費内訳) 補助金 1,270,181円	本大会の目的である、市民の健康及び体力の向上はもとより、島の自然を満喫していただき地域住民との交流を深めてもらうことができた。今後、さらに効果的なPRの方法を検討し、参加者の増加につなげたい。

(9) 教育費

(8) 保健体育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
231 ） 235	1 保健体育 総務費	天草ロードレース大会開催 補助金	1,746	一般財源 1,746	【天草ロードレース大会の開催】 ・開催日：平成19年2月18日 ・場所：新和町 ・参加者：268名 (事業費内訳) 補助金 1,745,709円	本大会の目的である、天草陸上界の底辺拡大及び 競技力の向上を図ることができた。今後、さらに参 加者の増加を図っていききたい。
		熊本県中学駅伝天草大会開 催補助金	700	一般財源 700	【熊本県中学駅伝競走大会の開催】 ・開催日：平成18年11月9日・10日 ・場所：本渡～五和町 ・参加者：58チーム(男女各29チーム) (事業費内訳) 補助金 700,000円	生徒並びに一般市民へのスポーツ振興を図ると共 に、県下13郡市の生徒・役員等約1,200名が市内の ホテル・旅館に宿泊し、市の活性化に寄与した。
		熊本県高校駅伝城南地区大 会開催補助金	300	一般財源 300	【熊本県高校駅伝城南地区大会の開催】 ・開催日：平成19年2月3日・4日 ・場所：本渡～五和町 ・参加者：57チーム(男子32チーム・女子25チーム) (事業費内訳) 補助金 300,000円	生徒並びに一般市民へのスポーツ振興を図ると共 に、人吉・球磨地区、宇城地区、八代地区、芦水地 区、天草地区から生徒・役員等約600名が市内のホ テル・旅館に宿泊し、市の活性化に寄与した。
		九州中学駅伝天草大会開催 補助金	1,400	一般財源 1,400	【九州中学駅伝天草大会の開催】 ・開催日：平成18年12月1日・2日 ・場所：本渡～五和町 ・参加者：34チーム(男女各17チーム) (事業費内訳) 補助金 1,400,000円	生徒並びに一般市民へのスポーツ振興を図ると共 に、九州各県から生徒・役員等約600名が市内のホ テル・旅館に宿泊し、市の活性化に寄与した。
		熊本県中学選抜バレーボ ール選手権大会開催補助金	1,000	一般財源 1,000	【熊本県中学選抜バレーボール選手権大会の開催】 ・開催日：平成18年6月17日・18日 ・場所：稜南中学校他 ・参加者：64チーム(男女各32チーム) (事業費内訳) 補助金 1,000,000円	生徒並びに一般市民へのスポーツ振興を図ると共 に、県内の各地域から選抜されたチームの生徒や役 員等約1,200名が市内のホテル・旅館に宿泊し、市 の活性化に寄与した。

(9) 教育費

(8) 保健体育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
231 ） 235	1 保健体育費 総務費	九州国体成年男女ハンド ボール競技大会開催補助金	500	一般財源 500	【九州国体成年男女ハンドボール競技大会の開催】 ・開催日：平成18年8月19日・20日 ・場 所：天草工業高校・稜南中学校 ・参加者：16チーム（男女各8チーム） （事業費内訳） 補助金 500,000円	天草において、一流選手のプレーを見られる機会 は少ないので、よい機会であった。
		三県架橋推進少年ソフト ボール大会開催補助金	200	一般財源 200	【三県架橋推進少年ソフトボール大会の開催】 ・開催日：平成18年7月29日・30日 ・場 所：牛深町 ・参加者：20チーム （事業費内訳） 補助金 200,000円	長崎県島原半島から天草を経て鹿児島県長島町に 至る、島原・天草・長島の三県架橋の早期実現に向 け、その必要性を次世代を担う小学生に日頃から親 しんでいるソフトボールを通じ、広くアピールする とともに、同地区のなお一層の交流連携を図ること ができた。
		天草町ジュニアソフトボ ール大会開催補助金	110	一般財源 110	【天草町ジュニアソフトボール大会の開催】 ・開催日：平成18年10月22日 ・場 所：天草町 ・参加者：10チーム （事業費内訳） 補助金 110,000円	天草島内のジュニアソフトボールクラブの親睦を 図るとともに、明るく元気な青少年育成に寄与す ることができた。
		オール天草少年ソフトボ ール五和大会開催補助金	135	一般財源 135	【オール天草少年ソフトボール五和大会の開催】 ・開催日：平成18年7月9日・16日 ・場 所：五和町 ・参加者：44チーム （事業費内訳） 補助金 135,000円	本大会を通じて心身ともに健やかな子どもの成長 に寄与することができた。
		天草郡市ソフトボール選 手権河浦大会開催補助金	100	一般財源 100	【天草郡市ソフトボール選手権河浦大会】 ・開催日：平成18年9月23日・26日 ・場 所：河浦町 ・参加者：13チーム （事業費内訳） 補助金 100,000円	本大会は、今回で45回目を迎える伝統ある大会 で、天草郡市ソフトボールの普及・発展及び各チ ーム間の親睦融和を深めることができた。

(9) 教育費

(8) 保健体育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
231 ） 235	1 保健体育 総務費	河浦町ソフトボール大会開催補助金	64	一般財源 64	【河浦町ソフトボール大会の開催】 ・開催日：平成18年5月28日、10月22日 ・場所：河浦町 ・参加者：各4チーム (事業費内訳) 補助金 64,000円	本大会は、年2回開催されているが各チーム間の親睦融和を深めることができた。しかし、参加チームが4チームと少なく今後の開催方法については、検討を要すると思われる。
		栖本町少年剣道大会開催補助金	260	一般財源 260	【栖本町少年剣道大会の開催】 ・開催日：平成19年3月25日 ・場所：栖本町 ・参加者：42チーム (事業費内訳) 補助金 260,000円	天草管内の小中学生の健全育成と、併せて競技人口の増大を図ることができた。
		五和町青少年剣道大会開催補助金	80	一般財源 80	【五和町青少年剣道大会の開催】 ・開催日：平成18年5月14日 ・場所：五和町 ・参加者：小学生292名 中学生179名 (事業費内訳) 補助金 80,000円	本大会は、熊本県内の小中学生を対象に開催されており、今回は471名の参加があった。子どもたちの健全育成、体位、体力の向上と日本の武道に学ぶ礼儀作法を青少年に身に付けさせ、将来の人間形成に寄与できた。
		建国記念の日剣道大会開催補助金	150	一般財源 150	【建国記念の日剣道大会の開催】 ・開催日：平成19年2月11日 ・場所：河浦町 ・参加者：54チーム 266名 (事業費内訳) 補助金 150,000円	本大会は、今回で41回目を迎え、剣道を通じて青少年の健全な育成と、お互いの親睦を深めることができた。
		有明町青少年スポーツクラブ大会開催補助金	450	一般財源 450	【有明町青少年スポーツクラブ大会の開催】 1. 剣道大会 ・開催日：平成18年6月18日 ・場所：有明町体育館 ・参加者：14チーム 150名	当スポーツクラブでは、児童・生徒を対象に剣道、空手、柔道の各大会を開催している。これらの大会を通じて、会員相互の親睦と友情を深め、児童・生徒の基礎体力の向上と豊かな精神を養い、次代を担う青少年の健全育成を図ることができた。

(9) 教育費

(8) 保健体育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
231 ） 235	1 保健体育費 総務費	有明町青少年スポーツクラブ大会開催補助金（つづき）			2. 空手大会 ・開催日：平成18年6月25日 ・場所：有明町体育館 ・参加者：372名 3. 柔道大会 ・開催日：平成18年10月1日 ・場所：有明町体育館 ・参加者：160名 (事業費内訳) 補助金 450,000円	
		第33回郡市対抗熊日駅伝大会出場補助金	500	一般財源 500	【第33回郡市対抗熊日駅伝大会への出場】 ・開催日：平成19年2月11日 ・区間：天草市～熊本市 14区間 105.3km ・参加：各郡市 19チーム ・成績：第5位 (事業費内訳) 補助金 500,000円	本大会は、県内長距離競技者の育成と強化、競技人口の底辺拡大を推進すると同時に、各郡市の親睦融和を目的に開催され、天草市は第5位と健闘した。今後、さらにレベルアップを図りたい。
		第33回郡市対抗熊日駅伝大会開催地負担金	80	一般財源 80	【第33回郡市対抗熊日駅伝大会開催地負担金】 ・開催日：平成19年2月11日 ・区間：天草市～熊本市 14区間 105.3km ・内容：コース沿線自治体より助成 (事業費内訳) 負担金 80,000円	県下18郡市の選手・役員が市内のホテル、旅館に宿泊し、市の活性化に寄与した。
		第24回熊日郡市対抗女子駅伝大会出場補助金	300	一般財源 300	【第24回熊日郡市対抗女子駅伝大会への出場】 ・開催日：平成19年1月28日 ・区間：熊本市～益城町折返し 7区間 30km ・参加：各郡市 19チーム ・成績：第9位 (事業費内訳) 補助金 300,000円	本大会は、県内女子長距離競技者の育成と強化、競技人口の底辺拡大を推進すると同時に、各郡市の親睦融和を目的に開催され、天草市は第9位とまずまずの成績であった。今後、さらにレベルアップを図りたい。

(9) 教育費

(8) 保健体育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
231 ） 235	1 保健体育 総務費	天草市体育協会補助金	2,953	一般財源 2,953	【天草市体育協会運営補助金として】 体育協会歳入歳出決算 歳入 26,538,836円 歳出 25,405,047円 (事業費内訳) 補助金 2,953,000円	体育協会の健全な運営が図られ、市民の体育の向上と相互の親睦、健康で明るい町づくりに寄与した。
		スポーツ教室・スポーツ講習会開設補助金	304	一般財源 304	【スポーツ教室・スポーツ講習会の開設】 1. 天草市テニス協会：初心者・初級者テニス教室 ・開催期間：平成18年5月9日～6月2日 ・参加者：36名 2. 天草市ゲートボール協会：審判員講習会 ・開催日：平成18年7月18日 ・参加者：350名 3. 天草市卓球協会：卓球教室 ・開催期間：平成18年4月～平成19年1月 ・参加者：10名 4. 天草市バドミントン協会：バドミントン講習会 ・開催日：平成18年9月2日 ・参加者：53名 5. 天草市剣道連盟：審判・指導者講習会 ・開催日：平成18年5月28日 ・参加者：50名 6. 天草市体育協会：スポーツクラブ指導者等及び天草市体育協会会員研修会 ・開催日：平成19年2月28日 ・参加者：350名 (事業費内訳) 補助金 304,297円	各種目協会の競技力向上及び底辺拡大が図られた。また、スポーツクラブ指導者の育成につながった。

(9) 教育費

(8) 保健体育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
231 ） 235	1 保健体育費 総務費	総合型地域スポーツクラブ 活動補助金	2,000	国庫支出金 720 一般財源 1,280	【総合型地域スポーツクラブの運営】 ・名称：うしぶかイキイキクラブ ・会員数：234名 (一般：116名・中学生以下118名) ・主な活動：ミニバレーボール大会、マリンスポーツ体験等 の開催。シルバー教室、バドミントン 教室等の開催。各種指導者講習会 や学童駅伝大会等への参加。 (事業費内訳) 補助金 2,000,000円	地域住民が主体的に運営する「総合型地域スポー ツクラブ」で、各種スポーツ大会や教室等を開催す ることで、生涯スポーツ社会実現のための環境づく りに寄与した。
		全国大会出場補助金	925	一般財源 925	【全国大会出場に伴う補助金】 ・第20回全日本小学生男子ソフトボール大会 ・全国高等学校定時制通信制バレーボール大会 ・全国高等学校総合体育大会陸上競技大会 ・小学生中学生全国空手道選手権大会 ・日本マスタース'2006空手道競技大会 ・全日本レディースソフトテニス大会 ・全日本実年ソフトボール大会 ・ジュニアオリンピック陸上競技大会 ・全国青年大会軟式野球競技大会 ・兵庫のじきく国体陸上競技大会 ・兵庫のじきく国体成年男子ソフトボール大会 ・兵庫のじきく国体少年男子ソフトボール大会 ・全国障害者スポーツ大会アーチェリー競技大会 ・都道府県対抗全日本中学生ソフトボール大会 ・全国小学生ソフトテニス大会 ・ジュニアオリンピックハンドボール大会 ・全国高等学校総合体育大会エイリフティング大会 ・連合会全国空手道大会 ・全日本少年少女空手道選手権大会 ・はまなす杯全国中学生空手道選手権大会	県大会等で優秀な成績を収めた全国大会出場者に 対し、スポーツの技術向上と意識啓発を図るために 個人及び団体に対して助成し、個々の活躍につな がった。 個人：46名 460,000円 団体：4団体 465,000円 (事業費内訳) 補助金 925,000円

(9) 教育費

(8) 保健体育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
231 ） 235	1 保健体育費 総務費	熊本県B & G海洋センター 連絡協議会負担金	100	一般財源 100	【熊本県B & G海洋センター連絡協議会負担金】 ・内容：B & Gプランの推進 会員の研修会又は講習会の開催 海洋センターの運営に関する調査及び 研究 (事業費内訳) 負担金 100,000円	情報の交換及び調査研究を行ったことにより、海 洋センターの発展と効率的な運営に資するととも に、会員相互の親睦を図ることができた。
		海洋体験セミナー参加補助 金	60	一般財源 60	【海洋体験セミナー参加】 ・開催期間：平成18年8月1日～5日 ・開催地：沖縄県本部町 ・参加者：2名 (事業費内訳) 補助金 60,000円	共同生活を通じて、異世代間のコミュニケーショ ンについて学ぶとともに、沖縄での海洋性レクリ エーションや自然体験活動を通して、海・船・海洋 環境に係る理解を深めることができた。
		熊本県体育指導委員協議会 負担金	91	一般財源 91	【熊本県体育指導委員協議会負担金】 ・内容：スポーツ指導者としての資質向上のため の研修会の開催 スポーツ活動の推進 総合型地域スポーツクラブの育成 (事業費内訳) 負担金 90,500円	熊本県体育指導委員協議会の円滑な運営を図るこ とができた。
235 ） 237	2 体育施設費	体育施設整備事業	15,320	地方債 11,700 一般財源 3,620	<p>広瀬公園野球場観覧席屋根新築 建築確認等手数料 21,000円 設計委託料 283,500円 工事請負費 5,460,000円 計 5,764,500円</p> <p>五和グラウンド改修 工事請負費 排水路土砂撤去外 1,039,500円 放送設備改修 1,260,000円 計 2,299,500円</p>	<p>天草市全域の社会体育施設を計画的に整備、改修 を行うことにより、施設の経年劣化を防ぎ、施設機 能の向上により利用率の向上につながった。</p> <p>広瀬野球場の観覧席には屋根が無く木陰も少ない ので、鉄骨造が11'-鋼板折半屋根(215㎡)を設置す る事により施設の環境整備が図られた。</p> <p>設置より24年経過で老朽化が著しかった放送機器 (100W×4ch)及び周辺整備により、大規模イベント にも対応できるようになった。</p>

(9) 教育費

(8) 保健体育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果																																				
235 ） 237	2 体育施設費	体育施設整備事業 (つづき)			<p>須子グラウンド照明設備改修</p> <p>設計委託料 189,000円 工事請負費 4,410,000円 計 4,599,000円</p> <p>中石体育館施設営繕工事 472,500円</p> <p>倉岳グラウンドトイレ新築 トイレ新築(RC造平屋建 8.2㎡) 設計委託料 147,000円 工事請負費 2,037,000円 計 2,184,000円</p> <p>合計 15,319,500円</p>	<p>須子グラウンド照明が経年劣化により老朽化したものを撤去し、新たな照明器具に更新した。 照明器具(ナリカムソフ°940W)4基×2箇所</p> <p>中石体育館の老朽化した内装(壁・天井)の張替を行った。</p> <p>男子用(小1、洋大1)、女子用(洋大1)の整備により利用者の利便性向上及び環境改善につながった。</p> <p>平成18年度 社会体育施設使用料歳入決定額</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">収入済額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>本 渡</td> <td>10,150,486</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>牛 深</td> <td>5,571,866</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>有 明</td> <td>1,484,081</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>御所浦</td> <td>565,425</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>倉 岳</td> <td>838,617</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>栖 本</td> <td>1,043,698</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>新 和</td> <td>914,735</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>五 和</td> <td>1,667,719</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>天 草</td> <td>499,289</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>河 浦</td> <td>1,394,484</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>24,130,400</td> </tr> </tbody> </table>	収入済額			1	本 渡	10,150,486	2	牛 深	5,571,866	3	有 明	1,484,081	4	御所浦	565,425	5	倉 岳	838,617	6	栖 本	1,043,698	7	新 和	914,735	8	五 和	1,667,719	9	天 草	499,289	10	河 浦	1,394,484			24,130,400
収入済額																																										
1	本 渡	10,150,486																																								
2	牛 深	5,571,866																																								
3	有 明	1,484,081																																								
4	御所浦	565,425																																								
5	倉 岳	838,617																																								
6	栖 本	1,043,698																																								
7	新 和	914,735																																								
8	五 和	1,667,719																																								
9	天 草	499,289																																								
10	河 浦	1,394,484																																								
		24,130,400																																								

(10) 災害復旧費

(1) 農林水産施設災害復旧費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
237 ） 238	1 農林水産施設 災害復旧費	農林水産施設災害復旧事業	184,666	県支出金 164,264 その他 3,874 地方債 3,270 一般財源 13,258	単独災害復旧事業 旅費 11,000円 需用費 25,892円 小計 36,892円 補助災害復旧事業 災害復旧件数 127件（農地97件・施設30件） 工事請負費 164,356,173円 測量設計委託 17,925,894円 工事雑費 2,346,977円 小計 184,629,044円 災害復旧事業合計 184,665,936円	異常な自然現象により被災した農地ならびに農業用施設において、災害復旧事業に取り組むことにより、少ない農家負担で農業生産基盤の確保と農業用施設の機能回復が図れた。
238	2 林業施設 災害復旧費	林業施設災害復旧事業	58,478	県支出金 42,633 地方債 2,730 その他 964 一般財源 12,151	林道災害復旧 5路線 本渡大江線 2,499,000円 土工 78.0m3 法面保護工 336.6m2 土留工 17.0m 西河内線その1 16,974,523円 土工 941.0m3 厚層基材吹付工 343.4m2 補強土壁工 321.6m2 西河内線その2 17,455,047円 土工 594.0m3 丸外吹付工 262.1m2 厚層基材吹付工 608.3m2 補強土壁工 220.8m2 ガートレール 20.5m 根引山線 1,575,000円 土工 120.0m3 L型擁壁工 11.0m 今田線 1,050,000円 土工 34.0m3 厚層基材吹付工 169.1m2	本事業により昨年の梅雨前線豪雨で被災した林道を早期に復旧することが出来た。

(10) 災害復旧費

(1) 農林水産施設災害復旧費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
238	2 林業施設 災害復旧費	林業施設災害復旧事業 (つづき)			柱岳線 2,142,000円 土工 91.0m3 EIL外吹付工 239.8m2 治山災害復旧事業 河浦町梅ノ木丸地区 1,387,402円 法面保護工 122.4m2 楠浦町寺中地区 1,773,499円 土留工 18.8m3 落石防護柵工 9.0m 排水路工 26.0m (事業費内訳) 旅費 17,600円 需用費 444,584円 役務費 100,000円 委託料 12,967,500円 使用料及び賃借料 92,220円 工事請負費 44,856,471円 計 58,478,375円	本事業により、被災した民家の裏山を早期に復旧することが出来た。
238	水産業施設 災害復旧費	水産業施設災害復旧事業	28,240	国庫支出金 18,842 地方債 8,340 一般財源 1,058	補助災害復旧事業 漁港・海岸災害復旧事業 国庫負担率 本土0.667 離島0.8 (事業内訳) 18災第10号長浦漁港災害復旧工事 2,121,000円 18災第11号栖本漁港災害復旧工事 782,250円 18災第16号砂月漁港災害復旧工事 12,810,000円 18災第17号浅海漁港災害復旧工事 1,218,000円	平成18年台風13号により被災を受けた海岸・漁港施設8箇所を補助災害復旧事業として取り組み、下記のとおり復旧することが出来た。(1箇所繰越) 牧向突堤復旧 L=9.0m 一文字防波堤復旧 L=5.0m 砂月1号護岸復旧 L=50.2m 9号護岸復旧 L=5.0m

(10) 災害復旧費

(1) 農林水産施設災害復旧費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
238	水産業施設 災害復旧費	水産業施設災害復旧事業 (つづき)			18災第18号浅海漁港災害復旧工事 3,045,000円	19号護岸復旧 L=11.0m
					18災第19号浅海漁港災害復旧工事 3,521,700円	18号護岸復旧 L=19.2m
					18災第20号山の浦漁港災害復旧工事 3,129,000円	16号護岸復旧 L=14.0m
					本工事費 26,626,950円	
					工事雑費 424,050円	
					事務費(人件費含) 1,189,000円	
					計 28,240,000円	
					平成19年度へ繰越 (事業費内訳)	
					18災第21号立漁港災害復旧工事 10,710,000円	馬口護岸復旧 L=53.0m
					工事雑費 85,000円	
					事務費 208,000円	
					計 10,967,000円	
			14,088	一般財源 14,088	単独災害復旧事業 (事業内訳)	平成18年台風13号により被災を受けた海岸・漁港 施設6箇所を市単独災害復旧事業として実施し、下記 のとおり復旧することが出来た。
					測量設計委託料(5件) 3,988,863円	護岸復旧 L=11.6m
					女岳漁港護岸災害復旧工事 2,443,965円	
					烏帽子漁港烏帽子南防波堤災害復旧工事 981,750円	防波堤基礎被覆ブロック 40個据付
					烏帽子漁港田ノ尻1号防波堤災害復旧工事 159,600円	防波堤復旧 L=4.0m
					長浦漁港牧向護岸消波工災害復旧工事 1,055,250円	消波工設置(石積工) L=20.6m
					長浦漁港田ノ尻消波堤災害復旧工事 1,048,950円	消波堤基礎工(石積工) L=40.0m
					二本木漁港海岸災害復旧工事 4,410,000円	護岸復旧 L=64.5m
					計 14,088,378円	

(10) 災害復旧費

(2) 公共土木施設災害復旧費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
238 }	2 公共土木施設 災害復旧費	公共土木施設災害復旧事業	832,637	国庫支出金	【公共土木施設災害復旧測量設計業務委託料】	災害復旧工事をすることにより、各種公共土木施設（市道・河川・港湾等）の機能回復を図ることができた。
239				603,289		
				地方債	地すべり関係 2件 2,373,000円	
				148,900	港湾関係 3件 2,866,500円	
				一般財源	合計 76,424,718円	
				80,448		
					【公共土木施設災害復旧工事（補助分）】	
					道路災害 125件 286,590,159円	
					河川災害 151件 358,560,219円	
					繰越分前払金 30件 65,641,000円	
					小計 710,791,378円	
					港湾災害（補助） 4件 16,506,000円	
					港湾災害（単独） 2件 3,633,000円	
					小計 20,139,000円	
					（事業費内訳）	
					工事請負費 730,930,378円	
					その他の事務費 16,540,798円	
					計 747,471,176円	
					【公共土木施設災害復旧（単独分）】	
					H19へ繰越道路災害16件 49,571,890円	
					河川災害27件 86,420,500円	
					合計 135,992,390円	
					単独公共土木施設災害復旧工事	
					道路災害 20件 8,654,100円	
					（事業費内訳）	
					工事請負費 8,654,100円	
					その他の事務費 86,755円	
					計 8,740,855円	

(10) 災害復旧費

(3) 文教施設災害復旧費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
239	3 文教施設 災害復旧費	文教施設単独災害復旧事業	6,904	一般財源 6,904	【社会教育施設単独災害復旧事業】 7月22日梅雨前線豪雨により被災した一町田公民館消防設備の災害復旧を行った。 (事業費内訳) 設計委託料 105,000円 工事請負費 6,142,500円 計 6,247,500円 【社会体育施設単独災害復旧事業】 7月22日梅雨前線豪雨により被災した河浦弓道場の災害復旧を行った。 (事業費内訳) 工事請負費 656,250円 計 6,903,750円	被災した施設の原形復旧をすることが出来た。
		文教施設補助災害復旧事業	18,165	国庫支出金 10,544 一般財源 7,621	【社会教育施設災害復旧事業】 7月22日梅雨前線豪雨により被災した一町田公民館の災害復旧を行った。 (事業費内訳) 設計委託料 441,000円 公民館災害復旧工事 17,724,000円 計 18,165,000円	被災した施設の原形復旧をすることが出来た。
		文教施設補助災害復旧事業 (繰越事業)	2,738	国庫支出金 1,360 一般財源 1,378	【学校施設災害復旧事業】 平成17年12月21日寒波による暴風により被災した天草中学校体育館屋根の災害復旧を行った。 平成17年度国庫負担事業 負担率 2/3 (事業費内訳) 災害復旧工事 2,738,400円	被災した施設の原形復旧をすることが出来た。

2.国民健康保険特別会計 (決算書242頁～261頁)

(単位：千円・%)

区 分	17年度	18年度	伸 率
歳 入 総 額	13,539,114	14,183,619	4.8
歳 出 総 額	13,065,296	13,719,234	5.0
差 引 額	473,818	464,385	2.0
翌年度への繰越額	473,818	464,385	2.0

平成17年度は旧2市8町と天草市暫定決算の計

本会計では、歳入総額 14,183,619千円、歳出総額 13,719,234千円、差引 464,385千円を翌年度へ繰り越すことになりました。決算額を前年度と比較してみると、歳入で4.8%、歳出で5.0%の増となっています。

歳入では、国保税が3,075,323千円で前年度比で6.7%増となりました。収納率は医療分が現年度95.08%、滞納分16.06%、また、介護分は現年度93.26%、滞納分15.41%で、医療分と介護分を合計した現年度の収納率は94.96%となり、前年度比0.21%の増となっています。国庫支出金は前年度比7.7%減の5,164,695千円で、主な内訳は療養給付費等負担金が7.9%減の3,142,973千円、普通調整交付金が1.6%減の1,636,325千円、特別調整交付金が27.1%減の335,832千円となっています。また、平成18年度に創設された保険財政共同安定化事業により、共同事業交付金が前年度比358.6%増の1,009,221千円となっています。一般会計からは1,126,190千円を繰り入れています。

歳出では、保険給付費は前年度比0.6%増の8,719,354千円でほぼ変わりありませんでしたが、保険財政共同安定化事業により共同事業拠出金が320.4%増の978,097千円となり、一方、総務費は合併により44.15%減の122,437千円となっています。

一般被保険者分

歳入総額 11,784,296千円、歳出総額 11,382,967千円、差引 401,329千円で、歳入の主なものは、国保税が2,571,755千円(構成割合21.8%)、国庫支出金5,164,695千円(同43.8%)、県支出金 732,661千円(同6.2%)、一般会計繰入金 1,126,190千円(同9.6%)、共同事業交付金 1,009,221千円(同8.6%)、退職者の振替及び退職被保険者等の老人保健拠出金にかかる療養給付費交付金 389,863千円(同3.3%)などです。

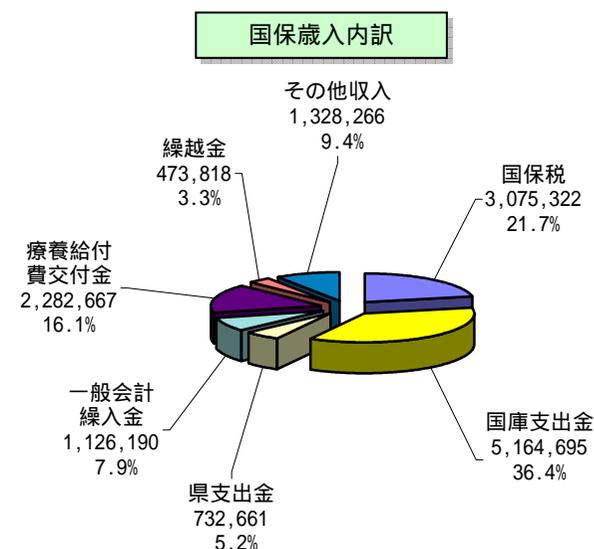
歳出の主なものは、総務費 122,437千円(同1.1%)、保険給付費 6,383,087千円(同56.1%)、老人保健拠出金2,776,849千円(同24.4%)、介護納付金 764,851千円(同6.7%)及び共同事業拠出金 978,097千円(同8.6%)などです。

退職被保険者等分

歳入総額 2,399,323千円、歳出総額 2,336,267千円、差引 63,056千円となっていますが、この内、単年度に係る超過分については、翌年度返還することになります。

歳入の主なものは、国保税 503,567千円(構成割合21.0%)、療養給付費交付金(現年度分) 1,892,804千円(同78.9%)、その他の収入2,951千円(同0.1%)です。

歳出は、保険給付費2,336,267千円です。

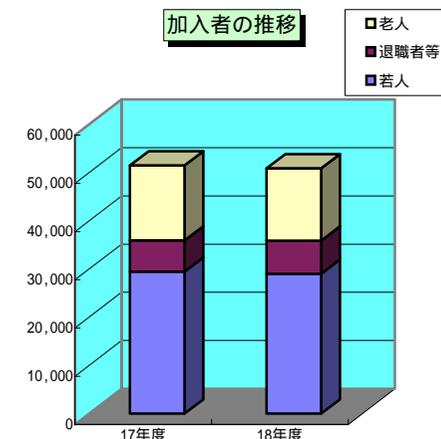


1) 世帯数及び被保険者数の推移

国保の被保険者数は、対前年度比1.2%減とわずかながら減少しているものの、今後は団塊の世代の退職に伴う退職被保険者の大幅な増加により、全体的には増加傾向になることが予想されるので医療費の増大が懸念される。

ア．世帯数、被保険者数の推移（年間平均）

年 度	市 全 体		国 保 加 入			加 入 率		若 人		退 職 者 等		老 人	
	世帯数	人 口	世帯数	被保険者数	伸 率	世 帯	被保険者	被保険者数	被保険者に占める割合	被保険者数	被保険者に占める割合	被保険者数	被保険者に占める割合
	(世帯)	(人)	(世帯)	(人)	(%)	(%)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
17	38,117	99,612	25,158	51,499	1.5	66.0	51.7	29,469	57.2	6,496	12.6	15,534	30.2
18	38,427	98,900	25,324	50,879	1.2	65.9	51.4	29,026	57.0	6,882	13.5	14,971	29.4



2) 医療費の状況

国保被保険者一人当たり医療費は、若人が261,914円（対前年度比 0.4%減）、退職者等が 410,302円（同0.2%増）、老人が959,717円（同0.8%増）となっている。今後、退職および老人の伸びを抑えることが課題となっている。

ア．若人被保険者分

年 度	入 院		入 院 外		歯 科		調 剤		療 養 費 等		合 計		一人当り 費用額	伸 率
	件 数	費用額	件 数	費用額	件 数	費用額	件 数	費用額	件 数	費用額	件 数	費用額		
	(件)	(千円)	(件)	(千円)	(件)	(千円)	(件)	(千円)	(件)	(千円)	(件)	(千円)		
17	9,492	3,729,682	190,484	2,575,751	30,628	480,378	102,022	931,233	2,868	28,802	335,494	7,745,846	262,847	
18	9,159	3,563,553	192,046	2,521,023	31,285	472,827	110,719	1,017,424	2,789	27,499	345,998	7,602,326	261,914	0.4

食事療養費を入院に、訪問看護を入院外に含める。



イ．退職被保険者分

年 度	入 院		入 院 外		歯 科		調 剤		療 養 費 等		合 計		一人当り費 用 額 (円)	伸 率 (%)
	件 数 (件)	費用額 (千円)												
17	2,383	1,057,849	76,663	978,935	11,166	172,470	41,972	441,213	765	8,707	132,949	2,659,174	409,356	
18	2,519	1,081,834	82,755	1,038,100	12,004	186,236	48,486	506,515	867	11,015	146,631	2,823,700	410,302	0.2

食事療養費を入院に、訪問看護を入院外に含める。

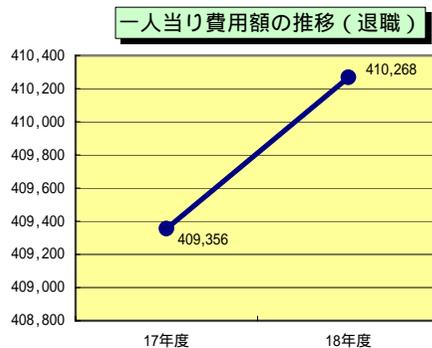
ウ．老人分

年 度	入 院		入 院 外		歯 科		調 剤		療 養 費 等		合 計		一人当り費 用 額 (円)	伸 率 (%)
	件 数 (件)	費用額 (千円)												
17	21,306	8,938,520	228,530	3,832,348	16,925	308,798	129,220	1,688,751	1692	25,085	397,673	14,793,502	952,331	
18	21,179	8,697,366	221,628	3,627,091	16,061	271,847	133,380	1,747,002	1,509	24,622	393,757	14,367,928	959,717	0.8

食事療養費を入院に、訪問看護を入院外に含める。

老人高額医療費の推移

年 度	件 数 (件)	支給額 (千円)	伸 率 (%)
17	33,359	458,686	
18	40,982	511,526	11.5



エ. 合計

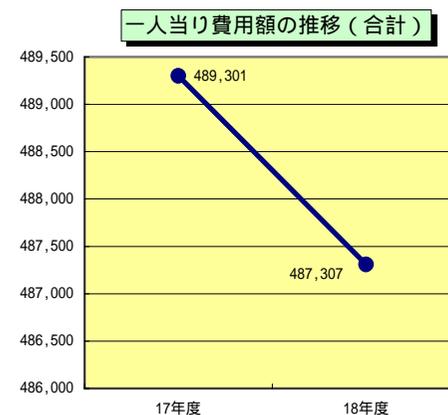
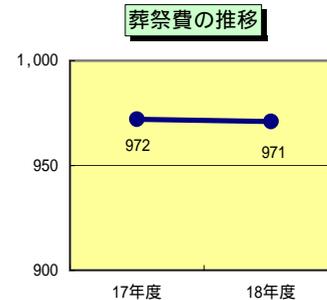
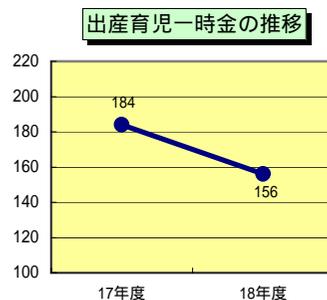
年度	入院		入院外		歯科		調剤		療養費等		合計		一人当り費用額 (円)	伸率 (%)	参考	
	件数 (件)	費用額 (千円)			受診率 (%)	総医療費に占める 老人の割合(%)										
17	33,181	13,726,051	495,677	7,387,034	58,719	961,646	273,214	3,061,197	5,325	62,594	866,116	25,198,522	489,301		1,140.9	58.71
18	32,857	13,342,753	496,429	7,186,214	59,350	930,910	292,585	3,270,941	5,165	63,136	886,386	24,793,954	487,307	0.4	1,156.9	57.95

食事療養費を入院に、訪問看護を入院外に含める。

3) 出産育児一時金・葬祭費の状況

年度	出産育児一時金			葬祭費		
	件数 (件)	金額 (千円)	1件当り (円)	件数 (件)	金額 (千円)	1件当り (円)
17	184	55,200	300,000	972	24,300	25,000
18	156	50,700	350,000	971	24,275	25,000

出産育児一時金は18年10月出生分から350,000円に改正。



4) 高額療養費の推移

ア. 一般被保険者分

年度	件数 (件)	前年比較 (%)	支給額 (千円)	前年比較 (%)
17	8,562		743,852	
18	8,749	2.2	691,003	7.1

18年10月診療分から限度額改正あり。



イ. 退職被保険者等分

年度	件数 (件)	前年比較 (%)	支給額 (千円)	前年比較 (%)
17	2,159		184,406	
18	2,657	23.1	178,556	3.2

18年10月診療分から限度額改正あり。



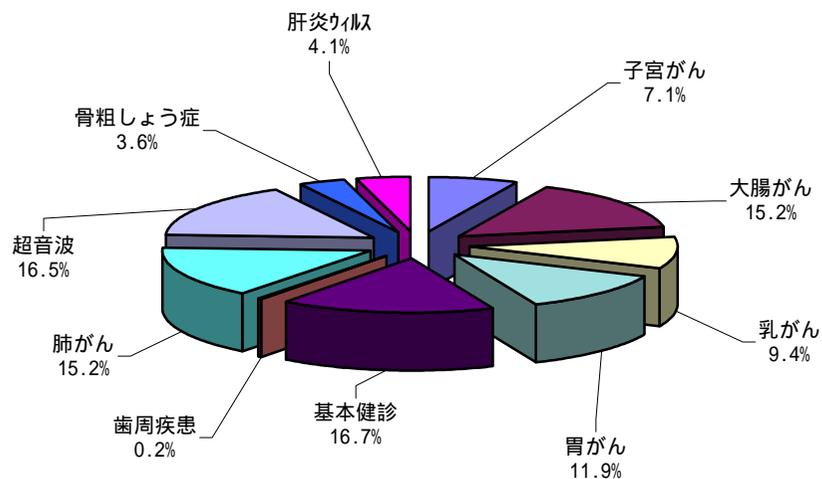
5) 保健事業

ア. あんま・はり灸等補助

補助額	1枚当り補助額	1世帯当り交付限度枚数	交付件数	使用枚数	使用率
4,374千円	800円	40枚	13,446枚	5,467枚	40.66%

イ. 検診補助

種別	子宮がん	大腸がん	乳がん	胃がん	基本健診	歯周疾患	肺がん	超音波	骨粗しょう症	肝炎ウイルス	合計
1人当り 補助額(円)	700 800 1,200	300 700 1,500	600 900	900 1,700	1,600 1,800 1,700 1,900	900	300 400 500	700 900	700	500	
受診者数	2,113	4,538	2,793	3,564	4,976	64	4,543	4,933	1,087	1,222	29,833人
補助額	1,562	1,576	1,734	4,032	8,419	58	1,490	3,696	761	611	23,939千円

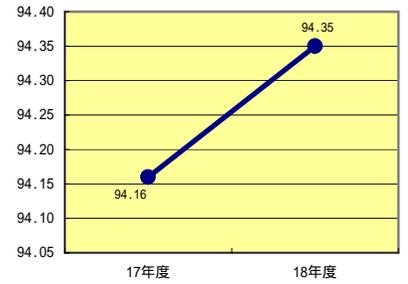


6) 国保税の状況 (医療分)

ア. 一般被保険者分 (老人含む・現年分)

年度	世帯数 (世帯)	被保険者 (人)	調定総額 (千円)	収納額 (千円)	収納率 (%)	調定額 (円)		軽減世帯			超過世帯		
						1世帯当り	1人当り	軽減額	世帯数	割合	超過減額	世帯数	割合
17	22,518	44,634	2,297,072	2,165,848	94.16	102,010	51,465	536,608	14,877	66.1	123,933	428	1.9
18	22,364	43,484	2,412,328	2,275,961	94.35	107,867	55,476	543,377	14,479	64.7	177,547	507	2.3

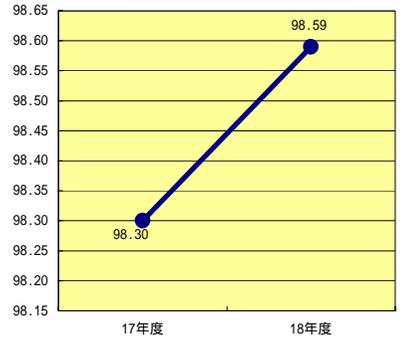
収納率の推移 (一般)



イ. 退職被保険者分 (現年分)

年度	世帯数 (世帯)	被保険者 (人)	調定総額 (千円)	収納額 (千円)	収納率 (%)	調定額 (円)		軽減世帯			超過世帯		
						1世帯当り	1人当り	軽減額	世帯数	割合	超過減額	世帯数	割合
17	2259	6,643	454,286	446,710	98.30	201,100	68,386	55,329	1422	62.9	7,090	33	1.5
18	2897	6,884	505,903	498,770	98.59	174,630	73,490	60,479	1534	53.0	12,482	42	1.4

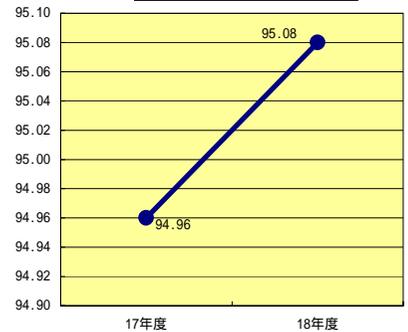
収納率の推移 (退職)



ウ. 合計 (現年分)

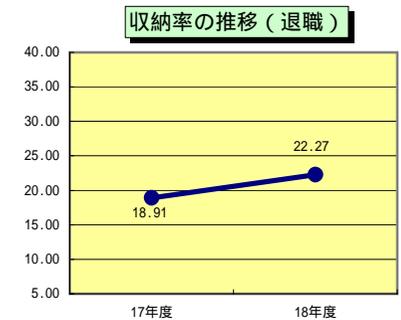
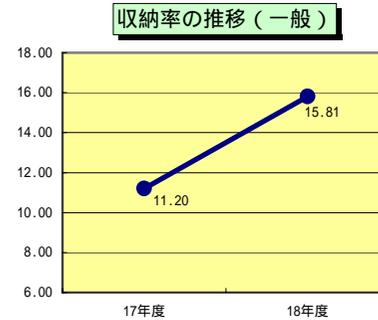
年度	世帯数 (世帯)	被保険者 (人)	調定総額 (千円)	収納額 (千円)	収納率 (%)	調定額 (円)		軽減世帯			超過世帯		
						1世帯当り	1人当り	軽減額	世帯数	割合	超過減額	世帯数	割合
17	24,777	51,277	2,751,358	2,612,558	94.96	111,045	53,657	591,937	16,299	65.8	131,023	461	1.9
18	25,261	50,368	2,918,231	2,774,731	95.08	115,523	57,938	603,856	16,013	63.4	190,029	549	2.2

収納率の推移 (合計)



7) 過年度収納状況 (医療分)

年度	一般被保険者				退職被保険者			
	調定総額 (千円)	収納額 (千円)	収納率 (%)	不納欠損額 (千円)	調定総額 (千円)	収納額 (千円)	収納率 (%)	不納欠損額 (千円)
17	561,750	62,910	11.20	91,754	18,902	3,575	18.91	1,423
18	538,627	85,147	15.81	68,263	21,545	4,798	22.27	2,032



8) 国保税の状況 (介護分)

ア. 一般被保険者分 (現年分)

年度	世帯数 (世帯)	被保険者数 (人)	調定総額 (千円)	収納額 (千円)	収納率 (%)	調定額 (円)		軽減世帯			超過世帯		
						1世帯当り	1人当り	軽減額	世帯数	割合	超過減額	世帯数	割合
17	9,690	13,066	177,842	164,879	92.71	18,353	13,611	34,106	5,378	55.5	6,983	184	1.9
18	9,581	12,820	185,531	171,459	92.42	19,364	14,472	34,154	5,077	53.0	6,663	143	1.5

イ. 退職被保険者分 (現年分)

年度	世帯数 (世帯)	被保険者数 (人)	調定総額 (千円)	収納額 (千円)	収納率 (%)	調定額 (円)		軽減世帯			超過世帯		
						1世帯当り	1人当り	軽減額	世帯数	割合	超過減額	世帯数	割合
17	1,671	2,350	34,791	34,075	97.88	20,820	14,805	3,952	723	43.3	286	11	0.7
18	1,522	2,118	31,949	31,361	98.16	20,991	15,085	3,978	666	43.8	158	4	0.3

9) 過年度収納状況 (介護分)

年度	一般被保険者				退職被保険者			
	調定総額 (千円)	収納額 (千円)	収納率 (%)	不納欠損額 (千円)	調定総額 (千円)	収納額 (千円)	収納率 (%)	不納欠損額 (千円)
17	44,202	4,866	11.01	3,710	1,870	347	18.54	89
18	48,627	7,395	15.21	5,586	2,166	431	19.92	209

3. 老人保健医療特別会計 (決算書262頁～272頁)

(単位：千円・%)

区 分	17年度	18年度	伸 率
歳入総額	17,055,250	16,200,678	5.0
歳出総額	17,034,811	16,148,878	5.2
歳入歳出差引額	20,439	51,800	153.4
翌年度繰越額	20,439	51,800	153.4

本会計では、歳入総額 16,200,678千円に対して、歳出総額は16,148,878千円で、差引 51,800千円を翌年度へ繰り越すことになりました。

歳入の主なものは、支払基金交付金8,606,797千円(構成比53.1%)、国庫支出金4,981,125千円(同30.7%)、県支出金 1,269,501千円(同7.8%)及び一般会計繰入金が 1,317,579千円(同8.1%)です。

歳出では、医療諸費が 16,094,713千円(同99.7%)、総務費が45,437千円、諸支出金が8,728千円となっています。

医療費については、平成14年10月の制度改正により対象年齢が引き上げられたため、受給対象者は減少しているものの、1人当たりの費用額は、対前年度比0.2%の増となっています。

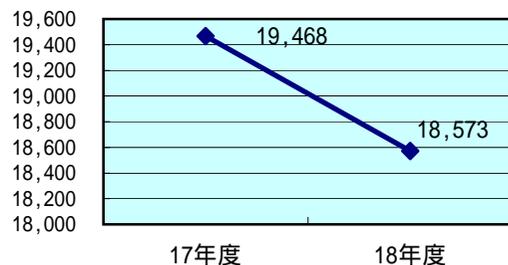
(事業概要)

1 老人医療対象者 18,573 人

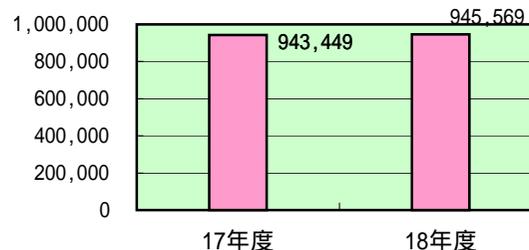
2 対象者及び老人医療費推移 (単位：千円・%)

年 度	17年度	18年度	伸率
対 象 者	19,468	18,573	4.6
総 医 療 費	18,367,067	17,562,046	4.4
一人当り医療費	943,449	945,569	0.2

老人医療対象者推移



一人当たり医療費の推移



(1) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
271 ） 272	1 一般管理費	老人医療特別会計事務費 医療費適正化事業	14,136	国庫支出金 6,888 一般財源 7,248	・レセプト点検員(7名)による点検 ・看護師・保健師による訪問指導活動 補助率 1/2 補助基準額 13,777,863円 (事業費内訳) 報酬 8,430,204円 共済費 1,318,349円 賃金 1,299,758円 委託料 3,087,263円 計 14,135,574円	縦覧点検・内容点検・資格点検等レセプト点検、 重複・頻回受診者へ訪問し健康・生活指導、第三者 行為求償事務委託を実施することにより、医療費の 適正化を図ることができた。
		老人医療受給者健康指導事 業	3,549	一般財源 3,549	・医療費通知 年6回 役務費 2,578,300円 委託料 971,066円 計 3,549,366円	医療費の通知を実施することにより、健康に対す る意識の高揚と医療費動向の啓発を図ることができ た。
		保険者別医療費通知事務	4,104	一般財源 4,104	・各保険者への医療費状況の通知 委託料 3,966,756円 使用料及び賃借料 137,400円 計 4,104,156円	各保険者に医療費を通知することにより、各保険 者の医療費適正化へのデータを提供することができ た。
		その他の事務	23,648	一般財源 23,648	給料 10,215,600円 職員手当等 5,940,500円 共済費 2,935,223円 旅費 844,995円 需用費 731,798円 役務費 1,186,940円 委託料 95,197円 使用料及び賃借料 105,318円 負担金補助及び交付金 1,592,000円 計 23,647,571円	

(2) 医療諸費 (1) 医療諸費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要及び成果																																				
272	1 医療給付費	老人医療給付費	15,914,877	国庫支出金 4,956,169 県支出金 1,239,042 その他 8,480,623 一般財源 1,239,043	・老人医療費の支出状況																																				
					<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>件数</th> <th>費用額</th> <th>保険者負担額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院</td> <td>25,695件</td> <td>9,484,903,060円</td> <td>8,873,489,034円</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>276,333件</td> <td>4,490,373,330円</td> <td>4,076,175,497円</td> </tr> <tr> <td>歯科</td> <td>19,749件</td> <td>334,245,210円</td> <td>299,484,220円</td> </tr> <tr> <td>調剤</td> <td>165,548件</td> <td>2,156,432,900円</td> <td>1,932,324,798円</td> </tr> <tr> <td>食事</td> <td>(24,958)件</td> <td>1,050,839,710円</td> <td>719,149,130円</td> </tr> <tr> <td>訪問看護</td> <td>200件</td> <td>15,638,100円</td> <td>14,253,880円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>487,525件</td> <td>17,532,432,310円</td> <td>15,914,876,559円</td> </tr> </tbody> </table>	項目	件数	費用額	保険者負担額	入院	25,695件	9,484,903,060円	8,873,489,034円	外来	276,333件	4,490,373,330円	4,076,175,497円	歯科	19,749件	334,245,210円	299,484,220円	調剤	165,548件	2,156,432,900円	1,932,324,798円	食事	(24,958)件	1,050,839,710円	719,149,130円	訪問看護	200件	15,638,100円	14,253,880円	合計	487,525件	17,532,432,310円	15,914,876,559円				
項目	件数	費用額	保険者負担額																																						
入院	25,695件	9,484,903,060円	8,873,489,034円																																						
外来	276,333件	4,490,373,330円	4,076,175,497円																																						
歯科	19,749件	334,245,210円	299,484,220円																																						
調剤	165,548件	2,156,432,900円	1,932,324,798円																																						
食事	(24,958)件	1,050,839,710円	719,149,130円																																						
訪問看護	200件	15,638,100円	14,253,880円																																						
合計	487,525件	17,532,432,310円	15,914,876,559円																																						
					<p>費用額の内訳</p>																																				
272	2 医療費支給費	医療費支給費	126,814	国庫支出金 38,421 県支出金 9,605 その他 69,183 一般財源 9,605 菅原	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>件数</th> <th>費用額</th> <th>保険者負担額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般診療</td> <td>6件</td> <td>188,762円</td> <td>169,885円</td> </tr> <tr> <td>コルセット</td> <td>507件</td> <td>13,465,503円</td> <td>12,079,281円</td> </tr> <tr> <td>柔道整復</td> <td>928件</td> <td>11,293,115円</td> <td>10,075,023円</td> </tr> <tr> <td>はり・きゅう</td> <td>409件</td> <td>4,636,135円</td> <td>4,165,350円</td> </tr> <tr> <td>移送費</td> <td>1件</td> <td>30,000円</td> <td>27,000円</td> </tr> <tr> <td>食事差額</td> <td>52件</td> <td></td> <td>230,610円</td> </tr> <tr> <td>高額医療費</td> <td>17,185件</td> <td></td> <td>100,066,817円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>19,088件</td> <td>29,613,515円</td> <td>126,813,966円</td> </tr> </tbody> </table>	項目	件数	費用額	保険者負担額	一般診療	6件	188,762円	169,885円	コルセット	507件	13,465,503円	12,079,281円	柔道整復	928件	11,293,115円	10,075,023円	はり・きゅう	409件	4,636,135円	4,165,350円	移送費	1件	30,000円	27,000円	食事差額	52件		230,610円	高額医療費	17,185件		100,066,817円	合計	19,088件	29,613,515円	126,813,966円
					項目	件数	費用額	保険者負担額																																	
一般診療	6件	188,762円	169,885円																																						
コルセット	507件	13,465,503円	12,079,281円																																						
柔道整復	928件	11,293,115円	10,075,023円																																						
はり・きゅう	409件	4,636,135円	4,165,350円																																						
移送費	1件	30,000円	27,000円																																						
食事差額	52件		230,610円																																						
高額医療費	17,185件		100,066,817円																																						
合計	19,088件	29,613,515円	126,813,966円																																						
					<p>件数の内訳</p>																																				

(2) 医療諸費

(1) 医療諸費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要及び成果			
					区分	件数	単価	支出額
272	3 審査支払手数料	審査支払手数料	53,022	その他 52,918 一般財源 104				
					国保連合会委託分	396,913件	111.6円	44,295,487円
					国保連合会委託分 (柔道整復)	934件	111.6円	104,232円
					支払基金委託分	60,337件	114.2円	8,622,182円
						30,275件	57.2円	
					合計	488,459件		53,021,901円

(3) 諸支出金

(1) 償還金

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
272	1 償還金	償還金利息及び割引料	8,728	一般財源 8,728	県支出金返納金 8,728,439円	平成17年度の医療費確定に伴い、県支出金を精算返納した。

4. 介護保険特別会計 (決算書273頁～294頁)

1 決算の概要

(1) 決算規模

(単位：千円・%)

区 分	17年度	18年度	伸 率
歳 入 総 額	8,407,950	8,555,055	1.7
歳 出 総 額	8,002,995	7,892,646	1.4
差 引 額	404,955	662,409	63.6
翌年度へ繰越すべき財源	0	1,248	皆増
翌年度への繰越額	404,955	661,161	63.3

本会計では、歳入総額 8,555,055千円に対して、歳出総額 7,892,646千円で、差引額 662,409千円、この額から繰越明許費のために翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた661,161千円を翌年度に繰り越すことになりました。

決算額を前年度と比較すると、歳入で1.7%の増、歳出で1.4%の減となっています。

歳入では、介護保険料は前年度より22.2%増の1,344,039千円になりました。現年度分の収納率は99%と前年度に比較し0.04ポイント減少しました。

介護給付費の財源である国庫負担金は前年度より14.0%減の1,411,309千円、県負担金は20%増の1,151,900千円、支払基金交付金は10%減の2,190,537千円となっています。

なお、調整交付金については、後期高齢者の増加等により前年度に比較して9.0%の増になりました。

また、給付費に対する繰入金是一般会計から対前年比14.8%減の854,804千円となっています。

歳出では、保険給付費(介護等サービス費・審査支払手数料・高額介護等サービス費・特定入所者介護等サービス費)は、7,195,704千円で介護療養型医療施設の減少等から前年より4.8%が減少しました。

平成18年度から20年度の3年間の介護保険事業計画では、介護保険料の基準額は月額4,200円に設定をしています。

また、平成18年4月には制度の全般的な見直しがあり、介護予防を重視したシステムへ転換され、介護予防マネジメントを行う地域包括支援センターを設置して、介護予防支援業務や地域支援事業を実施をしています。

2 事業の概要

(1) 第1号被保険者の状況(年度末現在)

第1号被保険者は、確実に増加をしています。特に後期高齢者(75歳以上)の増加は著しく今後もこの傾向は続くものと予想されます。

第1号被保険者数

年度	前期高齢者	後期高齢者	再掲	再掲	合 計
	(65歳～74歳)	(75歳以上)	外国人被保険者	住所地特例者	
17	13,675	16,124	7	28	29,799
18	13,435	16,642	8	69	30,077

第1号被保険者のいる世帯数

年度	世帯数
17	21,285
18	21,406

(2) 要介護等認定事務処理の状況

寝たきりや痴認知症等により日常生活が困難になった場合に介護保険の給付を受けるためには、保険者に申請を行い、保険者は要介護認定調査、主治医意見書によって審査判定を行い、その後に要介護等認定を行います。なお、審査判定は天草広域連合の介護認定審査会で行われます。

平成18年4月からの制度の改正により、認定基準の変更があり、要支援が2つの要介護状態区分に分割されました。認定者は制度の定着に伴い次第に増加をしています。

申請者(年間の延べ件数)

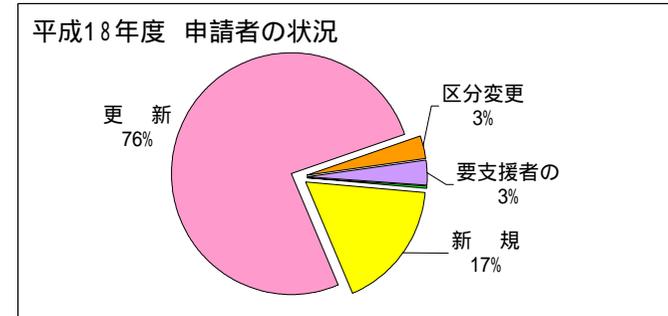
年度	新規申請	更新申請	区分変更申請	要支援者の状態変更申請	転入申請	合計
18	1,273	5,617	242	233	25	7,390

要介護認定調査(年間の延べ件数)

年度	職員	嘱託員	委託	合計
18	140	6,749	308	7,197

主治医意見書(年間の延べ件数)

年度	依頼数	回収数
18	7,489	7,123

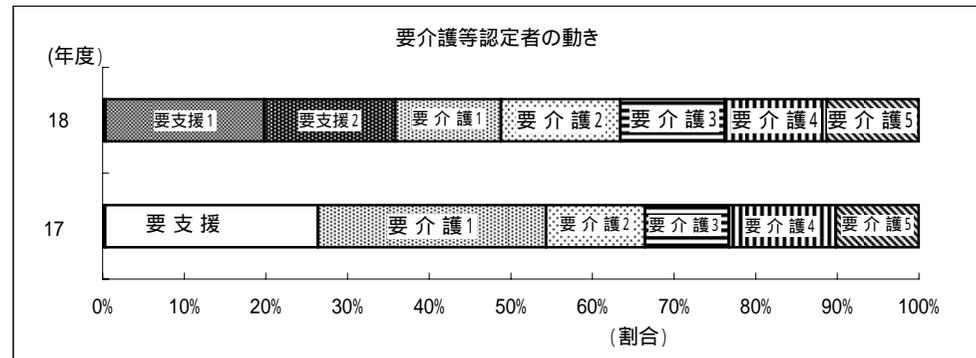


(3) 要介護等認定者の状況(年度末現在)

年度	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
17	1,374	1,473	639	543	689	537	5,255

年度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2
	1,036	855	690	779
18	要介護3	要介護4	要介護5	合計
	681	666	600	5,307

上記の認定者のうち第2号被保険者(40~64歳)は約2%になります。



3 保険給付の状況

平成18年度の介護保険の給付を前年度と比較しますと制度改正等の影響で減少しています。

居宅サービス給付費は、対前年度比0.5%の増となり、今後も制度の浸透等に伴い増加するものと思われます。

一方、施設給付費は、介護療養型医療施設の減少及び平成17年10月利用から食費及び居住費が利用者負担になったため減少をしています。

高額介護等サービス費は、平成17年10月から利用者負担段階の第2段階が設定されたため、給付費が増加をしています。

特定入所者介護等サービス費は、ユニット型個室の増加等により増えています。

(1) 保険給付の推移

年度	居宅サービス				施設サービス			
	受給者数 (人)	保険給付決定状況		1人当たり 給付費 (円)	受給者数 (人)	保険給付決定状況		1人当たり 給付費 (円)
		費用額 (千円)	支給額 (千円)			費用額 (千円)	支給額 (千円)	
17	36,302	3,253,955	2,958,994	81,510	14,876	4,915,429	4,357,545	292,924
18	36,920	3,268,468	2,972,485	80,512	14,199	4,104,889	3,713,802	261,554

(2) 高額介護等サービス費の推移

年度	件数 (件)	支給額 (千円)	一件平均 支給額 (円)
17	12,093	90,370	7,473
18	12,137	134,619	11,092

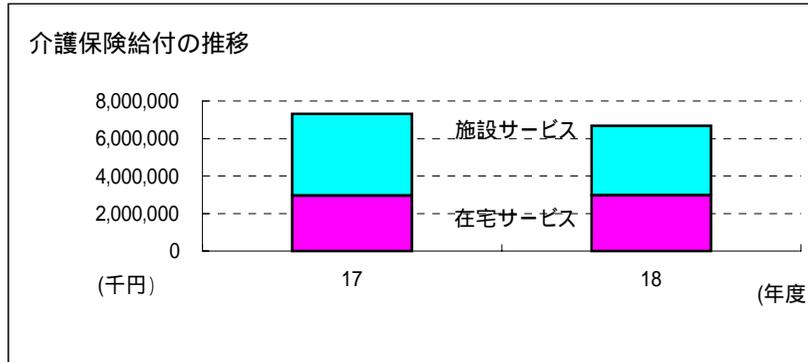
(3) 特定入所者介護等サービス費の推移

食費

年度	件数 (件)	支給額 (千円)	一件平均 支給額 (円)
17	5,145	135,452	26,327
18	12,437	324,179	26,066

居住費(滞在費)

年度	件数 (件)	支給額 (千円)	一件平均 支給額 (円)
17	2,161	8,993	4,161
18	4,082	40,467	9,913



4 第1号被保険者介護保険料の状況

(1) 第1号被保険者の所得段階介護保険料(円/月)

年度	第1段階	第2段階	第3段階	第4段階	第5段階	第6段階
18 ~ 20	2,100	2,730	3,150	4,200	5,250	6,300

(2) 所得段階賦課人数(年度末)

年度	第1段階	第2段階	第3段階	第4段階	第5段階	第6段階	計
17	271	15,974	10,019	2,286	1,249		29,799
18	270	8,275	4,925	9,690	5,196	1,721	30,077

平成17年度は第4段階と第5段階、18年度は第5段階と第6段階の境界の合計所得金額は200万円です。また、17年度までの第2段階が18年度は、年金収入等が80万円以下の人は第2段階にそれ以上は第3段階に分割されました。

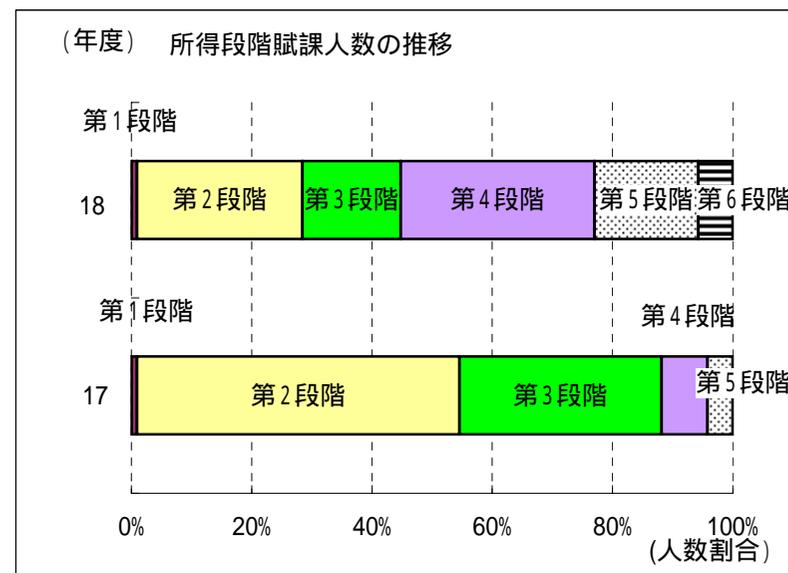
現年度

年度	調定額 (千円)	収納額 (千円)	収納率	
			(%)	
17	特別徴収	949,552	949,552	100.00
	普通徴収	154,463	143,912	93.17
	計	1,104,015	1,093,464	99.04
18	特別徴収	1,183,110	1,183,110	100.00
	普通徴収	168,526	155,004	91.98
	計	1,351,636	1,338,114	99.00

特別徴収の収納額は、未還付額を差し引いた金額を計上しています。

過年度

年度	調定額 (千円)	収納額 (千円)	収納率 (%)
17	17,636	3,452	19.57
18	19,756	4,941	25.01



5 介護予防給付の状況

平成18年4月の制度改正により、予防効果が高いと思われる段階の高齢者を要支援1・要支援2として介護予防給付が行われることとなりました。

この新しい予防給付の対象者は、平成19年3月末で1,891人となっています。

予防給付を利用者した人の更新結果では、維持・改善率は要支援1の人では48%、要支援2の人では64%となっています。

なお、この対象者に介護予防給付のマネジメントを行なうのは地域包括支援センターの業務ですが、適正な運営をしている居宅介護支援事業所に委託するとともに、囑託職員を雇用して対応をしています。

(1) 介護予防給付更新時の維持・改善率

要支援1・2の認定者の更新前と後の介護状態区分の状況は次のとおりです。

更新前 \ 更新後										
	一般高齢者	特定高齢者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
要支援1	8	4	193	96	78	25	20	7	1	432
要支援2	1	0	67	272	64	77	37	10	2	530
合計	9	4	260	368	142	102	57	17	3	962

	全体数	維持数	改善数	維持・改善数	維持・改善率
要支援1の維持・改善率	432	193	12	205	47.5%
要支援2の維持・改善率	530	272	68	340	64.2%
合計	962	465	80	545	56.7%

(2) 介護予防支援費請求件数

担当の 地域包括支援センター	地域包括支援センター作成		委託		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
中央	1,447	6,270,000	2,626	11,617,000	4,073	17,887,000
東	446	1,891,000	1,207	5,361,500	1,653	7,252,500
西	406	1,617,000	3,004	13,349,000	3,410	14,966,000
合計	2,299	9,778,000	6,837	30,327,500	9,136	40,105,500

(2) 保険給付費 (1) 介護サービス等諸費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
289	1 居宅介護サービス給付費	居宅介護サービス給付費	2,005,781	国庫支出金 593,601 (601,176) 県支出金 321,090 (250,904) その他 617,301 (621,792) 一般財源 473,789 (531,909)	居宅介護サービス給付費 区分 延べ利用者数 訪問介護 8,311人 訪問入浴介護 341人 訪問看護 1,624人 訪問リハビリテーション 609人 通所介護 9,216人 通所リハビリテーション 9,574人 福祉用具貸与 6,907人 短期入所 2,180人 居宅療養管理指導 822人 特定施設入居者生活介護 29人	要介護者は、在宅で暮らすために必要なサービスを受け、安心して住み慣れた自宅等で生活することができた。
289	3 地域密着型介護サービス給付費	地域密着型介護サービス給付費	274,086	国庫支出金 81,114 (82,174) 県支出金 43,876 (34,261) その他 84,353 (84,967) 一般財源 64,743 (72,684)	地域密着型介護サービス給付費 区分 延べ利用者数 痴呆対応型通所介護 355人 痴呆対応型共同生活介護 954人	要介護者は、在宅で暮らすために地域密着型介護サービスを受け、安心して住み慣れた自宅等で生活することができた。

(2) 保険給付費 (1) 介護サービス等諸費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
289	5 施設介護サービス給付費	施設介護サービス給付費	3,713,802	国庫支出金 1,099,079 (927,753) 県支出金 594,511 (649,915) その他 1,142,962 (1,151,279) 一般財源 877,250 (984,855)	施設介護サービス給付費 区分 延べ利用者数 介護老人福祉施設 7,067人 介護老人保健施設 4,468人 介護療養型医療施設 2,717人	在宅で生活できない要介護者等が施設に入所して介護サービスを受けることができた。
290	7 居宅介護福祉用具購入費	居宅介護福祉用具購入費	8,027	国庫支出金 2,375 (2,406) 県支出金 1,285 (1,003) その他 2,470 (2,488) 一般財源 1,897 (2,130)	福祉用具購入費の9割を支給 (支給限度基準額 年間10万円) 区分 延べ利用者数 福祉用具購入費 247人	福祉用具(腰掛便座、入浴補助用具など)の購入により、要介護者の自立支援、介護者の負担軽減が図られた。

(2) 保険給付費 (1) 介護サービス等諸費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
290	8 居宅介護住宅改修費	居宅介護住宅改修費	25,221	国庫支出金 7,464 (7,561) 県支出金 4,037 (3,153) その他 7,762 (7,819) 一般財源 5,958 (6,688)	住宅改修費の9割を支給 (支給限度基準額 20万円) 区分 延べ利用者数 住宅改修費 187人	既存住宅の欠点をカバーする工事(手すりの取り付け、床段差の解消など)が行われ、在宅生活者の自立支援、介護者の負担軽減が図られた。
290	9 居宅介護サービス計画給付費	居宅介護サービス計画給付費	259,415	国庫支出金 76,773 (77,776) 県支出金 41,528 (32,427) その他 79,838 (80,419) 一般財源 61,276 (68,793)	居宅介護サービス計画作成等への支給 要介護1件当たり 4,000～13,000円/月 延べ利用者数 23,423人	介護支援専門員(ケアマネージャー)が在宅介護支援のために「居宅サービス計画」を作成し、在宅の要介護者に必要なサービスが提供された。

(2) 保険給付費 (2) 介護予防サービス等諸費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
290	1 介護予防サービス給付費	介護予防サービス給付費	331,196	国庫支出金 98,015 (99,296) 県支出金 53,018 (41,400) その他 101,929 (102,671) 一般財源 78,234 (87,829)	介護予防サービス給付費 区分 延べ利用者数 訪問介護 3,570人 訪問入浴介護 0人 訪問看護 130人 訪問リハビリテーション 176人 通所介護 3,357人 通所リハビリテーション 3,159人 福祉用具貸与 1,072人 短期入所 140人 居宅療養管理指導 21人 特定施設入居者生活介護 1人	介護予防サービスを受けることにより、要介護移行への予防ができた。
290	3 地域密着型介護予防サービス給付費	地域密着型介護予防サービス給付費	841	国庫支出金 249 (252) 県支出金 135 (105) その他 259 (261) 一般財源 198 (223)	地域密着型介護予防サービス給付費 区分 延べ利用者数 痴呆対応型通所介護 15人 痴呆対応型共同生活介護 2人	地域密着型介護予防サービスを受けることにより、要介護移行への予防ができた。

(2) 保険給付費 (2) 介護予防サービス等諸費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
290	5 介護予防福祉用具購入費	介護予防福祉用具購入費	3,084	国庫支出金 913 (925) 県支出金 494 (386) その他 949 (956) 一般財源 728 (817)	福祉用具購入費の9割を支給 (支給限度基準額 年間10万円) 区分 延べ利用者数 福祉用具購入費 100人	福祉用具の購入により、要支援者の自立支援、介護者の負担軽減が図られた。
290	6 介護予防住宅改修費	介護予防住宅改修費	15,487	国庫支出金 4,583 (4,643) 県支出金 2,479 (1,936) その他 4,766 (4,801) 一般財源 3,659 (4,107)	住宅改修費の9割を支給 (支給限度基準額 20万円) 区分 延べ利用者数 住宅改修費 115人	手すりの取り付け、床段差の解消により在宅生活者(要支援者)の自立支援、介護者の負担軽減が図られた。

(2) 保険給付費 (4) 高額介護サービス等費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果			
291	1 高額介護 サービス費	高額介護サービス費	133,942	国庫支出金	介護サービスの利用者負担額(1ヶ月分)が一定の 基準額を超えた場合、その超えた額を支給	高額介護サービス給付費の支給により、サービス 受給者の自己負担額の軽減が図られた。			
							39,639		
							(40,157)		
				県支出金			利用者負担段階区分	上限額	
							一般世帯	37,200円	
							住民税世帯非課税	24,600円	
				その他			高齢福祉年金の受給者	個人 15,000円	
							合計所得金額及び課税年金 額の合計が80万円以下の人		
							41,222		
							(41,522)		
一般財源	生活保護の受給者等	15,000円							
	31,639	個人 15,000円							
	(35,520)								
		高額介護サービス費	11,975件						
291	2 高額介護予防 サービス費	高額介護予防サービス費	677	国庫支出金	高額介護予防サービス費	162件			
							201		
							(203)		
				県支出金					
							108		
							(85)		
その他									
	208								
	(210)								
一般財源									
	160								
	(179)								

(2) 保険給付費 (5) 特定入所者介護サービス等費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
291	1 特定入所者介護 サービス費	特定入所者介護サービス費	364,170	国庫支出金 107,774 (91,526) 県支出金 58,297 (63,180) その他 112,077 (112,893) 一般財源 86,022 (96,571)	食費・居住費の負担限度額を超える費用を低所得 者に現物給付 (居住費・滞在費) 利用者負担段階 負担限度額 第1段階 0円～820円 第2段階 320円～820円 第3段階 320円～1,640円 (食費) 利用者負担段階 負担限度額 第1段階 300円 第2段階 390円 第3段階 650円 特定入所者介護サービス費 12,399件	特定入所者介護サービス費の給付により、施設利用者等の食費及び居住費の自己負担額の軽減が図られた。
291	3 特定入所者介護 予防サービス費	特定入所者介護予防サービス費	476	国庫支出金 140 (145) 県支出金 75 (57) その他 147 (145) 一般財源 114 (129)	特定入所者介護予防サービス費 76件	特定入所者介護予防サービス費の給付により、施設利用者等の食費及び居住費の自己負担額の軽減が図られた。

(3) 財政安定化基金拠出金 (1) 財政安定化基金拠出金

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
291	1 財政安定化基金 拠出金	財政安定化基金拠出金	8,314	国庫支出金 0 県支出金 0 その他 0 一般財源 8,314	介護保険財政の安定運営のため各県に設置。赤字 財政となった場合に不足額を貸付・交付し、一般財 源からの繰入を回避 財源 国・県・市が各1/3 拠出金 平成18年度から21年度までの3ケ年の給付費及び 地域支援事業費見込額の0.1%を拠出。 本市の負担額 18年度 8,313,734円	

(4) 地域支援事業費 (1) 介護予防事業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
292	1	介護予防特定高齢者施策事業費	522	国庫支出金 172 (131)	要支援、要介護となるおそれの高い虚弱な高齢者を把握して、介護予防の利用が望ましい人を特定高齢者として決定する。 対象者数 基本チェックリスト記入者 7,849人 生活機能評価の受診者 5,266人 特定高齢者候補者数 559人 特定高齢者決定数 235人	高齢者人口の1.9%にあたる559人の虚弱な高齢者を発見して、その内の42%に当たる235人を特定高齢者として決定することができた。しかし、国の目標である高齢者の3%（本市の場合は900人）には満たなかったが、全国平均よりも多く決定することができた。 これは、虚弱な高齢者を把握するための「基本チェックリスト」は、大部分が基本健康診査で行なっているが、受診者は、比較的元気な高齢者が多く、基準に該当する人が少なかったことによるものである。なお、把握できた人については、実態把握の結果など旧市町からの引継ぎ情報によるものがほとんどであった。 決定者の69.4%が80歳以上の高齢者となっている。
		県支出金 70 (65)		その他 1,590 (162)		
		通所型介護予防事業	7,735	国庫支出金 2,543 (1,934)	平成18年6月から運動器の機能向上を目指して、運動機能の5項目に該当して、事業参加を希望した特定高齢者に対して、週一回の運動機能向上のプログラムを27事業所に委託して通所方式で実施している。なお、事業実施に当たっては、事業従事者研修会や現地指導を行い事業の質の向上を図った。 運動器の機能向上プログラム利用者 174人 延べ3,417人	介護予防事業利用者の内、19人（8.1%）の人が要介護者に移行しているが、22人（9.4%）の人が改善したため終了し、残りの人たちは、継続して介護予防に取り組んで介護状態の悪化を予防している。
			県支出金 1,042 (967)	その他 23,566 (2,398)		
				一般財源 19,416 (2,436)	平成18年11月から天草都市歯科医師会に委託して、口腔機能向上のプログラムが必要な特定高齢者に対して、通所事業所に衛生士を派遣して口腔機能の向上の指導を受けられるよう企画した。 口腔機能向上プログラム利用者 0人	候補者はでてきたが、最終的に基準に該当する対象者がいなかったため、事業実施ができなかった。

(4) 地域支援事業費 (1) 介護予防事業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
292	1 介護予防特定高 齢者施策事業費	訪問型介護予防事業	0		<p>特定高齢者に該当し、通所による介護予防事業を利用することが困難な人に対して看護師等が訪問して支援を行なった。</p> <p>運動器の機能向上支援 20人 栄養改善支援 1人 閉じこもり予防・支援 12人 認知症予防・支援 12人 うつ予防・支援 4人</p>	<p>指導した者の内2人は通所事業に変更することができた。</p> <p>訪問を受け、外部の人と接触することにより、少しずつではあるが、明るくなったり、交流ができるようになった。また、目標を設定して運動を実施するため、意欲が向上して運動習慣ができ、生活機能維持ができています。</p>
		生活管理短期宿泊事業	16	国庫支出金 5(4) 県支出金 2(2) その他 49(5) 一般財源 40(5)	<p>宿泊を伴って生活習慣の指導が必要な人に対して、基本的な生活習慣の獲得に向けて指導を行った。</p> <p>生活管理短期宿泊利用者 3人利用</p>	
292	2 介護予防一般高 齢者施策事業費	介護予防普及啓発事業	928	国庫支出金 643 (489) 県支出金 263 (245) その他	<p>高齢者の栄養状態の改善のため、食生活改善推進員協議会に委託して、調理実習などを通じて栄養改善指導を行った。</p> <p>高齢者食生活改善事業 食生活改善推進員協議会に委託 84回開催 のべ1,624人 実人数 415人</p>	<p>栄養改善に対する意識啓発ができた。</p>
		地域介護予防活動支援事業	988	5,959 (606) 一般財源 4,909 (616)	<p>日常生活手段の確保を手助けするために、生活管理指導員を派遣して、一緒に家事などを行い指導を行った。</p> <p>生活管理指導員派遣事業 17人利用 547時間</p>	<p>生活管理指導員と一緒に家事等を行うことによって、基本的な生活上必要な家事等ができるようになった。</p>
		一般高齢者施策評価事業	40		<p>介護保険事業計画の目標値の達成状況等の検証を行う。</p>	<p>次年度の事業の改善につなげた。</p>

(4) 地域支援事業費

(2) 包括的支援事業・任意事業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
292	1 介護予防マネジメント事業費	介護予防ケアマネジメント事業	1,769	国庫支出金 1,029 (716) 県支出金 405 (358) その他 一般財源 335 (695)	特定高齢者に対して、介護予防事業のケアマネジメントを行い、運動器の機能向上、栄養改善を支援した。 ケアマネジメント実人数 221人 年度末ケアマネジメント数 184人	特定高齢者事業利用希望者全員にケアマネジメントを実施することができた。
292 ） 293	2 総合相談事業費	総合相談事業	1,527	国庫支出金 889 (618) 県支出金 350 (309) その他 一般財源 288 (600)	認知症のメカニズムと予防できることを周知した。 認知症予防講演会 2会場 790人 本渡会場 介護保険サービスや高齢の福祉事業の内容を掲載するとともに、各種事業所を紹介し、利用者に必要な介護情報を提供した。 サービスガイドの作成 詳細版 350部 簡易版 1,000部 各種相談 住民からの各種の相談を受けつけた。 介護や介護保険等福祉相談 689件 保健医療に関する相談 36件 その他相談 120件	今後の活動につながる認知症予防の普及啓発を行うことができた。 利用者に必要な介護情報を提供することができた。 各種の住民からの相談に応じ、住民の疑問を解消したり、問題解決の糸口を示すなど必要な支援を行い住民生活の向上につなげた。

(4) 地域支援事業費 (2) 包括的支援事業・任意事業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
293	3 権利擁護事業費	権利擁護事業	292	国庫支出金 170 (118) 県支出金 67 (59) その他 一般財源 55 (115)	高齢者の虐待が疑われるケースについての相談を受け、訪問等により事実確認を行なっている。 虐待相談 94件 虐待認定 13人 金銭管理ができないなど、判断能力がなくなっている人には、社会福祉協議会など他の支援機関を紹介したり成年後見制度の利用を勧めたりしている。 権利擁護・成年後見相談 45件	施設入所(4人)やサービス利用(5人)を勧めたり、入院(4人)を勧めたりなどして解決を図ってきた。すぐに解決が困難なケースなど継続支援が必要な場合は、家族の相談に乗ったり、関係者の協力を得ながら解決に当たっている。また定期的に訪問をして、状態の変化を把握している。 金銭管理ができない人には、社会福祉協議会など他の支援機関を紹介したりするなどの支援ができた。 成年後見制度の利用については、今年度は申請するケースが無かった。
293	4 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業費	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	1,048	国庫支出金 610 (424) 県支出金 240 (212) その他 一般財源 198 (412)	中央ブロック介護支援事業者連絡協議会や天草市介護サービス事業所連絡協議会主催の研修会時に事業説明を行い制度の浸透を図った。 居宅支援事業所研修支援 総会時の研修等 サービス事業所研修支援 総会時の研修等	各種の研修会の機会を捉えて制度説明を行い事業所の事業運営の質を高めるとともに、市の置かれている状況等の説明を行うこと市の介護保険への理解を深めてもらった。 なた、それぞれのケアマネージャーが抱えている、処遇困難な事例など、協力して対応することで問題解決への支援ができた。 処遇困難な事例としては、虐待が疑われるケースや経済的に困窮しているケースなどであった。

(4) 地域支援事業費 (2) 包括的支援事業・任意事業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
293	5 任意事業費	介護給付費等費用適正化事業	243	国庫支出金 2,574 (1,792)	介護給付費の支給通知を利用者に行った。 適正化のはがき郵送(3回) 延べ 13,555人	給付費の確認を行なってもらい、適正化を図った。
		家族介護支援事業	3,969	県支出金 1,013 (896)	介護技術の向上を図るために、社会福祉協議会に委託して実施した。 家族介護教室事業 9カ所 95人	介護している家族等の介護技術の向上や情報交換ができた。
				その他	介護者同士の交流を図りながら、リフレッシュをしてもらうために、社会福祉協議会に委託して事業を実施した。	重度者を介護している介護者同士の交流を行うことによりリフレッシュでき、介護の継続への支援ができた。
				一般財源 836 (1,735)	家族介護者交流事業 9カ所 48人 要介護4及び5の介護認定者を、在宅で介護している双方市民税非課税の介護者に対して介護用品の購入費用の一部(6,250円/月)を助成して経済的負担を軽減した。 介護用品支給事業 75人 支給券発行枚数 598枚	在宅で介護をしている世帯に対して、介護用品に対する経済的支援ができた。
		その他事業	211		判断能力が無く成年後見の申請が必要であるが、親族による申し出ができない場合に、市長が代わって申し立てを行う制度である。 成年後見制度利用支援事業 市長による申し立て 0人	今年度は、成年後見制度の該当者がいなかった。
					介護認定を受けて、住宅改修のみを行う利用者に対して、改修の意見書作成費用を1件につき2,000円助成した。 福祉用具・住宅改修支援事業 住宅改修意見書作成委託費 32件	改修の意見書の作成支援ができ、住宅改修を行うことができた。

5. 公共下水道事業特別会計 (決算書295頁～307頁)

(単位：千円、%)

区 分	17年度	18年度	伸び率
歳 入 総 額	1,527,529	1,675,601	9.7
歳 出 総 額	1,503,295	1,634,508	8.7
差 引 額	24,234	41,093	69.6
翌年度へ繰越すべき財源	1,950	5,689	191.7
翌年度への繰越額	22,284	35,404	58.9

本会計では、歳入総額1,675,601千円から歳出総額1,634,508千円を差引いた形式収支は41,093千円で、この額から繰越明許費のために翌年度に繰り越すべき財源5,689千円を差引いた35,404千円を翌年度へ繰り越すこととなりました。

歳入の主なものは、使用料480,233千円(構成比28.7%)、事業に伴う市債が238,600千円(同14.2%)、国庫支出金193,797千円(同11.6%)、また一般会計からの繰入金は682,966千円(同40.8%)です。

歳出の内訳は、下水道総務費100,164千円(同6.1%)、下水道施設管理費235,547千円(同14.4%)、下水道建設費444,077千円(同27.2%)で公共下水道事業費全体では779,788千円(同47.7%)となります。さらに、公債費が854,720千円(同52.3%)となっています。

歳入歳出総額が前年度に比べ伸びているのは、今釜新町ポンプ場の施設改築更新工事を実施したため、歳出における下水道建設費、歳入における国庫支出金並びに市債が増となったことが主な要因です。

[進捗状況]

区分	全体計画(A)	事業認可(B)	18年度末現在(C)	(C)/(A)	(C)/(B)
処理面積	722 ha	659 ha	(供用) 591 ha	81.9%	89.7%
処理人口	26,000 人	25,500 人	25,314 人	97.4%	99.3%
事業費	30,679,000千円 (S46～H25)	29,382,000千円 (S46～H23)	26,395,700千円	86.0%	89.8%

(1) 公共下水道費 (1) 公共下水道費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
304	1 下水道総務費	下水道事業受益者負担金前 納報奨金	11,056	一般財源 11,056	・負担金の期別納付額を納期前に一括納付した者に、その納付期別数に応じた割合で前納報奨金を支給。 報奨費 11,056,175円	平成18年度調定に対して一括納付率79.7%であった。 全体調定335件 一括納付267件
304 306	2 下水道 施設管理費	下水道施設管理事業	267,929	その他 190,672 一般財源 77,257	年間有収水量 2,616千m ³ (事業費内訳) 人件費 46,516,546円 賃金 6,200円 旅費 155,688円 需用費 53,048,894円 役務費 4,697,730円 使用料及び賃借料 229,625円 委託料 156,580,106円 工事請負費 4,689,874円 原材料費 1,584,912円 負担金補助及び交付金 393,330円 公課費 26,400円 計 267,929,305円	平成16年度から18年度までの債務負担行為による処理場運転管理委託を行い、運転管理費を節減できた。 また、本渡浄化センターの排水槽排水ポンプの更新及び今釜新町ポンプ場の雨水ポンプ用ディーゼルエンジンの分解整備により適正な運転が可能となった。
306 307	3 下水道建設費	下水道建設事業	455,372	国庫支出金 193,797 地方債 238,600 一般財源 22,975	【繰越分】 (事業費内訳) 需用費 100,000円 役務費 163,820円 委託料 29,800,000円 公有財産購入費 7,436,180円 計 37,500,000円 (事業箇所内訳) ○大浜町外地区 (分合流解消の幹線管渠) 委託料 29,800,000円 ○用地取得(公有財産購入費) (小松原雨水幹線築造用地) 7,436,180円	生活環境の改善、浸水解消、公共用水域の水質改善を図った。 ○補助事業 387,747,000円 ○単独事業 67,624,852円 ○汚水管渠布設延長 L=2,603m ○雨水渠築造延長 L= 74.3m ○整備面積 A= 4.69ha

(1) 公共下水道費 (1) 公共下水道費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
306 ┆ 307	3 下水道建設費	下水道建設事業(つづき)			<p>【現年分】 (事業費内訳)</p> <p>人件費 11,295,000円 旅費 274,320円 需用費 3,201,293円 役務費 617,875円 使用料及び賃借料 1,306,347円 委託料 149,281,789円 工事請負費 238,753,588円 公有財産購入費 13,141,640円 計 417,871,852円</p> <p>(事業箇所内訳)</p> <p>本渡町、亀場町地区(管渠) 委託料 9,758,289円 工事請負費 116,162,214円 125,920,503円</p> <p>用地取得(公有財産購入費) (小松原雨水幹線築造用地 13,141,640円 小松原雨水幹線築造工事 5,315,000円</p> <p>東浜町外地区 (分合流解消の幹線管渠) 委託料 1,437,500円 工事請負費 117,276,374円 計 118,713,874円</p> <p>今釜新町ポンプ場改築委 託及び本渡浄化センター全体計 画再構築委託 委託料 138,086,000円</p> <p>平成19年度へ繰越 112,442,004円</p>	<p>平成18年度は、事業認可区域内の本渡町、亀場町の管渠工事、東浜町、大浜町、船の尾町、古川町、今釜新町の分合流区域解消のための幹線管渠工事及び小松原雨水幹線の整備を行った。事業認可区域の拡大に伴い本渡町一の瀬地区、長尾地区については、管渠実施設計業務委託を行い事業着手した。</p> <p>合流式下水道改善事業では、分合流解消のため川原東浜第1汚水幹線管渠布設工事及び今釜新町ポンプ場雨水滞水池遮集管渠布設工事を行い放流水質の改善を図った。</p> <p>浸水対策事業として、小松原雨水幹線築造用地を取得し工事着工を行った。また、機能高度化下水道事業として、今釜新町ポンプ場自家発電棟建設工事、電気設備工事及び本渡浄化センター全体計画再構築基本設計業務を日本下水道事業団に委託し、より適正な運転管理を行えるようにし、今後の計画的な改築更新を図った。</p> <p>平成18年度末での進捗状況は、処理区域面積591ha、処理区域内人口25,314人で、事業認可に対し処理区域面積で89.7%、処理区域内人口では99.3%となった。</p> <p>また、本渡処理区全体では63.7%の普及率となった。</p>

6. 特定環境保全公共下水道事業特別会計 (決算書308頁～319頁)

(単位：千円、%)

区 分	17年度	18年度	伸び率
歳 入 総 額	833,680	289,565	65.3
歳 出 総 額	827,222	279,651	66.2
差 引 額	6,458	9,914	53.5
翌年度へ繰越すべき財源	800	100	87.5
翌年度への繰越額	5,658	9,814	73.5

本会計では、歳入総額289,565千円から歳出総額279,651千円を差引いた形式収支は9,914千円で、この額から繰越明許費のために翌年度に繰り越すべき財源100千円を差引いた9,814千円を翌年度へ繰り越すこととなりました。また、河浦町での建設事業が17年度で終了したため、歳入歳出ともに大幅な減となりました。

歳入の主なものは、使用料24,621千円(構成比8.5%)、事業に伴う市債が56,900千円(同19.7%)、国庫支出金48,500千円(同16.7%)、また一般会計からの繰入金138,365千円(同47.8%)です。

歳出の内訳は、下水道総務費26,985千円(同9.6%)、下水道施設管理費44,526千円(同15.9%)、下水道建設費102,754千円(同36.8%)で特定環境保全公共下水道事業費全体では174,265千円(同62.3%)となります。さらに、公債費が105,386千円(同37.7%)となっています。

[進 捗 状 況]

処理区	区分	全体計画(A)	事業認可(B)	18年度末現在(C)	(C)/(A)	(C)/(B)
一町田 (河浦)	処理面積	53.5 ha	53.5 ha	(供用) 53.5 ha	100.0%	100.0%
	処理人口	1,360 人	1,360 人	1,118 人	82.2%	82.2%
	事業費	3,636,000千円 (H8～H17)	3,636,000千円 (H8～H17)	2,688,337千円	73.9%	73.9%
下田 (天草)	処理面積	22 ha	22 ha	(供用) 22 ha	100.0%	100.0%
	処理人口	800 人	800 人	646 人	80.8%	80.8%
	事業費	1,210,000千円 (H8～H27)	1,210,000千円 (H8～H24)	1,210,000千円	100.0%	100.0%
高浜 (天草)	処理面積	39 ha	39 ha	未供用		
	処理人口	1,000 人	1,000 人	未供用		
	事業費	2,715,400千円 (H8～H33)	2,715,400千円 (H8～H24)	198,899千円	7.3%	7.3%

(1) 特定環境保全公共下水道事業費

(1) 特定環境保全公共下水道事業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
317 ┆ 318	2 下水道 施設管理費	下水道施設管理事業	59,105	その他 24,621 一般財源 34,484	年間有収水量 182千m ³ (事業費内訳) 人件費 17,444,925円 需用費 12,045,400円 役務費 1,375,811円 使用料及び賃借料 576,466円 委託料 19,248,763円 原材料費 24,286円 負担金補助及び交付金 8,389,386円 計 59,105,037円	本事業は、河浦町一町田地区及び天草町下田地区 で実施しており、汚水処理施設の適正な運転管理を 行い、公共水域の水質保全を図ることができた。
318 ┆ 319	3 下水道建設費	下水道建設事業	106,154	国庫支出金 48,500 地方債 56,854 一般財源 800	【繰越分】 (事業費内訳) 需用費 125,099円 工事請負費 16,874,901円 計 17,000,000円 (事業箇所内訳) ○高浜地区(管渠) 工事請負費 16,874,901円	生活環境の改善、浸水解消、公共用水域の水質改 善を図った。 ○補助事業 97,000,000円 ○単独事業 9,153,577円 ○汚水管渠布設延長(未供用) L=666.4m ○放流管布設延長(未供用) L=222.4m ○整備面積(未供用) A= 1.0ha

(1) 特定環境保全公共下水道事業費

(1) 特定環境保全公共下水道事業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
318 ↳ 319	3 下水道建設費	下水道建設事業（つづき）			<p>【現年分】 （事業費内訳）</p> <p>人件費 3,400,000円 旅費 2,200円 需用費 1,181,158円 役務費 273,442円 使用料及び賃借料 340,200円 委託料 41,970,653円 工事請負費 41,985,924円 計 89,153,577円</p> <p>（事業箇所内訳） ○高浜地区（管渠） 工事請負費 41,985,924円 委託料（地質調査） 3,661,875円 委託料（管渠実施設計） 36,418,778円 委託料（事業変更認可設計） 1,890,000円 計 41,970,653円</p> <p>平成19年度へ繰越 50,000,000円</p>	<p>平成18年度は、高浜地区の事業認可区域内の地質調査業務及び管渠実施設計業務委託を実施し、本格的に管渠工事を行い、平成22年度の一部供用開始へ向け面整備の促進を図った。</p> <p>また、高浜浄化センターの処理系列を2系列から1系列に変更し、事業期間も2年間延伸し経済的に建設をするため事業計画の変更を行い、平成19年3月に変更認可を得た。</p> <p>処理場に連絡する幹線管渠を整備し、平成20年度に処理場建設着工予定であるため、早期供用開始へ向け継続的な面整備を促進する必要がある。</p> <p>平成18年度末での高浜地区の整備状況（未供用）は、面積1.0haで事業認可に対し計画処理面積で2.6%である。他、供用開始済みの河浦町一町田地区及び天草町下田地区を合わせた全体での進捗状況は、処理区域面積75.5ha、処理区域内人口1,764人で、事業認可に対し処理区面積で65.9%、処理区域内人口では55.8%である。</p>

7. 農業集落排水事業特別会計 (決算書320頁～331頁)

(単位：千円、%)

区 分	17年度	18年度	伸び率
歳 入 総 額	215,775	80,039	62.9
歳 出 総 額	211,710	75,488	64.3
差 引 額	4,065	4,551	12.0
翌年度へ繰越すべき財源			
翌年度への繰越額	4,065	4,551	12.0

本会計では、歳入総額80,039千円から歳出総額75,488千円を差引いた4,551千円を翌年度へ繰り越すこととなりました。また、倉岳町の建設事業が17年度でほぼ終了したため、歳入歳出ともに大幅な減となりました。

歳入の主なものは、使用料15,037千円(構成比18.8%)、県支出金11,012千円(同13.7%)、また一般会計からの繰入金は43,848千円(同54.8%)です。

歳出の内訳は、農業集落排水総務費9,001千円(同11.9%)、農業集落排水施設管理費16,456千円(同21.8%)、農業集落排水施設整備費3,400千円(同4.5%)で農業集落排水事業費全体では28,857千円(同38.2%)となります。さらに、基金積立金が9,298千円(同12.3%)公債費が37,333千円(同49.5%)となっています。

[進 捗 状 況]

処理区	区分	区域内人口及び 総事業費(A)	18年度末現在(B)	(B)/(A)
棚底 (倉岳)	処理人口	1,246 人	(水洗化人口) 783 人	62.8%
	事業費	1,671,887千円 (H6～H10)	1,671,887千円	100.0%
新町 (倉岳)	処理人口	133 人	(水洗化人口) 51 人	38.3%
	事業費	186,783千円 (H6～H18)	186,783千円	100.0%

(1) 農業集落排水事業費 (1) 農業集落排水事業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
329 ┆ 330	2 農業集落排水 施設管理費	農業集落排水施設管理事業	25,423	その他 15,037 一般財源 10,386	年間有収水量 78千m ³ (事業費内訳) 人件費 8,967,142円 需用費 4,000,257円 役務費 260,810円 委託料 11,296,382円 使用料及び賃借料 21,000円 負担金補助及び交付金 20,000円 公課費 777,700円 工事請負費 79,800円 計 25,423,091円	本事業は、倉岳町棚底地区及び新町地区で実施しており、汚水処理施設の適正な運転管理を行い、公共水域の水質保全を図ることができた。
330	3 農業集落排水 施設整備費	倉岳町新町地区農業集落排水事業	3,434	県支出金 1,717 一般財源 1,717	【補助事業】 補助率5/10 ・処理施設の機能調整業務委託 1式 (事業費の内訳) 委託料(1件) 3,295,044円 工事雑費 104,956円 事務費 34,000円 計 3,434,000円	平成18年3月に供用開始をした汚水処理施設に汚水の流入が開始されるのに伴い、処理機能の調整、確認、維持管理要領書の作成等の必要な業務を行って、処理施設の安定した機能発揮を図り公共用水域の水質保全を図った。 事業期間 平成16年度～平成18年度 事業費 186,783千円 うち補助分182,000千円 汚水管路整備 L=690m うち単独事業分L=40m 汚水処理施設 1箇所 計画処理人口 176人 事業進捗率 100% (完了)

8. 漁業集落排水事業特別会計 (決算書 332頁～346頁)

(単位：千円、%)

区 分	17年度	18年度	伸び率
歳 入 総 額	679,946	611,252	10.1
歳 出 総 額	662,518	598,626	9.6
差 引 額	17,428	12,626	27.6
翌年度へ繰越すべき財源	4,655	0	100.0
翌年度への繰越額	12,773	12,626	1.2

本会計では、歳入総額611,252千円から歳出総額598,626千円を差引いた12,626千円を翌年度へ繰り越すこととなりました。

歳入の主なものは、使用料22,392千円(構成比3.7%)、事業に伴う市債が194,200千円(同31.8%)、国庫支出金226,394千円(同37.0%)、また一般会計からの繰入金は106,329千円(同17.4%)です。

歳出の内訳は、漁業集落排水総務費42,950千円(同7.2%)、漁業集落排水施設管理費48,648千円(同8.1%)、漁業集落排水施設整備費393,371千円(同65.7%)で漁業集落排水事業費全体では484,969千円(同81.0%)となります。さらに、基金積立金が25,206千円(同4.2%)、公債費が88,451千円(同14.8%)となっています。

[進捗状況]

処理区	区分	区域内人口及び 総事業費(A)	18年度末現在(B)	(B)/(A)
本郷 (御所浦)	処理人口	768 人	(水洗化人口) 635 人	82.7%
	事業費	390,200千円 (S53～S59)	390,200千円	100.0%
宮田 (倉岳)	処理人口	1,243 人	(水洗化人口) 570 人	45.9%
	事業費	1,390,848千円 (H6～H17)	1,390,848千円	100.0%
通詞島 (五和)	処理人口	660 人	(水洗化人口) 374 人	56.7%
	事業費	1,043,880千円 (H8～H18)	1,043,880千円	100.0%
崎津 (河浦)	処理人口	671 人	(水洗化人口) 322 人	48.0%
	事業費	1,082,003千円 (H8～H17)	1,082,003千円	100.0%
船津 (河浦)	処理人口	(計画人口) 950 人	未供用	
	事業費	1,144,700千円 (H9～H21)	547,432千円	47.8%
佐伊津 (本渡)	処理人口	(計画人口) 3,300 人	未供用	
	事業費	4,783,600千円 (H16～H24)	716,900千円	15.0%

(1) 漁業集落排水事業費 (1) 漁業集落排水事業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
342 ┆ 343	2 漁業集落排水 施設管理費	漁業集落排水施設管理事業	58,470	その他 22,392 一般財源 36,078	年間有収水量 154千m ³ (事業費内訳) 人件費 9,821,609円 需用費 9,892,334円 役務費 1,631,994円 委託料 29,441,792円 使用料及び賃借料 397,291円 備品購入費 153,300円 負担金補助及び交付金 3,830,211円 償還金利子及び割引料 9,750円 公課費 2,236,900円 工事請負費 1,054,853円 計 58,470,034円	御所浦町本郷地区、倉岳町宮田地区、五和町二江地区、河浦町崎津地区については、污水处理施設の適正な運転管理を行い、公共水域の水質保全を図ることができた。 佐伊津地区では、雨水ポンプ場が完成し、台風の際に浸水防除ができた。
343 ┆ 345	3 漁業集落排水 施設整備費	二江（通詞島）地区漁業集落排水事業	120,300	県支出金 60,150 地方債 51,400 一般財源 3,905 その他 4,845	繰越分 【補助事業】 補助率5/10 (事業費の内訳) 工事請負費 114,700,000円 風力発電設備工事(1件) 300kw 1基 委託料 5,145,000円 事務費 455,000円 計 120,300,000円	風力発電設備1基を設置し、当地区の污水处理施設に地球環境にやさしい自然エネルギーを利用した環境負荷の少ないエネルギーを供給し、地球環境の保全に寄与すると共に当施設の電気料金を賄った。 なお、余剰電力については九電に売電を行い売電収入を得た。 事業期間 平成8年度～平成18年度 事業費 1,043,880千円 うち補助分1,014,150千円 污水管路延長 L=3,981m うち単独事業分L=361m 污水处理施設 1箇所 風力発電設備 1基 計画処理人口 718人 事業進捗率 100% (完了)
		船津地区漁業集落排水事業	88,683	県支出金 43,450 地方債 45,200 一般財源 33	【補助事業】 補助率5/10 (事業費の内訳) 工事請負費（補助） 82,252,726円 （単独） 853,936円 工事請負費計 83,106,662円 污水管路整備工事	平成20年4月の一部供用開始を行うため、H18、19年度の2ヶ年債務により污水处理施設の整備に着手すると共に污水管路の整備も促進した。 事業期間 平成9年度～平成21年度 事業費 1,144,700千円 うち補助分1,087,000千円 污水管路整備 L=6,659m うち単独事業分L= 856m

(1) 漁業集落排水事業費 (1) 漁業集落排水事業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
343 ↳ 345	3 漁業集落排水 施設整備費	船津地区漁業集落排水事業 (つづき)			(補助2件) L=768m 污水管路整備工事 (単独1件) L=29m 污水处理施設整備工事 土木建築・機械設 (補助3件) 備・電気設備 1式 事務費(補助) 5,547,274円 (単独) 29,064円 88,683,000円 平成19年度へ繰越 62,200,000円	污水处理施設 1箇所 太陽光発電設備 40kw 1式 計画処理人口 868人 事業進捗率 47.8% (繰越含む)
		佐伊津地区漁業集落排水事業	195,211	県支出金 97,600 地方債 97,600 一般財源 11	【補助事業】 補助率5/10 (事業費の内訳) 工事請負費 136,037,544円 雨水ポンプ場整備工事 土木建築・機械設 (3件) 備・電気設備 1式 雨水排水路、污水管路 雨水整備 L=926m 整備工事(4件) 污水管路 L=620m 委託料 33,685,555円 公有財産購入費 5,884,112円 補償費及び賠償金 9,357,600円 事務費(補助) 10,235,189円 事務委託料1件含む (単独) 11,000円 計 195,211,000円 平成19年度へ繰越 195,300,000円	H18・19年度の2ヶ年債務により、雨水ポンプ場の 建設工事に着手すると共に、その上流の雨水排水路 L=926m整備にも着手し、浸水地帯の浸水防止図 するため事業促進を行った。 また、平成21年4月の一部供用開始を行うため、 本年度污水处理施設の位置を決定し、測量、地質調 査を完了し、処理施設の実施設設計及び用地買収にも 着手すると共に、污水管路整備にも一部着手し事業 促進を図った。 事業期間 平成16年度～平成21年度 事業費 4,783,600千円 うち補助分4,657,600千円 雨水排水路整備 L=9,740m 雨水ポンプ場 1箇所 污水管路整備 L=28,100m うち単独事業分L=3,000m 污水处理施設 1箇所 計画処理人口 3,300人 事業進捗率 15.0% (繰越含む)

9 . 浄化槽市町村整備推進事業特別会計 (決算書347頁～357頁)

(単位：千円、%)

区 分	17年度	18年度	伸び率
歳 入 総 額	219,788	177,121	19.4
歳 出 総 額	215,505	176,442	18.1
差 引 額	4,283	679	84.1
翌年度へ繰越すべき財源			
翌年度への繰越額	4,283	679	84.1

本会計では、歳入総額177,121千円から歳出総額176,442千円を差引いた679千円を翌年度へ繰り越すこととなりました。

歳入の主なものは、使用料37,234千円(構成比21.0%)、事業に伴う市債が37,600千円(同21.2%)、国県支出金30,928千円(同17.5%)、また一般会計からの繰入金は42,160千円(同23.8%)です。

歳出の内訳は、浄化槽市町村整備推進総務費23,865千円(同13.5%)、浄化槽市町村整備推進管理費54,313千円(同30.8%)、浄化槽市町村整備推進事業費74,179千円(同42.1%)で浄化槽市町村整備推進事業費全体では152,357千円(同86.4%)となります。さらに、基金積立費が8,358千円(同4.7%)、公債費が15,727千円(同8.9%)となっています。

[進捗状況]

区分	全体計画(A)	18年度末現在(B)	(B)/(A)
倉岳	H14～ 179基	127基	70.9%
新和	H11～ 635基	554基	87.2%
天草	H14～ 900基	253基	28.1%
計	1,714基	934基	54.5%

(1) 浄化槽市町村整備推進事業費

(1) 浄化槽市町村整備推進事業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
356	1	浄化槽市町村整備推進事業 分担金納期前納付報奨金 推進総務費	722	一般財源 722	・分担金を納期前納付した者に、納期数に応じた割合で報奨金を支給。(天草町処理区域のみ) 報償費 722,000円	平成18年度調定に対して納期前納付率95%であった 全体調定40件 納期前納付38件
356	2	浄化槽市町村整備推進管理 事業 浄化槽市町村整備推進管理費	54,106	その他 37,408 一般財源 16,698	年間有収水量 102千m ³ (事業費内訳) 旅費 8,800円 需用費 1,094,579円 役務費 4,500,300円 委託料 48,502,324円 計 54,106,003円	本事業は、倉岳町、新和町、天草町で実施しており、浄化槽の適正な維持管理を行い、公共水域の水質保全を図ることができた。
357	3	倉岳町浄化槽市町村整備推進事業 浄化槽市町村整備推進事業費	9,120	国庫支出金 2,814 起債 4,000 一般財源 531 その他 1,775	【補助事業】 補助率 1/3 ・浄化槽設置 5人槽 6基 7人槽 4基 (事業費の内訳) 工事請負費(補助) 8,397,050円 (単独) 674,953円 設置工事(5件) 10基 事務費(補助) 48,450円 計 9,120,453円	トイレ水洗化等により生活環境改善、公衆衛生の向上及び、公共用水域の水質保全を図った。 事業期間 平成14年度～ 事業費 187,249千円 うち単独21,000千円 ・浄化槽計画設置基数 179基 浄化槽設置済基数 127基(設置率70.9%)
		新和町浄化槽市町村整備推進事業	26,303	国庫支出金 8,179 地方債 14,400 一般財源 1,504 その他 2,220	【補助事業】 補助率 1/3 ・浄化槽設置 5人槽 20基 7人槽 8基 (事業費の内訳) 工事請負費(補助) 23,614,699円 (単独) 1,763,082円 設置工事(16件) 28基 事務費(補助) 事務委託料1件含む 925,308円 計 26,303,089円	トイレ水洗化等により生活環境改善、公衆衛生の向上及び、公共用水域の水質保全を図った。 事業期間 平成11年度～ 事業費 763,141千円 うち単独51,597千円 ・浄化槽計画設置基数 635基 浄化槽設置済基数 554基(設置率87.2%)

(1) 浄化槽市町村整備推進事業費

(1) 浄化槽市町村整備推進事業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
357	3	天草町浄化槽市町村整備推進事業	38,756	国庫支出金 11,610 地方債 19,200 一般財源 4,031 その他 3,915	【補助事業】 ・浄化槽設置 (事業費の内訳) 工事請負費(補助) 33,513,110円 (単独) 3,925,498円 設置工事(18件) 39基 事務費(補助) 1,317,242円 計 38,755,850円	トイレ水洗化等により生活環境改善、公衆衛生の向上及び、公共用水域の水質保全を図った。 事業期間 平成14年度～ 事業費 854,917千円 うち単独120,946千円 ・浄化槽計画設置基数 900基 浄化槽設置済基数 253基(設置率28.1%)

10. 簡易水道事業特別会計 (決算書358頁～371頁)

(単位：千円・%)

区 分	17年度	18年度	伸 率
歳 入 総 額	1,750,993	1,542,098	11.9
歳 出 総 額	1,719,973	1,519,197	11.7
差 引 額	31,020	22,901	26.2
翌年度へ繰り越すべき財源	0	200	皆増
翌年度への繰越額	31,020	22,701	26.8

本会計では、歳入総額1,542,098千円から歳出総額1,519,197千円を差し引いた形式収支は22,901千円で、この額から繰越明許費のために繰り越すべき財源200千円を差し引いた22,701千円を翌年度へ繰越すこととなりました。

歳入の主なものは、使用料515,544千円(構成比33.4%)、国庫支出金68,148千円(構成比4.4%)、事業に伴う市債が253,100千円(構成比16.4%)、また一般会計からの繰入金は650,125千円(構成比42.2%)です。

歳出の内訳は、一般管理費が212,018千円(構成比14.0%)、維持管理費177,604千円(構成比11.7%)、建設改良費325,031千円(構成比21.4%)、公債費804,544千円(構成比52.9%)となっています。

[給水状況]

簡易水道名	17年度			18年度		
	給水区域内人口	給水人口	給水区域面積	給水区域内人口	給水人口	給水区域面積
牛深簡易水道	3,562	3,512	7.2km ²	3,471	3,371	7.2km ²
有明東簡易水道	2,144	2,144	7.1km ²	2,102	2,102	7.1km ²
有明西簡易水道	3,780	3,780	6.1km ²	3,714	3,712	6.1km ²
倉岳簡易水道	3,703	3,181	15.5km ²	3,634	3,249	15.5km ²
栖本簡易水道	2,828	2,755	7.0km ²	2,803	2,722	7.0km ²
新和簡易水道	3,971	3,971	13.5km ²	3,874	3,874	13.5km ²
五和簡易水道	646	624	1.5km ²	632	614	1.5km ²
天草簡易水道	4,021	3,988	6.6km ²	4,406	3,885	6.6km ²
富津簡易水道	1,068	1,018	1.5km ²	1,060	1,029	1.5km ²
一町田簡易水道	2,644	2,391	5.3km ²	2,575	2,419	5.3km ²
宮野河内簡易水道	1,065	930	1.1km ²	987	941	1.1km ²
合 計	29,432	28,294	72.4km ²	29,258	27,918	72.4km ²

(1) 簡易水道事業費

(1) 簡易水道総務費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
367 } 368	1 一般管理費	一般管理費	212,018	その他 1,096 一般財源 210,922	(事業費内訳) 人件費 103,178,033円 共済費 16,747,906円 旅費 116,654円 需用費 598,844円 役務費 7,943,185円 委託料 39,995,696円 使用料及び賃借料 323,101円 備品購入費 33,600円 負担金補助及び交付金 33,383,211円 補償補填及び賠償金 1,100,000円 公課費 8,598,000円 計 212,018,230円	一般管理費については、簡易水道使用料徴収事務を水道課に業務委託し、事務の効率化を図った。また、上天草・宇城水道企業団から受水及び新和町大宮地川水利権の確保により、倉岳町・新和町において、安定した水道水の供給ができた。
368 } 370	2 維持管理費	維持管理費	177,603	その他 5,552 一般財源 172,051	(事業費内訳) 賃金 995,900円 需用費 92,095,770円 役務費 6,400円 委託料 45,503,806円 使用料及び賃借料 650,080円 工事請負費 31,330,199円 原材料費 4,604,230円 備品購入費 2,130,701円 負担金補助及び交付金 286,000円 償還金利子及び割引料 230円 計 177,603,316円 (工事請負費の内訳) 牛深内の原浄水場緩速ろ過地補砂及び天地替工事 4,410,000円 倉岳棚底地区浄・配水池テレメータ改修工事 2,698,500円 大多尾漁港関連事業に伴う水道本管移設工事 2,499,361円	牛深・新和簡易水道事業については、浄水場に管理人を配置して、また、有明簡易水道事業については、派遣会社との業務委託を行い、施設の維持管理を適正に行った。また、各工事の実施により、施設整備等を行い、安全で安心な水道水を供給することに寄与することが出来た。

(1) 簡易水道事業費

(1) 簡易水道総務費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
368)	2	維持管理費(つづき)			新和町大宮地地区道路災害復 旧工事に伴う水道本管工事	1,869,000円
370	維持管理費				国道389号線道路改良工事に 伴う仮設管布設工事	451,500円
					国道389号線道路改良工事に 伴う仮設管布設その2工事	2,006,474円
					一町田橋架替工事に伴う仮設 管布設工事	1,309,039円
					河浦町女岳地区水道管布設工 事	9,723,325円
					富津水源地内補修工事	1,606,500円
					平床管理用道路補修工事	525,000円
					河浦町地区仕切弁取替工事	1,942,500円
					倉岳町浦地区消火栓設置工事	451,500円
					新和町地区消火栓設置工事	1,386,000円
					河浦町今富地区消火栓設置工 事	451,500円

(1) 簡易水道事業費

(2) 簡易水道建設改良費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
370	2 建設改良費	建設改良費	325,031	国庫支出金 68,148 地方債 253,100 その他 2,961 一般財源 822	(事業費内訳) 旅費 48,400円 需用費 204,172円 委託料 11,802,000円 工事請負費 300,782,627円 備品購入費 493,500円 負担金補助及び交付金 11,700,000円 計 325,030,699円 (事業箇所内訳) 有明簡易水道 ・補助事業 71,685,000円 ・単独事業 20,443,779円 ・その他 145,693円 計 92,274,472円 浄水場 一式 配水管布設延長 L = 686.5m 送水管布設延長 L = 503.3m 平成19年度へ繰越 56,300,000円 (内単独費200,000円) 天草簡易水道 ・補助事業 120,874,950円 ・単独事業 99,979,898円 ・その他 201,379円 計 221,056,227円 電気計装施設 一式 配水管布設延長 L = 5,190m 河浦簡易水道 195,000,000円 × 6% = 11,700,000円	有明簡易水道 平成17年度からの継続事業で、平成18年度は浄水場の整備、送配水管の布設及び接合槽の設置を主な工事として行なった。天草簡易水道事業の完了に伴い、当事業の事業促進を図るため追加要望を行った。そのため、追加要望した浄水場整備の一つである管理棟築造工事が、適正工期を取れず繰越となった。しかし、当初計画である平成19年度完了については、何ら支障はなく計画通り完了予定である。 天草簡易水道 平成16年度からの継続事業で本年度完了した。計画通り事業が完了したので、高浜地区及び大江地区水道については、安全で安心できる水道水が供給できるようになった。 河浦簡易水道 一町田地区簡易水道再編推進事業の取水源として利用する県営路木ダム建設に伴う負担金として、6%を負担した。

1.1 . 国民健康保険診療施設特別会計 (決算書372頁～384頁)

(単位：千円・%)

区 分	17年度	18年度	伸 率
歳 入 総 額	302,117	251,887	16.6
歳 出 総 額	247,608	200,042	19.2
歳入歳出差引額	54,509	51,845	4.9
翌年度繰越額	54,509	51,845	4.9

本年度の収支は51,845千円で、これから前年度繰越金54,509千円を差し引くと、単年度収支は2,664千円の赤字となる。赤字の要因については、昨年8月から院外処方になり薬価差益が無くなったことや外来患者の減少が大きな原因と考えられる。

歳出では17年度にはなかった患者送迎委託料832千円等が支出されている。今後は高齢化が進む中で離島医療の役割を果たしながら健全経営に努める。

(1) 総務管理費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施 策 名	決算額	財源内訳	施 策 の 概 要	施 策 の 成 果
381 } 383	1 一 般 管 理 費	専門診療対策事業	6,205	一般財源 6,205	定期的に専門医(代謝内科・眼科・整形外科)による診療 (事業費内訳) 医療業務委託料 5,740,000円 使用料及び賃借料 465,000円 計 6,205,000円	高齢化が進みお年寄りにとって島外の専門医に受診するには、船の乗り降り等いろいろ大変である。その問題解決のため定期的に専門医を呼び地元で受診できる体制を設け患者の悩みを解決することができ大変喜ばれている。

(2) 医業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	項	施 策 名	決算額	財源内訳	施 策 の 概 要	施 策 の 成 果
383 } 384	1 医 業 費	医業費	52,623	一般財源 52,623	18年度年間外来患者数 32,540人 (事業費内訳) 医業費 需用費 147,000円 委託料 374,220円 使用料及び賃借料 394,800円 備品購入費 502,950円 医療用消耗機材費 1,283,646円 医薬品衛生材料費 46,064,888円 検査費 3,855,032円 計 52,622,536円	外来患者は一日平均121人(本院分)で慢性疾患の定期外来通院が多く、特にお年寄りには身近に利用できる唯一の初期医療機関として欠かせないものとなっている。専門医への紹介・急患の二次救急病院への転送も臨機に行えた。

12. 歯科診療所特別会計 (決算書385頁～395頁)

(単位：千円・%)

区分	17年度	18年度	伸率
歳入総額	53,536	52,449	2.0
歳出総額	47,244	45,980	2.7
歳入歳出差引額	6,292	6,469	2.8
翌年度繰越額	6,292	6,469	2.8

本年度の収支額は6,469千円で、これから前年度繰越金6,292千円を差し引くと、単年度収支は177千円の黒字であるものの歳入では前年度より1,087千円減収し、外来患者数も若干減少している。歳出は、前年度より1,264千円の減となっている。

歳出の主なものは、医薬品衛生機材費10,507千円を支出している。今後人口減少などにより経営的には厳しいものが予想される。

(2) 歯科医業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	項	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
426	1 歯科医業費	歯科医業費	10,506	一般財源 10,506	18年度年間外来患者数 5,138人 (事業費内訳) 歯科医薬品衛生機材費 需用費 10,506,274円	外来患者は一日平均21人、島内で唯一の歯科医療機関で島民の健康増進に欠かせないものとなっている。

13. 国民宿舎特別会計 (決算書396頁～407頁)

(単位：千円・%)

区 分	17年度	18年度	伸 率
歳 入 総 額	122,877	103,438	15.8
歳 出 総 額	113,582	96,933	14.7
歳入歳出差引額	9,295	6,505	30.0
翌年度繰越額	9,295	6,505	30.0

本年度の収支額は6,505千円で、これから前年度繰越金9,295千円を差し引くと、単年度収支は2,790千円の赤字となる。

赤字の要因については、浴室天井改修工事に伴う12日間の休館による宿泊者の減、並びに施設老朽化に伴い新規宿泊者の獲得が減少し、減収となったため。ただ、宿泊客単価としては、前年度とほぼ同額となっている。

歳出では、施設設備の老朽化に伴う修繕費に2,488千円、浴室天井改修工事3,329千円、合計5,817千円を支出している。施設設備の修繕費が年々増加してきており、経営安定の障害となっている。

合併協議の中で、あまくさ荘については3年を目処に、指定管理者を含めて民間委託についても検討を行うとされ、現在、関係課職員で構成する検討委員会での検討を行なっている。市長への検討結果報告後、運営方針の最終決定が行われるが、それまでの期間、低料金で親しまれる国民宿舎として尚一層新規メニューの開発を行い集客を目指すと共に、天草西海岸の観光情報発信基地としての役割を果たして行きたい。

(1) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
404 } 405	1 一般管理費	事務費	49,114	その他 244 一般財源 48,870	支配人(職員)1名、外の従業員については臨時職員とし、人件費の削減を図る経営改善を行った。しかし、臨時職員については、週40時間勤務のため2名の応接員を増員し、勤務体制を整えたため、1,798千円の増額となった。 (事業費内訳) 職員給等(人件費) 44,036,306円 旅費 509,588円 需用費 1,725,250円 役務費 176,440円 公課費 2,666,400円	福岡と広島で開催された熊本観光マーケットに参加し、各観光事業者への誘客売り込みを図った。また、パンフレット、忘・新年会プラン等を印刷し、集客を図った。 忘・新年会プラン：22組 438人の利用
405 } 407	2 施設管理費	施設整備事業	5,817	一般財源 5,817	老朽化と台風被害に伴う修繕、浴室天井のアスベスト撤去工事及び補強工事を行った。 (事業費内訳) 修繕料 2,488,320円 工事請負費 3,328,500円	工事のため、12日間の休館となったが、利用客の安心・安全を図ることができた。

14 . 埠頭事業特別会計 (決算書408頁～416頁)

(単位：千円・%)

区 分	17年度	18年度	伸 率
歳 入 総 額	389	14,358	3591.0
歳 出 総 額	16	14,263	89043.8
歳入歳出差引額	373	95	74.5
翌年度繰越額	373	95	74.5

本会計では、歳入総額 14,358千円から、歳出総額は 14,263千円を差し引いた 95千円を翌年度へ繰越すこととなりました。

歳入の主なものは、使用料7,975千円(構成比55.5%)、一般会計からの繰入金5,900千円(同41.1%)です。

歳出の内訳は、一般管理費372千円(同2.6%)、公債費13,891千円(同97.4%)となりました。

(1) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
416	1 一般管理費	港湾管理事業	372	その他 372	【 棚底港・大宮地港の外灯等管理事業】 (事業費内訳) 電気料 155,086円 修繕料 76,335円 待合所管理業務委託料 42,000円 駐車場の整備 98,595円 計 372,016円	埠頭用地である棚底港、大宮地港の外灯及び待合所の管理を行った。また、棚底港の非舗装駐車場の整備を行った。

15. 斎場事業特別会計 (決算書417頁～426頁)

(単位：千円・%)

区 分	18年度
歳入総額	120,628
歳出総額	114,612
歳入歳出差引額	6,016
翌年度繰越額	6,016

本会計では、歳入総額120,628千円から、歳出総額は114,612千円を差し引いた6,016千円を翌年度へ繰越すこととなりました。

歳入の主なものは、使用料20,162千円(構成比16.7%)、と一般会計からの繰入金99,480千円(同82.5%)です。

歳出の内訳は、斎場事業費が50,118千円(同43.7%)、公債費64,494千円(同56.3%)となりました。

(1) 斎場事業費

(1) 斎場事業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
425	1 斎場総務費	斎場総務費	3,651	一般財源 3,651	(斎場総務費内訳) 臨時職員賃金 2,800,156円 " 共済費 413,282円 需用費 99,304円 役務費 337,886円 計 3,650,628円	天草本渡斎場、牛深火葬場、御所浦火葬場及び天草火葬場の4施設の管理運営を実施した。 天草本渡斎場では、委託職員1名、臨時職員2名、シルバー人材センター派遣職員1名を雇用し、牛深火葬場、御所浦火葬場、天草火葬場においては、委託職員1名にて、業務を実施、遺族の受付案内、火葬業務及び清掃等の接遇サービスの向上を図った。

16. 一町田財産区特別会計 (決算書427頁～435頁)

(1) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
435) 435	1 財産区管理費	財産区管理事業	84	一般財源 84	【財産区管理会の開催】 ・管理委員数 7人 ・開催回数 2回 (事業費内訳) 報酬 84,000円	一町田財産区管理委員報酬のみの執行であった。

17. 新合財産区特別会計 (決算書436頁～444頁)

(1) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
444) 444	1 財産区管理費	財産区管理事業	42	一般財源 42	【財産区管理会の開催】 ・管理委員数 4人 ・開催回数 2回 (事業費内訳) 報酬 42,000円	新合財産区管理委員報酬のみの執行であった。

18. 富津財産区特別会計 (決算書445頁～453頁)

(1) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
453) 453	1 財産区管理費	財産区管理事業	30	一般財源 30	【財産区管理会の開催】 ・管理委員数 3人 ・開催回数 2回 (事業費内訳) 報酬 30,000円	富津財産区管理委員報酬のみの執行であった。

平成18年度 普通会計決算状況	団体名	コード番号	432156
	熊本県 天草市	市町村類型	3-1
		交付税種地	1-2

区分	決算額	構成比	対前年比	経常一般財源	構成比
地方税	7,459,156	14.7	1.7	7,110,807	22.7
地方譲与税	1,386,540	2.7	25.4	1,386,540	4.4
利子割交付金	24,856	0.1	△33.6	24,856	0.1
配当割交付金	15,058	0.0	36.7	15,058	0.1
株式等譲渡所得割交付金	12,434	0.0	△17.1	12,434	0.0
地方消費税交付金	951,652	1.9	2.6	951,652	3.0
ゴルフ場利用税交付金	9,582	0.0	0.3	9,582	0.0
自動車取得税交付金	264,201	0.5	11.7	264,201	0.8
地方特例交付金	167,914	0.3	△19.0	167,914	0.5
地方交付税	23,910,308	47.0	3.6	21,227,012	67.9
内 普通	21,227,012	41.7	2.8	21,227,012	67.9
内 特別	2,683,296	5.3	10.4		
小 計	34,201,701	67.2	3.8	31,170,056	99.7
交通安全対策特別交付金	14,997	0.0	7.4	14,997	0.1
分担金及び負担金	582,923	1.2	△6.6		
使用料	687,279	1.4	△10.9	19,773	0.1
手数料	224,785	0.4	35.5		
国庫支出金	4,350,983	8.5	10.1		
県支出金	3,248,995	6.4	△20.6		
財産収入	95,786	0.2	△80.0	54,585	0.2
寄附金	40,918	0.1	557.4		
繰入金	12,713	0.0	△99.7		
繰越金	1,994,733	3.9	43.6		
諸収入	629,263	1.2	△21.4	7,015	0.0
地方債	4,846,500	9.5	△10.7		
合 計	50,931,576	100.0	△8.6	31,266,426	100.0

区分	決算額	構成比	対前年比	充当税等額	経常経費充当一般財源	経常収支比率
人件費	10,496,695	21.3	△6.7	10,144,186	9,497,284	28.9
うち職員給	7,135,805	14.5	0.0	6,882,025	6,882,025	21.0
扶助費	7,028,003	14.2	5.1	2,748,300	2,610,625	8.0
公債費	7,708,484	15.6	△0.8	7,444,568	7,444,568	22.7
内 元利償還金	7,708,484	15.6	△0.8	7,444,568	7,444,568	22.7
内 一時借入金		0.0	△100.0			0.0
小 計	25,233,182	51.1	△1.9	20,337,054	19,552,477	59.5
物件費	4,043,442	8.2	△14.1	3,302,442	2,888,880	8.8
維持補修費	310,292	0.6	△15.9	241,103	224,987	0.7
補助費等	5,340,425	10.8	△16.2	4,876,726	4,203,219	12.8
うち一部組合負担金	2,502,448	5.1	△13.4	2,455,977	2,382,252	7.3
積立金	1,296,340	2.6	27.9	1,280,000		0.0
投資及び出資金・貸付金	123,100	0.3	△62.6			0.0
繰出金	5,364,314	10.9	△5.8	4,834,142	4,268,184	13.0
投資の経費	7,625,652	15.5	△20.0	1,688,825		
うち人件費	421,068	0.9	△7.1	335,225		
普通建設事業費	6,441,494	13.1	△30.1	1,553,505		
内 うち補助事業費	2,678,025	5.4	△5.1	172,094		
うち単独事業費	3,306,925	6.7	△43.5	1,295,537		
うち県事業負担金等	456,544	0.9	△16.9	85,874		
内 災害復旧事業費	1,184,158	2.4	281.8	135,320		
失業対策事業費						
合 計	49,336,747	100.0	△8.2	36,560,292		

区分	決算額 (a)	構成比	(a)のうち普通建設事業費	(a)の充当税等額
議会費	223,058	0.5		223,058
総務費	7,461,331	15.1	358,296	6,824,013
民生費	12,631,806	25.6	127,322	7,629,193
衛生費	5,180,931	10.5	417,899	4,503,687
農林水産業費	3,633,783	7.4	1,861,690	1,795,512
商工費	848,082	1.7	163,908	577,211
土木費	3,775,233	7.7	2,234,383	2,137,256
消防費	1,987,565	4.0	59,376	1,796,547
教育費	4,702,316	9.5	1,218,620	3,493,927
災害復旧費	1,184,158	2.4	1,184,158	135,320
公債費	7,708,484	15.6		7,444,568
諸支出金		0.0		
合 計	49,336,747	100.0	7,625,652	36,560,292

区分	金額
簡易水道	650,125
下水道(6事業)	1,013,668
国民健康保険	1,126,190
老人保健	1,317,579
介護保健	1,249,103
上水道	230,812
病院	703,599
その他	5,900
合 計	6,296,976

項目	17年国調	96,473人	区分	17年国調	12年国調
12年国調	102,907人		第1次	7,128人	7,925人
住民基本台帳人口	H 19.3.31	97,323人		16.6%	17.0%
	H 18.3.31	98,980人	第2次	8,390人	10,610人
増減率		△1.67%		19.5%	22.7%
人口集中地区人口	17年国調	20,179人	第3次	27,533人	28,168人
	12年国調	21,711人		63.9%	60.3%
面積	683.15km ²	人口密度	141人		

区分	徴収済額	構成比	徴収率 現年分	超過課税分
市民税 個人分	2,078,391	27.9	98.3	
市民税 法人分	630,070	8.5	99.4	103,368
固定資産税	3,646,808	48.9	97.3	
軽自動車税	185,138	2.5	97.6	
市町村たばこ税	528,713	7.1	100.0	
特別土地保有税				
法定外普通税				
目的税	390,036	5.2	97.0	
内訳 入湯税	41,687	0.6	100.0	
都市計画税	348,349	4.7	96.7	
旧法による税				
合 計	7,459,156	100.0	97.9	103,368

過疎	○
山振	○
離島	○
半島	○
産炭	
低開発	
農工	○
国立公園	○
市町村圏	○
指数表選定	○
リゾート	○
農山村	○

伝染病	
ごみ処理	○
火葬場	
常備消防	○
退職手当	
税務事務	
老人福祉	
その他	○

区分	平成18年度	平成17年度
歳入総額	50,931,576	55,728,236
歳出総額	49,336,747	53,733,503
歳入歳出差引額	1,594,829	1,994,733
翌年度に繰越すべき財源	166,678	191,698
実質収支	1,428,151	1,803,035
単年度収支	△374,884	465,492
積立金	1,288,782	709,522
繰上償還金		60,000
積立金とくり越し額		1,420,836
実質単年度収支	913,898	△185,822

区分	職員数 (人)	給料月額 (千円)	一人当たり平均月額 (円)
一般職員	1,000	333,682	333,682
技能労務職員	159	50,504	317,635
教育公務員	36	12,984	360,667
消防職員			
臨時職員			
合計	1,195	397,170	332,360

職名	定数	適用開始年月日	一人当たり平均月額 (円)
市長	1	H18.3.27	870,000
副市長	1	H18.12.26	665,000
教育長	1	H18.3.27	605,000
議会議長	1	〃	407,000
議会副議長	1	〃	366,000
議会議員	28	〃	348,000

18年度 基準財政収入額	7,641,495
基準財政需要額	28,868,507
標準税収入額	9,744,727
標準財政規模	30,971,739
財政力指数(16~18年度)	0.278
実質収支比率	4.6
経常一般財源比率	101.0
公債費比率	14.3
公債費に準ずる債務負担含む公債費比率	14.9
公債費負担比率	19.5
起債制限比率	12.0
実質公債費比率	17.8
義務的経費比率	51.1

区分	金額
財政調整基金	7,672,845
減債基金	1,322,448
その他	1,399,941
計	10,395,234

区分	金額
政府資金	51,345,963
その他	13,063,425
計	64,409,388

区分	金額
物件の購入等	1,495,540
債務保証損失補償	
その他	2,926,366
計	4,421,906

土地開発基金現在高	50,043
-----------	--------